

# 平成21年度 地方の元気再生事業

## ア里克キアノ(みんな頑張りよう)シラオイ再生プロジェクト 報告書 概要版

### 取組① 「アイヌの智慧による商品開発事業」(報告書P11～)

- アイヌの伝統食材の商品化・アイヌ文様刺繍、伝統的素材、工法による実用品の開発、商品化

【9品目の開発】

- 商品開発モニター調査

【H22.2.27開催】

- アイヌ語地名マップの作成

【3万部作成】



### 取組② 「魅力発信事業」(報告書P11～)

- 移動博物館用演目の復元【7演目の復元】

- 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習

【札幌、函館、ニセコ地区で計4回開催】

【博物館での受入 4校実施】

- 博物館展示の検証

【企画展2回、博物館展示の多言語化、  
展示解説ブックレットの作成】

- 誘客キャンペーンの実施【関西方面、パンフレット・DVDの制作】

- 映像のデジタル化と国際発信

【H21.11.15番組放送(jibotv)、  
HP・DVDの制作】



目標  
1

#### アイヌ文化を活用したビジネスモデルの構築

目標指標: 5種類以上の商品化を目指す  
取組実績: 9品目の商品開発・試作  
【食材: 3品目、工芸品6品目】

目標  
3

#### 観光振興を核とした地域振興による雇用創出

目標指標: ①アイヌ文化を体感できるメニューを2種類以上  
開発する。  
②町内全域を巡るツアーを企画・開発する。  
取組実績: 移動博物館等のメニュー化、ツアー企画・開発、  
ガイド育成について次年度以降検討。

目標  
2

#### アイヌ民族博物館の入場者数の増加

目標指標: ①入場者数21.3万人(H214~1月)を目指す。  
②入場者1人当り客単価の増を目指す。  
取組実績: ①入場者実績17.8万人(H214~1月)  
②入場者1人当り客単価68円アップ

目標  
4

#### アイヌ文化の理解度・関心度を高める

目標指標: 事業を体験した85%以上の方々々にアイヌ文化に  
対する理解度・関心度が高まったとの評価を得  
ることを目指す。  
取組実績: 事業を通じて約96%の者の理解度・関心度の両  
方又はどちらかが高まったとの回答を得た。

- 商品開発モニター調査を通じた商品等についての市場性の検証【グリーンインタビュー、アンケート調査】
- 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習に対するアンケート調査【アンケート調査実施、取りまとめ・分析】

### 取組③ 「事業検証事業」(報告書P45～)

平成21年度 地方の元気再生事業

アリキキアンロ（みんな頑張ろう）シラオイ再生プロジェクト  
～アイヌの智慧を活かしたビジネス創造～

## 報告書

平成22年3月  
北海道白老郡白老町

アイヌの智慧でシラオイ  
再生プロジェクト

北海道経済産業局

はじめに

---

白老町では、平成21年度、国の最重要課題である地方再生のための総合的な戦略としてまとめられた「地方再生戦略」(平成19年11月30日)に基づき、平成20年度に創設された「地方の元気再生事業」での選定を受け、アイヌ文化を活かし地域産業振興を図ることを目的とする「アキキアンロ(みんな頑張りよう)シラオイ再生プロジェクト~アイヌの智慧を活かしたビジネス創造~」を、北海道経済産業局からの委託調査事業として実施しました。

地方の元気再生事業は、地方再生の取組を進める上で鍵となるプロジェクトの立ち上がり段階からソフト分野を中心に集中的に支援を行い、地方の実情に応じた生活の維持や魅力あるまちづくり、産業の活性化に道筋をつけることをねらいとするものであり、公募により広く提案を求め、「企画競争」として提案を募集した中で提案内容を審査し、選定された提案を内容とする調査を提案者が受託することとなります。

この度の提案は、財団法人アイヌ民族博物館や社団法人白老観光協会、一般社団法人白老モシリ、白老町役場など町内外の10団体により組織された協議会「アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト」が提案者となり、白老町役場を代表団体として行いました。

平成21年度は、全国で696件の応募があった中から191件の提案が、先導性・モデル性、持続性、複合性等の選定の考え方にに基づき、民間有識者からなる地域活性化戦略チームでの検討・助言も踏まえた検討により、地方の元気再生事業の対象として選定され、当協議会の提案もその中の1つとして選定されました。

白老町は、産業の衰退などの影響により、人口減少、少子高齢化が顕著化しており、また、基幹産業の一つである観光産業では、さまざまな要因により入込客数が減少し、特に、修学旅行などの道外客や外国人観光客の落ち込みが大きく、その多くを受け入れてきた「アイヌ民族博物館」の入場者数も激減している状況にあり、このことはアイヌ文化の伝承・研究活動に資金面や人材面からも深刻な影響を与えています。

また、これまでアイヌ文化の伝承活動、調査研究を通じて生活の糧を得ることができるのは、大学等研究機関の研究者や学芸員、博物館職員等一部に限られており、一般レベルでの文化伝承活動を困難なものとしていました。

アイヌ文化の伝承・保存、研究の根を絶やすことなく、次世代へと引き継ぐためにも、アイヌ文化を活かしたビジネスモデルの確立を目指し、伝承活動を通して生活のための資金を得、継続的に活動を続けられる環境創出を行う方策、そして、これまでの取組みの成果にうえに、アイヌ文化を活かした地域産業の振興策について、実証的な取り組みを行いながら検討を行いました。

ここに、関係各位のご指導、ご協力に対し厚くお礼申し上げます。

平成22年3月

アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト  
委員長(白老町長) 飴谷 長 藏

平成21年度 地方の元気再生事業  
アリのキキアンロ（みんな頑張ろう）シラオイ再生プロジェクト  
～アイヌの智慧を活かしたビジネス創造～ 報告書

<目次>

序 章	1
1. アイヌ文化の歴史的経緯	1
2. 白老アイヌの沿革	1
3. アイヌ民族博物館の沿革	2
4. 白老アイヌに関わる近年史	3
5. 白老町の現況と課題	4
6. 調査の目的	5
7. 取組の目標	6
8. 取組の内容（当初予定）	7
9. 実施体制	8
10. 平成21年度事業実施のスケジュール（予定）	10
第1章 アイヌの智慧による商品開発事業	11
1. - 1 アイヌの伝統食材の商品化	11
アイヌ文様刺繍、伝統的素材、工法による実用品の開発、商品化	
(1) 商品開発について	11
(2) 商品開発の今後の展開及び課題	15
(3) 商品開発モニター調査	15
2. - 2 アイヌ語地名マップの作成	17
第2章 魅力発信事業	19
1. - 2 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習	19
(1) 移動博物館用演目の復元	19
(2) 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習（出張公演）	24
(3) アイヌ文化特別体験学習受入	31
2. - 3 博物館展示の検証	32
(1) 特別企画展の検証・実施	32
(2) 博物館展示（キャプション等）の多言語化	34
(3) 展示解説ブックレット（多言語）の作成	38
3. - 4 誘客キャンペーンの実施	39
(1) 誘客キャンペーン	39
(2) 誘客キャンペーン用パンフレット・DVDの作成	40
4. - 5 映像のデジタル化と国際発信	40
(1) 映像製作と国際発信	40
(2) ホームページの作成	42
(3) 番組DVDの作成	44

第3章 事業検証事業	45
1. - 1 事業検証	45
(1) 商品モニター調査	45
(2) アンケート調査	47
2. - 2 事務局	49
第4章 取組の目標に対する達成度	50
終章 終わりに	52
資料編	53
1. 商品開発モニター調査報告書	55
2. アンケート調査結果	83
(1) 白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌	83
(2) アイヌみんぱくフェア in はこだて	101
(3) 白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ	135
(4) アイヌ文化特別学習受入	167
3. 番組モニター感想(一部)	171

## 序 章

---

### 1. アイヌの文化の歴史的経緯

北海道に人類が住み始めたのは2万数千年前とされ、歴史的には旧石器時代に属する。当時、日本列島は陸つづきであったが、温暖化に伴う海面上昇により、1万2千年前には北海道、本州、四国、九州などそれぞれ独立した島々が形成されるようになった。このころには、北海道でも土器作りが始まり、いわゆる「縄文文化」の時代に入った。

さらに、遅くとも2千5百年前には大陸から日本列島の一部に稲作と金属器が伝わり、弥生文化の時代に移ったが、寒冷な北海道では稲作は広がらず、狩猟、漁撈、採取を中心とする独自の「続縄文文化」が6世紀ごろまで続くこととなった。

7世紀に入ると、本州文化や北方文化の影響を受けつつも、独特の土器文様を描く<sup>まつもん</sup>擦文土器に代表される「擦文文化」の時代が北海道で始まる。

この擦文文化期の中で現在に認識されるかたちでのアイヌの文化の原型がみられ、それに続く13～14世紀ころにかけ、狩猟、漁撈、採取を中心に一部には農耕を行う生活の中で自然とのかかわりが深く、海を渡って交易を盛んに行うアイヌの文化の特色が形成されていく。そして、大陸をはじめ樺太から蝦夷錦（絹製品）やガラス玉など絢爛たる装飾品や、鉄の鍋、漆器がもたらされたことによる土器文化の終焉により、無土器の「アイヌ文化」が始まったと考えられている。

なお、5～6世紀ころから、オホーツク海沿岸を中心に、漁撈や海獣猟を行い、独自の土器を用い、クマに対する信仰などを有する大陸的な色彩が強い「オホーツク文化」が広がっていた。オホーツク文化は、やがて擦文文化と融合し9世紀ころに終末を迎えるが、その後形成されるアイヌの文化には、信仰の面などにおいてオホーツク文化の影響がみられる。

### 2. 白老アイヌの沿革

現在の白老アイヌは、熊坂エカシの11代前の祖先イペニツクルが、日高アッペツより移住したのに始まると言い伝えられており、また、イペニツクル入地以前の元和6年(1620)六月日高アイヌ、ヌセパイヌがウトカンベツ川付近にコタン（集落）が、大島噴火による大時化のため、波にさらわれほとんど全滅したといわれているが定かではないとされている。実際には白老にいつごろからアイヌの人々が居住し、文化を築いたかは、はっきり分からないが、古くから居住しており「東蝦夷地各場所様子大概書」(1808～1811)によれば、海岸線沿いにアイロから砂臺まで5つのコタンが存在し、全体で82戸、人口349人が居住していたとされている。その後、「北海道庁統計書」における白老村のアイヌの人口については、明治15年(1882)には127戸、634人となり、その後、江戸時代の場所請負制下での漁場での使役や、安政3年(1856)の仙台藩白老元陣屋構築などによる和人との交流が始まり、その後のアイヌ文化の変容に大きく影響したと思われる。

その後のアイヌの人口推移については、50年後の昭和7年(1932)には179戸、766名となっている。現在における人口について正確に把握することはできないが、昭和23年(1948)に設立された北海道アイヌ協会白老支部の現在の会員数は312人となっており、全道の支部の中では最も人数が多くなっている。

### 3. アイヌ民族博物館の沿革

明治以降、アイヌの集落が古い形を残したままであったところ、室蘭から三笠までの鉄道開通により、本州より北海道を訪れる人の増加と、それらの人々が白老に下車して、アイヌの集落を見物するようになって以後、白老のアイヌ文化が広く世に知られるようになった。その後、昭和39年まで、町内の一角に、観光地としての「アイヌコタン」が形成され、木彫製作・販売が隆盛し、古式舞踊等のアイヌ文化が紹介されていた。



昭和40年に、ポロトコタン周辺に「アイヌコタン」が移転し、昭和42年にはポロトコタン内に町立による「白老民俗資料館」が設置され、さらに、昭和51年に財団法人白老民族文化伝承保存財団が設立、それまでの観光色一辺倒の文化紹介から学術的な調査・研究の成果をも加味した文化紹介となり、昭和59年、民族資料常設展示施設として「アイヌ民族博物館(新館)」を開館し博物館法による登録博物館となり、平成2年に法人名を現在の「財団法人アイヌ民族博物館」と改称し、現在の活動に連なっている。

この過程のなかで、文化伝承は、当初、複数の血縁集団によるものから、地縁集団へと変化している。

白老におけるアイヌ文化伝承・保存は、当初の観光地としてのものから、観光と学術的な面を併せ持ったものとなり、今日に及んでいる。その特徴的なところは、文化伝承・保存活動の主体がアイヌ民族博物館にあるところから、地元白老のアイヌ文化に止まらず、広く北海道全域のアイヌ文化を総合的にとらえているところにある。



#### 4. 白老アイヌに関わる近年史

- 明治32年(1899) 北海道旧土人保護法(明治32年法律第27号)公布
- 大正10年(1922) 北海道旧土人保護法に基づき、北海道庁立白老病院設置
- 昭和12年(1937) 北海道庁立白老病院設置廃止
- 昭和21年(1946) 社団法人北海道アイヌ協会設立
- 昭和23年(1948) 社団法人北海道アイヌ協会白老支部設立
- 昭和51年(1976) 財団法人白老民族文化伝承保存財団(現:財団法人アイヌ民族博物館)設立
- 昭和59年(1984) アイヌ古式舞踊が国の重要無形民俗文化財に指定
- 平成7年(1995) 内閣官房長官の私的諮問機関として「ウタリ対策のあり方に関する有識者懇談会」設置
- 平成8年(1996) ウタリ対策のあり方に関する有識者懇談会報告書提出
- 平成9年(1997) 「アイヌ文化の振興並びにアイヌの伝統等に関する知識の普及及び啓発に関する法律」(平成9年法律第52号)公布  
北海道旧土人保護法(明治32年法律第27号)廃止  
財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構設立
- 平成10年(1998) 「アイヌ文化振興等基本計画検討委員会」を北海道として設置
- 平成11年(1999) アイヌ文化振興等基本計画検討委員会が「伝統的生活空間の再生に関する基本構想」を策定
- 平成12年(2000) 「アイヌ文化振興等施策推進会議」を国・関係者において設置
- 平成14年(2002) アイヌ文化振興等施策推進会議が「伝統的生活空間(イオル)の再生構想」の中核イオルの適地として白老を選定
- 平成16年(2004) 「白老町中核イオル基本計画」作成
- 平成18年(2006) アイヌの伝統的生活空間(イオル)の再生事業白老地区計画「レラコラチ」の策定  
白老町においてイオル再生事業の先行実施(～平成22年)
- 平成19年(2007) 「白老町アイヌ施策基本方針」策定  
「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が国際連合総会において採択
- 平成20年(2008) 「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が衆参両院において全会一致で採択  
内閣官房長官の下に「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会」発足
- 平成21年(2009) アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書提出  
アイヌ古式舞踊がユネスコ無形文化保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載される  
内閣官房長官を座長とする「アイヌ政策推進会議」の開催決定

1～4 参考:「アイヌ政策のあり方に関する有識者懇談会報告書」

「アイヌの足跡」満岡伸一著

「松前蝦夷地場所請負制度下の白老場所とアイヌ史」野沢孝治著

「アイヌの伝統的生活空間の再生事業の中期的展望方針に関する報告書」財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構  
新白老町史

## 5 . 白老町の概況と課題

白老町は、北海道の南西部、胆振管内の中央に位置し、東は苫小牧市、西は登別市に隣接しており、南は太平洋に面している。

面積は 425.75 km<sup>2</sup>、海岸線の延長は 28 km で、別々川をはじめ 7 本の水量豊かな河川が太平洋に注いでおり、その流域の平野部に市街地が形成され、人口は 1984 年の 24,560 人をピークに、2010.2 末現在では 19,884 人、9,693 世帯と減少の一途を辿っている。

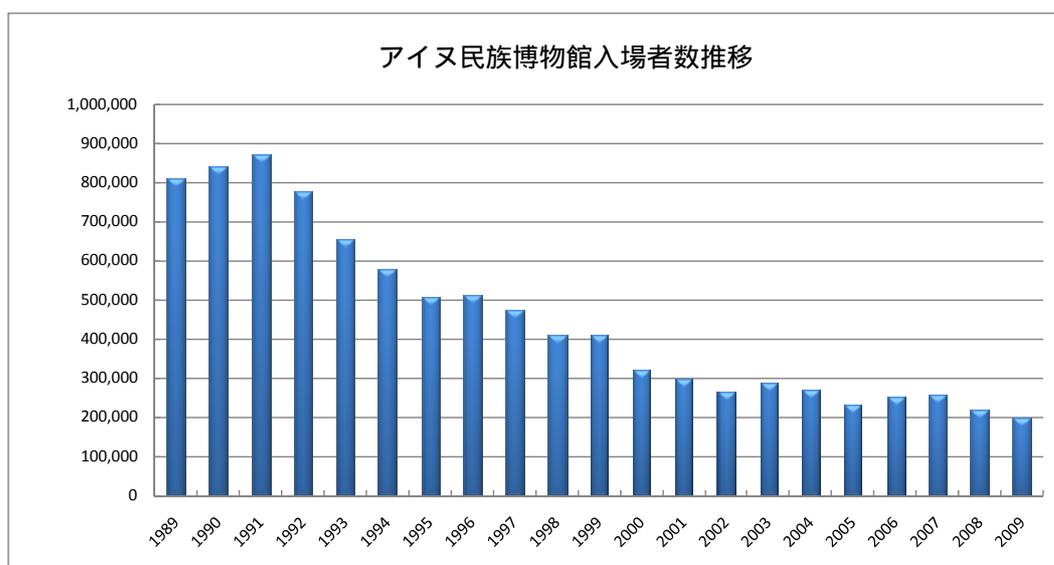
【白老町位置図】



一方、北西から北東にかけては山岳地帯で、そのほ

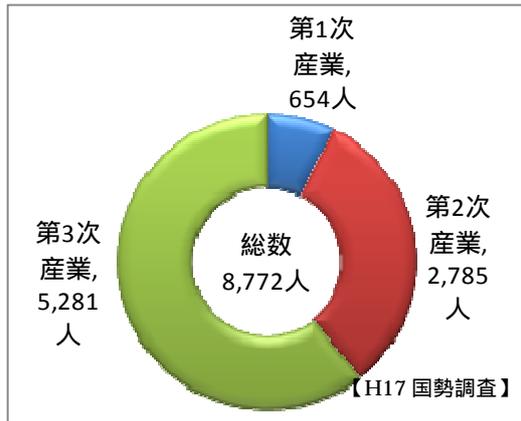
とんどが支笏洞爺国立公園区域に属し、海岸に沿っては豊富な温泉が湧出し恵まれた観光資源となっており、また、海・山の豊富な食材にも恵まれていることもあり、1991 年度には 250 万人を超える観光入込があったが、2008 年度では 200 万人強にまで落ち込んでいる。特に、修学旅行生などの道外客や外国人観光客の落ち込みが大きく、その多くを受け入れてきた「アイヌ民族博物館」の入場者数も、1991 年度の 87.1 万人から 2009 年度では 19.5 万人にまで激減している。(図 序-1)

【図 序-1】

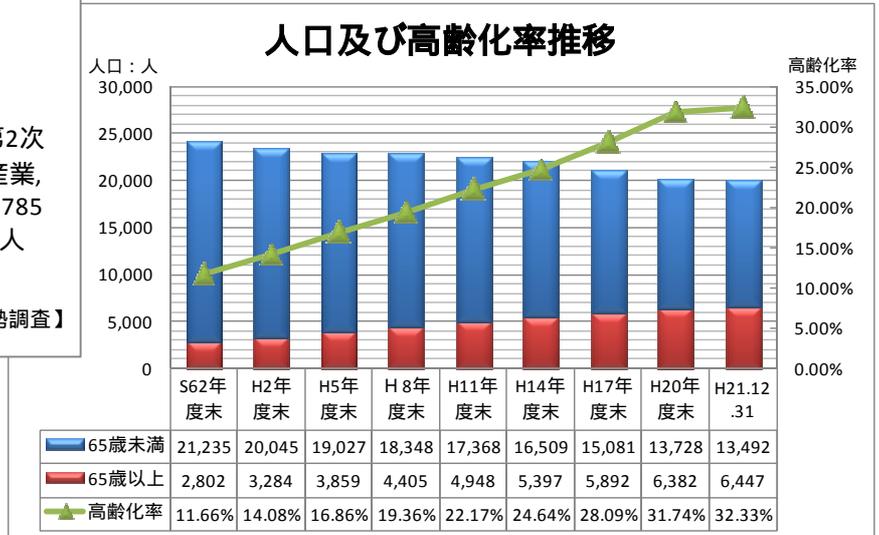


産業別の就業者数は、第 3 次産業が最も多く (図 序-2)。一方で、少子高齢化と産業衰退の影響から、労働力状態では非労働力人口の増加とともに、完全失業者の割合も増えてきている状況にある (図 序-3)。また、商業統計調査における小売業の概況では、年間商品販売額や商店数は減少傾向にあることが分かる (図 序-4)。

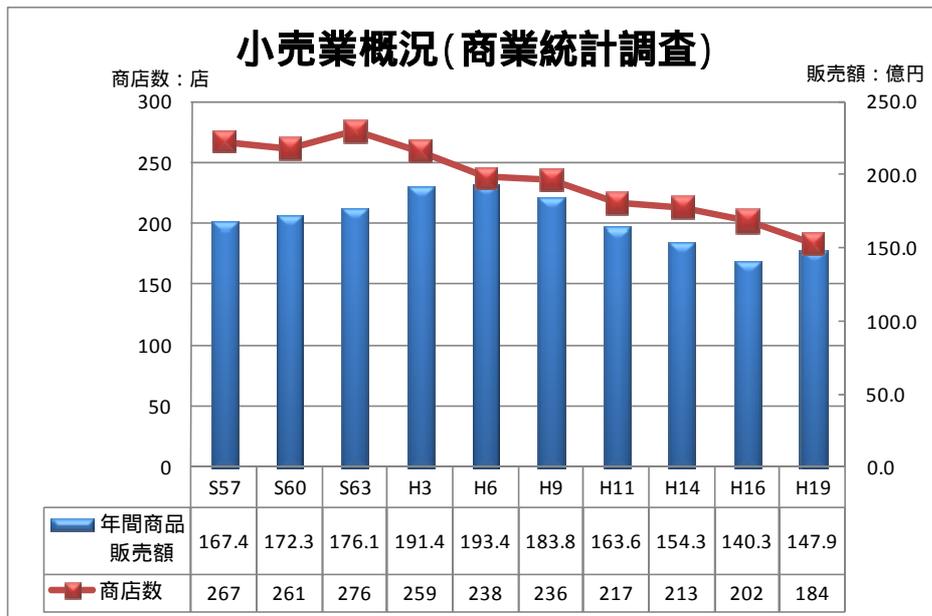
【図 序-2】



【図 序-3】



【図 序-4】



## 6. 調査の目的

前述のように、白老町では産業衰退や人口減少、高齢化の進行などが顕著化しており、まちの将来像を描くことが困難な状況となっている。

このことから、「平成21年度地方の元気再生事業」に採択された「アリキキアンロ(みんな頑張ろう)シラオイ再生プロジェクト」による各種事業の展開により、町内各種団体、町民が一体となり、先人が築いた北海道そして白老のアイデンティティーとも言うべき「アイヌ文化」の知見を活用したビジネスモデルの構築にチャレンジし、文化活用による、持続性のある文化・地域振興が図られるような仕組みづくりを目的とした。

## 7. 取組の目標

目的に沿い効果的な事業を実施するため、次の4項目を平成21年度の目標に掲げ取り組むこととした。

目標 1 アイヌ文化を活かしたビジネスモデルの構築を図る	
現 状	H21
現在、アイヌ文化を活用したビジネスモデルは皆無に近く。また、一般の文化伝承活動を行う方々はその活動だけでは生活できない状況にある。	新たな雇用の創出や所得の増を図ってまちの活力を生み出すため、アイヌの智慧を活かしたビジネスモデルの確立を目指し、検証・試作を行う。このことにより、一般の文化伝承活動を行う方々が、伝承活動を通して生活の糧を得、継続的に活動を続けられる環境創出を目指す。 平成21年度はその第1ステップとして、ビジネスモデル確立の基礎となる商品化を、市場性の検証を踏まえ具体化する。 <b>【目標】: 5種類以上の商品化を目指す。</b>
目標 2 財団法人アイヌ民族博物館の入場者数の増加を図る	
現 状	H21
平成20年度の入場者数は、修学旅行シーズンが北海道洞爺湖サミット開催と重なったことや、急激な円高による外国人客の大幅減の影響で開館以来最小人数となり、博物館運営の厳しさが増している。 21.4万人(H20年度) 20.3万人(H20 4月~1月)	事業の実施により、アイヌ文化・アイヌ民族博物館の魅力の普及啓発を行い、入場者数の増加に繋げる。また、伝統食材・伝統素材、工法による新たな商品を販売することで、1人当たりの客単価の増を図る。 <b>【目標】: 入場者数21.3万人(H21 4~1月)を目指す。 : 入場者1人当たり客単価の増を目指す。</b>
目標 3 観光振興を核とした地域振興により雇用創出と所得増を図る	
現 状	H21
産業の衰退により、まちの活力も低下し商工業者の廃業や人口流出にも繋がっている。また、時代の移り変わりとともに、旅行者のニーズも変わってきており、そのことが旅行者の減少に拍車を掛けている。	アイヌ文化を活用し、魅力あふれるメニューを開発、内容の変更やメニューを追加していくことで、1度訪れた旅行者が2度、3度と訪れていただける環境を整備する。また、旅行者が町内を回遊し、町全体が潤うための仕組みを検証する。そのことで、地域全体の底上げが図られ、雇用創出と所得増に繋げていく。 平成21年度は新メニューと、町内全域を巡るツアーの開発を行う。 <b>【目標】: アイヌ文化を体感できるメニューを2種類以上開発する。 : 町内全域を巡るツアーを企画・開発する。</b>
目標 4 国内外の人々にアイヌ文化の理解度・関心度を高める	
現 状	H21
町内、道内においても、アイヌ文化についての知識が乏しい現状であり、また積極的な関心度も低い状況にある。	事業の実施により、アイヌ文化に対する理解度を高める、また体験などを通じて関心度を高め、その度合いを、アンケートなどを通して集積する。また、理解度・関心度の高まりによる旅行者の増や、一般の人々のアイヌ文化伝承活動への参加を促すことを目指す。 <b>【目標】: 事業を体験した85%以上の方々にアイヌ文化に対する理解度・関心度が高まったとの評価を得ることを目指す。(アンケート結果)</b>

## 8. 取組の内容（当初予定）

前述の4項目の目標を達成するため、大項目として3つの項目を設定した。

取組	アイヌの智慧による商品開発事業
内容	受け継がれるアイヌ文化の叢智を集めた商品を、原材料の供給から製品の開発・製造、販売にいたるまで、オール白老の取り組みとして、検証・試作を行う。また、アイヌ民族がガイドするアイヌ文化ツアーを実施する。
	<b>-1 アイヌの伝統食材の商品化</b> <b>アイヌ文様刺繍、伝統的素材、工法による実用品の開発、商品化</b>
	(1)海の食材（鮭の汁物、鱈の肝油など） } これらを用いた弁当など (2)山の食材（鹿肉、伝承有用植物など） } ・作成方法の検証 ・原材料の安定的確保方法の検証 ・商品開発（専門家意見） ・試食会の開催
	(3)工芸品 ・試作品開発研究 ・一般向けアイヌ文様刺繍講座の開催
	(4)展示会・商談会 ・アイヌ文様工芸品、伝統食材商品の展示会・商談会の開催
	<b>-2 アイヌ語地名マップの作成</b> ・アイヌ語にまつわる地名や由来が記載されたマップの作成
	<b>-3 アイヌ文化ガイドの育成</b> ・ガイド育成講座の開講
	<b>-4 アイヌ文化ツアープログラムの企画・開発</b> ・ガイドパンフレットの作成 ・アイヌ文化ツアープログラムの検証・実施 ・モニターツアーの実施

取組	魅力発信事業
内容	アイヌ文化に接する機会の少ない地域住民の方々を対象に、古式舞踊や体験プログラム、伝統工芸品の紹介を行い、アイヌ文化の普及啓発を図る。また、プロデューサー、演出家・アートディレクターにより博物館、移動博物館の商品価値・魅力を高める。また、小中学生を対象に修学旅行とは違った形で、体験学習・総合学習活動での学習の場を提供しアイヌ文化の普及啓発を進める。また、キャンペーンやモニターツアーを実施することで、白老の魅力を伝え、さらに、映像のデジタル化と国際的な情報発信を行う。
	<b>-1 演出のプロによる移動博物館監修</b> ・移動博物館トータルプロデュース
	<b>-2 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習</b> 【実施主動：白老観光協会・アイヌ民族博物館】 ・移動博物館用演目の復元（保存されている映像、音源からの復元） ・道央圏、道南圏での移動博物館・アイヌ文化特別体験学習 ・アイヌ民族博物館でのアイヌ文化特別体験学習【モニター】

### -3 博物館展示の検証

- ・アイヌの食に関する特別展の実施に向けた調査・検証
- ・博物館展示（キャプション等）の多言語化
- ・展示解説ブックレット（多言語）の作成

### -4 誘客キャンペーンの実施

- ・道央圏、道南圏での観光誘客キャンペーン（3回）
- ・JR駅構内での誘客ポスターの掲示

### -5 映像のデジタル化と国際発信

- ・アイヌ文化を世界に向けて発信するためのデジタル番組制作
- ・作成した番組を、JIBTVのネットワーク網を活用して世界へ発信
- ・番組をDVDとして作成
- ・双方向のやりとりを可能とするホームページの作成

取組	事業検証事業
内容：実施する事業について、マーケティング調査（市場性の検証）を行い、その動向を踏まえ事業を実施する、また、実施した事業の問題点をアンケート調査等により洗い出し、フィードバックすることで事業展開の調整を図る。	
-1 事業検証	
・試食会、展示・商談会を通じた、商品等についての市場性の検証	
・博物館を訪れた旅行者、エージェン特に対するアンケート調査（ニーズ調査） 施設について 体験メニューについて 料金について 土産物について 等	
・移動博物館、体験学習・総合学習活動に対するアンケート調査・調査結果のフィードバック	
-2 事務局	
・総会、全体会議、チーム会議の開催	
・全体の進行管理及び調整	



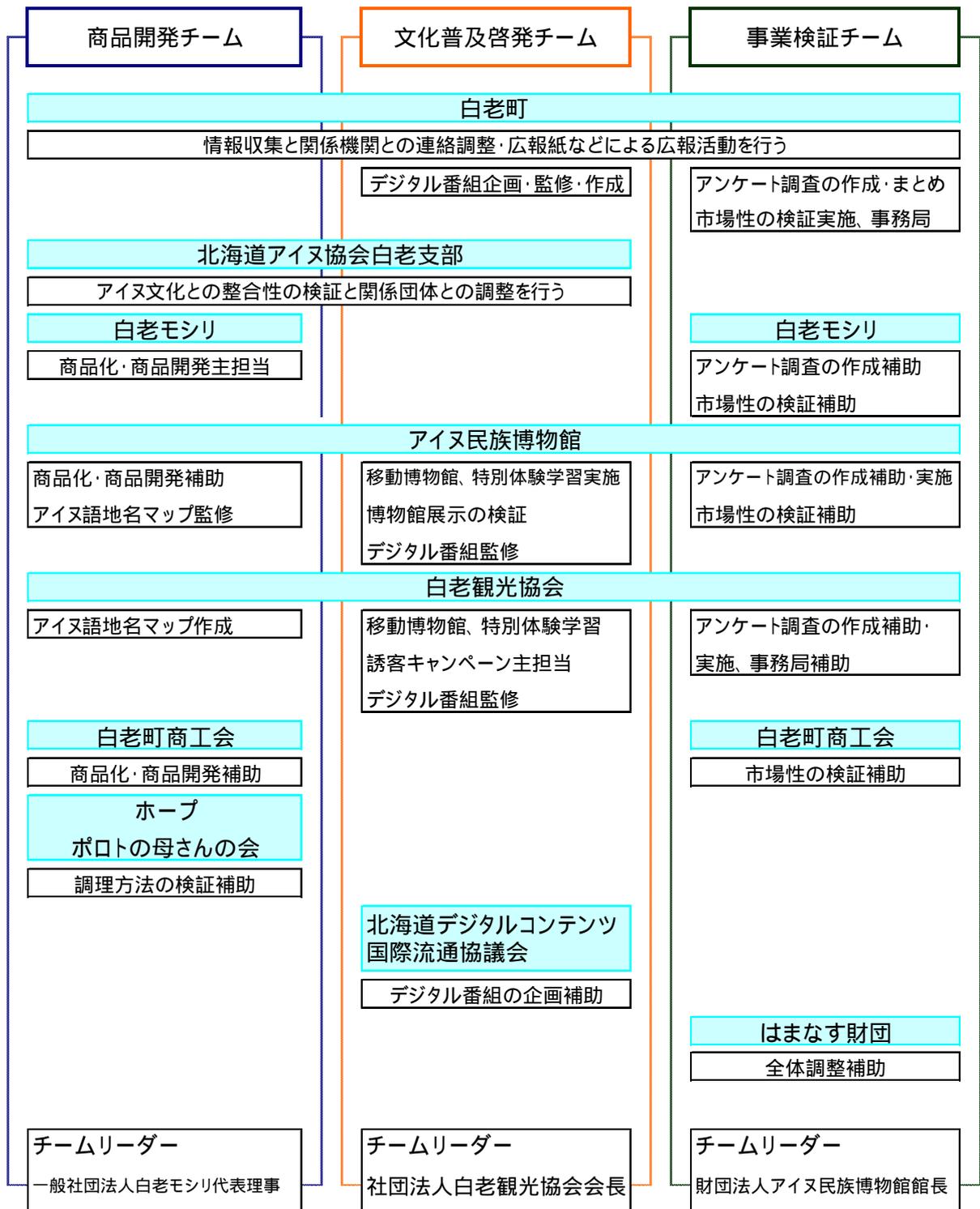



## 9. 実施体制

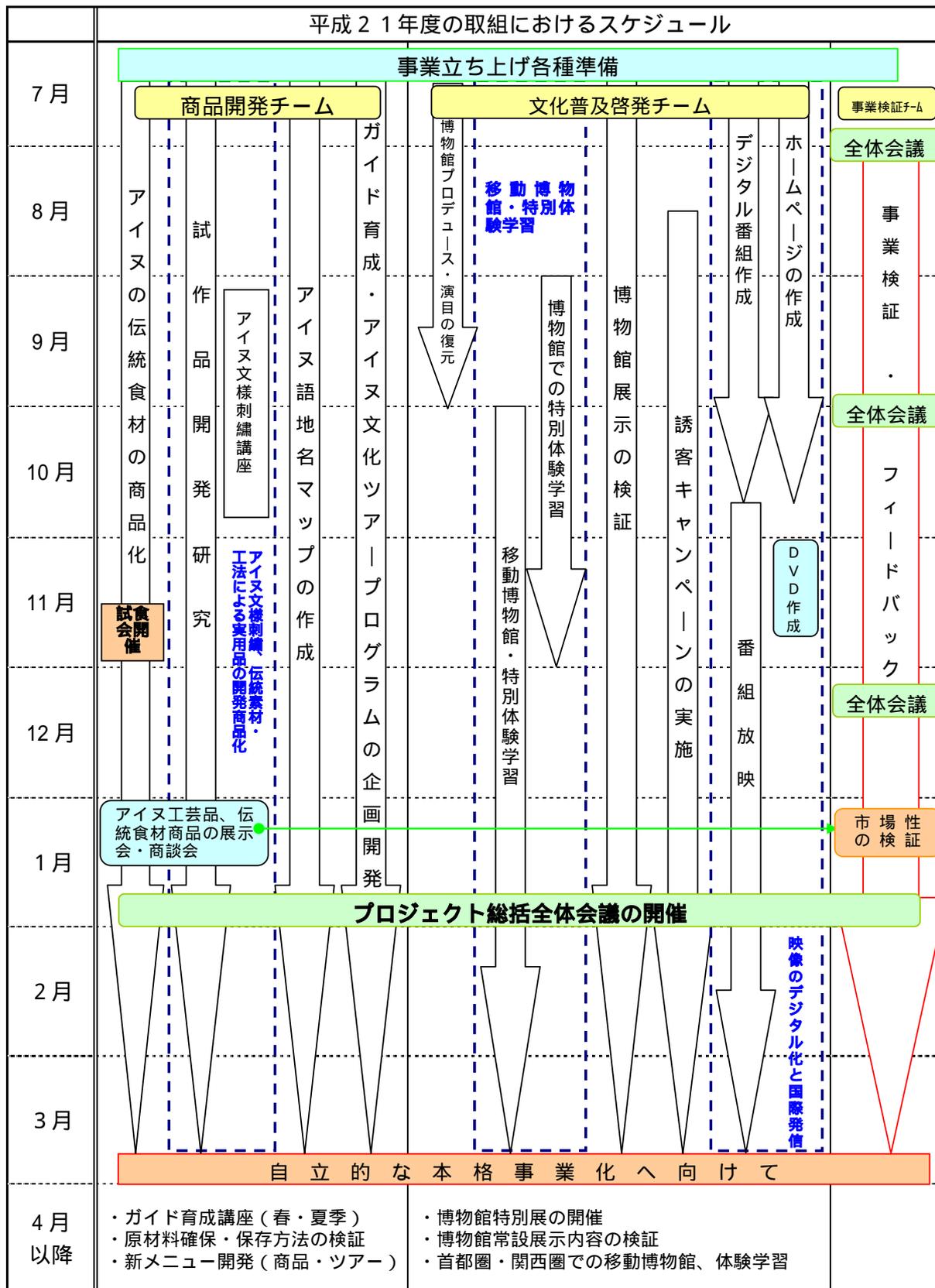
事業の実施は、プロジェクトの提案協議会である「アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト」の構成団体を、「商品開発チーム」、「文化普及啓発チーム」、「事業検証チーム」の3チームに分け、連携を取りながら効果的に取り組むこととした（図 序-5）。

また、プロジェクトの事務や進行管理を行うため、白老町職員を中心とする事務局を設置し円滑な事業実施のための調整役として機能させることとした。

【図 序-5】



10. 平成21年度事業実施スケジュール(予定)



本章では、「アリキキアンロ(みんな頑張ろう)シラオイ再生プロジェクト」における3つの取組の中から、取組「アイヌの智慧による商品開発事業」で実施した事業について報告する。

### 1. - 1 アイヌの伝統食材の商品化

アイヌ文様刺繍、伝統的素材、工法による実用品の開発、商品化

#### (1) 商品開発について

商品化については、平成21年4月に北海道アイヌ協会白老支部の会員を中心に設立された一般社団法人白老モシリが主となって進められた。

アイヌの食文化や工芸技術は、伝承者の高齢化や、原材料が希少でありその確保が困難となったこと等により、外部の助成を受けなければ一般レベルでの継承が困難な状態となっているため、アイヌの伝承食材や伝承素材、伝承工芸技術を活用した商品作りを進め、ビジネスモデルを確立し収入を得ることにより、継続的な伝承活動を促進することを目的としている。

一般社団法人白老モシリに22人の委員からなる商品開発検討委員会を9月に設置し、さらに委員会内部に料理部会、工芸部会を設置して、効率的、専門的に商品開発を進めた。



まず、工芸部会、料理部会において商品化のアイデアを募集し、寄せられた約30件の中から、平成21年度は9種類のアイデアについて商品試作を進めることとした。(表1-1)

9月から3月までの間に、全体会を2回、工芸部会を試作する工芸品別に計38回、料理部会は8回、さらに試食会を4回開催して商品の試作を進め、2月27日に行った商品モニター調査において試作品を出展し、アンケート調査やグループインタビューを通して、商品の味や

完成度、見栄えなどの感想を聴取し、市場性の検証を行った。

当初の目標としては5品目以上の商品開発としていたが、結果9品目の開発を行った。

【表 1-1】試作品リスト

	区分	商品名	詳細
1	工芸品	タマサイストラップ	アイヌ女性の首飾りタマサイをモチーフにした携帯電話ストラップ
2	工芸品	ルウンペストラップ	白老地域に伝わる木綿衣ルウンペをモチーフにした携帯電話ストラップ
3	工芸品	サケ皮ブックマーク	かつて靴等を製作していたサケ皮を使ったブックマーク(しおり)
4	工芸品	キナ等のタペストリー	ガマを原材料に製作した伝統工芸品であるゴザ等のタペストリー
5	工芸品	鹿皮の小物入れ、カードケース	鹿皮をなめして裁断し、縫製した小物入れ、カードケース
6	工芸品	アイヌ文様刺繍入り巾着袋他	北海道遺産にも指定されているアイヌ文様を刺繍した実用品
7	料理	レトルトオハウ	伝統料理オハウを手軽に家庭で味わえるようにレトルトパック
8	料理	ハッアイスクリーム	ヤマブドウ(ハッ)の酸味を活かしたアイスクリーム
9	料理	伝承食材弁当	アイヌの伝統食材を現代風にアレンジした創作弁当

1 タマサイストラップ

2 ルウンペストラップ

ストラップの開発については、アイヌ民族博物館を訪れた旅行者が気軽に購入できる土産物として開発を進め、タマサイストラップについては工芸部会委員が実在のタマサイをモチーフに、ビーズや加工石などの原材料から、実物のレプリカとして、その組み合わせにより数種類の試作品を完成させた。なお、実物については、ガラス玉やトンボ玉、シトキと呼ばれる金属の飾りを用いているが、土産物として販売価格を抑えるために、廉価で入手しやすいビーズや加工石を使った。



また、ルウンペストラップについては、木板をルウンペの形状に加工し、独特のアイヌ文様を施したものとなっている、木彫については専門的な技術を要するため、その技術を持つ町内の工芸家に作成を依頼し制作した。

ストラップは商品としての完成度も高く、今後は、パッケージや販売単価の設定、生産体

制の構築、販売方法の検証を行うことで実際の販売まで到達できるものとする。

補足説明

#### 【タマサイ】

アイヌの女性が魔除けとして、儀式のときなど、盛装する際に女性が首から胸にかけてアクセサリ的一种ですが、母から娘にと、代々伝えられた「女の宝物」でもあります。多種多様なガラス玉を多数連ね、その下の真ん中に金属の飾りの付いた板(シトキ)を付けるものがあります。2連、3連と鮮やかな玉で飾り、その紐の数の多いものほど上等とされていました。ガラス玉は遠く西アジアや中国からサハリンを経由して入手していましたが、後に江戸や大阪でもアイヌの交易品として生産され、「アイヌ玉」とも称されました。

#### 【ルウンペ】

木綿の古裂などを細かく切り、これを切り伏せして独特の文様に仕上げる極めて手の込んだ衣服です。地方によっては、かなり文様が異なったものもあります。

このほか、アツトウシ、チカラカラペ、カパラミプ、チヂリなどの種類があります。

### 3 サケ皮ブックマーク

この商品も、気軽に購入できる土産物として、小学生でも購入できるようにストラップよりも廉価な商品として開発を進めました。サケはアイヌの人々にとって貴重な食料で、魚皮は衣類や靴の材料にも使われました。そのためサケを「神魚(カムイチュップ)」と崇めてきました。ブックマークはサケ皮を乾燥させ、サケの形に切り抜いたものをラミネート加工したのになります。



商品の完成度としては、改良の余地があり、サケ皮の加工やカット方法、ラミネートの方法や形、原材料の確保方法など商品化に向けては、更なる検討が必要となる。

### 4 キナ等のタペストリー

キナとは儀礼などで用いたゴザのことで、乾燥したガマの葉を編んだものに木綿布を織り込んで作成します。そのキナにアイヌ文様を施したものをチタラペと言います。タペストリーはその伝統的工芸によるキナ(チタラペ)のミニチュア版として、インテリア用に開発を進めております。製作者の技術の高さにより、商品の完成度は高いが、原材料が高価なため設定される販売単価も高くなってしまふことや、需要の状況について検討が必要である。



### 5 鹿皮の小物入れ、カードケース

アイヌにとって鹿は、サケと同じく貴重な食料であり、また、鹿皮は衣類の材料として、

そして交易の品として大変貴重なものでした。

その鹿皮を用い、小物入れやカードケースとしての開発を進めました。商品としてはアイヌ文様も施され、日常生活に活用できる小物であり、需要はあると考えるが、商品化するためには、皮のなめしや着色の技術、原材料の確保方法などについて検討を要する。



## 6 アイヌ文様刺繍入り巾着袋他

アイヌ文様は、北海道遺産にも指定されており、文様はその地域により特色があるものとなっており、母から娘へと伝えられてきました。そのアイヌ文様を刺繍した巾着や小物などの開発を進めました。商品としては、5の鹿皮の小物同様、アイヌ文様も施され、日常生活に活用できる小物であるが、特殊性としてはアイヌ文様が施されていることのみであり、裁縫技術も高く完成度も高いが、販売に向けては需要がどれほどあるか検証が必要となる。



## 7 レトルトオハウ

オハウは伝統食の1つで、サケや鱈などの魚肉や、鹿肉や熊肉などの獣肉、山菜や野菜を用い魚脂や塩で味付けした汁物で、三平汁のルーツとも言われています。アイヌ民族博物館でも伝統食として提供されておりますが、提供先が限られているため、お土産用としてレトルト化を進めました。また、オハウの調味油として用いられていたタラスム（鱈の肝油）は、ビタミンA、Eを多く含み、野菜の少ない冬場の栄養を補う効果もありました。



レトルト化については、自前で行うことは困難であるため、専門業者を選定し試作を依頼した、数回の試作と試食を繰り返し、商品として確定できるレベルまで行き着くことができた、販売に向けては、販売単価の設定やパッケージの作成が必要であり、試験販売等も行い需要の状況も確認しつつ進めていきたい。



## 8 ハッアイスクリーム

ハッはアイヌ語でヤマブドウのことで、その実は、子どものおやつとしてそのまま食されたり、果汁酒や、果汁に海水を混ぜサンショウの葉を加え、マスの刺身などを浸して食べられていました。当初はアイスクリームとしての開発を想定しており



ましたが、牛乳の甘さでヤマブドウのさわやかな酸味が出難くなるため、ヤマブドウの果実の味を凝縮したソルベ（シャーベット）として、口当たりはシャーベット（氷菓）よりも柔らかく、甘さも控えめにして開発を進めました。この商品も自前で製作することが困難であったため、専門業者に依頼し、原材料となるヤマブドウを提供し試作と試食を行った。今後については内容量の検証やパッケージの作成、原材料の確保方法などの検討や、試験販売等も行いながら、商品として確立して行きたい。

## 9 伝承食材弁当

アイヌ民族博物館で提供されているオハウなどの伝統食の他に、アイヌ民族博物館やJR白老駅等で受注販売を行うことを目的として、アイヌの伝統食材を使って、現代風にアレンジを加えたオリジナル創作料理による弁当の開発を進めました。具材については極力白老産を用いることとし、食材のアイヌ語標記やアイヌの人々がどのように活用していたかの説明、栄養価の標記などを行った説明書を添付することで、食べながらアイヌ文化を学ぶことができる工夫を施しております。商品化するためには、容器やパッケージデザイン、通年販売するための季節ごとのメニューの開発などを行いながら、さらに試食と検証を進め、完成度を高める必要がある。



### （2）商品開発の今後の展開及び課題

当初、翌年度の事業継続を視野に入れ、翌々年度以降での本格的な販売を目指した商品開発を計画していたが、地方の元気再生事業の廃止により、単年度で成果をあげるため、当初計画のあったアイヌ文化ガイド育成やアイヌ文様講座等を取りやめて、伝承食材を活かした商品、伝統素材を活かした商品、伝承工芸技術を活かした商品づくりに特化し、翌年度でのビジネス化に向けた活動を実施した。

今後は商品としての品質向上とコスト削減、原材料の確保、安定的生産、販路の確保を迫り、実施体制の強化の基、商品としての確立によりブランディングを進め、ビジネスモデルの構築に努める。

### （3）商品開発モニター調査

当初の計画では、商品開発を進める中で、開発した商品を対象とした展示会・商談会を開催し、市場性の検証やビジネスマッチングを図ることを予定していたが、企画と試作に時間を要し、商品開発が年度後半にずれ込んでしまったことや、地方の元気再生事業が廃止され、単年度である程度の成果をあげる必要が出てきたことから、商品の完成度を高めるため、アンケート調査とインタビュー形式による商品モニター調査に切り替えることとして実施した。

【報告書 資料編 1 P55～】

#### 【調査目的】

アイヌの伝統文化を現在の生活環境にマッチさせた商品の市場適合性と商品の独自性、販路に関しての一般生活者の意見を聞き、開発商品の課題と改善点を探る。

### 【調査内容】

- 1．商品の市場適合性（味/見た目/ボリューム等）
- 2．商品の独自性（アイヌ文化を背景とした独自性/商品としての独自性）
- 3．商品の利用・活用（生活の中で利用・活用したいと思うか、出来るか/魅力的か）
- 4．商品の適正と思われる価格
- 5．商品の想定される販路
- 6．商品に対しての意見・要望

### 【調査実施方法】

日時：2月27日（土曜日） 11時30分～17時

実施方法：フォーカスグループインタビュー形式によるモニター調査

実施場所：札幌市産業振興センター 技能訓練棟3階 6号会議室

実施形式：株式会社オミセネットが募集するモニター12名に試食・試行してもらい調査。  
午前の部・午後の部と6名ずつの2グループに分け、開発商品を試食または試行してもらう。座談会形式で調査を行う。

### 【調査対象商品】

アイヌの伝統食材を使った創作弁当

アイヌの伝統食 オハウ

アイヌの伝統食材を使った アイスクリーム ハッ（ヤマブドウ）のソルベ

アイヌの伝統的な意匠を使ったアクセサリー・雑貨

### 【調査の流れ】

調査主旨の説明（主旨をまとめたA4シートを渡す）

創作弁当とオハウのセットを各モニターの前のテーブルに置く。

試食をしてもらいながら、当該商品の説明を行う。

試食をしながら項目ごとにアンケート用紙に記入、座談会形式で意見を収集。

食事終了後、アイスクリーム ハッ（ヤマブドウ）アイスクリームを出す。

試食をしてもらいながら、当該商品の説明を行う。

試食をしながら項目ごとにアンケート用紙に記入、座談会形式で意見を収集。

食事終了後、アクセサリー・雑貨をテーブルの上に置く。

アクセサリー・雑貨の説明を行う。各モニターには意見交換しながらアンケート用紙に記入。

アンケート終了



### 【調査結果】

結果については、後述の第3章 - 1 事業検証にて記載。

## 2 . - 2 アイヌ語地名マップの作成

アイヌ語地名マップの制作は、社団法人白老観光協会が主となって進められた。

このマップの作成は、アイヌ民族博物館などを訪れた旅行者が、マップを手に、そこに記された地を巡り、その地名の由来を五感で感じることで、その昔、アイヌの人々が名づけた風景を思い描き、旅の記憶・思い出として心に刻んでもらうことや、旅行者が町内全域を巡回することでまち全体に経済的効果をもたらすことを目的としている。



白老アイヌ語地名マップ制作検討委員会の様子

アイヌ語地名マップの内容については、地名や川の名の由来、地名にまつわる伝承などが記され、さらには、目印になるような施設や、ホテル、コンビニエンスストア、白老牛提供店なども記載されており、地名マップを片手に、町内全域を巡ることができるような工夫がなされているものとなった。

作成に当たっては、元アイヌ民族博物館館長や大学教授、町の学芸員などの有識者からなる「白老アイヌ語地名マップ制作検討委員会」を立ち上げたなかで、マップの形態や記載する地名、地名の由来、掲載する写真などについて検討が重ねられ、当初は町内の一部の地区のみの作成を予定していたが、町内全域を「虎杖浜」「竹浦・北吉原・萩野」「石山・白老・社台」の3地域に分け、見開きの地図付きで地名を解説するA4判カラー、6ページのマップとして3万部を作成した。

その内容から、まちを知るための学習教材としての活用方法や、まちに根付くアイヌ文化を通じて、白老町を知ってもらうための啓発ツールとしての活用も期待される。

今後は、完成した白老アイヌ語地名マップを活用するため、アイヌ文化体験ツアーの企画・開発と、ツアーガイドの育成を行うことで、当初目標としていたアイヌ文化を体験することができるメニューの開発と、町内全域を巡るツアーの企画開発につなげて行きたい。



本章では、「アリキキアンロ(みんな頑張ろう)シラオイ再生プロジェクト」における3つの取組の中から、取組「魅力発信事業」で実施した事業について報告する。

### 1. - 2 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習

#### (1) 移動博物館用演目の復元

各地のアイヌ民族有志と博物館職員による共同研究会を合宿形式で計3回行い、保存されている映像や音声などの資料を基に全道各地に伝わる演目を7演目復元し、復元の成果発表として、白老アイヌ文化フェスティバル(平成21年10月10日開催)のステージでの公演や、その後の移動博物館での古式舞踊公演において、復元された演目の披露を行った。演目の復元は、伝承者がなく失われつつある文化の伝承・保存の役割を担い、また、各地から集まった有志が、復元した演目を地元を持ち帰り伝えることで、さらなる広がりが出る。今回の取り組みでは特に、白老地方・平取地方・十勝地方・旭川地方に伝わる各地の tapkar(タップカラ:踏舞)を復元しており、同じ演目であっても地域性により違いがあることを表現し伝えている。

#### 【参加者】

財団法人アイヌ民族博物館職員 6名  
各地の若手アイヌ民族 15名

#### 【日程】

共同研究会

第1回 平成21年 7月25日～26日

第2回 平成21年 9月19日～21日

第3回 平成21年10月 4日～ 5日

成果発表 平成21年10月 9日～10日

演目の披露

白老アイヌ文化フェスティバル 平成21年10月10日

移動博物館

白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌 平成21年12月9日

アイヌみんぱくフェア in はこだて 平成22年1月11日

白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ 平成22年1月26日

#### 【共同研究会実施内容詳細】

趣旨説明と映像・音声視聴

映像と音声をなぞって、歌及び動作の復元

原資料が断片である場合、他の資料の参考にしつつ欠けている部分について考察し、不自然にならないように形を整える。

全体をつなぎ合わせて実演。ビデオで撮影した映像を、原資料と比較しながら検証



### 【復元演目】

hantori hancikap (ワタリガラスの踊り：平取地方)

使用資料：HBC記録映画『サルンクルの舞踊』（監修 知里 真志保）

踊り手：男女6名

歌い手：女性2名～

詳細：歌「hantori hancikap haho haho」

- ・ふた組に分かれて並び、鳥の所作を真似ながら踊る。
- ・中央の2人が、しゃがんだまま跳ねながら反時計回りに1周する。
- ・もとの位置に戻ったところで立ち上がり、羽ばたきの所作をする。2人目、3人目の踊り手もこれに合わせる。
- ・1人目、2人目が跳ねながら羽ばたきの所作をし、時計回りに1周する。
- ・踊り手が入れ替わり（1人目 最後列、2人目 最前列）、おなじ流れを繰り返す。
- ・全員で時計回りに1周して退場。



kurimse (弓の舞：釧路地方)

使用資料：釧路教育委員会記録映画

『アイヌの古式舞踊-釧路地方-』（1954、監修 河野 広道）

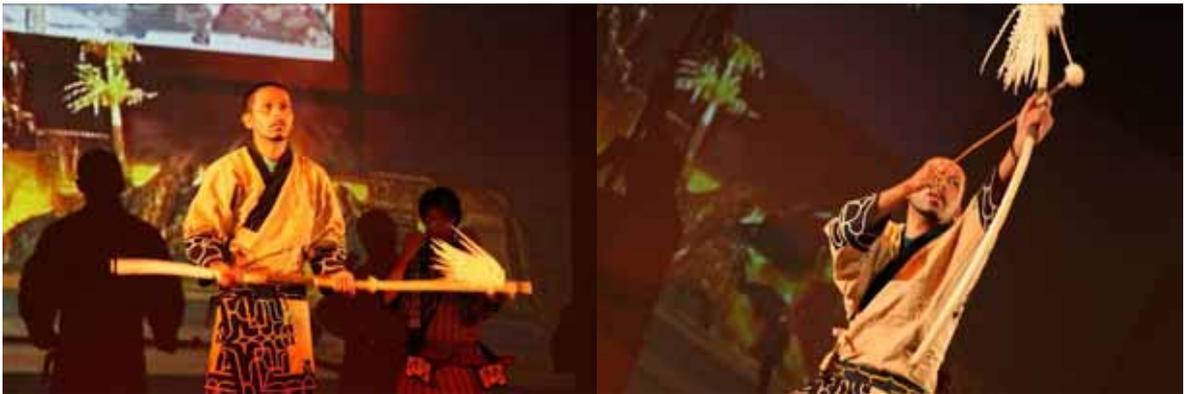
（財）アイヌ無形文化伝承保存会記録映画『釧路川-アイヌの祭事-』

踊り手：男女5名

歌い手：女性2名～

詳細：歌「iyakoko neytarok hun cikap iyakoko kani kor okay ya」

- ・男性1人が、正面を見て弓を横に構え、軽く横に振る。膝を曲げ、手は垂らした感じで。他の男性は、2mほど後ろで横列にならび、両手を広げて踊る。
- ・左を向いて onkami、すぐに右を向いて onkami 正面 onkami そのまま弓を横に持ってリズムを取る
- ・弓を立てて、弓の中心より下を、右手が上になるように両手で持つ。腰を落とし、応援団旗を振るように弓を左右に振る。
- ・そのまま左手を話して腰に当て、右手で弓を振る。回すというよりも、大きく振るに近い。
- ・左手を弓にもどし、すり足で左へ移動。出足の横に軽く添えるように後足を寄せる（かかとは上げたまま）。すぐに小さく反対の足運びをし、少し右へもどる。上体は、左へ行く時は勢いのままに右へなびき、右へ行く時は左へなびく。
- ・右端まですり足で移動し、90度左回りして、さらに左へ数歩移動。
- ・弓に矢をつがえ、左ななめ前へ、射るしぐさをしながら進んでいく。
- ・弓を立てて、弓の中心より下を、右手が上になるように両手で持つ。
- ・中央に戻って、左を向いて onkami、すぐに右を向いて onkami 正面 onkami



emuserimse ( 剣の舞 : 北見・釧路地方 )

使用資料 : N. G マンロー撮影の記録フィルム ( 釧路地方 1933、北見地方 1934 )

踊り手 : 男女 4 名

歌い手 : 男性 2 名、女性数名

詳細 : 歌 ( 男声 ) 「ooooaaaa」 「heyhuhuhum heyha」

( 女性 ) 「an hoo an hoo」

- ・男性 4 人がならび、onkami。
- ・太刀を抜き、onkami。
- ・太刀を捧げ持ち、肩に担ぐ、柄を手で打つなど思い思いの所作で踊る。
- ・2人ずつ向き合って、太刀を打ち合わせる。
- ・太刀をおさめ、onkami。



tapkar-1 (踏舞：白老地方)

使用資料：リュミエール兄弟社撮影記録映画『美しき日本』(1896)

HBC収録『アイヌ歌謡集』

踊り手：男女4名

歌い手：男性1名、女性2名～

詳細：歌「ekasi utar eruokaante kuni p tapkar ne a kusu, nispa に ku=itak kor ku=terke nankor na」

- ・男性4人が並ぶ。向かって右の男性が、口上を述べ、onkami。
- ・両手を広げ、掌を上に向けて軽く上下させながら、力強く足踏みする。
- ・向かって右の男性から時計回りに回りはじめ、1周して終わる。



tapkar-2 (踏舞：平取地方)

使用資料：N.Gマンロー撮影の記録フィルム『チセイノミ』(平取地方1934)

踊り手：男女4名

歌い手：男性1名、女性2名

- 詳細：
- ・男性4人が並ぶ。男性の1人が、口上を述べ、onkami。
  - ・両手を広げ、掌を上に向けて軽く上下させながら、力強く足踏みする。
  - ・左へ数歩、右へ数歩足ぶみして移動し、中央に戻って onkami。



tapkar-3 (踏舞：十勝地方)

使用資料：NHK音声資料『アイヌ伝統音楽』（1962、監修 更科 源蔵）

踊り手：男女1名

歌い手：男性1名、女性2名

- 詳細：・男性が中央に立ち、口上を述べ、onkami。  
 ・両手を広げ、掌を上に向けて軽く上下させながら、力強く足踏みする。  
 ・左へ数歩、右へ数歩足ぶみして移動し、中央に戻ってonkami。



tapkar-4 (踏舞：旭川地方)

使用資料：NHK音声資料『アイヌ歌謡集』（1947、監修 監修 知里 真志保）

踊り手：男女1名

歌い手：男性1名、女性2名

- 詳細：・男性が中央に立ち、口上を述べ、onkami。  
 ・両手を広げ、掌を上に向けて軽く上下させながら、力強く足踏みしながら歌う。  
 ・詞章「teeta anak a=kor a ekasi pirka resu a=kor a kotan iki rok korka nispa utar kor a irenka kusu pirka mosir tumi wente iki a korka sermak yupke p an=utari tapan tewanopo pirka urespa sasusir pakno an nankor na」  
 ・左へ数歩、右へ数歩足ぶみして移動し、中央に戻ってonkami。



## (2) 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習(出張公演)

本事業は、日頃アイヌ文化に接する機会の少ない地域住民の方々を対象にして、日本で最も充実したアイヌ文化の伝承・保存・研究活動を行っている白老の財団法人アイヌ民族博物館が、古式舞踊披露・各種体験プログラム紹介・伝承工芸品等の紹介等の移動博物館活動を行い、アイヌ文化の普及啓発を積極的に進めるとともに、アイヌ民族博物館への来場者の増加、さらには、広域連携による地域の観光振興に貢献することを目的とするものです。スタートは平成21年1月に「白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ」として、ニセコ地域に毎冬スキーに訪れているオーストラリアおよび東南アジア圏からの旅行者、さらにはニセコ地域の子供たちを対象として行っており、大変好評を博したことを契機として地方の元気再生事業においても、計4回開催しました。

平成21年9月26日 『札幌オータムフェスト2009』

【場 所】札幌市大通公園

【実施内容】1<sup>st</sup>ステージ 13:00~、2<sup>nd</sup>ステージ 15:00~

2009年9月18日(金)~10月4日(日)に開催され、期間中130万4千人の来場者があった「札幌オータムフェスト2009」の特設イベントステージにおいて、12月に札幌で開催される「アイヌ民族博物館フェア」の事前告知とアイヌ民族の歌や踊りの解説を含め、アイヌ民族博物館より11名が参加し、ステージでの伝統舞踊披露だけでなく、積極的に来場者と交流を図ることにより、アイヌ民族文化への親しみと交流を含めたフェアを実施した。



札幌の秋を代表するイベントということもあり、全体的な集客人数は申し分なかったが、来場者のほとんどは物産や飲食物目的のため、あまりステージをじっくりと見ている人がいなかった印象がある。

問題点として、ステージが物販スペースの脇にある印象で、客席も50席ほどということもあり、じっくり見るには中途半端なイメージがあった。

平成21年12月9日 『白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌』

【場 所】札幌プリンスホテル国際館パミール6F



【実施内容】17:00~18:00 アイヌ文化学習の教育プログラム紹介

会場に50名ほどが集まり、アイヌ民族博物館でのアイヌ文化教育プログラムについての紹介や学校教育における博物館の役割の説明、ムックリの演奏体験などを行い、参加者は悪戦苦闘しながらもムックリの演奏に取り組みました。また、会場内にはアイヌ文化や歴史を学習するうえで参考となる書籍も展示し、参加者からは熱心な質問もあり、アイヌ民族博物館職員が個別に説明を行いました。



18:30~20:30 アイヌ古式舞踊公演

北海道の中でも、アイヌ文化に触れる機会は一部の地域に限定されているのが現状です。フェア in 札幌は札幌地区に住む方々や、札幌を訪れる旅行者に対し、アイヌ文化に触れていただくことと、これまでのイメージを覆した演出により、2009年9月末にユネスコ無形文化保護条約「人類の無形文化遺産の代表的な一覧表」に記載された「アイヌ古式舞踊」を中心に、神への祈り（カムイノミ）を含め16演目を、スクリーンでの説明を交えながらご覧いただき、最後は参加者と一緒にイヨマンテリムセを踊り、会場は熱気に包まれました。（参加者総数：約200名）



平成22年1月11日 『アイヌみんぱくフェア in はこだて』

【場 所】函館市総合福祉センター「あいよる21」多目的ホール（4F）



【実施内容】 14：00～17：00 展示「子どものためのアイヌ文化展示」

「教育プログラムの紹介」

パネルによるアイヌ文化の紹介や、アイヌの子ども達が遊んだ回しこまなどの遊び道具や、口承文芸「ユーカラ」を題材とした絵本の展示、民族の歴史をまとめた副読本はどの紹介を行い、多くの子どもが実際に体験し、また、大人たちも熱心に質問するなど、大変興味深い様子でした。



14：00～15：00 ワークショップ「ムックリ製作演奏体験」

「アイヌ文様刺繍体験」

フェア in はこだては、他のフェアとは異なり、子ども向けのワークショップを中心に学校教育を意識して開催された。実際の参加は大人が多く見られたが、内容は大人でも十分に楽しめる内容となっており、アイヌ民族博物館で行っているワークショップを体験し、フェアを存分に堪能した様子であった。





15:15~15:30 解説「アイヌの祈り・歌・踊り」

公演に先駆け、博物館副館長による「アイヌの祈り・歌・踊り」の解説を行い、後の古式舞踊公演のための意識・知識の向上を図った。



15:30~16:30 古式舞踊公演「アイヌの祈り・歌・踊り」

ワークショップ「輪になって踊ろう！」



公演は、神への祈り「カムイノミ」に始まり、即興歌やムックリ演奏、最後のイヨマンテリムセによるワークショップ「輪になって踊ろう！」を含め14演目を披露し、最後は子ども達も一緒になって楽しみながら終わることができた。（参加者：延べ138名）



平成22年1月26日 『白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ』  
 【場 所】倶知安町 ニセコ高原ホテルスキーセンター「ピルカ」





19 : 00 ~ 21 : 00 アイヌ工芸品、グッズ等展示



19 : 30 ~ 21 : 00 アイヌ古式舞踊公演

2009年1月にも「白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ」を開催し、好評を博したことから、2010年2回目の実施となった。ニセコ地区には道外からの日本人旅行者を始め、毎冬リゾートでスキーに訪れるオーストラリア及び東南アジア圏からの旅行者が多いことから、通訳による解説を含めた実施とした。会場を使用して行ったフェアの中では、一般の利用者の参加が多かったことから、最も入場者数が多く、神への祈り「カムイノミ」に始まり、即興歌やトンコリ伴奏による歌・舞、ムックリ演奏、最後のイヨマンテリムセによる舞踊体験まで大変な盛り上がりを見せた。舞踊体験も多くの外国人が参加し、アンコールによる演目追加があり、また、ムックリの演奏では多くの観客が聞き入り、多くの拍手により賞賛をいただいた。

(参加者：約250名)





### (3) アイヌ文化特別体験学習受入

(2)の移動博物館・アイヌ文化特別体験学習は、日頃アイヌ文化に接する機会の少ない地域に出向き、古式舞踊披露・各種体験プログラム紹介・伝承工芸品等の紹介等の移動博物館活動を行ったが、本事業では、小学生を対象に、修学旅行とは違った形で体験学習・総合学習活動での学びの場を提供し、アイヌ文化の普及啓発を積極的に進めるとともに、アイヌ民族博物館の社会教育施設としての役割を啓発することと、事業のメニュー化を図り、多くの小学生を新たに受け入れることでアイヌ民族博物館への入場者増加を目的としたモニター調査として開催した。

- 【実施内容】：10：15～10：40 学芸員によるアイヌ文化のお話、古式舞踊見学  
 10：45～11：45 ワークショップ ムックリ製作・体験  
 11：50～12：20 ワークシートを活用した博物館見学  
 12：20～12：30 ワークシートの回答  
 12：35～13：10 伝統料理体験（昼食）

## 【実施日と対象】

平成21年10月30日	室蘭市立白鳥台小学校	39名	4年生1クラス
平成21年11月9日	洞爺湖町立とうや小学校	23名	3・4年生計3クラス
平成21年12月18日	室蘭市立水元小学校	55名	3年生3クラス
平成22年1月28日	室蘭市立天沢小学校	92名	3～6年生各1クラス

## 2. - 3 博物館展示の検証

### (1) 特別企画展の検証・実施

アイヌ民族博物館内の展示物は、開館以来、ほとんどが変更されていない状況にある、このことは、博物館へ2度・3度と訪れていただくことの弊害の一つにもなっている。このことから、博物館への訪問促進のため、そして、博物館内の展示を刷新し誘客へ繋げるための試験的な取組として特別企画展を検証し、来場者に対する新たな魅力の創造と、より多くの方へ感動を与えるため、そしてアイヌ文化の啓発を図るために実施するものである。

赤坂友昭写真展「The Myth」 - 神話の記憶 -

【開催期間】平成21年10月30日～11月8日

【開催場所】アイヌ民族博物館 1階 特別展示室

【展示資料】カナダ北西海岸先住民・ヌチャヌフ民具資料（館蔵）/ 写真・映像

【展示点数】民具資料34点 / 写真27点・映像1点

【入場者数】27,944人

【趣 旨】アイヌ民族博物館は、アイヌ民族の歴史や文化をはじめ、他の北方諸民族文化も視野に入れた研究や文化活動を行っている。サハリンや大陸のアムール川流域、シベリア、アラスカ、カナダ北西海岸地域などは、自然環境や資源利用の共通性からアイヌ文化との類似性が指摘され、当館では各地域の先住民族との交流も長年続けてきた。

1989年、白老で開催された「北方民族国際フェスティバル」には、カナダ・バンクーバー島の先住民族ヌチャヌフの代表7名が参加した。彼らの住む北西海岸地域は、本企画展「The Myth」 - 神話の記憶 - の舞台でもある。それぞれの先住民族の神話では、自分たちがどこから来て、どのように作られたのかという物語が語り継がれている。神話は民族にとっての大切なアイデンティティの一部であり、神話の世界を通してその民族をより深く知ることができる。また、他の民族との比較を通じてアイヌ民族に対する見識と、先住民族に対する意識の醸成を図る。

【内 容】アラスカ・カナダに暮らす先住民族の神話に由来する場所や風景を見つめ、そこから育まれた文化として、ヌチャヌフから寄贈された民具資料を展示した。現在の先住民族文化は、社会や環境の変化に対応しながら受け継がれていることを紹介。

ヌチャヌフ民具資料展示



写真展示 / 映像展示



「タマサイ～連なる形・連なる思い～」

【開催期間】平成22年1月31日～3月22日

【開催場所】アイヌ民族博物館 1階 特別展示室

【展示資料】玉飾り、耳飾り、小刀、隅赤、アイヌ風俗画、写真資料等

【展示点数】116点

【入場者数】15,588人

【内 容】児玉コレクションのタマサイ資料を中心に100点以上の玉飾りを展示、展示をとおしてタマサイの魅力やアイヌ民族の装飾文化を紹介するとともに、アイヌ球の流通から交易文化について紹介した。

「タマサイ」は、大小さまざまなガラス玉を連ねたアイヌ女性が盛装の際に用いる装飾品の一つで、母から娘へと代々伝えられる宝としても大切にされた。連ねられたガラス玉の一つ一つがいろいろな形状と表情を見せる。

「タマサイ」に用いられるガラス玉は、本州からはもとよりヨーロッパやロシア、中国など世界各地から移入されたもので、かつてアイヌ民族のグローバルな交易世界を物語る。大きさや色、柄といった個性豊かなガラス玉は首飾りや耳飾り、衣服や帽子などのほか、道具などに象嵌され用いられたほか、ガラス玉は霊力があるものと信じられ、呪いや護符などとしても用いられてきた。

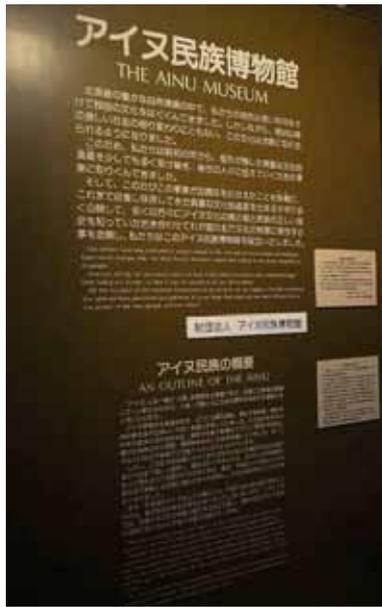
常設展示の中でも「タマサイ」を紹介しているが、本企画展では、博物館が収蔵する約150点の資料の中からできるだけ多くを紹介し、アイヌ民族のもつ独自の表現世界と、ガラス玉が持つ美しさ、繊細さ、秘められた力、想いについて紹介した。





『 プロローグ 解説文 』

博物館概要を削除し、アイヌ民族の概要を一部修正した上で多言語化



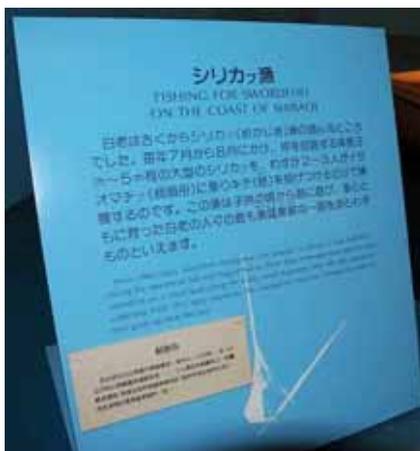
『 プロローグ 壁画 』

従来の絵及び文字説明が学術的な問題を含んでいたため、壁画自体を更新の上、キャプションを多言語化



『 獲物をとる 海漁ジオラマ 』

文字面の多言語化



『獲物をとる 解説版』他

各コーナーのメインの解説版。内容を一部変更の上、基本的に日英、韓繁簡の2枚に分けて作成した。



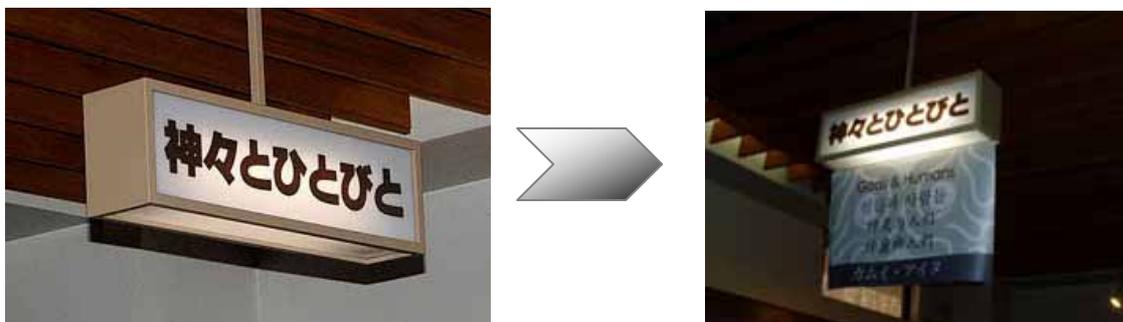
『神々とひとびと 熊の霊送り解説版』他

内容を一部変更の上、基本的に日英、韓繁簡の2枚に分けて作成した。仕様も統一した。



『神々とひとびと コーナー名電飾吊り看板』他

現行の電飾吊り看板を残し、その下にぶら下げるタペストリー式とした。



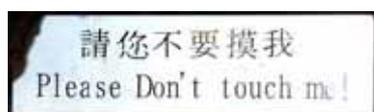
『旧館通路入口』

新館から旧館、旧館から野外へ人の流れをスムーズにするために新たに設置。



『その他』表示の変更

「手を触れないで」「立ち入り禁止」などピクトサインの方がわかりやすいものはピクトサインに置き換えた。



### (3) 展示解説ブックレット(多言語)の作成

アイヌ民族博物館は、アイヌ文化の伝承・保存、並びに調査・研究、教育普及事業を総合的に行う社会教育施設であり、学習の場である。これまでに数多くの地域から学習旅行を受け入れ、その役割を全うしてきたところである。

しかしながら、これまでは、適切な学習教材としての印刷物はなく、事前・事後の学習が十分に行われていなかった現状があり、このことから、「先住民族アイヌ」と題するリーフレットを作成、アイヌをめぐる歴史と今、そして博物館の取り組みを、いずれも「アイヌ民族の立場から」紹介している。また、日本語のほかに、英語、韓国語、中国語(繁体字・簡体字)の多言語で作成したことにより、学習資料としての活用はもとより、アイヌ民族の声を世界に伝える啓発資料として、そして、アイヌ民族を通じてアイヌ民族博物館を知ってもらうためのツールとして活用ができるものとなっている。

#### 先住民族アイヌ

##### 【日本語版 表面】



##### 【日本語版 裏面】



【英語】



【韓国語】



【中文（簡体字）】



【中文（繁体字）】

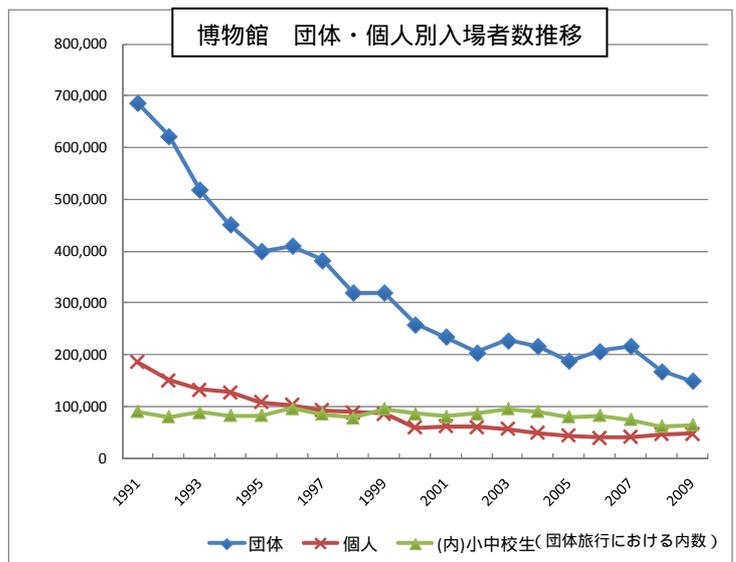


3. - 4 誘客キャンペーンの実施

(1) 誘客キャンペーン

アイヌ民族博物館では、1991 年度には 87.1 万人の来場者を数えたが、2009 年度には 20 万人を割り込むなど大幅な減少が見られ、博物館運営の死活問題にもなっている。その減少の理由としては、右グラフのとおり団体客の落ち込みが大きな原因であるといえる。

誘客活動については、団体旅行を誘致することが大きな成果を挙げる手法とも言える、このことから、北海道へ多くの団体客を送り込んでいる関西空港を中心とする関西圏において、旅行プラン・パックを扱う旅行代理店を集中的に訪問し、アイヌ民族博物館を中心とした白老の魅力をも PR する誘客活動を行うことにより、道内の他地域を旅行先としているプランやパック商品を、白老へ向けるべく誘客活動を行った。



【時 期】平成 21 年 9 月 27 日～10 月 2 日

【実施人数】アイヌ民族博物館職員 1 名

## (2) 誘客キャンペーン用パンフレット・DVDの制作

本事業での誘客活動に供するため、白老町の観光情報や体験メニュー、温泉や宿泊施設、特産品などの食の情報が満載の観光パンフレットを1万部増刷、白老町への誘客に繋げるべく、観光エージェントへの配付やイベント等での配付を行った。

また、アイヌ民族博物館へ来たことのない方も、

どのようなものが見れ、体験することができるかが分かるよう、PR用DVD(1,000枚)と多言語(日本語・英語・韓国語・中国語)による紹介パンフレットを増刷し、誘客キャンペーンや各種イベント、関係各所にて配布を行った。



## 4. - 5 映像のデジタル化と国際発信

### (1) 映像制作と国際発信

日本の先住民族「アイヌ民族」に対する意識は、19世紀にアイヌ民族がコーカソイド(白人)の最も古い先祖であるという説が唱えられたことに起因して、欧米やロシアなど国外の方が高いと言われる。実際に、欧州の民族学系の博物館には、貴重なアイヌに関する資料が数多く収蔵されている。

このような欧州を含めた国外の人々に対し、北海道にある白老町の貴重な財産でもあるアイヌの伝統文化を普及啓発し、正しい知識と理解度・関心度を高めるため、アイヌ文化の伝承者や普及啓発活動を推進している担当者、事業参加者のインタビューを交えながら、白老地域での伝統儀式を通じた精神文化や、ユネスコ無形文化遺産一覧表に記載された古式舞踊、現在のアイヌの人々の暮らしを、世界に向けて発信すべくデジタルテレビ番組を英語版で制作し、株式会社日本国際放送(JIB)の持つネットワーク網を活用した当該番組の世界への発信を行った。



放送番組タイトル

【番組タイトル】Living the Ainu Tradition (45分)

【放送日時】平成21年11月15日 9:10~、13:10~、17:10~、21:10~  
11月16日 1:10~、5:10~ 計6回

【視聴可能世帯】欧州・中東・アジアを中心に、約80ヶ国、約1億1千万世帯【図1-3】

【放送枠】NHKのテレビ国際放送「NHKWORLD TV」  
のJIBTV独自放送枠「Japan TV Showcase」

【モニター感想】 資料編 3 P171~】



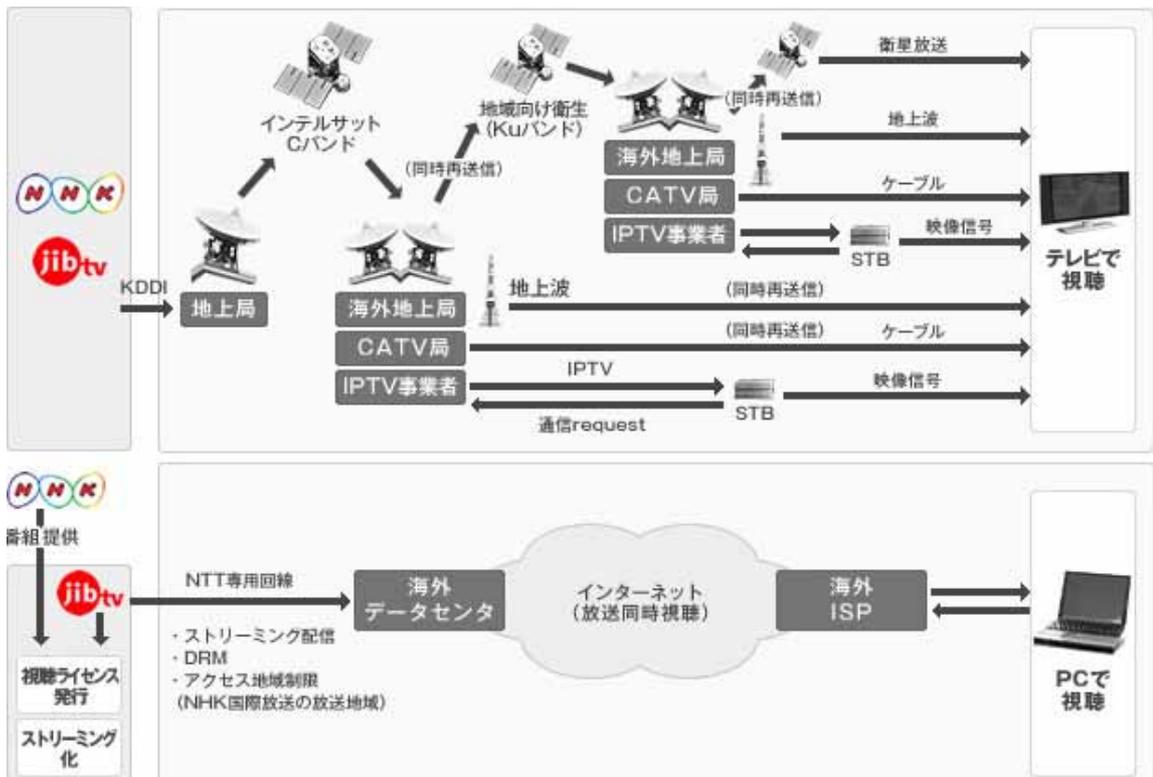
<補足>

株式会社日本国際放送（JIB）は、2008年4月にNHKグループの1社として設立され、「NHK WORLD / jibtv」（NHK 国際英語チャンネル）の普及促進や番組制作を行うとともに、日本の様々な番組をJIB独自番組として放送しています。

【図 1-1】NHK WORLD / jibtv の放送概要とNHK ワールドプレミアムとの違い

	日本語 (主に海外在住の日本人対象)	英語 (主に海外在住の外国人対象)
ラジオ	<b>NHKワールドラジオ日本</b> 日本語英語をはじめとする18の言語で全世界に向けて短波で放送しています。 放送時間は地域・言語によって異なります。	
テレビ	<b>NHKワールドプレミアム</b> (有料チャンネル) ・1日24時間、ほぼ全世界に向けて配信しています。 ・NHKのニュース・情報番組に加え、娯楽番組、子ども向け番組、スポーツ、文化・芸能など、さまざまな番組を各国のケーブルテレビ局、衛星放送局などに配信しています。  <small>※欧州においてはテレビジャパン、米国ではJNGとして放送しています。番組構成は多少異なります。</small>	<b>NHKワールドTV/jibtv</b> (無料チャンネル) ・英語で放送する外国人向けのチャンネル ・ニュースを毎正時から30分 ・毎時30分からは情報番組等を放送しています。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>JIB独自番組</b>                          番組ご提供やCM放送が可能                     </div> <div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 5px;"> <b>jibtv (JIB独自番組)</b> </div>
インターネット	<b>NHKインターネットサービス</b> ラジオ日本と同じく、日本語・英語をはじめとする18の言語でニュースと番組をお届けします。	<div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 5px;"> <b>jibtvインターネットサービス</b> </div> ・PC向けリアルタイム再送信でTV視聴不可エリアをカバーします。

【図 1-2】放送手順と視聴方法



【図 1-3】視聴可能地域と視聴方法

地域	国、州など					放送形態	現地放送事業者	視聴方法			
ヨーロッパ	オーストリア	ベルギー	デンマーク	フィンランド	フランス	衛星(Astra 1L) 衛星(Hotbird6)	Globe Cast London Eutelsat	周波数 12545.75MHz			
	ドイツ	ギリシア	アイルランド	イタリア	ルクセンブルグ						
	オランダ	ノルウェ	ポルトガル	スペイン	スウェーデン						
	スイス	イギリス	ペラルーシ	ボスニア	ブルガリア						
	クロアチア	チェコ	エストニア	ハンガリー	ラトビア						
	リトアニア	ポーランド	ルーマニア	ロシア	セルビア						
	スロバキア	スロベニア	ウクライナ	アルジェリア	イスラエル						
	エジプト	サウジアラビア	シリア	チュニジア	トルコ						
	モロッコ	ヨルダン	レバノン	ほか	-						
	イギリス	アイルランド	-	-	-				衛星(Eurobird)	BSkyB	News Category 5 Channel 16
北アフリカ 中東地域	西サハラ	モロッコ	アルジェリア	チュニジア	リビア	衛星 (Bird-4)	Arabsat	周波数 12072MHz			
	エジプト	イスラエル	スーダン	サウジアラビア	イエメン						
	オーマン	ヨルダン	シリア	イラク	カタール						
	クエート	アラブ首長国連邦	レバノン	キプロス	トルコ						
	ほか	-	-	-	-						
	トルコ	-	-	-	-				ケーブルTV	Turksat	Teledüriya Package Channel 58
	UAE	-	-	-	-				ケーブルTV	E-Vision	e-Vision Basic & TFC Package Channel 249
CIS	カザフスタン	-	-	-	-	ケーブルTV	ICON				
アジア	インド	-	-	-	-	衛星(INSAT-4B)	DD Direct+	周波数11490V			
	香港	-	-	-	-	IPTV	PCCW	Now TV-Foreign Language Channel 710			
						ケーブルTV	HongKongCable	International Pack Channel 154			
						ケーブルTV	HoChiMinhCityTV	NHK World TVで チューニング			
	ベトナム	-	-	-	-	地上波デジタル	VTC Digital				
						ケーブルTV	VTV (VCTV)				
	インドネシア	-	-	-	-	衛星(Palapa-C2)	PT INDOSAT Tbk.	周波数4080H			
	タイ	-	-	-	-	ケーブルTV	P.T.V. Television Siracha	Channel 14			
						ケーブルTV	WE TV	Channel 41			
						ケーブルTV	HTV(Happy Home Cable)	Channel 40			
ケーブルTV						KTV	Channel 58				
ケーブルTV						Phuket Cable	Channel 28				
IPTV						True Vision	Channel 16				
オセアニア	オーストラリア	ニュージーランド	-	-	-	衛星(OptusD2)	Globe Cast Australia	周波数 12545.75MHz			
	フィジー	サモア	ソロモン	ツバル	バヌアツ	衛星 (IS701)	Fiji TV (Sky Pacific)	Sky Pacific Channel 16			
	クック	トンガ	ナウル	ニウエ	トケラウ						
	キリバス	-	-	-	-						
北米			-	-	-	地上波デジタル	Mhz	Mhz2 30.2			
			-	-	-	ケーブルTV (Comcast)	Minneapolis Public School	Comcast Cable Basic Package			

合計：1億949万世帯

※インテルサットCバンド受信可能世帯3900万を除く

(2009年3月31日現在情報)

## (2) ホームページの作成

上記【図 1-1】にあるように、jibtv での番組放映と同時に jibtv インターネットサービスにおいて、PC 向けにリアルタイムでストリーミング配信が行われる。また、そのストリーミング配信を行うページには放送連動型バナー広告スペースを有していることから、番組配信にシンクロしたバナー広告を配置し、番組を見たことで生まれるアイヌ文化に対する関心やさらなる知識欲を満たし、また、海外旅行における訪問先としての選定効果を高めるため、バナー広告のリンク先となるホームページ（外国語版）の作成を行った。【図 1-4】

【図 1-4】ホームページ構成図



ホームページアクセス状況

	日別アクセス数																															
	月合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
平成21年11月	270	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39	77	15	11	33	11	5	2	11	6	20	14	4	6	8	8	-
平成21年12月	218	7	17	3	11	7	5	5	5	8	9	8	3	5	11	2	9	7	6	4	3	6	7	13	5	7	11	2	7	10	7	8
平成22年1月	234	4	3	5	8	5	12	14	12	4	7	7	9	8	12	10	5	3	10	8	8	11	6	7	3	9	7	7	12	11	3	4
平成22年2月	230	12	6	8	12	10	13	2	7	9	8	8	12	7	5	6	11	12	9	8	5	5	7	7	12	9	8	6	6	-	-	-
平成22年3月	215	11	10	9	8	3	6	5	6	4	4	10	5	5	5	4	7	7	9	7	9	8	5	6	13	7	6	9	5	12	4	6
アクセス集計	1,167																															

### (3) 番組DVDの作成

番組の放映は海外向け（英語版）であり、また、番組はWebサイトを介しPC向けに同時再送信が行われることとなるが、Webサイトも日本からはアクセスできない仕組みとなっている。

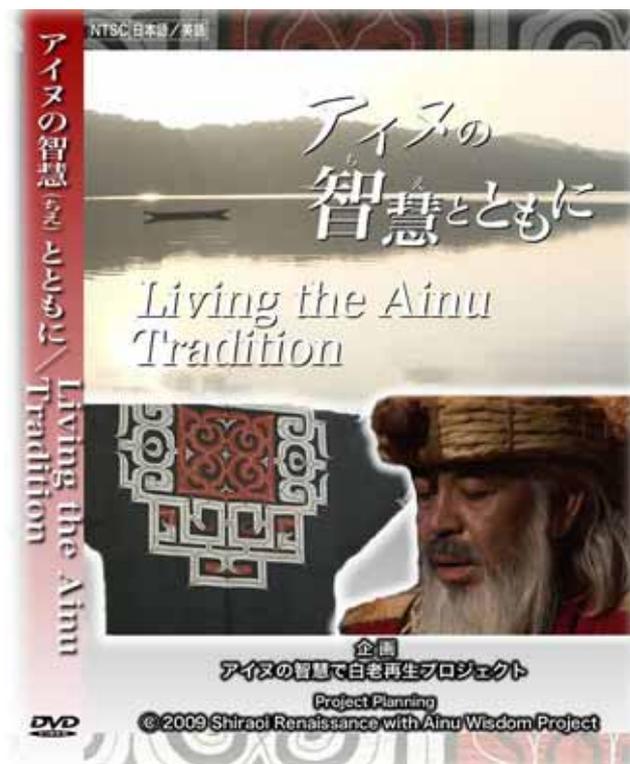
このことから、放映された番組の確認と記録・保存のため、また、当町の取組を映像という形で分かりやすく説明するための配布用資料として、そして、アイヌ文化を学ぶための学習教材として、作成した番組をDVDとして製作した。

完成した番組は、日本語字幕と日本語のナレーションによる日本語版を作成した後、放映のために英語字幕と英語のナレーションへの変更を行っているため、その日本語版と、放映した英語版を1枚のDVDで選択して再生できるよう作成した。

また、DVDをデッキで再生するためには、原則、再生を行う国に割り当てられた「リージョンコード」と「放送方式」を一致させる必要があることから、世界のほぼ全ての国で再生が可能となるよう次のように設定し作成した。

- (1)リージョンコード 0 (ALL)、放送方式 NTSC、言語 日本語・英語 350 枚
- (2)リージョンコード 0 (ALL)、放送方式 PAL、言語 英語 150 枚

### DVDパッケージ



本章では、「アリキキアンロ(みんな頑張ろう)シラオイ再生プロジェクト」における3つの取組の中から、最後の取組「事業検証事業」で実施・検証した内容について報告する。

#### 1. - 1 事業検証

##### (1) 商品モニター調査

取組の「アイヌの智慧による商品開発事業」に関連し、商品モニター調査を実施したなかで、開発した商品の市場性の検証を行うため、グループインタビューやアンケート調査の内容を分析した。(報告書 資料編 1 P55~)

##### 【アンケート調査対象】

伝統食弁当について  
オハウについて  
ハッソルベについて  
アクセサリー、雑貨品について

##### 【グループインタビュー】

伝統食弁当 味について、食材の色合い・見た目のバランス、ボリューム、設定価格  
販売先イメージ、包装のデザイン・容器形状、購入先の意向、改善点  
オハウ 味について、食材の色合い・見た目、ボリューム、設定価格、購買意欲  
合うメニュー、購入先の意向、購入の目的、レトルト商品として  
購入の意向、改善点  
ハッソルベ 味について、食材の色合い・見た目、ボリューム、設定価格、食べる状  
況、購入先の意向、購入の目的、パッケージデザイン、購入の意向、  
改善点  
アクセサリー、雑貨品 意見と要望

##### 【調査結果総括】

##### 調査で知り得た要点

1. 各商品の市場性は、ある程度許容範囲で成立している  
今回の開発商品に関しては、食材、雑貨アクセサリーを含め、概ね好感を持って評価された。  
雑貨の一部商品については、利用方法の説明や提案が必要な物があった。
  - ・キナのタペストリー～商品の利用提案が必要
  - ・アイヌ文様の刺繍入り巾着～形状等の変更により利用しやすい雑貨に改善
2. アイヌ文化の理解と浸透が商品の付加価値や価格にも反映される  
一部商品の味付けに関して「普段食べられない味」「薄い味」等の評価があった、アクセサリーに関しても、「日常的」「利用イメージがわからない」等の意見があったが、アイヌ文化の説明をし、商品の価値を理解することによって購入意欲が生まれたり、商品に対しての興味が沸くというケースが多くあった。これは商品と商品情報をセットで発信することが、重要であることを示している。

3. 当初販売はアイヌ文化の発信地である白老町・アイヌ民族博物館から始めることが必要

「白老に観光で来た際に食べたい」「アイヌ民族博物館にあれば食べて(買って)見たい」という意見があったことを考慮して、情報発信地であるアイヌ民族博物館での当初販売を行うことが望ましい。

アイヌ文化の一部である当該商品の価値を説明し、興味を持ってもらい、購入してもらう流れをつくる状況設定が必要である。

調査テーマに沿った総括

<調査テーマ>

1. アイヌ文化の理解と浸透度～開発商品の背景にあたるアイヌ文化と民族の生活に関する理解と興味を確認する。

アイヌ文様のデザインの美しさ、自然と共存する生活スタイル、現在にマッチした文化である等、とても好感度が高い認識があり、興味を持って意識していることがわかった。

しかしながら、情報を取得する場所が限られており、あまり具体的な知識を持っていない。たとえば、「開発商品に熊の置物はないのか?」「普段の生活でアイヌ様式の暮らしをしているのか?」等の質問があり、アイヌ文化に対して深く興味を持っているが、実際の知識が乏しいことがわかった。

2. 開発商品の市場性の検証～開発商品の市場での適応性と市場価値を調べる。

今回の開発商品に関して、商品の評価が3つに分類できる。

1. 商品自体の価値が高く、購入してみたいと思うもの

<サケ皮ブックマーク> <ストラップ(ルウンペ)>等

2. アイヌ文化の背景の付加価値を情報発信することで商品価値が高まるもの

<創作弁当> <アイヌ伝統食 オハウ> <ストラップ(タマサイ)>等

3. アイヌ文化の説明と共に利用シーンや生活の中での商品価値を説明する必要があるもの

<ハッソルベ> <キナ(ゴザ)タペストリー> <アイヌ文様刺繍入り巾着袋>

アイヌ文様刺繍入り巾着袋に関しては、デザイン性の高さから形状や用途の変更で商品価値が高まり購買意欲が増す。

(2) アンケート調査

取組 「魅力発信事業」に関連し実施した各事業について、アンケート調査を行い、事業の感想や、事業を体験してアイヌ文化に対する理解度や関心度がどのように変化したか、アイヌ民族博物館へ行きたいと思わせる内容であったか等を検証し、今後の事業展開や文化普及啓発を進めるための資料とした。(アンケート結果 資料編 2 P83～)

【アンケート調査実施事業】

移動博物館、アイヌ文化特別体験学習(参加者に対して)

平成21年12月9日 「白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌」

平成22年1月11日 「アイヌみんぱくフェア in はこだて」

一般用・ワークショップ用

平成22年1月26日 「白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ」 日本語・英語

- アンケート調査結果の分析 -

周知方法について

問：本日のフェアは何で知りましたか？(複数回答)

のフェアについては、リーフレットや新聞報道で開催を知った割合が高くリーフレットの設置場所が適切であったと考える、また、については開催にあたり北海道庁で記者会見を開き、については地方紙へニュースリリースを行ったことが結果に結びついている。

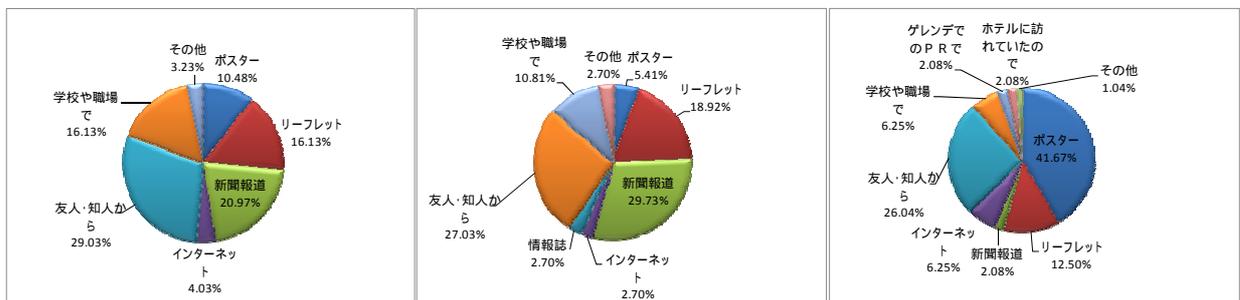
一方、については、リゾート地区での開催であったため、ポスターやリーフレットをホテル等の宿泊施設に設置したことが参加に繋がった。

また、友人・知人からの紹介がともに30%弱と大きな割合を占め、口コミ、誘い合わせでの参加が多く見られた。

【 フェア in 札幌】

【 フェア in はこだて】

【 フェア in ニセコ】



アイヌ民族博物館の認知について

問：アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていましたか？

知っていたとした人の割合は、> > の順になっており、別の問いで得た博物館へ行ったことがあるとした人の割合と一致している。博物館へ入場者を誘導するためには、まず認知度を高めることが先決である。

フェアの古式舞踊と祈りに参加した理由として、「アイヌ文化に興味があった」、「古式舞踊を見てみたかった」とした回答が約70%となったことから、博物館のPR方法によっては入場者数の増加も期待される。

【 フェア in 札幌】

【 フェア in はこだて】

【 フェア in ニセコ】



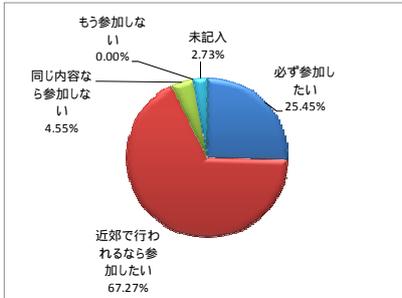
## フェアの評価について

問：今後、フェアが開催された際に、また参加したいと思われましたか？

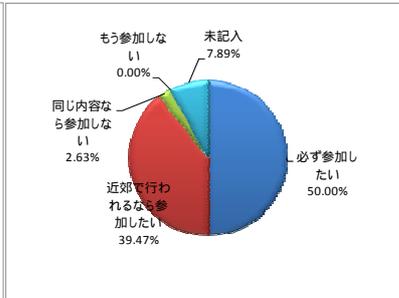
で「必ず参加したい」と回答した割合が50%と突出しているが、これはワークショップを同時開催したことで、その満足度から高い割合になっていると考えられる。

また、～の全てにおいて、「必ず参加したい」「近郊で行われるなら参加したい」とした割合の合計が約90%となり、フェアに参加した者はその内容に満足していることが分かる。

【 フェア in 札幌】



【 フェア in はこだて】



【 フェア in ニセコ】

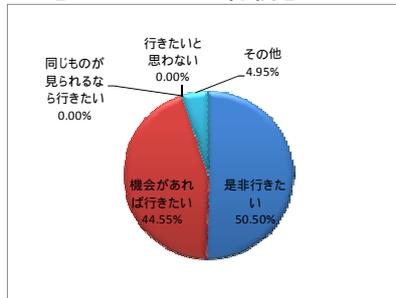


## アイヌ民族博物館へ行きたいと思ったか

問：フェアに参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思われましたか？

「是非行きたい」「機会があれば行きたい」とする回答が～の全てにおいて約95%となり、フェアを開催し参加していただくことで、アイヌ文化、そしてアイヌ民族博物館の魅力に触れることになり、アイヌ民族博物館へ目を向けるきっかけになることが分かる。今後においては、そのきっかけから、実際の入場に繋がる仕掛けを同時に行うことも必要である。

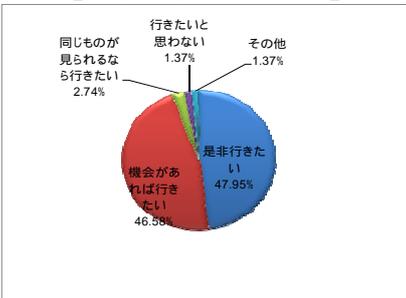
【 フェア in 札幌】



【 フェア in はこだて】



【 フェア in ニセコ】



## アイヌ文化特別体験学習受入（引率教諭に対して）

- 平成21年10月30日 室蘭市立白鳥台小学校  
39名 4年生1クラス
- 平成21年11月9日 洞爺湖町立とうや小学校  
23名 3・4年生計3クラス
- 平成21年12月18日 室蘭市立水元小学校  
55名 3年生3クラス
- 平成22年1月28日 室蘭市立天沢小学校  
92名 3～6年生各1クラス

## - アンケート調査結果の分析 -

### 体験学習実施教科

複数クラスが参加した学校については、その学年により異なり、はっきりと教科の区分はされなかったが、回答があった中では、社会科の時間と総合的な学習の時間

での参加となった。

#### 参加したきっかけ

きっかけについては、過去または現在においてアイヌ文化・歴史を授業で扱っていると回答と、総合的な学習の時間の題材として適しているとの回答が見られたが、経費が削減される中で、無料で行われたことであるとした学校もあった。

#### アイヌ民族博物館の印象

印象としては、「期待していたとおり良かった」または「期待以上であった」との回答を得た。特に、伝統食やワークシートを活用した見学、ムックリ製作など体験学習全体に亘り好評を得た。

#### その他

- ・DVDなど事前に学習できるものがあると良い。
- ・今回は午前中のみであったが、一日の日程でプログラムを組んでも良い。
- ・ポロトコタンへの見学が少なくなったのは、経費負担より児童減によるバス代の（一人当たりの）負担額が大きいのです。是非バス代の無料事業を続けて欲しいと思います。

## 2 . - 2 事務局

事務局については、白老町職員が中心となり、事務局長、事務局次長、会計事務責任者、事務局員により構成し、全体調整や進行管理、各種事務処理にあたった。

全体会議については、スタート時の1回みの開催となったが、事業を進める中では、チーム内の関係者が集まり会議を開催するなど、スムーズな事業実施に努めた。

本章では、「アリのキキアンロ（みんな頑張ろう）シラオイ再生プロジェクト」における取組みの結果、当初設定した目標に対しての達成度について報告する。

（P6 序章 7. 取組の目標 参照）

1.【目標 1】 アイヌ文化を活かしたビジネスモデルの構築を図る

【目標指標】 5種類以上の商品化を目指す

【達成度】 商品開発については、完全な商品化までは行き着かなかったが、商品化を目指した試作は、本報告書P12【表1-1】試作品リストにあるように9品目行った。

今後は、商品としての品質向上とコスト削減、原材料の確保、安定的生産、販路の確保を迫及し、実施体制強化の基、商品化を進め、ビジネスモデルの構築に努める。

2.【目標 2】 財団法人アイヌ民族博物館の入場者数の増加を図る

【目標指標】 入場者数 21.3 万人（H21 4～1 月）を目指す

入場者 1 人当り客単価の増を目指す。

【達成度】 H21 4～1 月の入場者数は 17.8 万人となり、さらには H21 4～3 月の 1 年間の入場者数も 19.5 万人と目標は達成できなかった。

このことは、世界同時不況や新型インフルエンザの影響で、外国人や国内の修学旅行客が落ち込んだことに起因し、社会的要因を受けた結果となった。しかしながら、H21.12 月以降は入場者数も回復に転じ、特に H22.2、3 月の外国人入場者数は、中国、タイを中心に前年比 200%を超える実績となり、回復の兆しも見えてきている。

一方、入場者 1 人当り客単価については、前年比（4 月～1 月）プラス 68 円と増加した、このことは、博物館内の飲食部門が強化されたことによると考えられ、今後、商品開発を進め、完成した商品が博物館内で販売されることで、さらに増加するものと期待される。

3.【目標 3】 観光振興を核とした地域振興により雇用創出と所得増を図る

【目標指標】 アイヌ文化を体感できるメニューを 2 種類以上開発する

町内全域を巡るツアーを企画・開発する

【達成度】 当初計画では、ツアーガイドを育成し、アイヌ語地名マップを活用した町内を巡るツアーを企画・開発することを予定していたが、アイヌ語地名マップが当初予定に比べボリュームが増えたことで作成に時間がかかってしまい、ガイド育成とツアー開発は見送り、次年度以降に実施することとなった。また、アイヌ文化を体験できるメニューとしては、移動博物館事業・博物館での特別体験学習事業が好評であったことから、今後のメニュー化に向けた検討を続けていく。

4.【目標 4】 国内外の人々にアイヌ文化の理解度・関心度を高める

【目標指標】 事業を体験した85%以上の方々にアイヌ文化に対する理解度・関心度が高まったとの評価を得ることを目指す(アンケート結果)

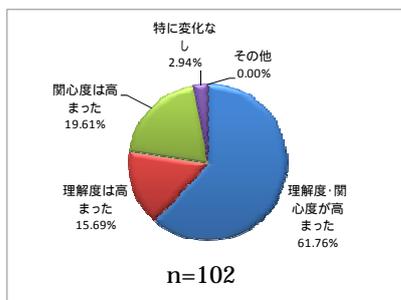
【達成度】 移動博物館・アイヌ文化特別体験学習において実施した「白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌」、「アイヌみんぱくフェア in はこだて」、「白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ」においてアンケート調査を実施し、体験した後の理解度・関心度の変化についての設問を設け集計を行った。結果、有効回答を得た216名の内、208名から理解度・関心度の両方、又はどちらかが高まったとする回答を得ることができ、事業を体験した者の内、約96%に理解度・関心度の変化が見られた結果となった。

アンケート集計結果

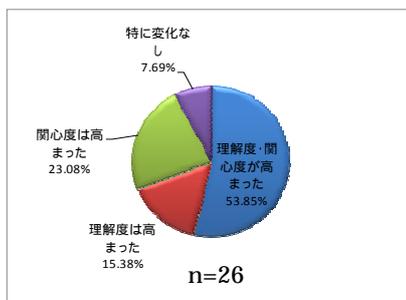
理解度・関心度の変化

問：参加されて、アイヌ文化に対する理解度関心度はどう変わりましたか？

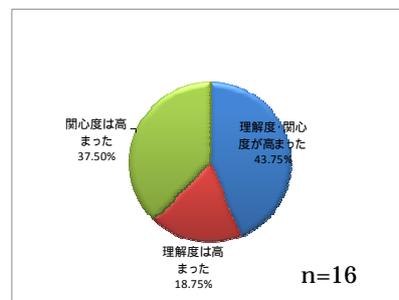
【 フェア in 札幌】



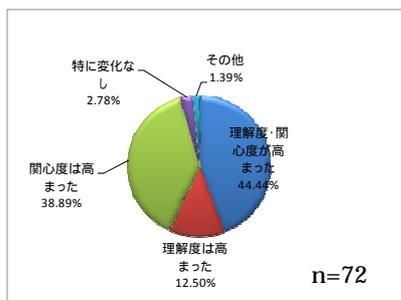
【 -1 フェア in はこだて(一般)】



【 -2 フェア in はこだて(ワケ)】



【 フェア in ニセコ】



平成21年度地方の元気再生事業の採択を受け取り組んだ「アリキキアンロ（みんな頑張ろう）シラオイ再生プロジェクト ～アイヌの智慧を活かしたビジネス創造～」を振り返って。

地方の元気再生事業は、地域再生に向けた地域主体の様々な取組を、立ち上がり段階から包括的に支援するという大変画期的で、また、実施しようとする取組も特定分野に絞られず、地域の実情に沿った幅広い取り組みや、地域では財源確保の問題等からなかなか実施することが困難な、試験的なチャレンジをも支援する有意義な制度であり、本事業が平成21年度で終了したことは、大変残念な結果である。

当町においては、平成21年度をプロジェクトのスタート年として実施し、2年目の平成22年度も支援をいただきながら、自主自立によるプロジェクトの実施に向けた体制構築を視野に入れていただけに、その影響は大きく、平成21年度の実施内容について変更を余儀なくされたところであった。

しかしながら、平成21年度に実施した取組を後年度に活かすためにも、この歩みを止めることなく勇往邁進する所存である。

本プロジェクトの核（コア）となるアイヌ民族、アイヌ文化については、2007年「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が国際連合総会において採択され、その後、2008年に「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が衆参両院において全会一致で採択されたことなどを受け、近年、その注目度・関心度は高まっている。

しかしながら、アイヌに対する正確な知識や理解は、注目度・関心度に比べ思うほど浸透していないのが現状であり、本事業で実施した取組を継続・発展させ普及啓発を行うことは、正確な知識や理解を得ることに繋がるものと確信している。

また、プロジェクトのサブタイトルに「アイヌの智慧を活かしたビジネス創造」とあるように、アイヌ文化によるビジネスモデルを確立することができれば、それは大変画期的なことであり、モデルケースとして北海道の他の地域にも波及させることで、北海道全体の活性化にも繋がる。

本プロジェクトは、行政が主体となるのではなく、事業に取り組む各団体の主体性を活かすことができるような体制の中で、各団体の連携のもと実施することが出来た、皆さまの尽力に対し心より敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

イヤイライケレ

アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト事務局

# 資 料 編

<目次>

1. 商品開発モニター調査報告書	55 ~ 82
2. アンケート調査結果	83 ~ 170
(1) 白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌	83 ~ 100
(2) アイヌみんぱくフェア in はこだて	101 ~ 134
(3) 白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ	135 ~ 166
(4) アイヌ文化特別学習受入	137 ~ 170
3. 番組モニター感想(一部)	171 ~ 172

# アイヌの智慧による商品開発モニター調査報告書

## グループインタビュー調査報告書



調査・報告 株式会社オミセネット  
平成22年3月19日

# アイヌの智慧による商品開発モニター調査報告書

---

## グループインタビュー調査報告書 目次

1・調査目的	1
2・対象商品	2
3・調査実施	3
4・調査モニター選定	4
5・調査状況	5
6・創作弁当	7
7・伝統食オハウ	11
8・デザート ハッ(ヤマブドウ)ソルベ	15
9・雑貨・アクセサリー	19
ストラップ(タマサイ)	20
ストラップ(ルウンペ)	21
サケ皮ブックマーク	22
キナ(ゴザ)タペストリー	23
アイヌ文様刺繍入り巾着袋	24
10・調査の総括	25
11・<資料～添付資料>	<別紙添付>
・<資料～調査票>	<別紙添付>

### ■実施調査背景

一般社団法人 白老モシリを中心としたアイヌ民族の組織が中心となり、「アイヌの智慧による商品開発事業」を行っている。今回、開発している諸商品の市場性の検証を調査した。

#### <事業の目的>

**アリキキアンロ(みんな頑張ろう)シラオイ再生プロジェクト～アイヌの智慧を活かしたビジネス創造諸事業**

新たな雇用の創出や所得の増を図って、まちのの活力を生み出すため、アイヌの智慧を活かしたビジネスモデルの確立を目指し、検証・商品の試作を行う。平成21年度のステップとして、ビジネスモデル確立の基礎となる商品開発を、市場性の検証を含めて具体化する。

#### <調査テーマ>

- ・アイヌ文化の理解と浸透度～開発商品の背景に当るアイヌ文化と民族の生活に関する理解と興味を確認する。
- ・開発商品の市場性の検証～開発商品の市場での適応性と市場価値を調べる。

### ■調査目的

開発商品の市場適合性と商品の独自性、販路に関して、一般生活者の意見を聞き、開発商品の課題と改善点を探る。

### ■調査内容

- 1・商品の市場適合性(味/見た目/ボリューム等)
- 2・商品の独自性  
(アイヌ文化を背景とした独自性/商品独自の独自性)
- 3・商品の利用・活用  
(生活の中で利用したいと思うか/魅力的か)
- 4・商品の価格
- 5・商品の販路
- 6・商品に対する意見・要望

### ■対象商品

- 1・アイヌの伝統食材を使った創作弁当
  - 2・アイヌの伝統食「オハウ」
  - 3・アイヌの伝承食材を使った冷菓
  - 4・アイヌ文様やアクセサリー
- ※後ページ参照

#### <対象商品>



■調査対象商品

1・アイヌの伝統食材を使った創作弁当



アイヌの伝承有用食材で作ったお弁当

2・アイヌの伝統食 オハウ



アイヌの伝統食である「オハウ」をレトルトパックとして製品化した。

3・ハツ(ヤマブドウ)ソルベ



アイヌの伝承有用植物であるハツ(ヤマブドウ)のアイスクリーム

4・ストラップ(タマサイ)



儀式に際に女性が首から下げたタマサイをモチーフに作った携帯ストラップ

5・ストラップ(ルウンペ)



ルウンペ(木綿衣)のデザインを模した携帯ストラップ

6・サケの皮のブックマーク



サケの皮を加工して靴等を作っていた技術を活用してブックマークを制作

7・キナ(ゴザ)タペストリー



伝統工芸品であるキナ(ゴマ)のタペストリー

8・アイヌ文様刺繍入り巾着袋



北海道遺産にも指定されているアイヌ文様を刺繍した巾着袋

これらの開発商品を対象として調査を行った。

上記商品は一般社団法人 白老モシリを中心としたアイヌ民族の組織と、道内のメーカーとの連携により製品化。

**■実施に当たって**

当事業の目的の一つである開発商品の市場性の検証を行うにあたり、定量的な調査ではなく、定性的な情報を収集し、今後商品化を進めていくにあたっての課題と改善点を知ることを調査の主題とした。

これは、当事業の商品が「アイヌ文化の理解と浸透」と「開発商品の市場適合性」の2つのテーマで成り立っているためである。

双方の価値が最終的に商品の差別化要因となる。

上記のテーマを考慮し、調査手法を「フォーカス・グループインタビュー」形式の調査とした。

**■調査実施方法**

フォーカス・グループインタビュー(座談会)形式の定性調査と  
設問票を利用した記述式(筆記式)調査

**■実施日時**

平成22年2月27日(土曜日)11時30分~17時

調査対象者を2グループ(5名/6名)に分けて、午前と午後の計2回実施

**■実施場所**

札幌市白石区東札幌5条1丁目1-1 札幌市産業振興センター内技術訓練棟3F

**■参加モニター**

札幌市に在住する30代~50代の男女 11名

**■調査実施内容**

- 1・商品の市場適合性(味/見た目/ボリューム等)
- 2・商品の独自性  
(アイヌ文化を背景とした独自性/商品独自の独自性)
- 3・商品の利用・活用  
(生活の中で利用したいと思うか、魅力的か)
- 4・商品の価格
- 5・商品の販路
- 6・商品に対する意見・要望



調査参加モニターは札幌在住の30代～50代の男女11名を2グループ、午前と午後2回に分けてフォーカスグループインタビューと調査票を使った筆記調査を併行して行った。

#### ■参加モニター属性

##### 午前の部参加モニター(11時半～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

##### 午後の部参加モニター(14時半～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

#### ■参加モニターの募集方法

「北海道のくらしアンケート くらしく」(株式会社オミセネット運営)の登録モニター800名より

- ・札幌市在住
- ・20代～60代の男女
- ・当該事業に興味を持っている
- ・アイヌ文化に興味を持っている

上記の条件に合ったモニターを12名選定し、参加依頼をした。(1名不参加)

#### ■調査実施方法

- ・グループインタビュー形式の面談調査
- ・設問票を使った筆記調査

#### ■実施日時

平成22年2月27日(土曜日)11時30分～17時

調査対象者を2グループ(5名/6名)に分けて、午前と午後の計2回実施

調査にあたっての会場風景と実施風景の写真を添付する。



会場全景



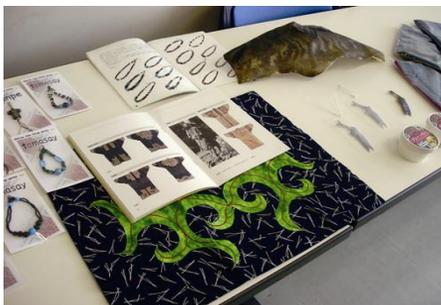
開発商品展示



開発商品展示2



携帯ストラップ(タマサイ・ルウンペ)



商品説明展示(アイヌの文化)



シャケのブックマーク  
ハッ ソルベパッケージ展示



アイヌ文様刺繍入り巾着袋



キナ(ゴザ)のタペストリー



アイヌ伝統食材を使った  
創作弁当



アイヌの伝統食  
オハウ開発サンプル

調査にあたっての会場風景と実施風景の写真を添付する。



1回目風景



1回目風景2



2回目風景1



2回目風景2



開発商品の説明



創作弁当試食風景



創作弁当試食風景



オハウ試食風景



ハッ ソルベ試食風景



アクセサリ・雑貨  
インタビュー風景

## ■開発商品概要＜アイヌの伝統食材を使った創作弁当＞

アイヌの人々が古くから利用してきた食材を使って創作弁当を開発。  
折詰弁当として試作した。(弁当の内容に関しては添付資料～資料1を参照)

## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

### ●味について

- ・薄味を食べなれているので食べやすかったですが、ハンバーグは薄味過ぎと思いました。①
- ・全体的に味が濃くなく、素材の味がしてよかったです。②
- ・味のしっかりしたものと、かみしめて甘みが出るごはんなど、私ごのみの味。③
- ・正油等で味加減を自分で加えられるとうれしい。全体的に甘いので飽きがくる。⑤
- ・どれも自分の口には合っていた。珍しさもあっておいしかった。⑪
- ・全体的にうす味はいいが、特に玉子焼きとハンバーグはもう少し味付けした方が良いと思う。⑨
- ・男性には味がうすいような気がする。どれを食べても全体的に味が薄い。⑤
- ・このご飯にはお醤油などの調味料は入らないの？若い方なら、かけて食べるお弁当のほうが一般的、味が薄いのでそのほうがいい。②

味について、モニター毎の味覚の差にわかるが、全体的に薄味であるという意見が多かった。醤油などの調味料を入れる。全体的に味付けを濃くする等の意見が出た。又、素材の味がわかるので今の味が良いという意見もあった。

### ●食材の色合いや、見た目のバランス

- ・ごはんの上にシャケと筋子がのせてあるので、鮮明さがある。もう少し華やかさがあると見映えが良いと思います。①
- ・色とりどりで楽しくなります。あまり「銀・紙カップ」は多用せず、笹を中心としてほしいです。④
- ・配置と量、入れているケース(プラスチック)が良くない。⑩
- ・品数が多くて楽しい感じがする。⑧
- ・具材のレイアウトで、何がメインのお弁当なのか分からない。①
- ・豪華な感じがするが、野菜が少ない。食事の中での「箸やすめ」がない。⑦
- ・主食(ご飯)おかず(メイン具材)つけあわせ(その他)のバランスが悪いとおもう。⑨
- ・京都の懐石料理みたいになんかメニューがあるのが楽しいが、主食とメインのおかずははっきりとしていたほうがいい、同じレベルで入っていたほうがいい。⑩
- ・第一印象は、すごい美味しそう、華やかでいいです。①
- ・開けてみて美味しそうでびっくりした。③

食材の色合いやバランスに関して、色とりどりで楽しげな印象があり、食べる楽しみがある。反面、ご飯とおかずのバランスの悪さがあり主食とおかずの量のバランスが悪く食べ進んでいくと食べづらい印象がある。おかずに野菜が少ない印象などが挙がった。

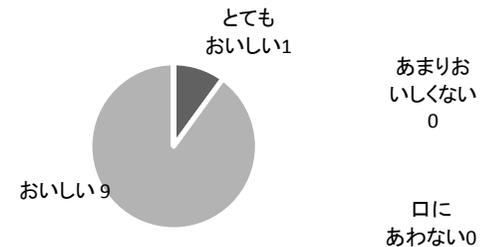
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

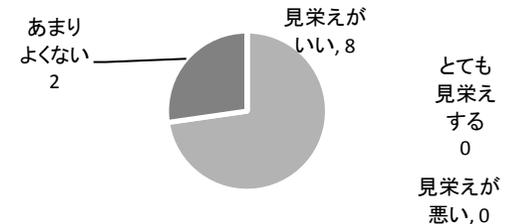
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

味について(単一回答)n=11



色合い、見た目のバランス  
(単一回答) n=11



## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●量(ボリューム)

- ・ごはんも多く、おもちが大きすぎたので・・・ちょっと多かったです。①
- ・餅2ヶが多く感じます。大きさを、小さいもの2ヶか、この大きさを1ヶがちょうどよい。全体量は、男性にはちょうどよいが、メインの食材(シカ肉やサケバーグ)の量を増やしてもよいと思う。④
- ・味が薄いので食があまり進まず、よけいに量が多く感じました。⑤
- ・炭水化物がとても多い印象。⑦
- ・2/3程度で良い(特に女性、年配の方)。⑨
- ・御飯の量が多い。おかず(副食)は多くした方がよいものと、少なくした方がよいものがある。⑪
- ・ボリューム感がある。普段から多く食べるのでこのボリュームがあると安心して食べられる。③

量について、2種類の多いという意見があった。

- 1・全体的に多い、この量の2/3でちょうどいい。
- 2・ご飯や、一部の具材の量が多い。または具材のボリュームのバランスが悪いので多く感じる(ハスカブ漬、シトの団子)。  
また、量的にちょうどいいという(女性)の意見もあった。

## ●買いたいと思う価格

- ・900円②
- ・500円以下、食材や手間を考えたら、800円までなら考えます。④
- ・750円⑤
- ・500～600円⑦
- ・600円弱⑧
- ・580円、680円⑨

現在の具材の量とボリュームから500～900円内での価格なら購入してもいいという意見があった。

- ④の意見は、素材と具材の加工の手間を考えたら800円まで支払えるという意見。  
購入希望価格体の中心は600～750円の範囲だと思われる。

## ●販売先イメージ

- ・観光地でアイヌ文化にふれながら食べたい。デパートやスーパーで期間限定で売られていたら買って食べてみたい。⑨
- ・民族博物館で。⑩
- ・観楓会やツアーバスでの昼食のイメージ。⑥
- ・観光に行った際のレストランでワイワイ食べたいです。②
- ・スーパーの駅弁フェアのような形で買えるのもいいかなと思います。⑪

売っている場所に関するイメージは、観光地やデパート、スーパーという意見が多かった。アイヌ文化を知りながら食べるという意味で、白老町に観光に来た際に博物館内で食べたい、バスツアーなどで車中で食べるイメージ(ツアーメニューや持ち込み)での購入意見もあった。

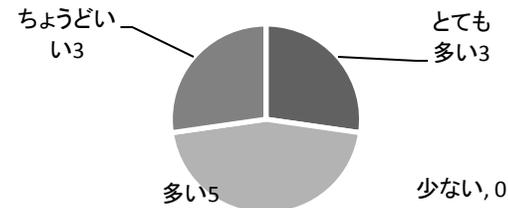
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

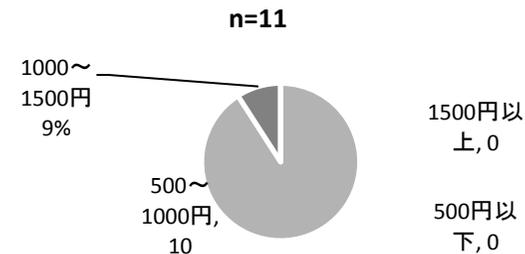
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

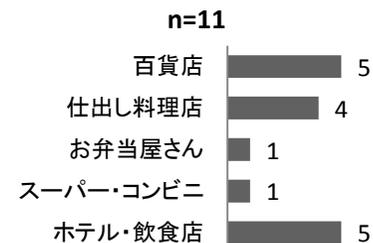
量、ボリューム(単一回答) n=11



買いたいと思う価格(単一回答)



販売場所のイメージ(上位2位選択)



## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●包装のデザイン、容器の形状

- ・パッケージの華やかさと開けた時の色味に違いがある気がします。①
- ・中身が、どんなものはいっているのかわかるタイプの方が良いと思います。②
- ・このまま箱を使うなら、もっとはっきりした色彩のアイヌ文様を使うと印象に残ります。④
- ・アイヌの模様を入れる。濃い色のパッケージ(表面)。⑩
- ・お品書きの書き方もそうだが、全部が全部ずらっと書いてあっても残らない。雑学として楽しく見れるような書き方だと、友人と話しながら「これ〇〇なんだって」と言いながら楽しみながら見ることができる。②
- ・お品書きの内容は良いが、それを読むかどうかは別。シャケやタラはわかるが、イナキビなどわからない物がある。写真やイラストがあるとわかる。⑪
- ・食べながら、見ながらと学習するお弁当と考えるならば、パッケージの中面にお弁当の内容がわかる様なレイアウトで絵があると、説明書きを入れたほうがいいと思う。②

包装に関して、パッケージにもっとアイヌ文様など、差別化できるデザインが必要と言う意見があった。また、内容具材が見える方が安心して買えるという意見もあった。具材を説明する文章を表面に入れる。箱を開けた蓋の内側に、具材を説明するイラストや写真があると、具材を楽しみながら食べることができる、等の意見があった。

## ●購入先の意向

- ・スーパーなどで売っていると買いたいと思わないですが、観光地だと気になると思います。①
- ・アイヌの方々がどんな食事をしていたのか興味がある。⑩
- ・一回は買ってみたいと思う。⑪
- ・野菜やビタミン等、からだによくておいしいので買いたいと思う。③
- ・今のままでは、何がメインなのかわからないので買いたいと思わない。②
- ・量が多くて食べきれなさそうなので買わない。⑧

購入の意向に関しては、いくつかの購入理由が見える。

- 1・観光などの際に楽しみを持って購入したい。
  - 2・アイヌ文化をもっと知りたいので買ってみたい。
  - 3・栄養や健康的なイメージがあるので買ってみたい。
  - 4・お弁当としての量やバランスが良いので購入したい。
- 複数の理由の条件が課題となると思われる。

午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

①30代女性	札幌市東区	未婚
②30代女性	札幌市白石区	未婚
③30代女性	札幌市白石区	未婚
④40代女性	札幌市白石区	既婚
⑤50代女性	札幌市東区	既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

⑥30代男性	札幌市南区	既婚
⑦30代男性	札幌市中央区	既婚
⑧30代女性	札幌市豊平区	既婚
⑨30代女性	札幌市東区	既婚
⑩40代女性	札幌市東区	未婚
⑪50代女性	札幌市北区	既婚

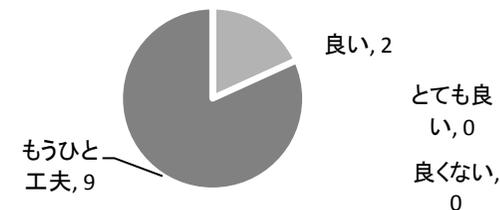
## 食べる場所のイメージ

(上位2位選択) n=11

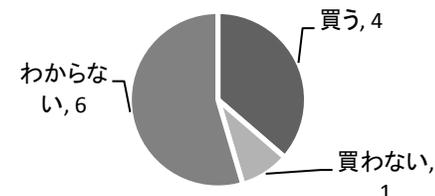


## 包装デザイン、容器形状

(単一回答) n=11



## 商品の購買意欲(単一回答) n=11



## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●モニターが考える改善点

- ・味付けは薄味で良いです。ただ、すべてをつめこみ過ぎの気もします。①
- ・ごはんは何種類か入っていたり、小さなおむすびのような形になっていると食べやすいと思います。おイモ、ハスカップ、かぼちゃと、お弁当の中に甘い食材が多かったので、全体的に、少しでいいと思いました。鹿肉はくさみがなくおいしかったです。しかし、あれもこれも入っていましたが、全体的に、何がメインなのかわからなかったので、季節毎にメインを決めた方が選びやすいのでは？②
- ・時間がたつとシトはかたくなります。容器にくっついてしまっていたので、小さいともっとかたいか もしれませんが。見た目、箸でとるまでしょうゆ味ソースがついてるとわからなかった。③
- ・女性好みの多種多様な食材が楽しいです。ただ、男性や若い人達には、なにがメインなのか、1つ多めに配する料理があっても良いと思います。甘い系の「かぼちゃ」「ハシカプ漬」「餅」は、何か1つか2つに絞ってよいと思います。④
- ・もっと味にメリハリをつけて、良くても悪くても観光として話のタネになるような味、食材を使ってほしい。例えば、キクイモを形として食べてみたいです。⑤
- ・リサイクルマークがあるとよい。カロリー表示もあるとよい。⑥
- ・味のメリハリをつけることで、もう少し印象が残る弁当になると思います。⑦
- ・量が多いので、各おかずが少ない方がたべやすい。⑧
- ・量を再検討していただければ良いかと思います。⑨
- ・ターゲットを明確にした量が良い。なるべく少ない量で多種類楽しみたい。薄味はこだわってほしい。味覚がとぎすまされる感じがする。アイヌの文化をもっと伝えられる工夫を。⑩
- ・どういう年代の方、どういう方を対象としているかを最初に聞いたかったように思いますが…アイヌの伝統料理ということを出すのならこのままでよいと思うし、食べやすくというのなら、量や色合い、おかずのバランスなどを考えた方がいいと思う。減らせるものは減らす、省けるものは省くという工夫が必要。⑪

午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚



## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・味が薄味であること

健康志向から素材の味を大事にした作りであるという意見もあったが、全体的に個々の味が淡泊で全体的に変化がない。変化をつけて各具材の役割を明確にすること(箸やすめ等)が必要。

## 2・ボリュームと具材のバランスを見直す

全体のボリュームが多すぎるという意見と、個々の具材が全体的に多いので食べにくいという意見があった。メインの食材とおかずを明確にして、個別にボリュームの見直しが必要。

## 3・販売先と価格のイメージ

この商品は、アイヌ文化を知りながら食べるという主旨での販売に価値があるので、スーパーなど広い販路よりも、白老町観光の際にアイヌ民族博物館や関連飲食店又はホテルで食べる。ツアー内の食事で食べる等のほうが魅力的に感じるという意見が多かった。

## 4・パッケージデザインや説明

アイヌ文化を象徴するようなデザインを大きく扱った差別化が必要。具材の説明も分かりやすく、見やすい工夫が求められる。

## ■開発商品概要<伝統食 オハウ>

アイヌの伝統食「オハウ」とは、アイヌ料理の基本メニューとなる汁物である。  
レトルト製法・無添加で伝統食の味付けを再現した商品試作を行った。

## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

### ●味について

- ・やわらかい口当たりで良いと思います。食材の柔らかさも、食べやすくて良いです①
- ・魚のダシがきいていて美味しかった。②
- ・タラスム(魚醤)をたらしたら美味しいが、レトルトだとものたりない。野菜がおいしかった。③
- ・塩辛すぎず、しっかり食材の味がして、おいしかったです。④
- ・味かげんが良い。サケの味がよく出て美味しい。後から加えた油に、塩味もあるとよい。⑤
- ・味付がやすい。⑥
- ・三平汁に似ていて、とてもなじみのある味でした。⑦
- ・北海道在住の人達には、わざわざ買う意欲をかきたてるものか疑問です。⑦
- ・少しシンプルすぎ?⑧
- ・おいしい。家族ですぐに作れそう。インパクトはない。タラスム(魚醤)で風味が増す。⑨
- ・赤ちゃんにも、独身の人もいい(あまり料理ができない人が手のこんだものを食べたいとき)。⑩
- ・普段食べる三平汁に比べると、抵抗なく食べられる。試食にはネギがつかなかったので、ネギを 添えるともっとおいしいですね。⑪

味について、全般的に高評価であったが、「インパクトがない」「馴染みの味」「抵抗がない味」「すぐ作れそう」という意見は、他商品との差別化要因が低い商品である可能性がある。

### ●食材の色合いや、見た目

- ・人参等、色合いが良いです。①
- ・緑ものがなかったので、青緑ものがあればもっとキレイでは?②
- ・1つ1つ、形やスープもキレイだが、上品すぎ。③
- ・緑色の食材が入るときれい。ジャガイモの大きさに対して人参が小さすぎる。⑤
- ・食材の色が地味なので仕方ないと思う。⑥
- ・写真にあるように、ネギがふられているとなお良いと思います。⑦
- ・シンプルすぎ。⑧
- ・具材はスーパーで普段、いつも買うものばかりなので、インパクトはない。⑨
- ・食材がゴロンと入っているので良い。⑩
- ・ネギの青味がポイントですね。⑪ ←(～ネギは入っていない。資料写真よりのコメント)

食材のボリューム感が合って良いという意見があったが、食材の色味が淡泊でネギなどのワンポイントがほしいという意見も多くあった。

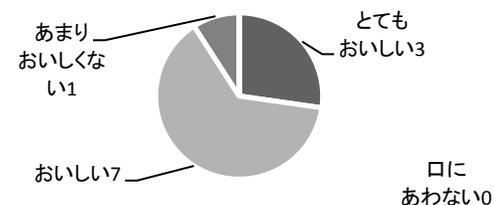
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

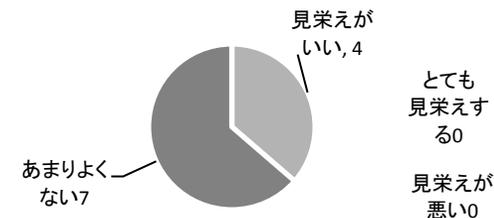
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

味について (単一回答) n=11



食材の色合い、見た目(単一回答) n=11



■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

●量(ボリューム)

- ・適量だと思います。①
- ・おいも、大根とゴロゴロ入っていて、ボリュームがありました。②
- ・さっぱりしているので、一度に食べられるが、1人には多いかな?③
- ・今回食べた1人分の量(実際の商品の半分の量)で、副食(汁物)と考えるとちょうど良い④
- ・汁がもっと多いほうがうれしいです。⑤
- ・2人前のパッケージだとすると、ちょうど良いと思います。⑦
- ・味が濃いので(現在の容量では)飽きる。⑧

内容具材のボリュームから、量は十分である、又は多いという意見が多くあった。  
味が淡泊なため、飽きるという意見や、副食として考えれば2人前として利用したいという意見があった。

●買いたいと思う価格

- ・500円 ①
- ・500円以内 ②
- ・1パック何人前かにもよるのですが、350～400円③
- ・280円 ⑤
- ・300円くらい ⑥
- ・500円以下 ⑦
- ・450円くらい ⑧
- ・450円 ⑨
- ・250円 ⑪

価格は、250円～500円の範囲で販売されていると購入したいという意見であった。

●どんなメニューに合うか?

- ・甘味があるので、多くのものに合うと思います。①
- ・あっさり味なので、メインをじゃましない感じで良かったです。②
- ・ポトフ感覚で地中海料理に合いそう。③
- ・やはり和食があうと思います。他のジャンルではイメージできません。④
- ・和食の料理、家庭料理によく合うと思います。⑨
- ・どんな食事にも合う。⑩
- ・白い御飯。⑪

味がシンプルなので、普段の食事のなかで、広く利用される可能性がある。  
三平汁を連想する味のため、和食に合うという意見も多く聞かれた。

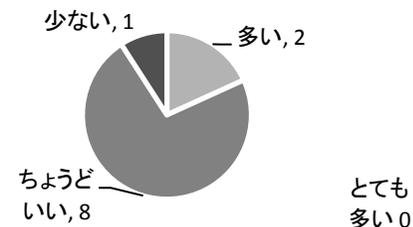
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

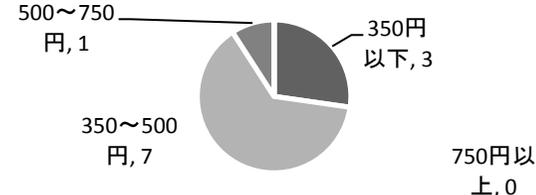
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

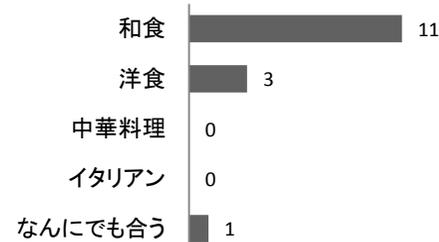
量、ボリューム (単一回答) n=11



買いたいと思う価格 (単一回答) n=11



合うメニュー(上位2位選択) n=11



## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●購入先の意向

- ・物産店など特別な場所 ①
- ・道の駅や地元のおみやげ店など ②
- ・百貨店の土産品・道産品コーナーです。④
- ・観光地のお店 ⑤
- ・サービスエリアの売店など。⑦
- ・観光地、もしくはインターネット通販で。⑨
- ・物産展、土産展。⑩
- ・百貨店の物産展とか。⑪

観光地に行った際に、近くにあるお土産物屋さん、道の駅などの売店や百貨店等の特設催事場での購入意向が多くあった。

## ●購入の目的

- ・日常的に普段の生活で食べる。①
- ・白老に行ったお土産として。②
- ・知人、友人に知ってほしいと思うので、プレゼントとして購入。④
- ・日常的にその他の一品として食べる。⑤
- ・アイヌ文化を紹介するような時。⑧
- ・学生に(料理を作らない子が多いので)。⑩
- ・内地(道外)の人にギフトとして贈る。⑪

日常的に利用するという意見が多く、味付けが普段の生活に合っているためと思われる。また、アイヌ文化を人に紹介するために、ギフトとして利用すると言う人もいた。⑩の意見は健康志向の商品として購入したいという意見である。

## ●レトルトパッケージとしての扱い方や利用の仕方

- ・温められるので良いと思います。①
- ・レンジで調理できるともっと便利です。④
- ・中がわかる写真が印刷されていると良い。⑨
- ・持ち手をつける。⑩
- ・長期保存ができるのでよい。⑪

レトルトパッケージとしての利用は浸透しており、利用に関して十分に理解されると思う。一部パッケージなどで商品のイメージがわかる写真などがあったほうが良い、持ち手をつけると利用しやすい等の意見が合った。

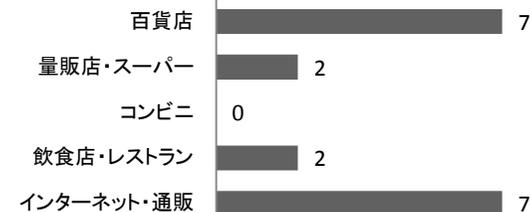
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

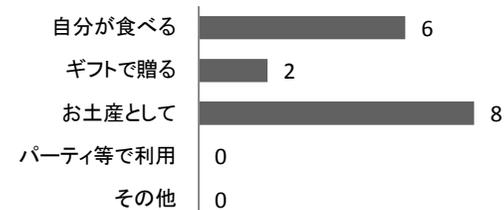
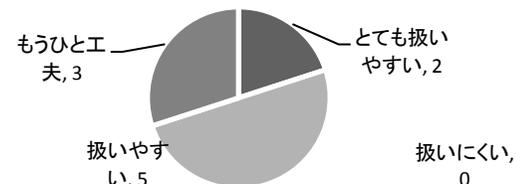
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

購入先の意向 (上位2位回答) n=11



購入目的 (上位2位回答) n=11

レトルトパッケージの扱いやすさ  
(単一回答) n=11

## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑩を参照

## ●購入の意向(買いたいと思うか)

- ・味は良いと思います。食べやすいので、日常としても使えそうです。①
- ・お値段にもよりますが、野菜のボリュームもあってよかったです。②
- ・ポトフとの違いがわからない。⑥
- ・自宅でも作れそう。買ってまで食べたいと思わないかも。⑧
- ・一度は試してみたいと思います(中味がわかれば)。⑨
- ・手軽に添加物の入っていない食事が食べられるので。⑩

具材のボリュームが魅力的であるという意見や、味が良いので買いたいという意見があった。反面、「自分でつくれそう」「わざわざ購入する気がしない」という意見もあった。

## ●モニターが考える改善点

- ・日常食べられるもの(価格面他)にしてほしいです。①
- ・魚がちょっとパサパサだったので、もっとしっとりして鮭の良さがでると、北海道の土産品として良いのではないかと思います。②
- ・タラスム(魚醤)はつけないもの足りない。自宅で、自炊したくない日とかにレトルトで食べるには具がものたりない。③
- ・食材をいかした味が好ましく思います。ただ、量と価格が、今回具体的に知ることがなかったので、バランスをとった商品になるよう期待します。④
- ・東京の人への北海道の品として送れる様になると買うかも? パッケージにアイヌの文様が入ると良いのではないのでしょうか?⑤
- ・販路は道外の方に向けてと割り切ってしまう方が良いと思います。⑦
- ・パッケージデザイン(添付予定のお魚の汁も含めて)。(※「添付予定の汁」=「タラスム」)⑩
- ・缶入りのものがあったら、ギフトにも良いのでは?⑩

## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・味が日常的で好感が持てるが商品としての独自性が感じられない。

北海道でよく食べられる三平汁に似ているため、普段食べている物に近い、そのため味は好評だが、購入するかどうかはわからない。しかしタラスム(魚醤)を入れると今までに味わったことのない味になるという意見があった。具材の色もシンプルであり魅力的には映らなかった。

## 2・アイヌの伝統食としての特徴をもっと前面に出すことが必要。

アイヌの人々が食していたということを説明することで商品の独自性が生まれる。観光土産や道外へのギフトとしてのニーズがあると思われる。

## 3・販売先と価格のイメージ

レトルトパック商品のため長期保存が可能であり、日常的にも贈り物としても利用できる。しかしながら商品の独自性を説明(アイヌの伝統食)する必要があるため、当初販売はアイヌ民族博物館や白老町内売店での販売が望ましい。

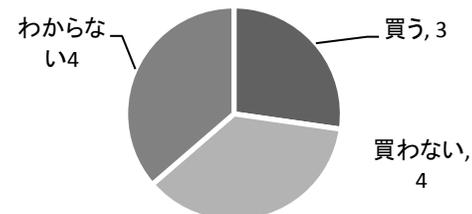
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

商品の購買意欲  
(単一回答) n=11



## ■開発商品概要&lt;デザート ハッ(ヤマブドウ)ソルベ&gt;

アイヌの伝承有用植物のひとつであるヤマブドウ(ハッ)を冷菓にした。  
ソルベ(アイスクリームとシャーベットの中間)として商品開発した。

## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●味について

- ・酸味と甘味が良い感じなのですが、味が濃いので水が欲しくなります。①
- ・思ったより酸味がなく食べやすかったです。②
- ・山ぶどうそのままおいしい。③
- ・「ソルベ」というものがなじみがない為わからない。④
- ・もう少し甘みをおさえて、酸味を増し、シャーベットに近い方がうれしい。⑤
- ・しょっぱい。⑥
- ・すっぱい感じがとても良いと思います。⑦
- ・普段あまり食べられないような味でめずらしい。⑧
- ・半分くらいまではおいしく頂けるが、半分以降はクドク感じる。⑨
- ・原材料が珍しい。体に良い感じがする。⑪

味について、美味しいという意見と、酸味が強く食べにくいという意見があった。  
原材料のヤマブドウそのままの味がなつかしく美味しかったという意見があった。

## ●食材の色合いや、見た目

- ・あざやかな色が良いです。①
- ・色が紫～って感じでインパクトがありました。②
- ・あざやかな色がきれいです。④
- ・色がきれいで良い。⑤
- ・素材感が良く出ていると思います。⑥
- ・インパクトのある色。⑦
- ・山ぶどうの自然の色が良い。⑧
- ・色にインパクトがある。(着色料なしでこの色はすごい!!)⑩
- ・色が鮮やか。⑪

商品の色に関して、着色料を使わずヤマブドウ本来の色として見た際にとても鮮やかであると好評であった。  
素材感を感じる色であるという意見が多くあった。

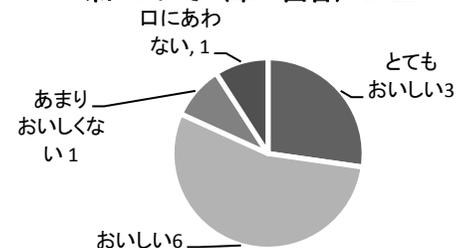
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

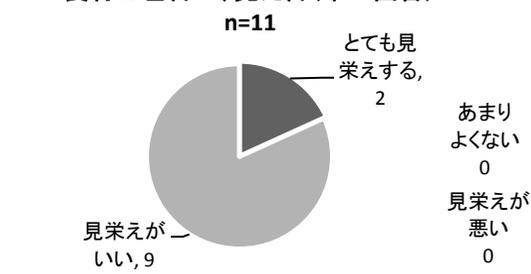
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

味について (単一回答) n=11



食材の色合い、見た目(単一回答)



■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑩を参照

●量(ボリューム)

- ・ゆっくり溶かしながら食べると丁度よいです。①
- ・観光地で食べるにはちょうどいいです。②
- ・これ以上の量は、一度に一人では食べ切れないと思います。④
- ・もう少し小さくても良い。⑤
- ・味が濃いのであきる。⑧
- ・味が濃いので、多く感じる。⑨

味が濃いので多く感じたり、飽きるという意見があった。  
一度に食べるのならばもう少し量が少なくてもいいという意見があった。

●買いたいと思う価格

- ・200円 ①
- ・300円 ②
- ・200～350円←できたらお願いしたい金額。③
- ・150円なら即購入です。200円超えると、ちょっと考えます。④
- ・250円 ⑤
- ・300円くらい ⑥
- ・100円 ⑦
- ・250円くらい ⑧
- ・250円 ⑨
- ・300円 ⑩
- ・250円 ⑪

現在の量で購入したいと思う金額は、100円～350円と広範囲になった。  
普段購入での冷凍と、原材料や素材感を考えて価格を高く答えた人に分かれたためである。

●食べる状況

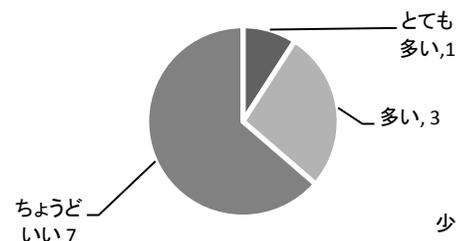
- ・観光地で購入して車内で食べる。①
- ・自分にごほうびに食べたい。③
- ・レストランでお皿に盛られていると、もっと引き立つと思います。④
- ・お店で買ってその場で食べる。⑤
- ・少し歩き疲れた後や、暑い日などに食べるとおいしいと思います。⑦
- ・旅先で。⑧
- ・観光地で目につけば食べたい。でも、コンビニなどでも売っていれば、ものめずらしさから買ってみたい。⑨
- ・スタートは民族博物館のみ→物産展と白老町のみ ⑩

量販店やスーパーなどの既存販売先ではなく、旅先、観光地等の場所で購入し、  
移動しながら食べる、観光地で食べる等のイメージがある。  
また、素材感やその味から、疲れた時やレストランデザートなどでの食事の意見もあった。

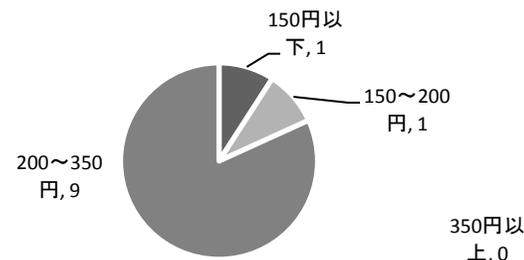
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)  
①30代女性 札幌市東区 未婚  
②30代女性 札幌市白石区 未婚  
③30代女性 札幌市白石区 未婚  
④40代女性 札幌市白石区 既婚  
⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)  
⑥30代男性 札幌市南区 既婚  
⑦30代男性 札幌市中央区 既婚  
⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚  
⑨30代女性 札幌市東区 既婚  
⑩40代女性 札幌市東区 未婚  
⑪50代女性 札幌市北区 既婚

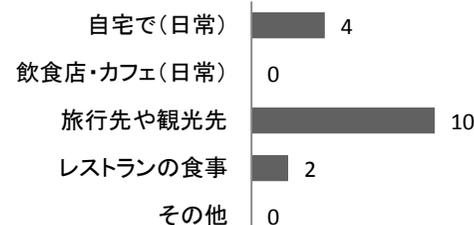
量、ボリューム (単一回答) n=11



買いたいと思う価格 (単一回答) n=11



食べる状況 (上位2位回答) n=11



■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

●購入先の意向

- ・観光地 ①
- ・お土産屋さんや道の駅 ②
- ・土産店なら、従来もこのようなアイスは販売されてきたので、まずはそこから④
- ・観光地の店先で。⑤
- ・旅行先のおみやげ屋さん。⑥
- ・サービスエリアなど。⑦
- ・ホテルの売店 ⑧
- ・旅先のレストランでお土産、もしくはその場で食べる。インターネット通販でお中元用。⑨

購入先に関して、観光の際に食べる、又はお土産屋さんで購入するというイメージ。

●購入の目的

- ・とりあえず食べてみる(自分が食べるため)。①
- ・白老に行ったお土産として。②
- ・つかれている時とかに食べたい。③
- ・色がきれいなので、お祝い事のデザートにも使えそうです。④
- ・その他の物産として食べる。⑤
- ・アイヌ文化を紹介する時。⑧
- ・自分でも食べてみたいと思うが、どちらかと言えばお土産やギフトとして買いたい。⑨
- ・本州に住んでいる方にギフト。⑪

購入目的は大きく分けて2つあった。

- 1・観光地での興味で買ってみる。
- 2・友人知人にアイヌ文化を説明する、または道産ギフトとして贈る。

●パッケージデザイン

- ・デザートと思うと毒々しい気がする。①
- ・例えば全面紺色とか、もっとインパクトのある柄の方が、目が行くと思います。②
- ・ハツソルベ。名前はいいけど、デザインは今一つ。③
- ・少し暗い色合いだと思います。山ブドウをもっと全面に出したデザインがよいと思います。④
- ・色合いが薄い方がよいのでは？山ぶどうの模様がよいと良いのでは？⑤
- ・アイヌっぽくて良いと思う。⑧
- ・「山ぶどうを使ったアイス」を強調するとわかりやすい。フタではないところにアイヌ文様があると田舎臭い。情報を詰めこみすぎ。⑩

アイヌの文様を利用したインパクトあるデザインがいいという意見と、スイーツとしての上品なイメージが必要と言う意見があった。

「ソルベ」という冷菓が一般的でないためなじみがなく購入しにくいという意見もあった。

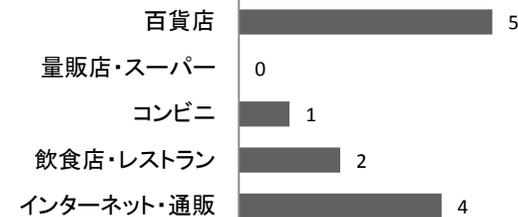
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

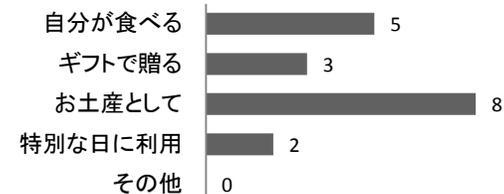
午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

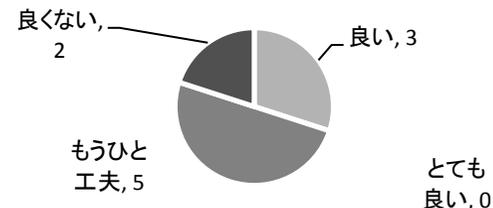
購入先の意向(上位2位選択)n=11



購入の目的(上位2位選択)n=11



パッケージデザイン(単一回答)n=11



## ■調査報告～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

## ●購入の意向(買いたいと思うか)

- ・今のままだと買わないと思います。②
- ・値段にもよりますが、このままの味なら、私は購入しないと思います。④
- ・ぶどうの粒が入っているとうれしいし、買ってみたいと思います。⑤
- ・味はとても好みに合っています。⑦
- ・食べたことがなければ買うかも。⑧
- ・目につけば一度は買って試してみたくなると思います。⑨

商品の独自性があり、ヤマブドウの味が好きな人は好意的であった。  
また、物珍しさから初回の購入はされるのではないかという意見が多くあった。  
味の嗜好が分かれるので2回目以降の購入に関しては意見が分かれた。

## ●モニターが考える改善点

- ・一瞬、味が濃くて驚くのですが、食べていくとやみつきになりそうです。①
- ・ヤマブドウの果肉が入っていた方が食感が良くなると思います。もっとシャーベット状にしてさっぱりさせるか、アイスクリーム風にして甘くさせるかした方が、自分的には好みます。②
- ・催事にきてたら買うと思います。③
- ・私は、甘い物が好きなので、今回のソルベはもの足りなく感じました。「ソルベ」というデザートで、それをわかる人なら、今の味で大丈夫だと思います。④
- ・今のソルベとして商品にするなら粒があるとうれしい。シャーベットにするなら酸味を強くしてほしいです。⑤
- ・アイヌらしさを全面に出したパッケージの方がいいのでは？⑥
- ・個人的にはとても美味しい商品だと思うので、このままでも良いと思うのですが。⑦
- ・あえて少ない量で希少価値を高める。この商品の横に、販売用水も置いておくとよい。⑩
- ・これはこれでおいしいのですが、小さなゼリー、ポーショントイプのものがあつたらいいですね。ゼリーとしても食べられ、凍らせてシャーベットとしても食べられるもの。⑪

## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・味の嗜好により、意見が分かれる商品

味に関して、中高生が気軽に食べられる味ではないという意見があった。ヤマブドウの味を知っている人には好感をもたれたが、一般的には味が濃く、量に関しても調整が必要だという意見もあった。味の嗜好が分かれる。一方で独自性があるという強みもある。

## 2・パッケージデザインのコミュニケーションが必要

アイヌの食材を使った冷菓であることを伝える、ヤマブドウのアイスクリームとして説明をする必要がある。また、「ハッ」というアイヌ語表記と「ソルベ」というフランス語の冷菓の名称がわかりにくいという意見があった。

## 3・販売先と価格のイメージ

商品のイメージは量販店などで販売する冷菓ではなく、観光地で食べるご当地スイーツとしてのイメージが強かった。価格に関しても中心価格が200円～250円を中心に350円までの価格意識があり、商品の価値が伝わる商品であると考えられる。当初販売はアイヌ民族博物館や白老町内売店での販売が望ましい。

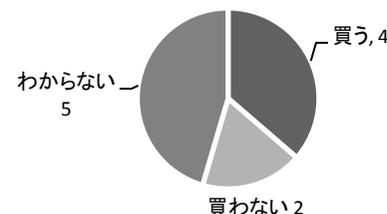
午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

商品の購買意欲(単一回答) n=11



■アクセサリ雑貨に関するモニター意見(総合)

1・ストラップ(タマサイ)



儀式の際に女性が首から下げたタマサイをモチーフに作った携帯ストラップ

2・ストラップ(ルウンペ)



ルウンペ(木綿衣)のデザインを模した携帯ストラップ

3・サケの皮のブックマーク



サケの皮を加工して靴等を作っていた技術を活用してブックマークを制作

4・キナ(ゴザ)タペストリー



伝統工芸品であるキナ(ゴザ)のタペストリー

5・アイヌ文様刺繍入り巾着袋



北海道遺産にも指定されているアイヌ文様を刺繍した巾着袋

上記の開発商品を対象として調査を行った。

午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

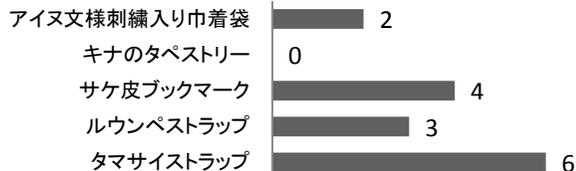
- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

●モニターの見解(意見の前の番号は、上記写真の番号)

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

- 1・タマサイ～一番手軽に買えそうだった。ピンクや赤など、かわいい色があるといい。②
- 1・タマサイ～魔除けとしての意味があるというのは、ストーリー的に面白いと思います。⑦
- 1・タマサイ～気軽に「ケイタイにつけられますし、色合いもきれい。⑨
- 2・ルウンペストラップ～オレンジ系がかわいい。⑤
- 3・サケ皮ブックマークは、「サケ皮」は珍しく、値段も手頃そうなので。④
- 3・サケ皮ブックマーク～手頃だから。(6番30代既婚男性)
- 3・サケ皮ブックマークは学生向けだったら、おもしろい。⑧
- 3・サケ皮ブックマーク～じゃまにならない。あまり好みに左右されない。北海道に住んでいても初めてみる商品。⑪
- 5・巾着は、色柄により、購入をしたいと思います。④

これらのアクセサリ・雑貨の中で、  
買うとしたらどれですか？(複数回答) n=11



## ■ストラップ(タマサイ)に関するモニターの意見と要望

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

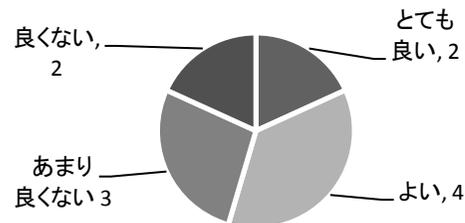
- ・デザインの種類が多ければ、自分だけの一品として良いと思います。①
- ・ふつうに、どこにでも売っているようなデザインだな～と思いました。②
- ・安っぽく、他と同じなら天然石でもよいので。色合わせもいまひとつ。③
- ・パッケージの裏面に説明が入っているのはいい。商品説明は表に入っていないととも裏は必ず見るのでいい。③
- ・「魔よけ」の意味にひかれます。④
- ・1000～1500円くらいならネックレスでも買うと思います。赤系の色があると良い。⑤
- ・魅力を感じない。⑥
- ・200～300円。ストラップに500円以上出すものなのではないでしょうか？⑦
- ・どこにでもありそう。アイヌっぽさがない感じ。⑧
- ・グリーン、ブルーのグラデーションものはきれい。色味のない白黒系のものはインパクトがない。⑨
- ・どこにでもあるデザイン。⑩
- ・ただのアクセサリではないと思います。特徴(魔よけになるetc.)をもっと色濃く出してほしい。⑪
- ・アイヌ民族博物館でタマサイの展示会を見たのちに、ミュージアムショップでこの商品を見た場に、魅力的に感じる。ほしくなる。⑧⑨

午前部参加モニター  
(11時30分～14時)

①30代女性 札幌市東区 未婚  
 ②30代女性 札幌市白石区 未婚  
 ③30代女性 札幌市白石区 未婚  
 ④40代女性 札幌市白石区 既婚  
 ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後部参加モニター  
(14時30分～17時)

⑥30代男性 札幌市南区 既婚  
 ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚  
 ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚  
 ⑨30代女性 札幌市東区 既婚  
 ⑩40代女性 札幌市東区 未婚  
 ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

金額はどれくらいだと思いますか？  
(単一回答) n=11商品のデザインと見栄えは？  
(単一回答) n=11

## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・商品自体は好感度がある。アイヌ文化を説明することで差別化でき、より価値を持つ。

商品自体は、一般的でアンケート当初、「一般的なアクセサリ・雑貨店で販売している」とものと似ているため商品差別化がしにくいという意見が多くあったが、タマサイのアイヌ文化における儀式等で使用したストーリーを説明すると、商品に対するの興味がはっきり出た。

## 2・販売先は、商品背景が説明できる場所。

「アイヌ民族博物館等でタマサイの展示を見た後、売っていれば買いたくなる」という意見があった。  
当初販売先は、商品の背景が説明できる場所(アイヌ民族博物館)が望ましい。

## ■ストラップ(ルウンペ)に関するモニターの意見と要望

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

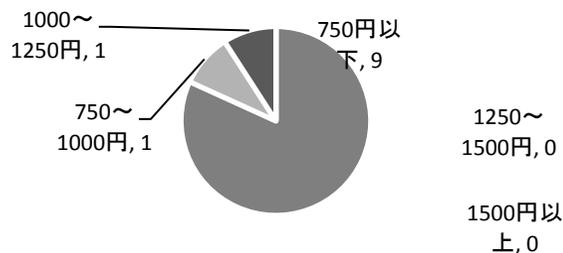
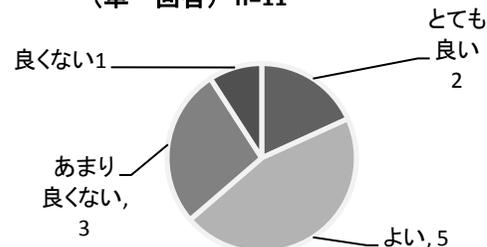
- ・欲しいと思えない。①
- ・ルウンペの衣服の形がかわいかった。②
- ・もらっても色による。長く使うよりアクセント的に利用する。③
- ・赤いルウンペはかわいい。ストラップはいくつか持って、付け替えて楽しむものなので価格は安いほうがいい。③
- ・現代的デザインで、かわいらしいです。④
- ・お土産にしても良いし、自分へのお土産として買いたい(オレンジ系)。⑤
- ・カラーバリエーションがあるとより良い。⑥
- ・200～300円なら買ってもいい。
- ・良いと思う。でも「白老牛」など文字はいらないかも。⑧
- ・お土産として買うなら、わかりやすくていい。パッと見てアイヌのお土産だとわかるので人にあげやすい。⑧
- ・年配の方には良いかもですが、若い人や30代以下の人は好まないと思います。⑨
- ・自分は携帯ストラップは使わないので、あまり欲しいとは思わない。⑪

午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

金額はどれくらいだと思いますか？  
(単一回答) n=11商品のデザインと見栄えは？  
(単一回答) n=11

## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・商品価値に意見が分かれた

「お土産としてわかりやすいので良い」という意見と「デザインに工夫が必要である。今風に見えない」という意見があった。金額設定も750円以下、750円～1250円まで広い意見があり、アイヌ文化の興味の度合いによって商品の価値が左右されるという事がわかった。

## 2・販売先は、商品背景が説明できる場所で

アイヌ文化への興味を説明することがお土産として購入の購入を促す条件であると思われる。当初はアイヌ民族博物館ミュージアムショップなどでの販売を行うことが望ましい。

■サケ皮ブックマークに関するモニターの意見と要望

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

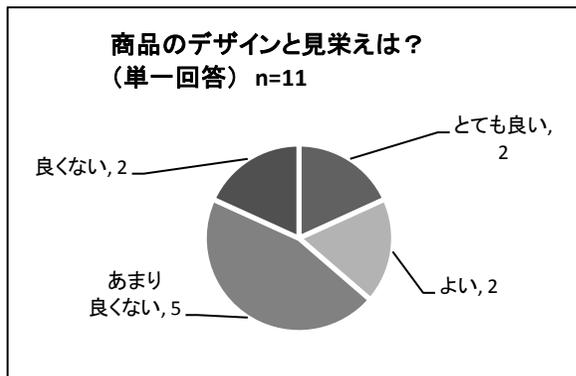
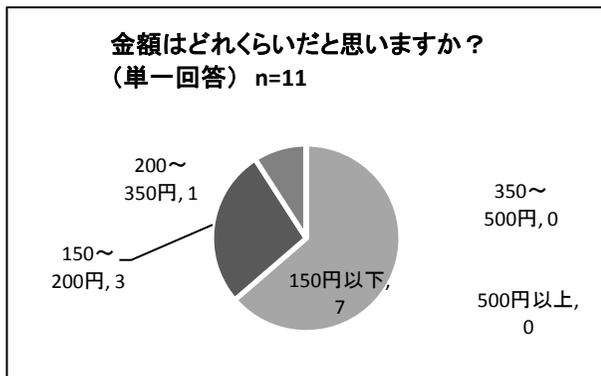
- ・手作りキットだと購入を考えます。①
- ・不思議なかんじで、土産話として面白い。②
- ・シンプルで、その場の話にはいいが・・・紐部分にアイヌ文様ついてもよさそう。③
- ・もう一工夫。小中学生向けに購入しやすい価格で、デザイン性のある商品なら、ヒットかも・・・④
- ・全体をサケの形にくりぬいたままの方が良いのでは。⑤
- ・面白いと思うが、面白さが伝わらない。⑥
- ・面白い！東京の友達にあげると受けると思う。楽しい商品。⑦
- ・おもしろい。学生も買いやすい。⑧
- ・ラミネート部分にもうひと工夫ほしい。⑨
- ・ラミネート(ビニールシート)も鮭の型にしてみてもは。⑨
- ・安いほうが修学旅行の小中学生が買いやすい。⑩
- ・北海道らしい。白老、アイヌらしさが出ている商品。おみやげに最適。⑪

午前の部参加モニター  
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター  
(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚



■調査から知り得た課題・改善点

1・形状の面白さと意外性で高評価。

形状の意外性と素材感でとても高い評価があった。  
金額150円以下で小学生など修学旅行生向けの商品としては、十分実施可能性がある商品。  
商品のラミネート部分やヒモ部分の改善が一部必要だが商品としてとても好感度が高かった。実際買いたいという意見も多かった。

2・販売先は多様。商品の背景を伝えるならば販売先を限定。

商品の意外性や形状に関して高評価があったが、アイヌ文化のサケ皮の加工品としての説明がもっと効果的にできる方法を検討する必要がある。当初販売先は、アイヌ民族博物館など商品の背景が説明できる場所が望ましい。

## ■キナ(ゴザ)タペストリーに関するモニターの意見と要望

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

- ・使い方がわからない。①
- ・4000円位の値段では買いません。②
- ・使わないので良さがわからない。③
- ・私は、インテリアとして使おうと思いません。④
- ・夏の日よけに使える大きさがあっても良いのでは？⑤
- ・使い道がない。⑥
- ・どう使って良いかわからない。⑦
- ・あまりほしいと思わない。⑧
- ・違う模様だと良いのかな、と思います。⑨
- ・実用的ではない。⑩
- ・タペストリーとして売っていて、自分がもらう立場ならば、別に要らない。インテリアはもらうと扱いに困る。⑪
- ・良さ、価値が分からない人(私?)にはただのゴザにしか見えない。⑪

午前の部参加モニター

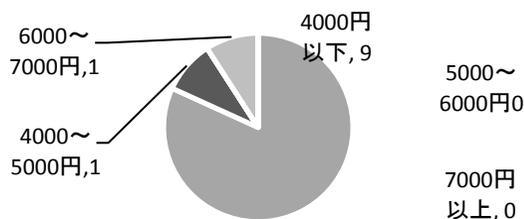
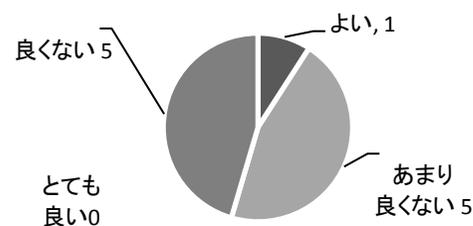
(11時30分～14時)

- ①30代女性 札幌市東区 未婚
- ②30代女性 札幌市白石区 未婚
- ③30代女性 札幌市白石区 未婚
- ④40代女性 札幌市白石区 既婚
- ⑤50代女性 札幌市東区 既婚

午後の部参加モニター

(14時30分～17時)

- ⑥30代男性 札幌市南区 既婚
- ⑦30代男性 札幌市中央区 既婚
- ⑧30代女性 札幌市豊平区 既婚
- ⑨30代女性 札幌市東区 既婚
- ⑩40代女性 札幌市東区 未婚
- ⑪50代女性 札幌市北区 既婚

金額はどれくらいだと思いますか？  
(単一回答) n=11商品のデザインと見栄えは？  
(単一回答) n=11

## ■調査から知り得た課題・改善点

## 1・商品の価値と合わせて、利用方法を提案する必要がある。

商品の良さ以前に、商品の生活の中の利用方法や購入目的を明確にしていく必要がある。お土産、贈答、自宅のインテリア等、商品の購入後の利用方法の提案が必要。併せて、タペストリーのアイヌ文化での価値を伝えることで商品価値が明確になる。

## 2・販売先は、商品背景が説明できる場所で

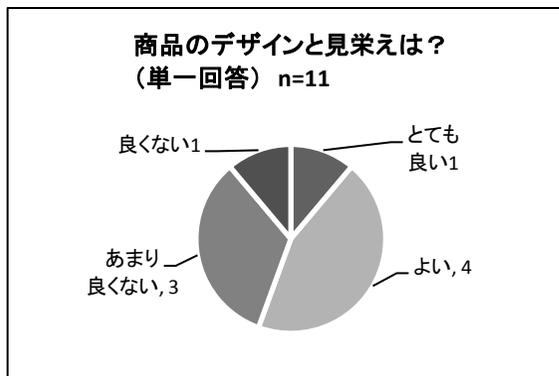
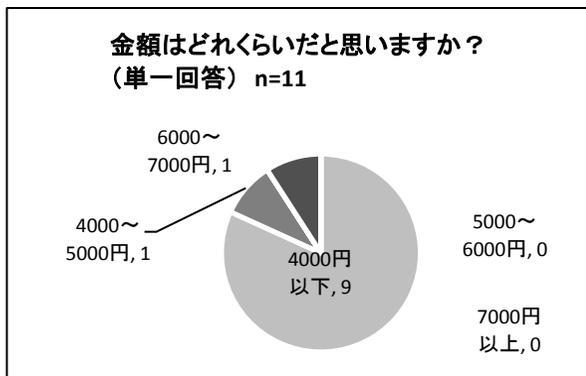
前述のタマサイストラップと同様に、商品の意味(儀式などで利用したアイヌ文化を代表する品)を説明し、商品の購入する価値を高める施策が必要になる。購入者への利用イメージもPOPなどで提案する必要がある。

■アイヌ文様の刺繍入り巾着袋についてのモニターの見解と要望

～発言者は右モニター番号①～⑪を参照

- ・全体的に暗い色の物が多い。暗いイメージがないものが良い。①
- ・色、デザイン的に重々しい感じがしました。②
- ・巾着などは、右下など一部に柄が入っている方がおしゃれだと思います。また、エコバッグなど柄がふちどりされているものがあれば買いたいと思いました。②
- ・地味なのもつたいない。アイヌ文様は生活にとりいれたい。③
- ・年配者向けのイメージがあり、もっと工夫が必要だと思います。④
- ・色合いが地味に感じる。赤とか青とかはっきりした色がいい。東京では手に入らないので絶対いいと思う。④
- ・リバーシブルで使えるともっと良いのでは？⑤
- ・巾着は使い道がない。⑥
- ・わざわざ買いに行きたいものとは思いません。⑦
- ・少し地味かも。巾着はあまり使わないので、ポーチの方がいい。⑧
- ・欲しいと思うが利用頻度は少なそう。⑨
- ・作りがしっかりしていて裏地もあるのは良いが、手作りで高いと思うので、あまり売れないかも。⑩
- ・好き、嫌いがはっきり分かれるような？⑪

午前の部参加モニター (11時30分～14時)			午後の部参加モニター (14時30分～17時)		
①30代女性	札幌市東区	未婚	⑥30代男性	札幌市南区	既婚
②30代女性	札幌市白石区	未婚	⑦30代男性	札幌市中央区	既婚
③30代女性	札幌市白石区	未婚	⑧30代女性	札幌市豊平区	既婚
④40代女性	札幌市白石区	既婚	⑨30代女性	札幌市東区	既婚
⑤50代女性	札幌市東区	既婚	⑩40代女性	札幌市東区	未婚
			⑪50代女性	札幌市北区	既婚



■調査から知り得た課題・改善点

- 1・デザインに関しては高い関心があるが、普段使ううえで形状や用途を再度検討する必要がある。  
アイヌ文様に対しての興味や美しさに対して「利用してみたい」という意見が多くあった。しかし巾着袋と言う形状が今回のモニター世代(30代～60代)ではあまり利用しない雑貨であり、「ポーチやエコバックならぜひ利用したい」という意見が多く聞かれた。デザインの的にも地味な色合いのものよりカラフルな物なら普段の生活の中で取り入れたいという意見が多くあった。
- 2・販売先は、商品背景が説明できる場所  
形状や利用の用途を再度検討し、アイヌ民族博物館などアイヌ文化の発信場所で当初販売することが望ましい。

## ■調査で知り得た要点

今回の開発商品調査についての総括として

### 1・各商品の市場性は、ある程度許容範囲で成立している。

今回の開発商品に関しては、食材、雑貨アクセサリを含め、概ね好感を持って評価された。雑貨の一部商品については、利用方法の説明や提案が必要な物があった。

- ・キナのタペストリー～商品の利用提案が必要
- ・アイヌ文様の刺繍入り巾着～形状等の変更により利用しやすい雑貨に改善

### 2・アイヌ文化の理解と浸透が商品の付加価値や価格にも反映される。

一部商品の味付けに関して「普段食べられない味」「薄い味」等の評価があった、アクセサリに関しても、「日常的」「利用イメージがわからない」等の意見があったが、アイヌ文化の説明をし、商品の価値を理解することによって購入意欲が生まれ、商品に対しての興味が沸くというケースが多くあった。これは商品と商品情報をセットで発信することが、重要であることを示している。

### 3・当初販売はアイヌ文化の発信地である白老町・アイヌ民族博物館から始めることが必要。

「白老に観光で来た際に食べたい」「アイヌ民族博物館にあれば食べて(買って)見たい」という意見があったことを考慮して、情報発信地であるアイヌ民族博物館での当初販売を行うことが望ましい。アイヌ文化の一部である当該商品の価値を説明し、興味を持ってもらい、購入してもらう流れをつくる状況設定が必要である。

## ■調査テーマに沿った総括

<調査テーマ>

- 1・アイヌ文化の理解と浸透度～開発商品の背景にあたるアイヌ文化と民族の生活に関する理解と興味を確認する。
- 2・開発商品の市場性の検証～開発商品の市場での適応性と市場価値を調べる。

### ●調査テーマ1<アイヌ文化の理解と浸透度>

今回の商品開発モニター調査の中で分かったこととして、

アイヌ文様のデザインの美しさ、自然と共存する生活スタイル、現在にマッチした文化である等、とても好感度が高い認識があり、興味を持って意識していることがわかった。

しかしながら、情報を取得する場所が限られており、あまり具体的な知識を持っていない。たとえば、「開発商品に熊の置物はないのか?」「普段の生活でアイヌ様式の暮らしをしているのか?」等の質問があり、アイヌ文化に対して深く興味を持っているが、実際の知識が乏しいことがわかった。

### ●調査テーマ2<開発商品の市場性の検証>

今回の開発商品に関して、商品の評価が3つに分類できる。

#### 1・商品自体の価値が高く、購入してみたいと思うもの

<サケ皮ブックマーク><ストラップ(ルウンベ)>等

#### 2・アイヌ文化の背景の付加価値を情報発信することで商品価値が高まるもの

<創作弁当><アイヌ伝統食 オハウ><ストラップ(タマサイ)>等

#### 3・アイヌ文化の説明と共に利用シーンや生活の中での商品価値を説明する必要があるもの

<ハッソルベ><キナ(ゴザ)タペストリー><アイヌ文様刺繍入り巾着袋>

※アイヌ文様刺繍入り巾着袋に関しては、デザイン性の高さから形状や用途の変更で商品価値が高まり購買意欲が増す。

## ■最後に

今回の調査は、今後商品開発を進めていく上での課題を見つけ出すことを目的として、グループインタビュー形式調査(定性調査)を行った。

全体傾向を捉える統計調査(定量調査)のような調査ではないため、モニター個別の嗜好や趣向が残るため現時点での商品の完成度や購買動向の予測を行うことはできない。

今回の11名の消費者モニターの意見を参考に、商品の完成度を高め、定量調査や販売実証実験をおこない、商品化へとつなげていくことが必要であると思われる。

# 白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌 来場者アンケート

ご来場のお客様へ

『白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌』についてのアンケート調査ご協力をお願い

本日は、『白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌』にお越しいただきまして、ありがとうございます。

本日のフェアは、アイヌ民族文化を広く紹介することにより、アイヌ文化の普及啓発を図るとともに、道内外の観光客を白老地域に誘客するきっかけづくりとするものです。

フェアをご覧になられての率直なご意見をお聞かせいただき、その結果を今後の事業展開の参考として、さらなる魅力向上に努めてまいりたいと考えております。

なお、このアンケートは個人を特定する内容は含まれておらず、他の目的に使用することはありませんので、目的を十分にご理解いただき、皆さまのご協力をお願いいたします。

白老アイヌ民族博物館フェア in 札幌 主催者一同

<b>1 お客様について（プロフィール）お伺いいたします。</b>	
次のそれぞれの質問について、あてはまるものの数字を で囲んでください。 また、あてはまるものに（ ）がある時には（ ）内にその内容を記載してください。	
年齢について	1：10歳未満 2：20代 3：30代 4：40代 5：50代 6：60代 7：70歳以上
性別について	1：男性 2：女性
ご職業について	1：学生（ ） 2：会社員 3：公務員 4：教職員 5：自営業 6：パート等 7：無職 8：その他（ ）
お住まいについて	1：札幌圏（石狩管内） 2：札幌圏外の道内（市町村： ） 3：北海道外（都府県： ）
本日ご覧になった内容は（複数回答可）	1：アイヌ文化学習の教育プログラム紹介 2：アイヌ古式舞踊と祈り 3：アイヌ工芸品展示紹介
本日のフェアは何で知りましたか？（複数回答可）	1：ポスター（場所： ） 2：リーフレット（場所： ） 3：新聞報道 4：インターネット（サイト： ） 5：友人・知人等から 6：学校や職場で 7：ホテルに宿泊・食事等で訪れていたため 8：その他（ ）
アイヌ民族博物館（ホ・トコッ）が白老町にあることを知っていましたか？	1：知っていた 2：知らなかった
アイヌ民族博物館（ホ・トコッ）に行ったことがありますか？	1：ある（回数： ） 2：無い
本年9月末、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産一覧に追加記載されたのを知っていましたか？	1：知っていた 2：知らなかった
今後、フェアが開催された際に、また参加したいと思われましたか？	1：必ず参加したい 2：近郊で行われるなら参加したい 3：同じ内容なら参加しない 4：もう参加しない

・ウラ面に続きます

## 2 「アイヌ文化学習の教育プログラム紹介」にご参加された方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。(参加されなかった方は「3」へ)

教育プログラム紹介に参加された理由を教えてください	1: アイヌ文化に興味があった 2: 後学のために 3: 修学旅行の訪問先として検討したため 4: 関係者に勧められて 5: その他( )
紹介されたプログラムについてのご感想は?	1: 意図するメニューがあった 2: もっと詳しく話を聞きたい 3: 総合的な学習の時間でも活用できる 4: 意図するものでは無かった 5: その他( )
修学旅行等の訪問先としてアイヌ民族博物館(ホトコツ)は対象となるでしょうか?	1: 是非子供たちを連れて行きたい 2: 対象候補として考えたい 3: 現状では対象とはならない 4: 他の候補地に比べ魅力がない 5: その他( )

## 3 「アイヌ古式舞踊と祈り」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。(参加されなかった方は「4」へ)

ご参加された理由を教えてください	1: アイヌ文化に興味があった 2: 古式舞踊を見てみたかった 3: 古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思っていた 4: その他( )
ご覧になられた演目のご感想は? (複数回答可)	1: 斬新で大変興味深い 2: 心に響き惹きつけられた 3: 楽しい 4: また見たい 5: 奥深さを感じた 6: 普通 7: 長かった 8: 期待ほどではなかった 9: その他( )
参加されて、アイヌ文化に対する理解度・関心度はどう変わりましたか?	1: 理解度・関心度が高まった 2: 理解度は高まった 3: 関心度は高まった 4: 特に変化なし 5: その他( )
参加されてアイヌ民族博物館(ホトコツ)に行き見たいと思われましたか?	1: 是非行きたい 2: 機会があれば行きたい 3: 同じものが見られるなら行きたい 4: 行きたいと思わない 5: その他( )

## 4 「アイヌ工芸品展示紹介」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。(ご覧になられていない方は「5」へ)

展示されていた商品はいかがでしたか?	1: 大変興味深く購入したいと思った 2: 興味深かったが、購入したいとは思わなかった(価格等により) 3: 興味も湧かなかった
工芸品等で「このような物があれば欲しい」と思うものがございましたら、記入してください	(例: アイヌ伝統食材を用いた加工品、手軽に買える商品等)

## 5 フェア全体やアイヌ民族博物館(ホトコツ)について、またアンケート全体を通してのご意見・ご感想、期待することなどをお聞かせください。

【自由意見】

【ご協力ありがとうございました】

# 白老アイヌ民族博物館フェアin札幌(2009.12.9開催) 来場者アンケート簡易集計

## 1 来場者のプロフィールについて

年齢について		回答数	割合	備考
1	10歳未満	0	0.00%	
2	20代	17	15.45%	
3	30代	14	12.73%	
4	40代	30	27.27%	
5	50代	22	20.00%	
6	60代	20	18.18%	
7	70歳以上	5	4.55%	
8	未記入	2	1.82%	
性別について		回答数	割合	備考
1	男性	62	56.36%	
2	女性	46	41.82%	
3	未記入	2	1.82%	
職業について		回答数	割合	備考
1	学生	10	9.09%	
2	会社員	32	29.09%	
3	公務員	21	19.09%	
4	教職員	2	1.82%	
5	自営業	11	10.00%	
6	パート等	8	7.27%	
7	無職	21	19.09%	
8	その他	5	4.55%	
9	未記入	0	0.00%	
住まいについて		回答数	割合	備考
1	札幌圏(石狩管内)	100	90.91%	
2	札幌圏外の道内	7	6.36%	
3	北海道外	2	1.82%	神奈川・沖縄
4	未記入	1	0.91%	
参加内容(複数回答)		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化学習の教育プログラム紹介	41		
2	アイヌ古式舞踊と祈り	107		
3	アイヌ工芸品展示紹介	77		
フェア開催を何で知ったか(複数回答)		回答数	割合	備考
1	ポスター	13		白老町・北大・中央バスターミナル
2	リーフレット	20		北大・札幌駅・北白石地区センター
3	新聞報道	26		
4	インターネット	5		経済産業局
5	友人・知人から	36		
6	学校や職場で	20		
7	ホテルに宿泊・食事等で訪れていたため	0		
8	その他	4		通訳ガイド遠藤昌子氏のブログ・ヒリカコタン

アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか		回答数	割合	備考
1	知っていた	99	90.00%	
2	知らなかった	11	10.00%	
3	未記入	0	0.00%	
アイヌ民族博物館に行った事がありますか		回答数	割合	備考
1	ある 内数: 回数の記載の あったもの	62	56.36%	
	1:1回~2回	29		
	2:3回~5回	9		
	3:6回~9回	4		
	4:10回以上	10		
2	無い	46	41.82%	
3	未記入	2	1.82%	
古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか		回答数	割合	備考
1	知っていた	69	62.73%	
2	知らなかった	41	37.27%	
3	未記入	0	0.00%	
フェアにまた参加したいと思いましたが		回答数	割合	備考
1	必ず参加したい	28	25.45%	
2	近郊で行われるなら参加したい	74	67.27%	
3	同じ内容なら参加しない	5	4.55%	
4	もう参加しない	0	0.00%	
5	未記入	3	2.73%	

## 2 アイヌ文化学習の教育プログラム紹介に参加した方

教育プログラムに参加した理由		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化に興味があった	27	67.50%	
2	後学のために	6	15.00%	
3	修学旅行の訪問先として検討したいため	0	0.00%	
4	関係者に勧められて	7	17.50%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・不参加	70		
紹介されたプログラムについての感想		回答数	割合	備考
1	意図するメニューがあった	16	43.24%	
2	もっと詳しく話を聞きたい	13	35.14%	
3	総合的な学習の時間でも活用できる	4	10.81%	
4	意図するメニューが無かった	0	0.00%	
5	その他	4	10.81%	ムックリ(演奏)体験ができ、とてもおもしろかった。体験って大事だと実感した
6	未記入・不参加	73		
修学旅行等の訪問先として博物館は対象となるか		回答数	割合	備考
1	是非子どもたちを連れて行きたい	18	58.06%	
2	対象候補として考えたい	6	19.35%	
3	現状では対象とはならない	1	3.23%	
4	他の候補地に比べ魅力がない	1	3.23%	
5	その他	5	16.13%	内地の子どもたちに先住民族の存在の素晴らしさを伝えたい・町内会、同好会等でコースに入れて旅行したい
6	未記入・不参加	79		

### 3 アイヌ古式舞踊と祈りに参加した方

アイヌ古式舞踊と祈りに参加した理由		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化に興味があった	40	39.60%	
2	古式舞踊を見てみたかった	33	32.67%	
3	古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	27	26.73%	
4	その他	1	0.99%	
5	未記入	9		
演目の感想(複数回答)		回答数	割合	備考
1	斬新で大変興味深い	23	13.69%	
2	心に響き惹きつけられた	42	25.00%	
3	楽しい	24	14.29%	
4	また見たい	28	16.67%	
5	奥深さを感じた	45	26.79%	
6	普通	1	0.60%	
7	長かった	1	0.60%	
8	期待ほどではなかった	1	0.60%	
9	その他	3	1.79%	ヤイカデカラがとても美しく感動しました。・見たことの無い踊りも見れて良かった。
アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化		回答数	割合	備考
1	理解度・関心度が高まった	63	61.76%	
2	理解度は高まった	16	15.69%	
3	関心度は高まった	20	19.61%	
4	特に変化なし	3	2.94%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入	8		
参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか		回答数	割合	備考
1	是非行きたい	51	50.50%	
2	機会があれば行きたい	45	44.55%	
3	同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%	
4	行きたいと思わない	0	0.00%	
5	その他	5	4.95%	
6	未記入	9		

### 4 アイヌ工芸品展示紹介を見た方

展示されていた商品はどうでしたか		回答数	割合	備考
1	大変興味深く購入したいと思った	37	52.86%	
2	興味深かったが、購入したいとは思わなかった	33	47.14%	
3	興味も湧かなかった	0	0.00%	
4	未記入	40		
このような物があれば欲しいと思うもの				
アイヌ紋様を用いたトートバック、テーブルクロスなどをリーズナブルな価格で(60代/男性)				
もう少し小さめのポーチ(50代/男性)				
興味のあるものがそろっていました(50代/男性)				
トンコリを全国に広めるべき!(50代/男性)				
食器や調理器具(生活の中にアイヌ民族の文化が見えるので)(20代/女性)				
刺繍キット-布を貼り付ける方の(40代/女性)				

マキリ、イタなどの優秀な工芸品(50代/男性)
マキリ(40代/男性)
文房具関係(20代/女性)
置物、敷物、装身具の小物(70代/男性)
お茶(アイヌ文化の)(30代/女性)
工芸品ではないのですが、トンコリの曲とかユーカラの入ったCDがあれば買おうと思いました。3,000円ぐらいまでなら、今日聞いた後絶対買ってました。(20代/女性)
価格的に絵葉書も良いが、絵柄を生かしてランチョンマットなど実用性のあるものが良いのでは?木彫りもかわいいが、小皿など実用性と大人の感覚に耐えられる品格のあるものが欲しい。(50代/女性)
値段が高い 若い人の使うもの(40代)
脱脂しない羊毛を使った、アイヌ文様のセーター、手袋、スキー帽等(60代/男性)
刺繍物で、もうすこし実用的で可愛いのがあったと良いと思います。(20代/女性)
武具のレプリカやミニチュア。ドール用の衣装としてもミニチュアは面白いと思います。(30代男性)
人形(20代/女性)
名刺入れ、実用的なもので小さく安価なもの、ストラップ(30代/男性)
メッセンジャーバック(肩掛け)(30代/女性)
コンパクトトンコリ、手のひらサイズぐらいでほんとに弾けるやつ(20代/女性)
Tシャツ(20代/男性)

## 5 自由意見

修学旅行に来る子どもたちには是非事前学習をしてもらって、体験学習を通しおみやげを買ってもらって北海道を活力あるものにして欲しい(60代/女性)
フェアについて:せっかくの催しですから、子どもたち(特に小中学生)が参加できるようにできたらと希望する。たとえば土・日曜日の昼間に(60代/男性)
単に見せるだけではなく「心・魂」のあるものを説明して欲しかった、いつも自然に感謝し尊敬をもって踊ったり、儀式をすることを伝えて欲しい、それは現代人が忘れてのことだからです、観光の為は止めて欲しい、心の美しさ、神と人間の間にあるもっと深遠なもの、ナバホも観光になってしまったけれど、アイヌは心を見せたり観光にするのではなく、もと崇高な文化を伝えて欲しい、心を伝えて欲しい。(60代/女性)
周知宣伝が十分でなかったのでは?学術的にも非常に価値の高いものがあった。衣装が多様で勉強になった。ありがとうございました。(60代/男性)
主体的に継続的に発展していくことを期待致します。(40代/男性)
ポロコタンは単に収蔵品を並べただけの「博物館」ではなく、ワークショップなどによりアイヌ文化を身近に感じられ興味深い、さらに今回のような移動博物館があると嬉しいです、アイヌの衣装なども実際に伝統舞踊で身に着けているのを見て、より一層美しさを感じました。(30代/女性)
この様な機会が無料であるというのは大変すばらしいと思います。これを機会にアイヌ民族への理解が深まり、さらに色々学び教育現場で伝えていきたいと思いました。(20代/男性)
トンコリ伴奏での歌・舞を聴いて、サハリンで聴いた歌に類似していたので驚きました。アイヌ民族の生活圏が広大だったのだと思ひに至りました。(50代/男性)
世界で随一のアイヌ専門博物館として高度なものを育成していくことを期待します。と同時に、一般例も多くの人たちに受け入れられるようにがんばってください。(50代/男性)
和人(?)の人は素晴らしい、心に響くと語っていたが、隣のアイヌ系らしき人は(鶴の舞の時喋っていたから)くだらんと言っていた、日常化してしまえばそう思えるのか、アイヌの人も千差万別なのか、和人にとっては新鮮で自然に対する考え方に少なくともヒントを与えてくれる。(60代/男性)
北海道を代表する文化として大切にしたいです。(50代/女性)
今回のフェアには初めて参加させていただきました。今回、時間の関係から古式舞踊しかみることができなく残念でした。でも、大変有意義な時間でした。ありがとうございました。(20代/女性)
樺太地方の即興歌を聴いたのは、私の中では始めてだったと思いますが、本当に美しい音色、歌声で感動しました。(20代/女性)
新聞・テレビでPR(PRが足りない)(70代/男性)
踊りの時の歌の(歌詞)意味も知りたかったです。ありがとうございました。(30代/女性)
移動博物館、良い試みだと思う。(40代/男性)
開館の時に博物館を訪れてから幾歳月、展示品の説明書きが見づらくなりました、他の年配の方も同様なので、もう少し大きく、はっきりしていただければと思いました。(50代/女性)
インターネット(音楽・動画・踊り・物語)を利用した宣伝・普及、通販、レシピ。札幌での定期的な公演(有料で良い)(40代)
育成の人(ベウレ)もっとがんばって・・・(50代/女性)
生活と結びついた体験の場を開催し、白老に行く興味を広めてください。白老駅(JR)からの交通の便宜性を良くしてください。若い人たちが伝承を担っていることは大変うれしいことです。(60代/男性)
ハワイのフラの音楽とアイヌのと、とても似てるように感じる。なのに、フラはとっても知られているのに、アイヌのは知られていないのはおかしいと思う。もっともっと、日本の人たちは知るべきだと思った。(20代/女性)
子どもに見てもらいたいので、休日の昼間だったらよかったですと思います。白老町へ行ってみたいです。【つるの「クルルル」がすごくよかったです。7歳】(40代/女性)
踊りのワークショップがあれば是非参加したい、もっと、古式舞踊を、入場料を取っても良いからコンサートのように行って欲しい。(30代/男性)

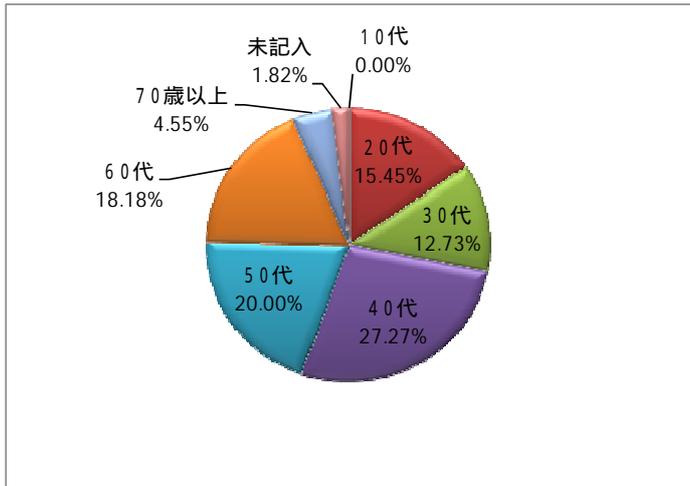
<p>普段博物館で見られない演目が沢山あって、面白かったです。ホテルだからなのか、歌やムックリ、トンコリの音色も非常にきれいに聞こえ、聞き惚れました。白老以外の地域の方の衣装や歌は始めて聞いたので、比較できて興味深かったです。画面に説明が出るのも分かりやすく良かったです。(20代/女性)</p>
<p>初めて見学致しました。機会があれば(又行きたい)と思います。(40代/男性)</p>
<p>ステージの状況が見にくいので、メインのスクリーンの両側に、カメラで映し出すようにすると良いと思う。(40代/男性)</p>
<p>ヤイカテカラが特に良かったです。是非又聞きたいと思いました。(20代/男性)</p>
<p>素晴らしい伝統文化がすたれぬよう、多くの人に関心を持ち、また参加していくことを願います。(50代/女性)</p>
<p>もっと普段の生活の中にアイヌのものが入っていくような仕掛け、取組みができれば良いと思う。頑張ってください。(30代/男性)</p>
<p>開演当初は入場者がまだ少なく、事前の周知が不足しているのかと心配したが、最終的には席がほとんど満席で良かったですね。(40代/男性)</p>
<p>楽しかったです、友人に誘ってもらってよかった！！あっという間の2時間でした。次の機会にはまた行きたいです！！あ、ただ1つ、友人を通さなければ今回のイベントを知ることはありませんでした。もっと大々的に予告を広めて欲しいですね。(20代/女性)</p>
<p>タイの山岳民族と踊りが似ていて驚いた。そして日本にも複数の民族が存在することを嬉しく思いました。おばさんの美声が印象的でした。(20代/男性)</p>
<p>アイヌの音楽性に特に感動しました！1つの文化で多様な表現があって良いと思います。(20代/男性)</p>



# 白老アイヌ民族博物館フェアin札幌(2009.12.9開催)来場者アンケート分析グラフ

## 1 来場者のプロフィールについて

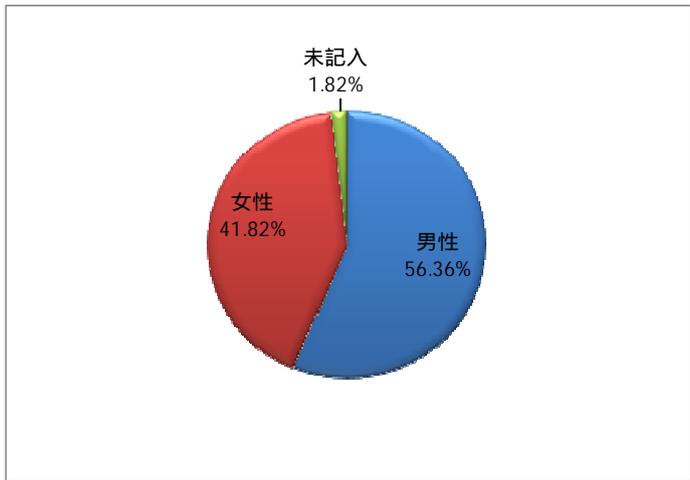
### 年齢について



区分	回答数	割合
10代	0	0.00%
20代	17	15.45%
30代	14	12.73%
40代	30	27.27%
50代	22	20.00%
60代	20	18.18%
70歳以上	5	4.55%
未記入	2	1.82%

アンケート回答者における10代の参加者については、開催日時の関係から0となった(子連れ参加者はあった)。  
全体においては、40代が27%と最も多かった、また、20代~30代、50代~60代の参加人数はほぼ横並びの人数となっている。

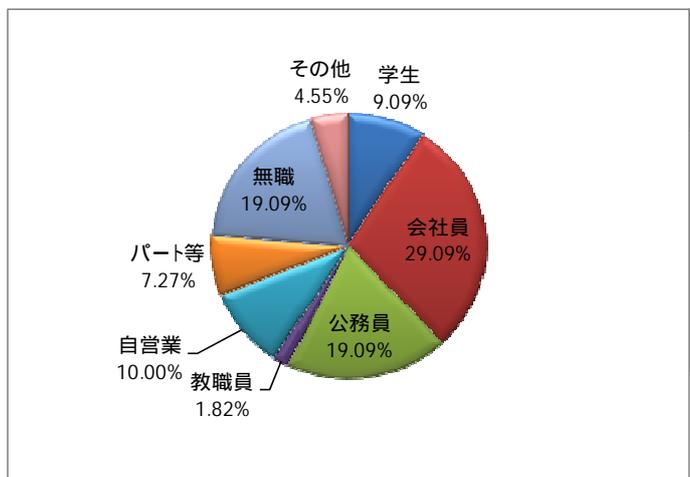
### 性別について



区分	回答数	割合
男性	62	56.36%
女性	46	41.82%
未記入	2	1.82%

参加者の性別については、男性の比率が高い。それは、参加者の職業で会社員・公務員が約50%となっていることも影響していると思われる。

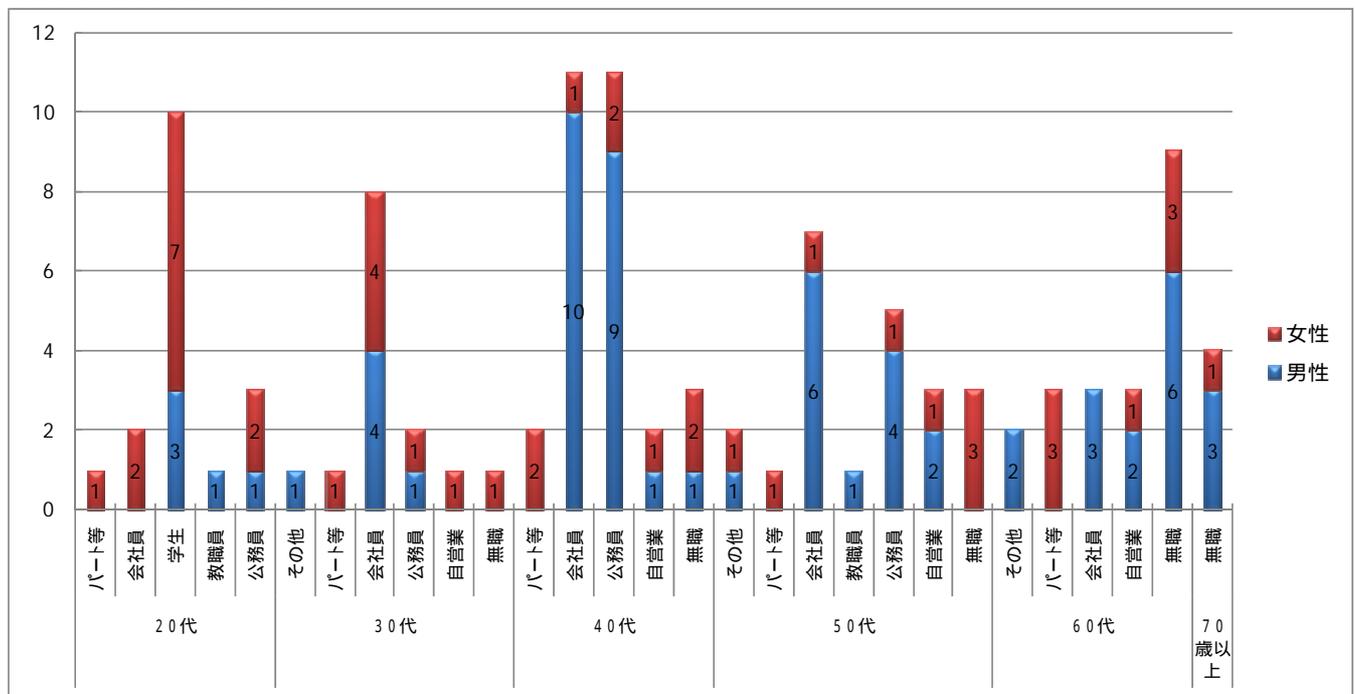
### 職業について



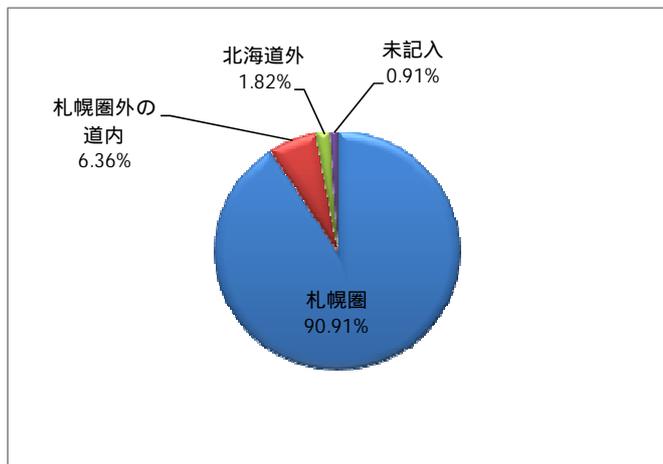
区分	回答数	割合
学生	10	9.09%
会社員	32	29.09%
公務員	21	19.09%
教職員	2	1.82%
自営業	11	10.00%
パート等	8	7.27%
無職	21	19.09%
その他	5	4.55%
未記入	0	0.00%

参加者の職業では、会社員・公務員・教職員が占める割合が50%となっている。  
「アイヌ文化の学習教育プログラム」は教職員向けの内容となっているが、開催日時の関係から見込みを大幅に下回る参加(2人)となった。

年齢、性別、職業別集計



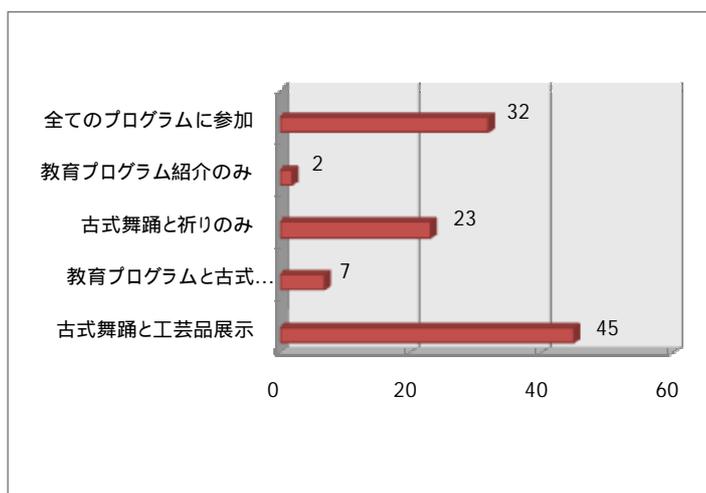
住まいについて



区分	回答数	割合
札幌圏(石狩管内)	100	90.91%
札幌圏外の道内	7	6.36%
北海道外	2	1.82%
未記入	1	0.91%

参加者の住まいについては、札幌開催であったため狙い通り札幌圏からの参加が多数を占めた。しかしながら、ターゲットの1つと考えていた札幌圏での宿泊者(旅行者)の参加が少数であった。

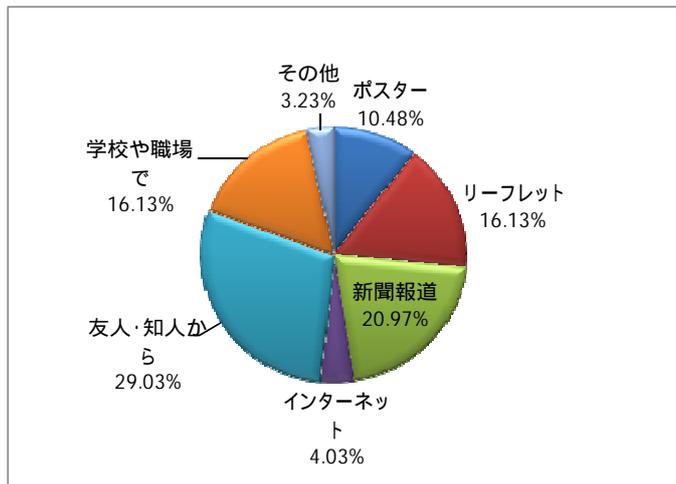
参加内容(複数回答)



区分	人数
全てのプログラムに参加	32
教育プログラム紹介のみ	2
古式舞踊と祈りのみ	23
教育プログラムと古式舞踊	7
古式舞踊と工芸品展示	45

参加者のほぼ全てが「アイヌ古式舞踊と祈り」に参加している。「アイヌ文化学習の教育プログラム紹介」は教職員を対象とした内容であったが、リーフレット等に各プログラムの時間表示がなかったこともあり、一般の参加が多く見られた。また、工芸品展示紹介についても、「古式舞踊と祈り」の1部終了時に休憩時間があったこともあり多くの参加がみられた。

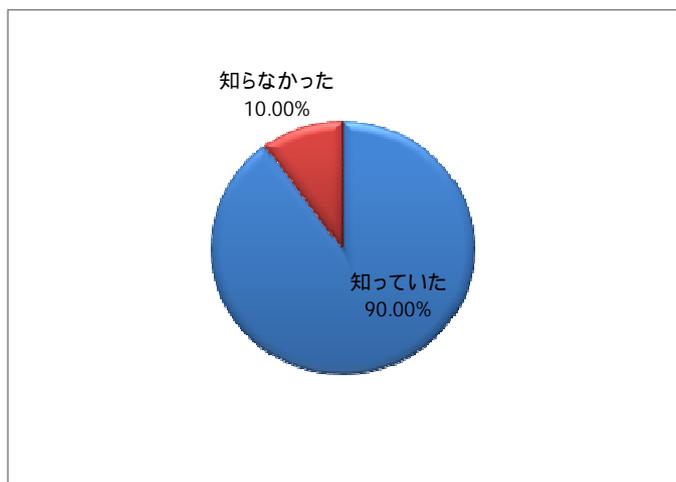
## フェア開催を何で知ったか(複数回答)



区分	回答数
ポスター	13
リーフレット	20
新聞報道	26
インターネット	5
友人・知人から	36
学校や職場で	20
ホテルに宿泊・食事等で訪れていたため	0
その他	4

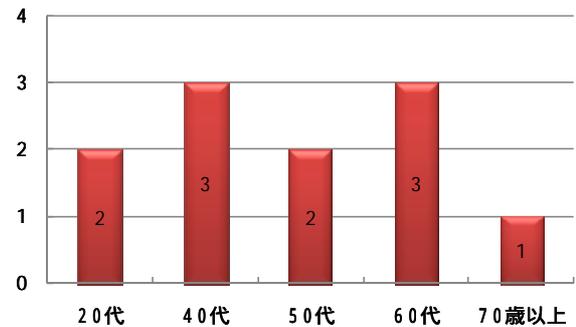
フェアの認知については、「友人・知人から」「学校や職場で」が45%を占め、人づてに知った参加者が多い。また、「ポスター」や「リーフレット」により知ったとの回答が27%あり、公共の場での設置が集客に効果的な役割を果たしている。しかしながら、自由意見では「周知・PRが足りない」との意見も多く、効果的なPR方法について検討する必要があると思われる。

## アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか

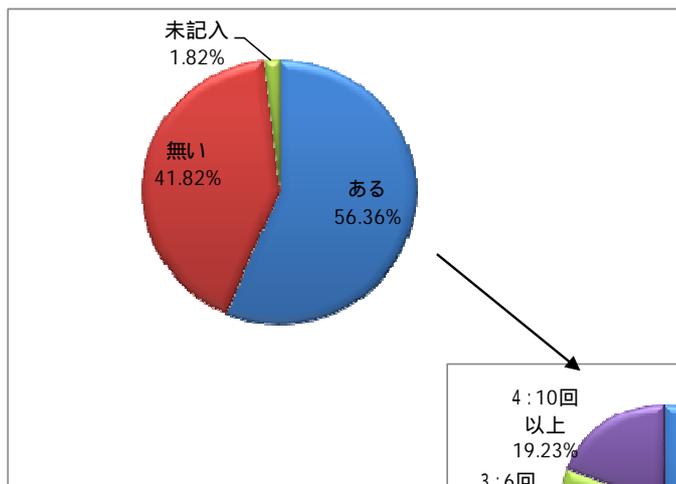


	回答数	割合
知っていた	99	90.00%
知らなかった	11	10.00%
未記入	0	0.00%

知らなかった人の内訳



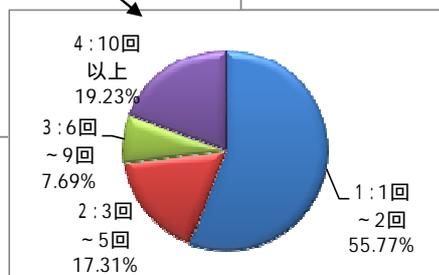
## アイヌ民族博物館に行った事がありますか



区分	回答数	割合
ある	62	56.36%
無い	46	41.82%
未記入	2	1.82%

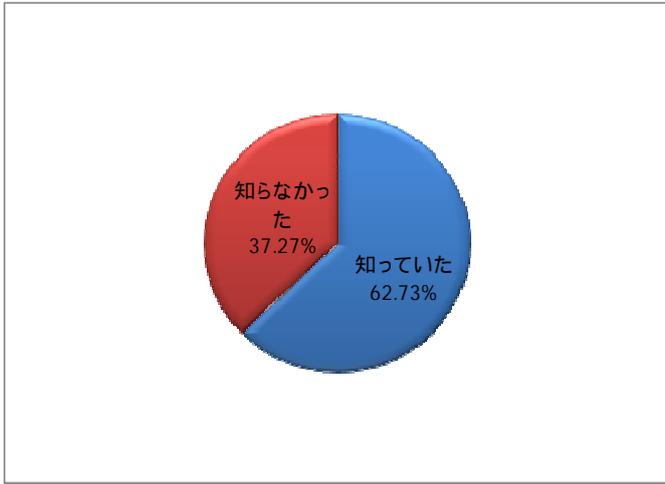
あるとした方の訪問回数

区分	回答数
1:1回~2回	29
2:3回~5回	9
3:6回~9回	4
4:10回以上	10



フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも約41%が博物館を訪れたことが無い結果となっている。そのため、フェアをきっかけに、博物館に足を運んでもらうような、積極的な働きかけ(動機付け)方法を検討する必要もあると考える。

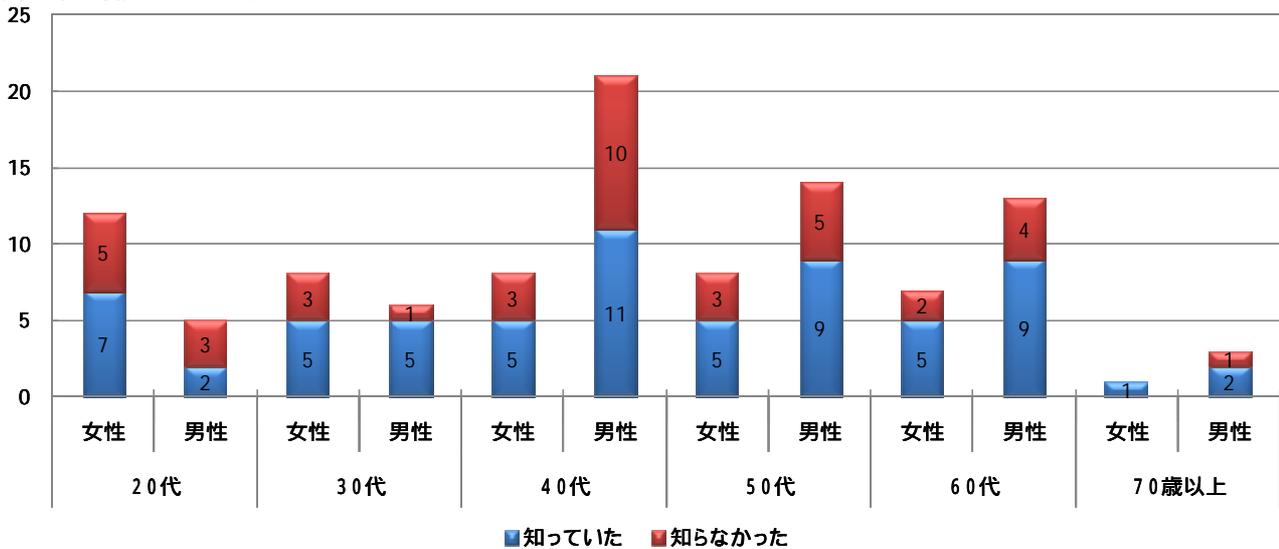
## 古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか



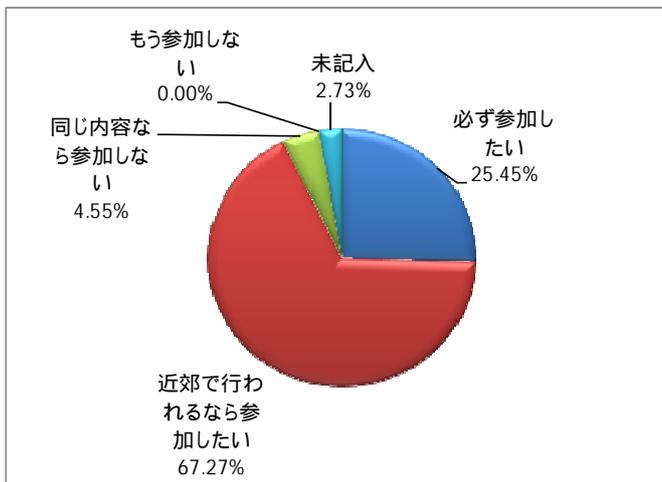
区分	回答数	割合
知っていた	69	62.73%
知らなかった	41	37.27%

フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも37%の人が、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産代表一覧へ追加記載されたことを認知していない状況にある。逆にアイヌ文化に興味・関心が無い者はさらにその割合が増えると考えられ、伝承を担う者、そして関連機関が積極的・能動的に情報発信に努め、認知度を高めることで、興味・関心を引いていくことが必要と考える。

### 年代・性別積み上げ人数



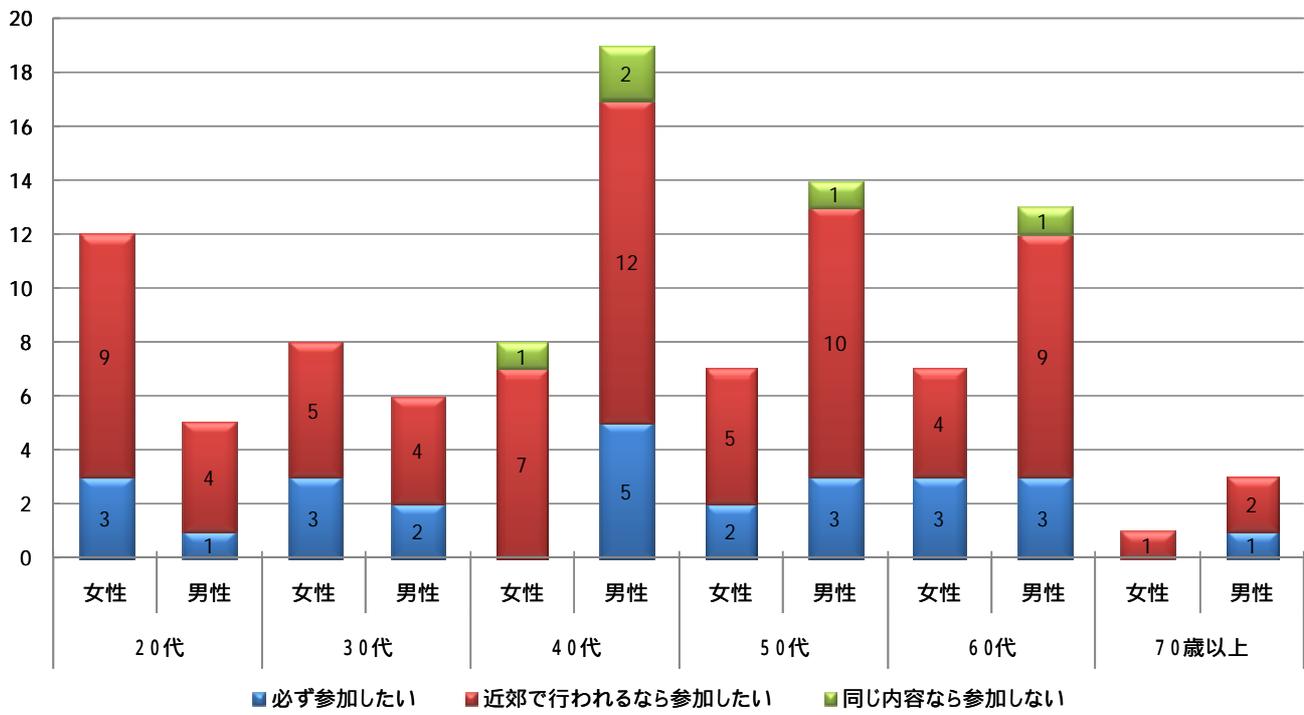
### フェアにまた参加したいと思いましたが



区分	回答数	割合
必ず参加したい	28	25.45%
近郊で行われるなら参加したい	74	67.27%
同じ内容なら参加しない	5	4.55%
もう参加しない	0	0.00%
未記入	3	2.73%

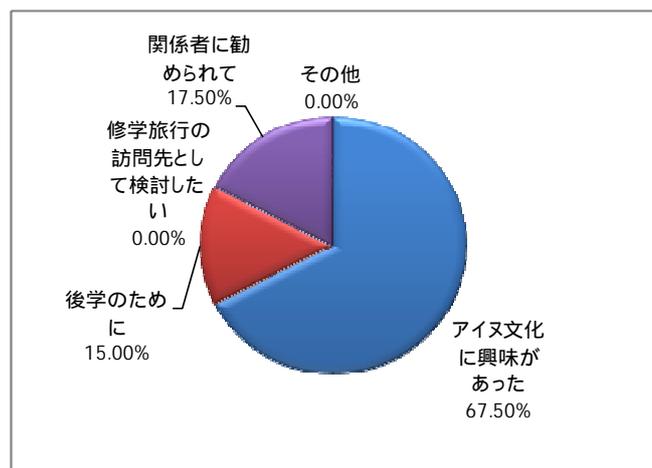
フェアに参加したほとんどの人が（約93%）、「必ず」又は「近郊で行われるなら」参加したいとの意思を持っており、フェアの内容等に対する評価は高いものとなっている。また、後述の3- の「フェアに参加し博物館へ行ってみたいと思ったか」との設問に対しても、約95%の参加者が「是非」又は「機会があれば」行きたいとの回答があり、フェアが博物館訪問のきっかけとなりうる事が分かる。

年代・性別区分による人数積み上げ



## 2 アイヌ文化学習の教育プログラム紹介に参加した方

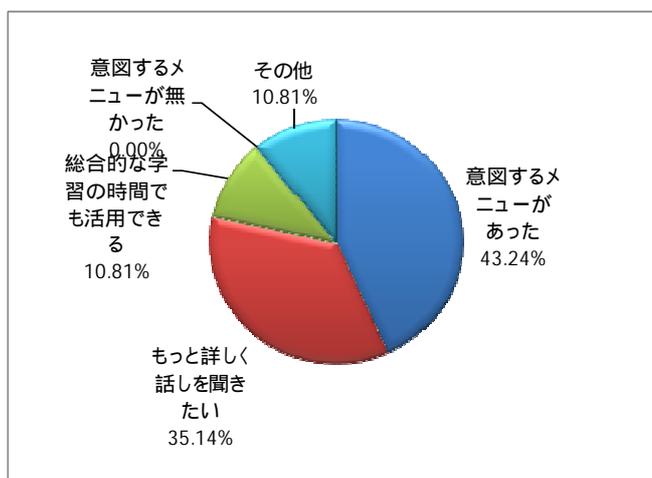
### 教育プログラムに参加した理由



区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があった	27	67.50%
後学のために	6	15.00%
修学旅行の訪問先として検討したい	0	0.00%
関係者に勧められて	7	17.50%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	70	

この設問は、教職者向けに設定されており、参加者のほとんどが教職員以外であったためその結果は参考程度のものとなるが、フェア参加の動機としては、「アイヌ文化に興味があった」ことが根底にあると推測される。

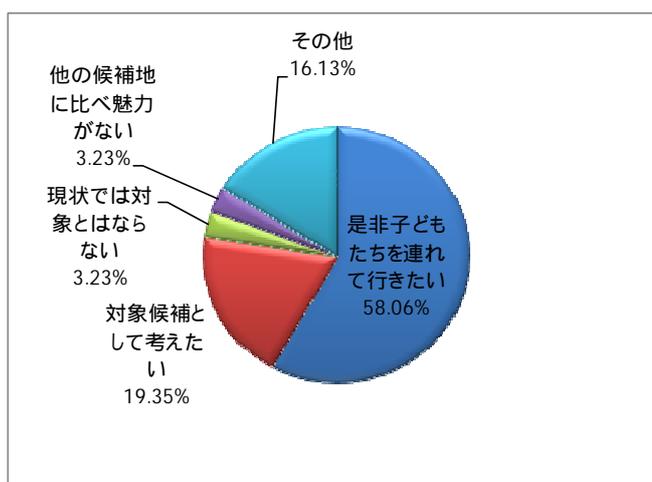
### 紹介されたプログラムについての感想



区分	回答数	割合
意図するメニューがあった	16	43.24%
もっと詳しく話を聞きたい	13	35.14%
総合的な学習の時間でも活用できる	4	10.81%
意図するメニューがなかった	0	0.00%
その他	4	10.81%
未記入・不参加	73	

この設問は、教職者向けに設定されており、参加者のほとんどが教職員以外であったためその結果は参考程度のものとなるが、参加者本人、又は、その子どもの体験メニューとして置き換え回答していると推測され、参加者の多くが「体験プログラムの内容」に興味を示した結果となっていると思われる。

### 修学旅行等の訪問先として博物館は対象となるか

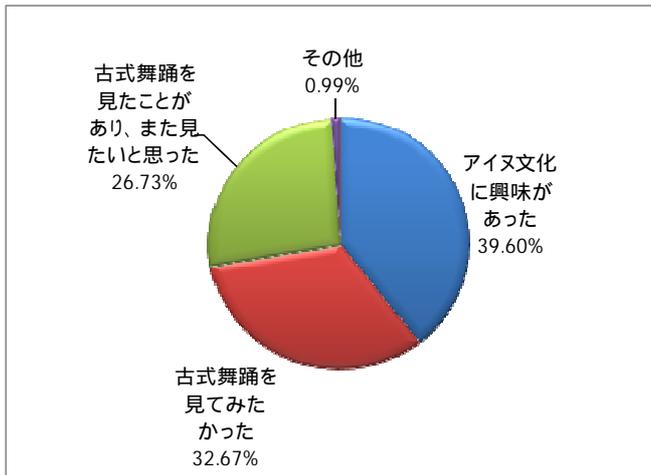


区分	回答数	割合
是非子どもたちを連れて行きたい	18	58.06%
対象候補として考えたい	6	19.35%
現状では対象とはならない	1	3.23%
他の候補地に比べ魅力がない	1	3.23%
その他	5	16.13%
未記入・不参加	79	

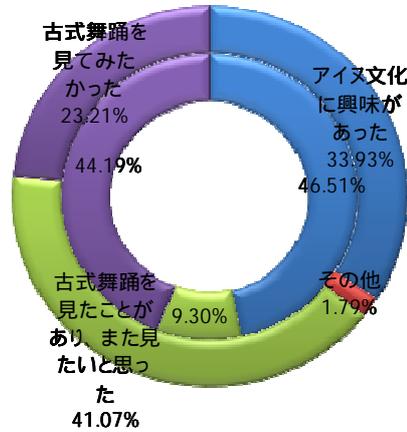
この設問は、教職者向けに設定されており、参加者のほとんどが教職員以外であったためその結果は参考程度のものとなるが、参加者本人、又は、その子どもの体験メニューとして置き換え回答していると推測され、参加者の多くが「体験プログラムの内容」に興味を示した結果となっていると思われる。

### 3 アイヌ古式舞踊と祈りに参加した方

#### アイヌ古式舞踊と祈りに参加した理由

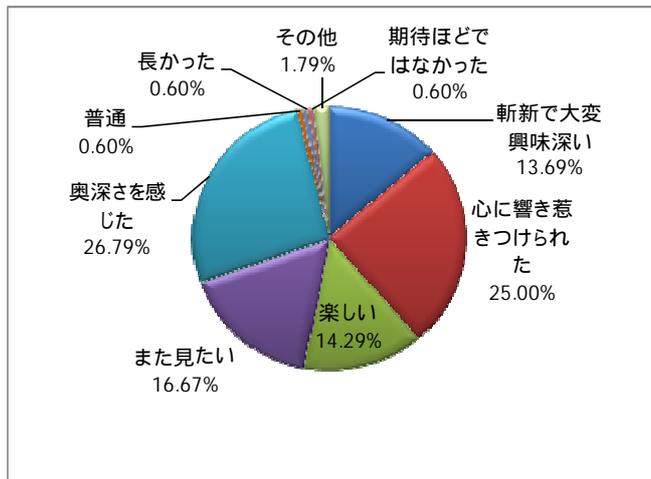


区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があった	40	39.60%
古式舞踊を見てみたかった	33	32.67%
古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	27	26.73%
その他	1	0.99%
未記入	9	



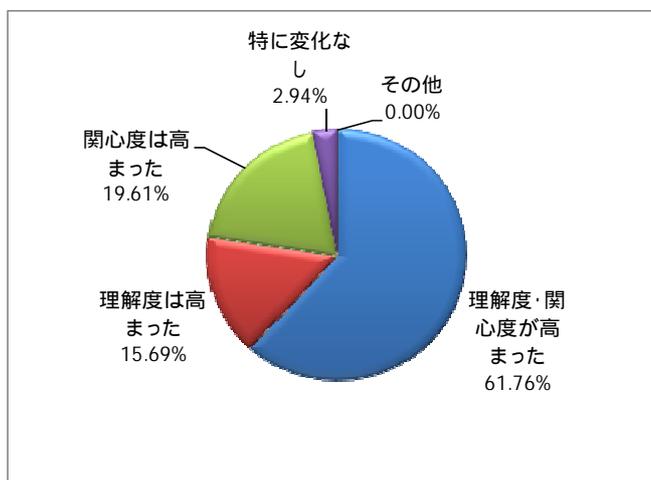
外円：  
博物館に行った事がある  
内円：  
博物館に行った事

#### 演目の感想(複数回答)



区分	回答数	割合
斬新で大変興味深い	23	13.69%
心に響き惹きつけられた	42	25.00%
楽しい	24	14.29%
また見たい	28	16.67%
奥深さを感じた	45	26.79%
普通	1	0.60%
長かった	1	0.60%
期待ほどではなかった	1	0.60%
その他	3	1.79%

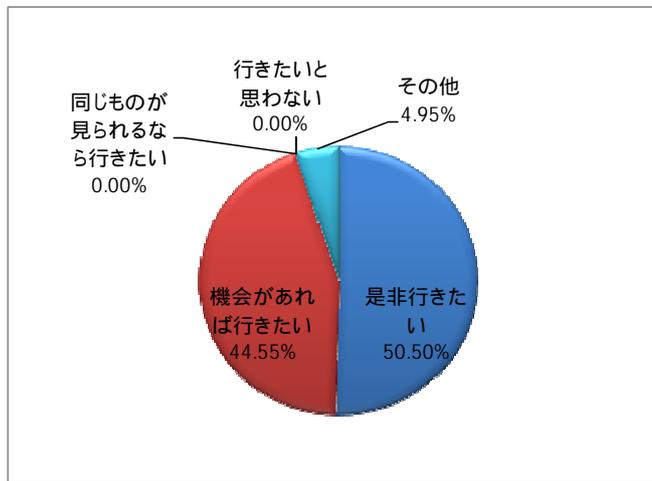
#### アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化



区分	回答数	割合
理解度・関心度が高まった	63	61.76%
理解度は高まった	16	15.69%
関心度は高まった	20	19.61%
特に変化なし	3	2.94%
その他	0	0.00%
未記入	8	

フェアに参加することで、理解度・関心度の両方、又は、どちらかの度合いが高まっていることが分かる。このことから、フェアがアイヌ文化の普及啓発についても効果があると考えられる。

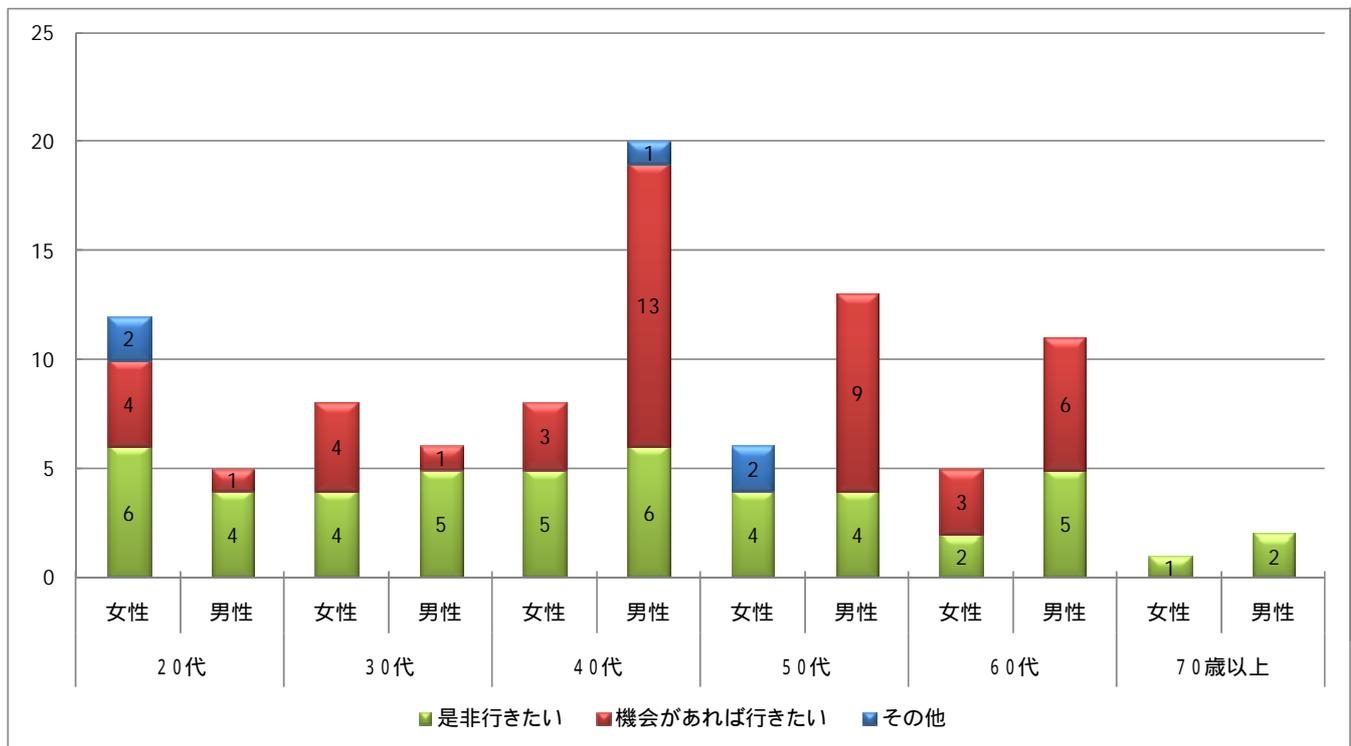
参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか



区分	回答数	割合
是非行きたい	51	50.50%
機会があれば行きたい	45	44.55%
同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%
行きたいと思わない	0	0.00%
その他	5	4.95%
未記入	9	

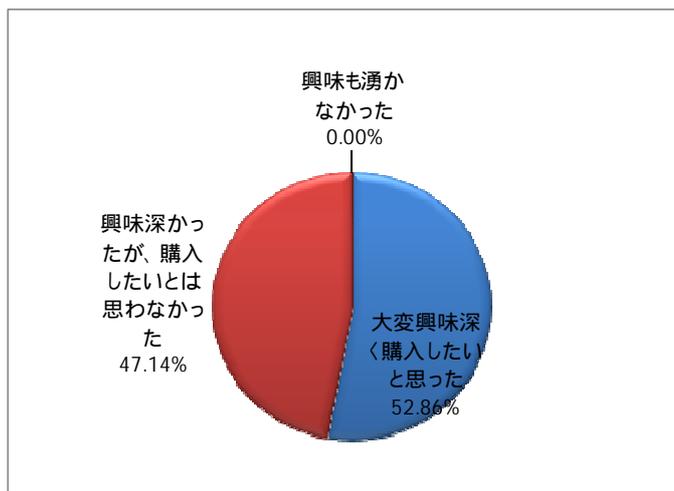
フェアに参加したほとんどの人（95%）が、「是非」又は「機会があれば」博物館に行ってみたいとの感想を持ち、博物館訪問の動機付けとしての効果も見込まれる。博物館で常時行う古式舞踊については、時間も短くフェアを体験した人は物足りなさを感じるかもしれないが、古式舞踊の時間も長い「ポロコタン之夜」を実施していることや、学習の場として、博物館の見学・体験学習メニューを体験し、アイヌ文化についてさらに学べる事を同時にPRする必要もある。また、「特別割引券」等の配付を行うことも、フェアの効果を検証できるとともに、博物館訪問のきっかけとして効果が期待できると考える。

年代・性別による積み上げ人数



## 4 アイヌ工芸品展示紹介を見た方

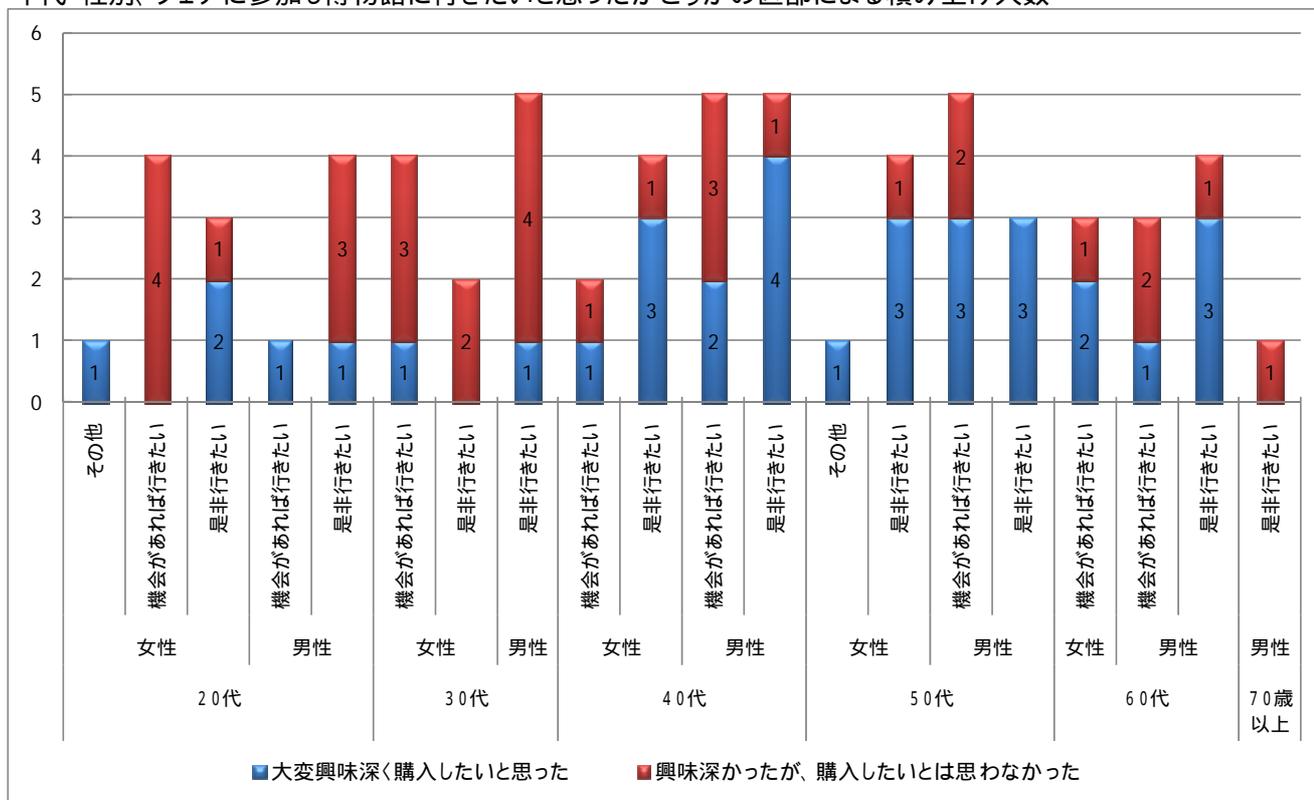
### 展示されていた商品はどうでしたか



区分	回答数	割合
大変興味深く購入したいと思った	37	52.86%
興味深かったが、購入したいとは思わなかった	33	47.14%
興味も湧かなかった	0	0.00%
未記入	40	

アイヌ工芸品等は物珍しさもあり、参加した人の興味を引く結果となったが、約半数の人は興味は持ったが購入しようとは思わないと回答している。このことは、展示しているものが工芸品等の全てではないが、自由回答であったように、日用品等日々の生活の中で活用できるものを求めている傾向も見られ、ニーズを調査することも必要と考える。

### 年代・性別、フェアに参加し博物館に行きたいと思ったかどうかの区部による積み上げ人数





# アイヌみんぱくフェア in はこだて 来場者アンケート

ご来場のお客様へ

『アイヌみんぱくフェア in はこだて』についてのアンケート調査ご協力をお願い  
 このフェアは、子ども向けのワークショップを中心に、広く一般にアイヌ文化を紹介すると  
 もに、白老町にあるアイヌ民族博物館の活動をPRするものです。  
 フェアをご覧になられての率直なご意見をお聞かせいただき、その結果を今後の事業展開の  
 参考として、さらなる魅力向上に努めてまいりたいと考えております。  
 アイヌみんぱくフェア in はこだて 主催者一同

本アンケートは、お子様記載面(学生用)と保護者様記載面(大人用)の両面になっております。  
 お手数ですが、それぞれについてご回答ください。

## お子様記載面【学生用 ~ 高校生】

\* お一人で参加(保護者等の参加無し)の場合は裏面【大人用】も記入ください

A1 次の、左側の「質問」にあてはまる答えを、右側の「答え」の中から一つだけ選び、  
 あてはまるものの数字を で囲んでください。  
 選んだ答えの後ろに ( ) がある場合には、( ) の中に答えを記入して  
 ください。(小さなお子様については、保護者の方が記入してください)

質問	答え
学校の種類と学年を教えてください	1: 小学生(学年: 年生) 2: 中学生(学年: 年生) 3: 高校生(学年: 年生) 4: その他( )
性別について	1: 男性 2: 女性
参加した体験は何ですか?	1: ムックリ製作・演奏体験 2: アイヌ文化刺繍体験
今日、体験に来た理由は何ですか?	1: アイヌ文化に興味があったので 2: 学校で勧められたので 3: 自由研究の製作として 4: 親が行こうと言ったので 5: その他( )
参加した体験の感想を教えてください	1: とても楽しかった 2: 楽しかった 3: 集中してやれた 4: 教え方が良かった 5: 普通 6: 難しかった 7: ちょっと難しかった 8: 教え方が悪かった 9: 大変だった 10: その他( )
アイヌ文化を授業で勉強したことがありますか?	1: ある( 年生の時) 2: ない
アイヌ文化の展示を見たことや、体験をしたことがありますか?	1: 展示を見たことがある(場所: ) 2: 体験をしたことがある(場所: ) 3: ない
体験をしてみて、アイヌ文化に興味を持ちましたか?	1: 興味を持った 2: 興味を持てなかった
体験をしてみて、また体験したいと思いましたか?	1: 同じ体験をしたい 2: 別の体験をしたい 3: 体験したいと思わない 4: その他( )
アイヌ文化の体験・学習のためにアイヌ民族博物館に行きたいと思いましたか?	1: 絶対に行ってみたい 2: 修学旅行など学校行事で行ってみたい 3: いつかは行ってみたい 4: 行きたいとは思わない 5: その他( )

# 保護者様記載面

【大人用】

## B 1 お客様（保護者の方等）について（プロフィール）お伺いいたします。

次のそれぞれの質問について、あてはまるものの数字を で囲んでください。  
また、あてはまるものに（ ）がある時には（ ）内にその内容を記載してください。

年齢について	1：10代    2：20代    3：30代    4：40代    5：50代 6：60代    7：70歳以上				
性別について	1：男性    2：女性	まなびっと広場 受講生ですか？	1：はい    2：いいえ		
参加人数は？	全体で（                      名）（大人                      名、子ども                      名）				
ご職業について	1：学生（                      ）    2：会社員    3：公務員    4：教職員    5：自営業 6：団体職員    7：パート等    8：無職    9：その他（                      ）				
お住まいについて	1：函館市                      2：函館市以外の道内（市町村：                      ） 3：北海道外（都府県：                      ）				
本日参加されたワークショップは？	1：ムックリ製作・演奏体験                      2：アイヌ文化刺繍体験				
本日のフェアは何で知りましたか？ （複数回答可）	1：ポスター（場所：                      ）    2：リーフレット（場所：                      ） 3：新聞報道（                      新聞）    4：インターネット（サイト：                      ） 5：情報誌（                      ）    6：友人・知人等から    7：学校や職場で 8：その他（                      ）				
本日の体験の感想をお聞かせください	1：とても楽しかった                      2：楽しかった                      3：集中してやれた 4：教え方が良かった                      5：普通                      6：難しかった 7：ちょっと難しかった                      8：教え方が悪かった                      9：大変だった 10：その他（                      ）				
参加されて、アイヌ文化に対する理解度・関心度はどう変わりましたか？	1：理解度・関心度が高まった                      2：理解度は高まった 3：関心度は高まった                      4：特に変化なし 5：その他（                      ）				
アイヌ民族博物館(ホ・トコウ)が白老町にあることを知っていましたか？	1：知っていた                      2：知らなかった				
アイヌ民族博物館(ホ・トコウ)に行つたことがありますか？	1：ある（回数：                      ）    2：無い				
今後、フェアが開催された際に、また参加したいと思われましたか？	1：必ず参加したい    2：近郊で行われるなら参加したい 3：同じ内容なら参加しない    4：もう参加しない				
アイヌ文化の体験・学習のために、アイヌ民族博物館へ行きたい、子どもを連れて行きたいと思われましたか？	1：是非行きたい                      2：機会があれば行きたい 3：体験ができるなら行きたい    4：行きたいとは思わない				

## B 2 ワークショップやアイヌ民族博物館(ホ・トコウ)について、またアンケート全体を通しての、ご意見・ご感想、期待することなどをお聞かせください。

【自由意見】

【ご協力ありがとうございました】

A1 お子様用記載面( ~ 高校生)

学校の種類と学年を教えてください		回答数	割合	備考
1	小学生	2	11.76%	2年生
2	中学生	1	5.88%	3年生
3	高校生	0	0.00%	
4	その他	0	0.00%	
5	未記入・子ども以外	14	82.35%	
性別について		回答数	割合	備考
1	男性	0	0.00%	
2	女性	3	17.65%	
3	未記入・子ども以外	14	82.35%	
参加した体験は何ですか？		回答数	割合	備考
1	ムックリ製作・演奏体験	3	17.65%	
2	アイヌ文化刺繍体験	0	0.00%	
3	未記入・子ども以外	14	82.35%	
体験に来た理由は何ですか？		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化に興味があったので	1	5.88%	
2	学校で勧められたので	1	5.88%	
3	自由研究の製作として	1	5.88%	
4	親が行こうと言ったので	0	0.00%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・子ども以外	14	82.35%	
参加した体験の感想を教えてください		回答数	割合	備考
1	とても楽しかった	1	5.88%	
2	楽しかった	1	5.88%	
3	集中してやれた	0	0.00%	
4	教え方が良かった	0	0.00%	
5	普通	0	0.00%	
6	難しかった	1	5.88%	
7	ちょっと難しかった	0	0.00%	
8	教え方が悪かった	0	0.00%	
9	大変だった	0	0.00%	
10	その他	0	0.00%	
11	未記入・子ども以外	14	82.35%	
アイヌ文化を授業で勉強したことがありますか？		回答数	割合	備考
1	ある	1		小学校3年生
2	ない	1		
3	未記入・子ども以外	15		

アイヌ文化の展示を見たことや、体験したことがありますか		回答数	割合	備考
1	展示を見たことがある	0	0.00%	
2	体験したことがある	2	11.76%	ポロトコタン
3	ない	0	0.00%	
4	未記入・子ども以外	15	88.24%	
体験をしてみて、アイヌ文化に興味を持ちましたか？		回答数	割合	備考
1	興味を持った	2	11.76%	
2	興味を持てなかった	0	0.00%	
3	未記入・子ども以外	15	88.24%	
体験をしてみて、また体験したいと思いましたか？		回答数	割合	備考
1	同じ体験をしたい	1	5.88%	
2	別の体験をしたい	1	5.88%	
3	体験したいと思わない	0	0.00%	
4	未記入・子ども以外	15	88.24%	
アイヌ文化の体験・学習のためにアイヌ民族博物館に行ってみようと思いましたが？		回答数	割合	備考
1	絶対に行ってみよう	1	5.88%	
2	修学旅行など学校行事で行ってみよう	0	0.00%	
3	いつかは行ってみよう	1	5.88%	
4	行きたいとは思わない	0	0.00%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・子ども以外	15	88.24%	

## B1 保護者様記載面

年齢について		回答数	割合	備考
1	10代	0	0.00%	
2	20代	0	0.00%	
3	30代	10	58.82%	
4	40代	2	11.76%	
5	50代	2	11.76%	
6	60代	1	5.88%	
7	70歳以上	1	5.88%	
8	未記入・子ども	1	5.88%	
性別について		回答数	割合	備考
1	男性	2	11.76%	
2	女性	14	82.35%	
3	未記入・子ども	1	5.88%	
まなびっと広場受講生ですか？		回答数	割合	備考
1	はい	1	5.88%	
2	いいえ	14	82.35%	
3	未記入・子ども	2	11.76%	
参加人数について		回答数	割合	備考
1	1人	3	17.65%	
2	2人	2	11.76%	
3	3人	2	11.76%	
4	4人	1	5.88%	
5	5人	4	23.53%	
6	6人	0	0.00%	
7	7人	1	5.88%	
8	未記入・子ども	4	23.53%	
職業について		回答数	割合	備考
1	学生	1	5.88%	
2	会社員	4	23.53%	
3	公務員	1	5.88%	
4	教職員	0	0.00%	
5	自営業	0	0.00%	
6	団体職員	0	0.00%	
7	パート等	2	11.76%	
8	無職	7	41.18%	
9	その他	1	5.88%	
10	未記入・子ども	1	5.88%	
住まいについて		回答数	割合	備考
1	函館市	14	82.35%	
2	函館市以外の道内	1	5.88%	北斗市
3	北海道外	1	5.88%	埼玉県
4	未記入・子ども	1	5.88%	

参加内容		回答数	割合	備考
1	ムックリ製作・演奏体験(ワークショップ)	11		
2	アイヌ文化刺繍体験(ワークショップ)	5		
フェア開催を何で知ったか(複数回答)		回答数	割合	備考
1	ポスター	1		
2	リーフレット	3		図書館、市民会館
3	新聞報道	2		函館新聞
4	インターネット	0		
5	情報誌	0		
6	友人・知人から	7		
7	学校や職場で	3		
8	その他	1		
参加した体験の感想を教えてください		回答数	割合	備考
1	とても楽しかった	11	64.71%	
2	楽しかった	2	11.76%	
3	集中してやれた	1	5.88%	
4	教え方が良かった	2	11.76%	
5	普通	0	0.00%	
6	難しかった	0	0.00%	
7	ちょっと難しかった	0	0.00%	
8	教え方が悪かった	0	0.00%	
9	大変だった	0	0.00%	
10	その他	0	0.00%	
11	未記入・子ども	1	5.88%	
アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化		回答数	割合	備考
1	理解度・関心度が高まった	7	41.18%	
2	理解度は高まった	3	17.65%	
3	関心度は高まった	6	35.29%	
4	特に変化なし	0	0.00%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・子ども	1		
アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか		回答数	割合	備考
1	知っていた	10	58.82%	
2	知らなかった	6	35.29%	
3	未記入・子ども	1	5.88%	
アイヌ民族博物館に行った事がありますか		回答数	割合	備考
1	ある 内数: 回数の記載の あったもの	4	23.53%	
	1:1回~2回	2		
	2:3回~5回	0		
	3:6回~9回	0		
	4:10回以上	1		
2	無い	12	70.59%	
3	未記入・子ども	1	5.88%	

フェアにまた参加したいと思いましたが		回答数	割合	備考
1	必ず参加したい	7	41.18%	
2	近郊で行われるなら参加したい	9	52.94%	
3	同じ内容なら参加しない	0	0.00%	
4	もう参加しない	0	0.00%	
5	未記入・子ども	1	5.88%	
アイヌ民族博物館に行きたい、子どもを連れて行きたいと思いましたが？		回答数	割合	備考
1	是非行きたい	7	41.18%	
2	機会があれば行きたい	8	47.06%	
3	体験ができるなら行きたい	0	0.00%	
4	行きたいとは思わない	0	0.00%	
5	未記入・子ども	2	11.76%	

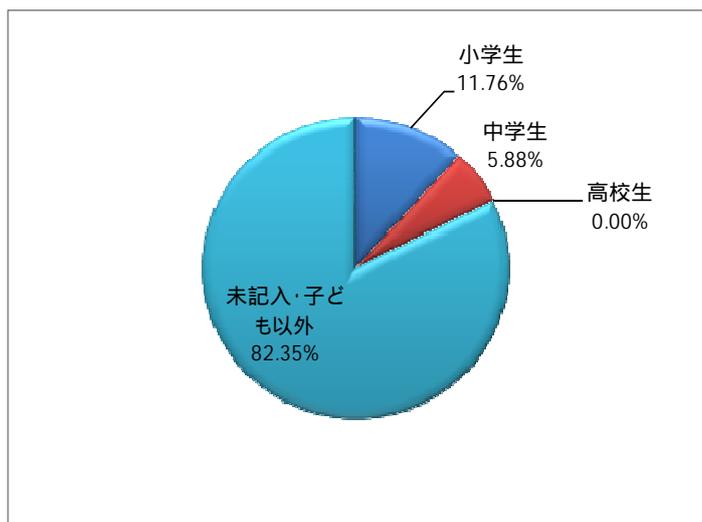
## B2 自由意見

詳しい歴史を知る所があればいいと思った。知りたかった。(30代/女性)
久しぶりに刺繍をしましたが、楽しくできました。もっと色々刺繍したくなりました。(30代/女性)
体験することや踊りを近くで見ることにより、アイヌ文化が身近に感じる事ができた。(30代/男性)
とても楽しむことが出来ました。もっと友人に声をかければ良かったと思います。函館はまだこういった事に関心の無い人が多いので、どんどんイベントをやって、まずは北海道から広めていきたいですね。(30代/女性)
参加型のワークショップ楽しかったです。滅多に見られない古式舞踊、ムックリ作りという貴重な体験ができ嬉しく思いました。ぜひ、また開催していただければと思います。(30代/女性)
とても勉強になりました。是非また機会があったらよろしくお願いします。(30代/男性)
アイヌの方に衣装の事など直接お話が伺えてうれしかった。また刺繍やってみたいです。(40代/女性)
やさしく教えていただき(とてもキレイな方でした)ありがとうございました。(30代/女性)
大変親切に教えていただいてとても良かったです。(40代/女性)
ムックリ作りはなかなか楽しかったです。以前から「音を鳴らすのは難しい…」と思っていましたが、本当にそうでした。練習して音を鳴らせるようにしたいです。(30代/女性)
刺繍楽しかったです。又体験したいです。ありがとうございました。(60代/女性)



A1 お子様用記載面( ~ 高校生)

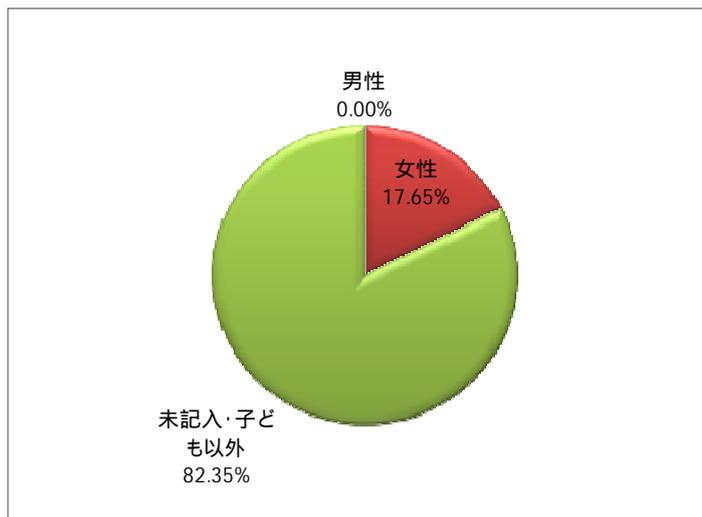
学校の種類と学年を教えてください



区分	回答数	割合
小学生	2	11.76%
中学生	1	5.88%
高校生	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども以外	14	82.35%

回収したアンケートの内、「A1 お子様記載面」に記載があったのは3件のみであったため、内容については分析ではなくあくまで参考としての記載となる。実際の子どもの参加は7名ほどであった。そのため、未記入となっているものの中には、高校生以下は含まれていないと推測される。

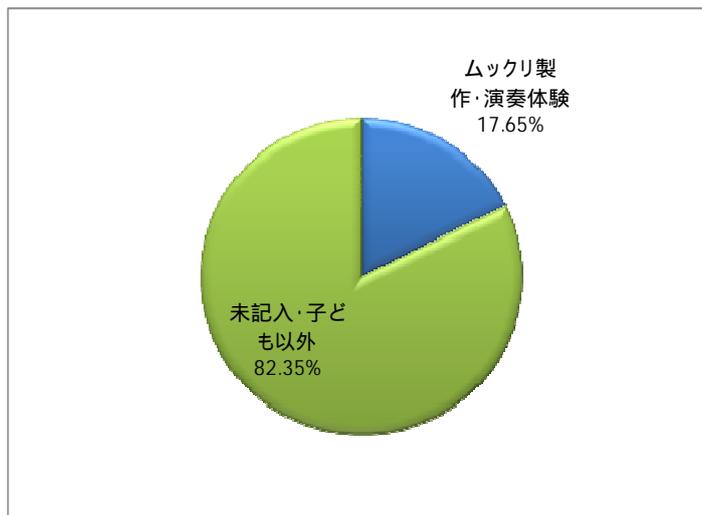
性別について



区分	回答数	割合
男性	0	0.00%
女性	3	17.65%
未記入・子ども以外	14	82.35%

実際の参加者には男性(男の子)も若干含まれていたが、回収できたのは女性(女の子)からのみとなった。

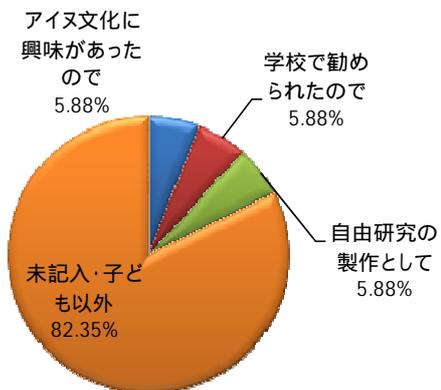
参加した体験は何ですか？



区分	回答数	割合
ムックリ製作・演奏体験	3	17.65%
アイヌ文化刺繍体験	0	0.00%
未記入・子ども以外	14	82.35%

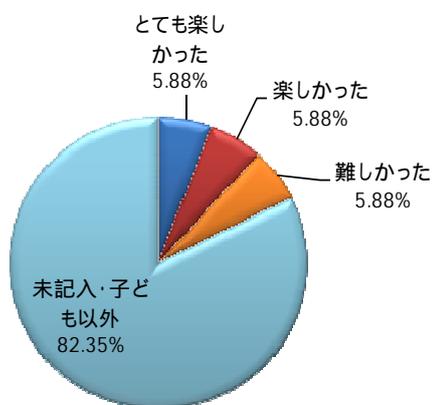
実際のワークショップの参加でも、刺繍体験に参加したのは女性(女の子)が1名のみであった。

## 体験に来た理由は何ですか？



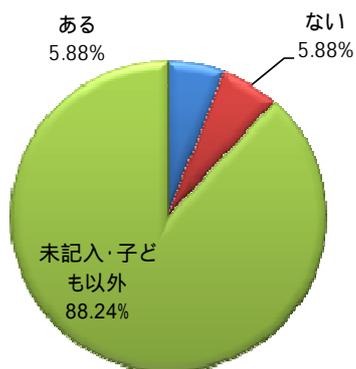
区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があったので	1	5.88%
学校で勧められたので	1	5.88%
自由研究の製作として	1	5.88%
親が行こうと言ったので	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども以外	14	82.35%

## 参加した体験の感想を教えてください



区分	回答数	割合
とても楽しかった	1	5.88%
楽しかった	1	5.88%
集中してやれた	0	0.00%
教え方が良かった	0	0.00%
普通	0	0.00%
難しかった	1	5.88%
ちょっと難しかった	0	0.00%
教え方が悪かった	0	0.00%
大変だった	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども以外	14	82.35%

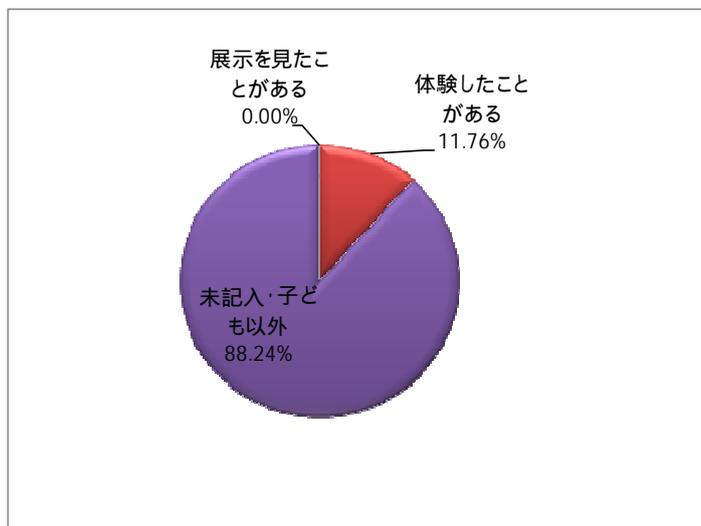
## アイヌ文化を授業で勉強したことがありますか？



区分	人数
ある	1
ない	1
未記入・子ども以外	15

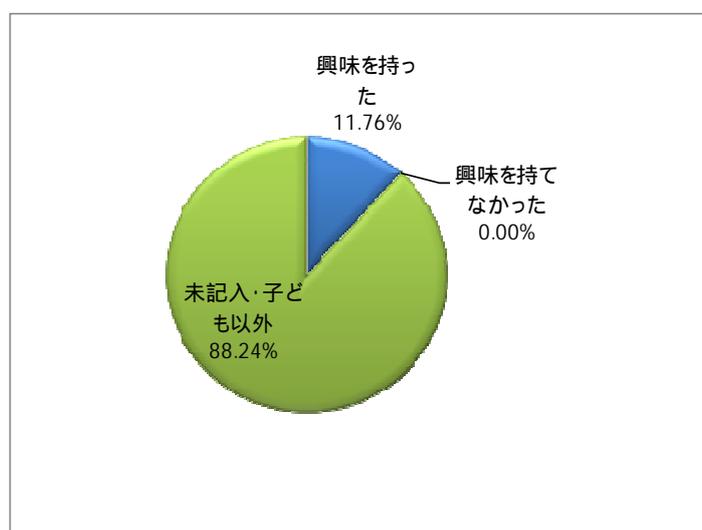
「ある」と答えた人は、小学校3年生の時に勉強したとのことであった。

## アイヌ文化の展示を見たことや、体験したことがありますか？



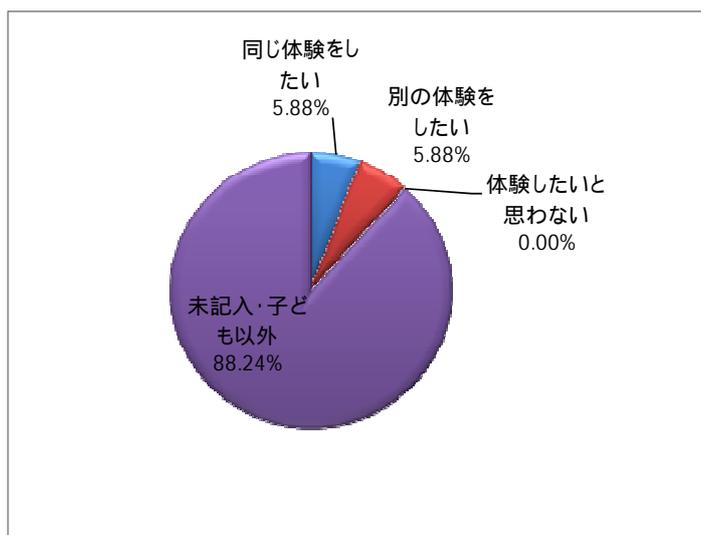
区分	回答数	割合
展示を見たことがある	0	0.00%
体験したことがある	2	11.76%
ない	0	0.00%
未記入・子ども以外	15	88.24%

## 体験をしてみて、アイヌ文化に興味を持ちましたか？



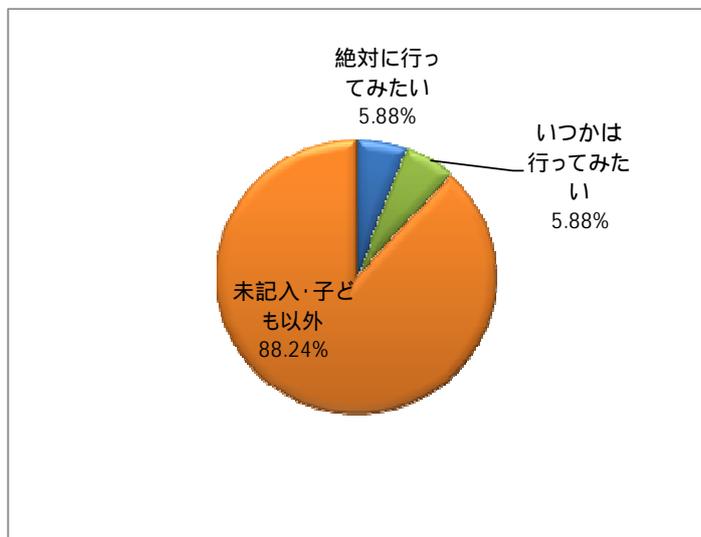
区分	回答数	割合
興味を持った	2	11.76%
興味を持てなかった	0	0.00%
未記入・子ども以外	15	88.24%

## 体験をしてみて、また体験したいと思いましたか？



区分	回答数	割合
同じ体験をしたい	1	5.88%
別の体験をしたい	1	5.88%
体験したいと思わない	0	0.00%
未記入・子ども以外	15	0.88%

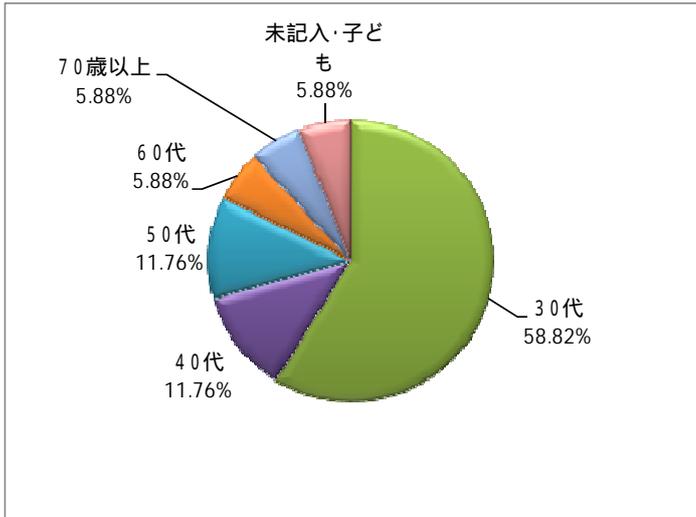
## アイヌ文化の体験・学習のためにアイヌ民族博物館に行ってみたくらいと思いませんか？



区分	回答数	割合
絶対に行ってみたくらい	1	5.88%
修学旅行など学校行事で行ってみたくらい	0	0.00%
いつかは行ってみたくらい	1	5.88%
行きたいとは思わない	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども以外	15	88.24%

## B1 保護者様記載面

### 年齢について



区分	回答数	割合
10代	0	0.00%
20代	0	0.00%
30代	10	58.82%
40代	2	11.76%
50代	2	11.76%
60代	1	5.88%
70歳以上	1	5.88%
未記入・子ども	1	5.88%

ワークショップの参加者は30代が約60%と最も多くなっている、一般用のアンケートでは年齢が分散していることから、この年代が突出しているのは、小・中学生の保護者として参加していることも一因であると思われる。

### 性別について



区分	回答数	割合
男性	2	11.76%
女性	14	82.35%
未記入・子ども	1	5.88%

参加者の性別については、女性の比率が高い。それは、ワークショップに参加した子どもの保護者として母親の参加や、アイヌ文様刺繍体験に女性が多く参加したためと思われる。

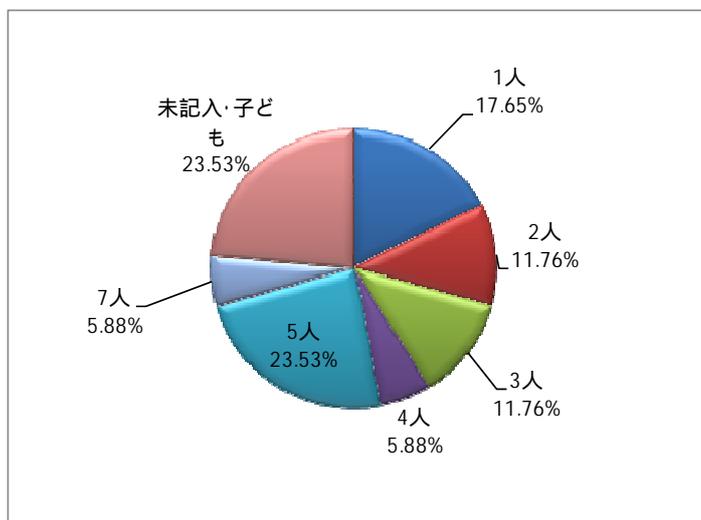
### まなびっと広場受講状況



区分	回答数	割合
はい	1	5.88%
いいえ	14	82.35%
未記入・子ども	2	11.76%

このフェアは、函館市が行っている生涯学習「HAKODATEまなびっと広場」の1講座と位置づけ開催したが、思ったほどの集客効果は上がらなかった。

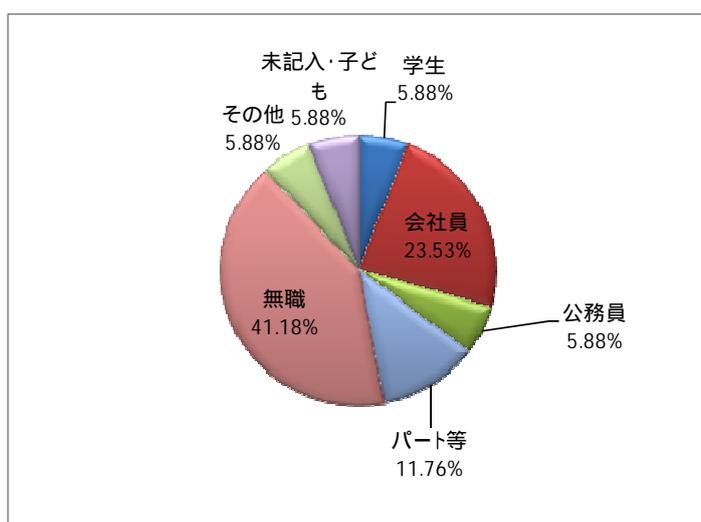
## 参加人数について



区分	回答数	割合
1人	3	17.65%
2人	2	11.76%
3人	2	11.76%
4人	1	5.88%
5人	4	23.53%
6人	0	0.00%
7人	1	5.88%
未記入・子ども	4	23.53%

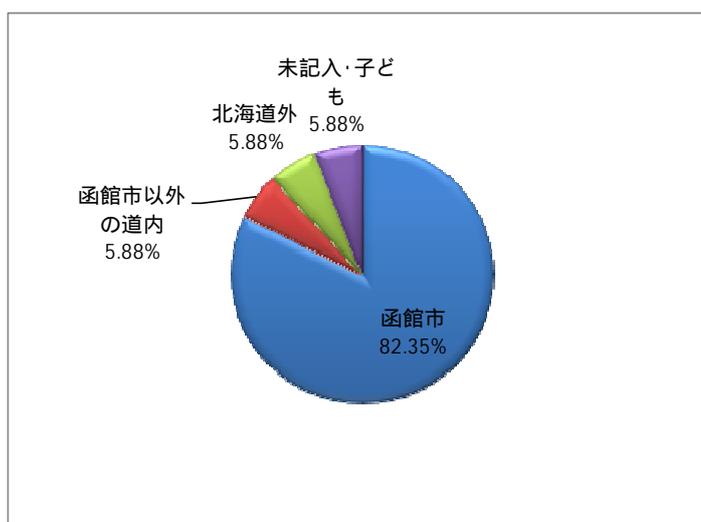
ワークショップの参加については、友人同士や家族単位などで、2人以上のある程度まとまった人数での参加が多かった。

## 職業について



区分	回答数	割合
学生	1	5.88%
会社員	4	23.53%
公務員	1	5.88%
教職員	0	0.00%
自営業	0	0.00%
団体職員	0	0.00%
パート等	2	11.76%
無職	7	41.18%
その他	1	5.88%
未記入・子ども	1	5.88%

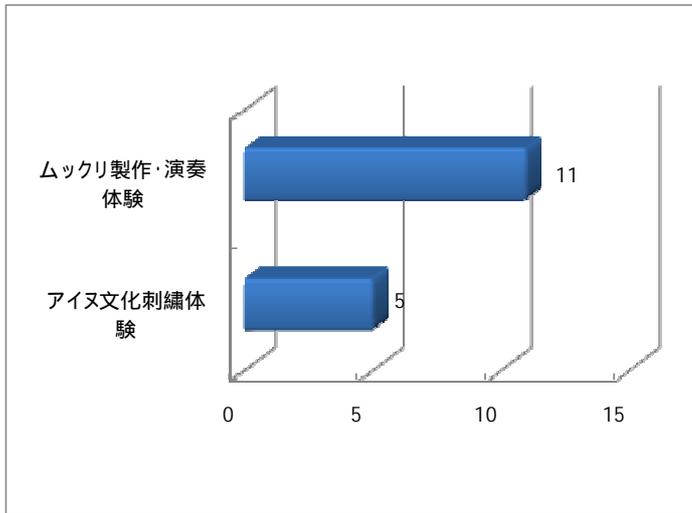
## 住まいについて



区分	回答数	割合
函館市	14	82.35%
函館市以外の道内	1	5.88%
北海道外	1	5.88%
未記入・子ども	1	5.88%

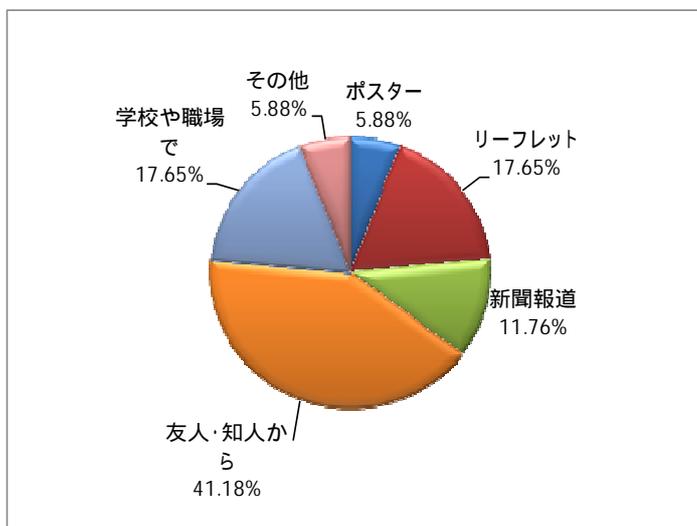
参加者の住まいについては函館開催であったため函館市からの参加が多数を占めた。

## 参加内容



区分	人数
ムックリ製作・演奏体験	11
アイヌ文化刺繍体験	5

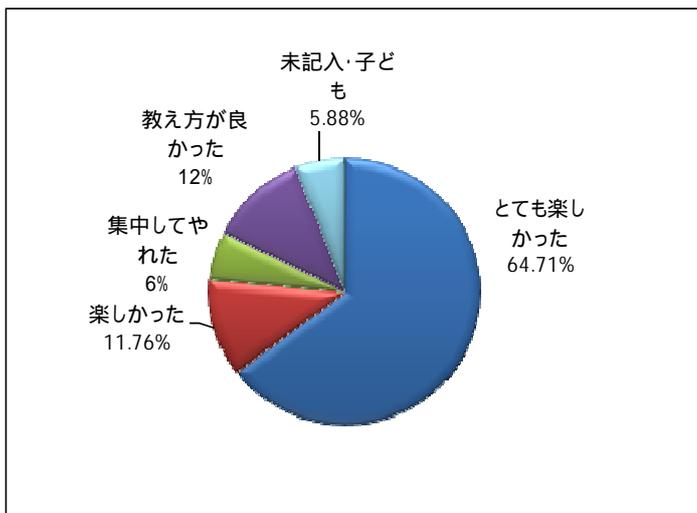
## フェア開催を何で知ったか(複数回答)



区分	回答数
ポスター	1
リーフレット	3
新聞報道	2
インターネット	0
情報誌	0
友人・知人から	7
学校や職場で	3
その他	1

フェアの認知については、誘い合わせて参加しているためか「友人・知人から」が42%を占めており、口コミで参加の裾が広がっていると思われる。

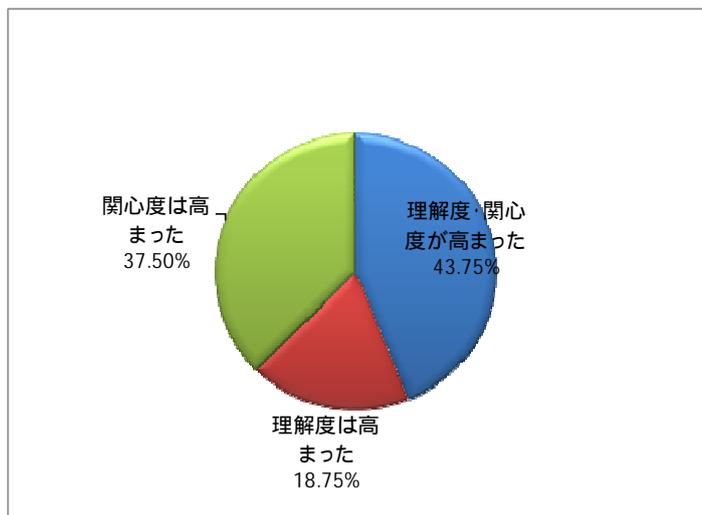
## 参加した体験の感想を教えてください



区分	回答数	割合
とても楽しかった	11	64.71%
楽しかった	2	11.76%
集中してやれた	1	5.88%
教え方が良かった	2	11.76%
普通	0	0.00%
難しかった	0	0.00%
ちょっと難しかった	0	0.00%
教えが悪かった	0	0.00%
大変だった	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども	1	5.88%

ワークショップについては、その講師が博物館での体験学習を行っていることもあり、楽しんで学べる環境を作りながら進めていたため、受講者も楽しんで取り組んでいたと考えられる。

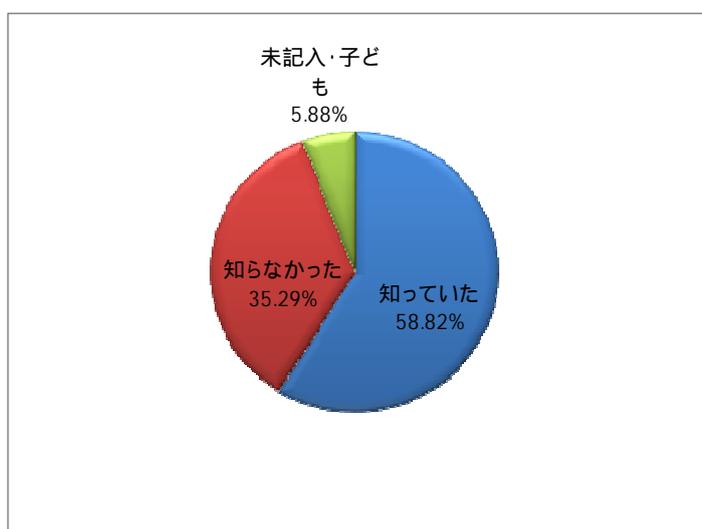
## アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化



区分	回答数	割合
理解度・関心度が高まった	7	41.18%
理解度は高まった	3	17.65%
関心度は高まった	6	35.29%
特に変化なし	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・子ども	1	5.88%

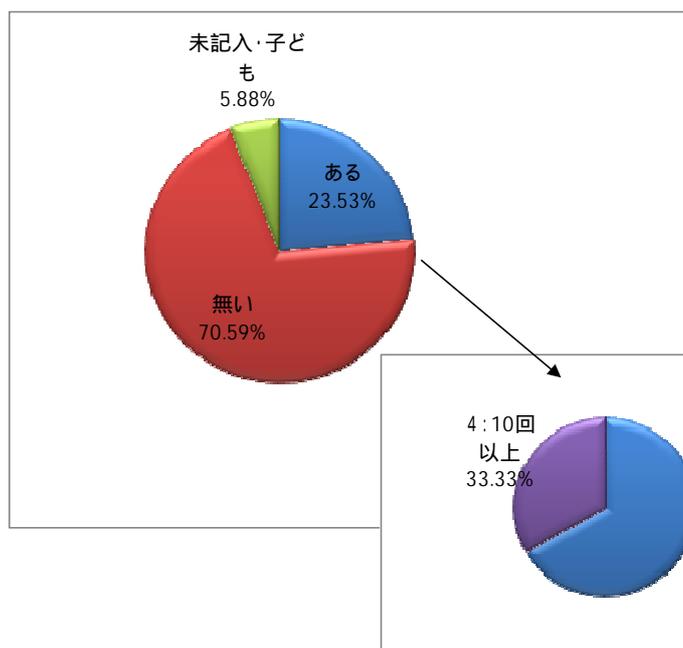
フェアに参加することで、理解度・関心度の両方、又は、どちらかの割合が高まっていることが分かる。このことから、ワークショップがアイヌ文化の普及啓発について効果的であると考えられる。

## アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか



区分	回答数	割合
知っていた	10	58.82%
知らなかった	6	35.29%
未記入・子ども	1	5.88%

## アイヌ民族博物館に行った事がありますか



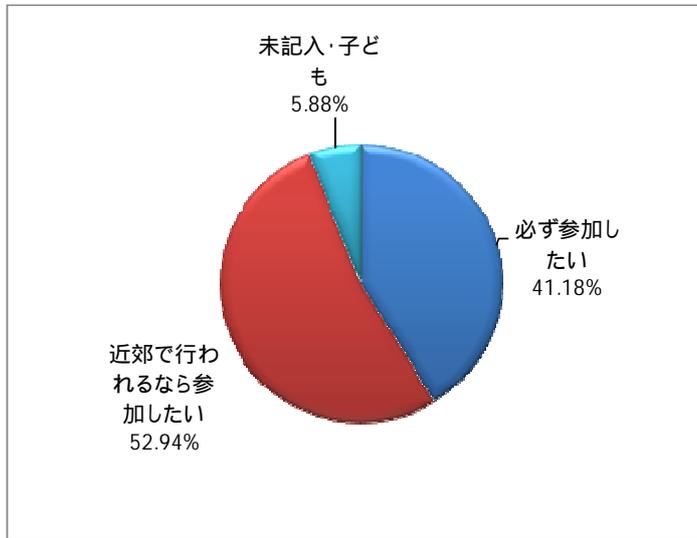
区分	回答数	割合
ある	4	23.53%
無い	12	70.59%
未記入・子ども	1	5.88%

### あるとした方の訪問回数

区分	回答数
1: 1回～2回	2
2: 3回～5回	0
3: 6回～9回	0
4: 10回以上	1

フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも約71%が博物館を訪れたことが無い結果となっている。そのため、フェアをきっかけに、博物館に足を運んでもらうような、積極的な働きかけ（動機付け）方法を検討する必要もあると考える。

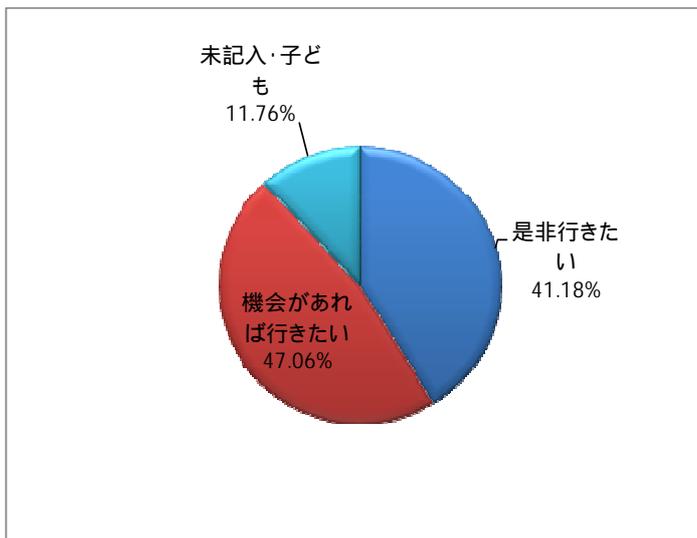
## フェアにまた参加したいと思いましたが



区分	回答数	割合
必ず参加したい	7	41.18%
近郊で行われるなら参加したい	9	52.94%
同じ内容なら参加しない	0	0.00%
もう参加しない	0	0.00%
未記入・子ども	1	5.88%

フェアに参加したほとんどの人が、「必ず」又は「近郊で行われるなら」参加したいとの意思を持っており、フェアの内容等に対する評価は高いものとなっている。また、次の「アイヌ民族博物館に行きたい、子どもを連れて行きたいと思いましたが？」との設問に対しても、アンケートを回収した有効回答の100%が「是非」又は「機会があれば」行きたい、連れて行きたいとの回答があり、フェアが博物館訪問のきっかけとなりうる事が分かる。

## アイヌ民族博物館に行きたい、子どもを連れて行きたいと思いましたが？



区分	回答数	割合
是非行きたい	7	41.18%
機会があれば行きたい	8	47.06%
体験ができるなら行きたい	0	0.00%
行きたいとは思わない	0	0.00%
未記入・子ども	2	11.76%

フェアを通じて、博物館に行きたい、子ども達を連れて行きたいとの意見が多かった。このことは、アイヌ文化について、また、アイヌ民族博物館で学べることや体験できることを、このようなフェアを通じて伝えることで、文化に興味を持ち、その興味をアイヌ民族博物館に向けるきっかけとして、大変有効的な方法になると考える。



# アイヌみんぱくフェア in はこだて 来場者アンケート

ご来場のお客様へ

『アイヌみんぱくフェア in はこだて』についてのアンケート調査ご協力をお願い

本日は、『アイヌみんぱくフェア in はこだて』にお越しいただきまして、ありがとうございます。

本日のフェアは、子ども向けのワークショップを中心に、広く一般にアイヌ文化を紹介するとともに、白老町にあるアイヌ民族博物館の活動をPRするものです。

フェアをご覧になられての率直なご意見をお聞かせいただき、その結果を今後の事業展開の参考として、さらなる魅力向上に努めてまいりたいと考えております。

なお、このアンケートは個人を特定する内容は含まれておらず、他の目的に使用することはありませんので、目的を十分にご理解いただき、皆さまのご協力をお願いいたします。

アイヌみんぱくフェア in はこだて 主催者一同

## 1 お客様について（プロフィール）お伺いいたします。

次のそれぞれの質問について、あてはまるものの数字を で囲んでください。  
また、あてはまるものに（ ）がある時には（ ）内にその内容を記載してください。

年齢について	1：10歳未満    2：10代    3：20代    4：30代    5：40代 6：50代    7：60代    8：70歳以上
性別について	1：男性    2：女性 <b>まなびっと広場 受講生ですか？</b> 1：はい    2：いいえ
ご職業について	1：学生( )    2：会社員    3：公務員    4：教職員    5：自営業 6：団体職員    7：パート等    8：無職    9：その他( )
お住まいについて	1：函館市    2：函館市以外の道内(市町村： ) 3：北海道外(都府県： )
本日参加された内容は(複数回答可)	1：アイヌ文化展示    2：ムックリ製作・演奏体験(ワークショップ) 3：アイヌ文化刺繍体験(ワークショップ)    4：アイヌ古式舞踊公演
本日のフェアは何で知りましたか？(複数回答可)	1：ポスター(場所： )    2：リーフレット(場所： ) 3：新聞報道(新聞)    4：インターネット(サイト： ) 5：情報誌( )    6：友人・知人等から    7：学校や職場で 8：その他( )
アイヌ民族博物館(ポトコタン)が白老町にあることを知っていましたか？	1：知っていた    2：知らなかった
アイヌ民族博物館(ポトコタン)に行ったことがありますか？	1：ある(回数： )    2：無い
本年9月末、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産一覧に追加記載されたのを知っていましたか？	1：知っていた    2：知らなかった
今後、フェアが開催された際に、また参加したいと思われましたか？	1：必ず参加したい    2：近郊で行われるなら参加したい 3：同じ内容なら参加しない    4：もう参加しない

・ウラ面に続きます

アイヌみんぱくフェア in はこだて 来場者アンケート調査にご協力をお願いいたします。

## 2 「アイヌ文化展示」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。( 参加されなかった方は「3」へ)

展示内容で最も興味深かったものは何ですか？	1：アイヌの伝統的な衣服 3：アイヌ文化を学ぶための教材 5：特になし	2：子どもの遊び道具 4：教育プログラムの紹介 6：その他( )
展示をご覧になられた感想は？ (複数回答可)	1：大変興味深い 4：独自の文化性を感じた 7：興味も引かなかった	2：興味深い 3：現代でも通用するデザイン 5：奥深さを感じた 6：普通 8：その他( )
紹介された教育プログラムについてのご感想は？ (複数回答可)	1：子ども達に体験させたい 3：大人も活用できる 6：魅力を感じない	2：もっと詳しい説明を聞きたい 4：普通 5：特段の感想はない 7：その他( )
教育プログラムとして希望されるものがありましたらご記入ください (このようなものがあれば、体験したいなど)	【自由意見】例：フィールドワークなどによりアイヌ文化を体感できるもの	

## 3 「アイヌ古式舞踊公演」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。( 参加されなかった方は「4」へ)

ご参加された理由を教えてください	1：アイヌ文化に興味があった 3：古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思っていた 4：子ども達に見せたいと思った	2：古式舞踊を見てみたかった 5：なんとなく 6：その他( )
「アイヌの古式舞踊」は見たことがありましたか？	1：生で見たことがある(場所： ) 2：テレビ等で見たことがある	3：初めて見た
ご覧になられた演目のご感想は？ (複数回答可)	1：斬新で大変興味深い 4：また見たい 8：期待ほどではなかった	2：心に響き惹きつけられた 3：楽しい 5：奥深さを感じた 6：普通 7：長かった 9：その他( )
参加されて、アイヌ文化に対する理解度・関心度はどう変わりましたか？	1：理解度・関心度が高まった 3：関心度は高まった 5：その他( )	2：理解度は高まった 4：特に変化なし
参加されてアイヌ民族博物館(ホトコク)に行って見たいと思われましたか？	1：是非行きたい 3：同じものが見られるなら行きたい 5：その他( )	2：機会があれば行きたい 4：行きたいと思わない

## 4 フェア全体やアイヌ民族博物館(ホトコク)について、またアンケート全体を通しての、ご意見・ご感想、アイヌ文化についてのお考えなどをお聞かせください。

【自由意見】

【ご協力ありがとうございました】

# アイヌみんぱくフェアinはこだて(2010.1.11開催) 来場者アンケート簡易集計

## 1 来場者のプロフィールについて

年齢について		回答数	割合	備考
1	10歳未満	2	5.26%	
2	10代	2	5.26%	
3	20代	5	13.16%	
4	30代	7	18.42%	
5	40代	8	21.05%	
6	50代	6	15.79%	
7	60代	3	7.89%	
8	70歳以上	3	7.89%	
9	未記入	2	5.26%	
性別について		回答数	割合	備考
1	男性	16	42.11%	
2	女性	20	52.63%	
3	未記入	2	5.26%	
まなびっと広場受講生ですか？		回答数	割合	備考
1	はい	3	7.89%	
2	いいえ	31	81.58%	
3	未記入	4	10.53%	
職業について		回答数	割合	備考
1	学生	6	15.79%	小学生、大学生
2	会社員	5	13.16%	
3	公務員	4	10.53%	
4	教職員	2	5.26%	
5	自営業	4	10.53%	
6	団体職員	1	2.63%	
7	パート等	1	2.63%	
8	無職	8	21.05%	
9	その他	4	10.53%	劇団員、歌手
10	未記入	3	7.89%	
住まいについて		回答数	割合	備考
1	函館市	32	84.21%	
2	函館市以外の道内	3	7.89%	
3	北海道外	0	0.00%	
4	未記入	3	7.89%	
参加内容(複数回答)		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化展示	30		
2	ムックリ製作・演奏体験(ワークショップ)	9		
3	アイヌ文化刺繍体験(ワークショップ)	9		
4	アイヌ古式舞踊公演	26		

フェア開催を何で知ったか(複数回答)		回答数	割合	備考
1	ポスター	2		函館中央図書館
2	1:1回~2回	7		函館中央図書館、博物館、市役所
3	新聞報道	11		北海道新聞・函館新聞
4	インターネット	1		アイヌ民族博物館
5	情報誌	1		市政はこだて
6	友人・知人から	10		
7	学校や職場で	4		
8	その他	1		テレビ(NHK)
アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか		回答数	割合	備考
1	知っていた	27	71.05%	
2	知らなかった	9	23.68%	
3	未記入	2	5.26%	
アイヌ民族博物館に行った事がありますか		回答数	割合	備考
1	1:1回~2回 内数: 回数の記載の あったもの	15	39.47%	
	1:1回~2回	4		
	2:3回~5回	2		
	3:6回~9回	2		
	4:10回以上	1		
2	無い	21	55.26%	
3	未記入	2	5.26%	
古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか		回答数	割合	備考
1	知っていた	21	55.26%	
2	知らなかった	15	39.47%	
3	未記入	2	5.26%	
フェアにまた参加したいと思いましたが		回答数	割合	備考
1	必ず参加したい	19	50.00%	
2	近郊で行われるなら参加したい	15	39.47%	
3	同じ内容なら参加しない	1	2.63%	
4	もう参加しない	0	0.00%	
5	未記入	3	7.89%	

## 2 アイヌ文化展示をご覧になられた方

展示内容で最も興味深かったものは何ですか？		回答数	割合	備考
1	アイヌの伝統的な衣服	14	48.28%	
2	子どもの遊び道具	5	17.24%	
3	アイヌ文化を学ぶための教材	7	24.14%	
4	教育プログラムの紹介	0	0.00%	
5	特になし	0	0.00%	
6	その他	3	10.34%	トンコリ、祭壇
7	未記入・不参加	9		
展示をご覧になられた感想は？		回答数	割合	備考
1	大変興味深い	12	33.33%	
2	興味深い	11	30.56%	
3	現代でも通用するデザイン	2	5.56%	
4	独自の文化性を感じた	8	22.22%	
5	奥深さを感じた	3	8.33%	
6	普通	0	0.00%	
7	興味も引かなかった	0	0.00%	
8	その他	0	0.00%	
9	未記入・不参加	9		
紹介された教育プログラムの感想は？		回答数	割合	備考
1	子ども達に体験させたい	13	56.52%	
2	もっと詳しい説明を聞きたい	8	34.78%	
3	大人も活用できる	2	8.70%	
4	普通	0	0.00%	
5	特段の感想はない	0	0.00%	
6	魅力を感じない	0	0.00%	
7	その他	0	0.00%	
8	未記入・不参加	16		
教育プログラムとして希望するもの				
食について～自然の恵み				
アイヌ語・アイヌの踊りを習いたい				
アイヌ料理試食				

### 3 アイヌ古式舞踊公演をご覧になられた方

アイヌ古式舞踊公演に参加した理由		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化に興味があった	12	41.38%	
2	古式舞踊を見てみたかった	8	27.59%	
3	古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	6	20.69%	
4	子ども達に見せたいと思った	2	6.90%	
5	なんとなく	1	3.45%	
6	その他	0	0.00%	
7	未記入・不参加	9		
アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？		回答数	割合	備考
1	生で見たことがある	13	44.83%	白老・阿寒・帯広
2	テレビ等で見たことがある	6	20.69%	
3	初めて見た	10	34.48%	
4	未記入・不参加	9		
演目の感想(複数回答)		回答数	割合	備考
1	斬新で大変興味深い	6	17.14%	
2	1:1回~2回	10	28.57%	
3	楽しい	10	28.57%	
4	また見たい	5	14.29%	
5	奥深さを感じた	4	11.43%	
6	普通	0	0.00%	
7	長かった	0	0.00%	
8	期待ほどではなかった	0	0.00%	
9	その他	0	0.00%	
アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化		回答数	割合	備考
1	理解度・関心度が高まった	14	53.85%	
2	理解度は高まった	4	15.38%	
3	関心度は高まった	6	23.08%	
4	特に変化なし	2	7.69%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・不参加	12		
参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか		回答数	割合	備考
1	是非行きたい	17	62.96%	
2	機会があれば行きたい	10	37.04%	
3	同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%	
4	行きたいと思わない	0	0.00%	
5	その他	0	0.00%	
6	未記入・不参加	11		

## 4 自由意見

トンコリを弾いて森の中で歌ってみたい。(60代/女性)

アイヌの古式舞踊がとてもすばしかったです。(10代/女性)

舞踊のDVDが欲しい!(50代/女性)

生の歌声は本当にすばしかったです。来て良かった。(40代/女性)

函館在住のため身近で体験できて良かった。(20代/男性)

不思議な気持ちになりました。心地よかったです。

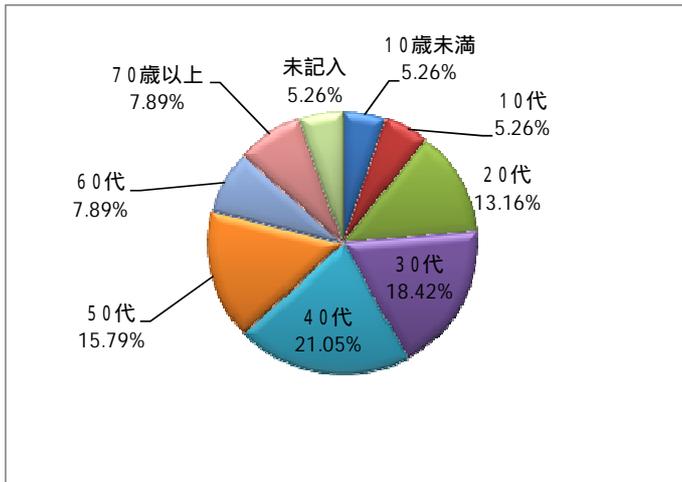
アイヌ民族文化伝承のため、これからも努力して下さい。私たちも頑張ります。(50代/男性)



# アイヌみんぱくフェアinはこだて(2010.1.11開催) 来場者アンケート分析グラフ

## 1 来場者のプロフィールについて

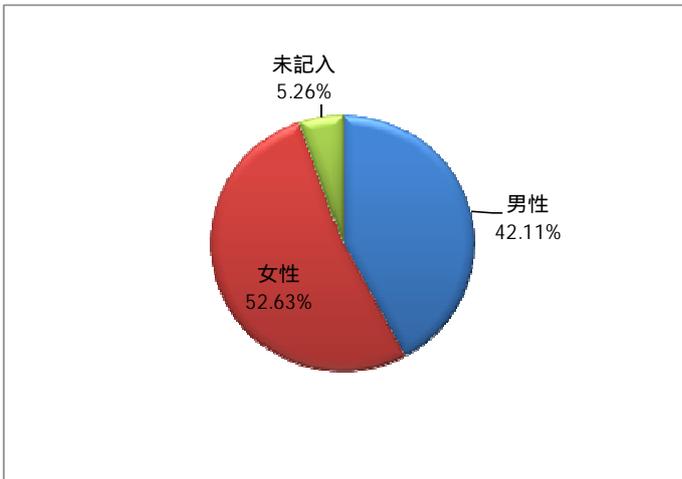
### 年齢について



区分	回答数	割合
10歳未満	2	5.26%
10代	2	5.26%
20代	5	13.16%
30代	7	18.42%
40代	8	21.05%
50代	6	15.79%
60代	3	7.89%
70歳以上	3	7.89%
未記入	2	5.26%

アンケート回収には繋がらなかったが、ワークショップを開催したことから10代以下の参加者も多く見られた。  
アンケート回収結果からは、40代が21%と最も多かった、また、20代～50代の参加人数はほぼ横並びの人数となり、全体的に分散している。

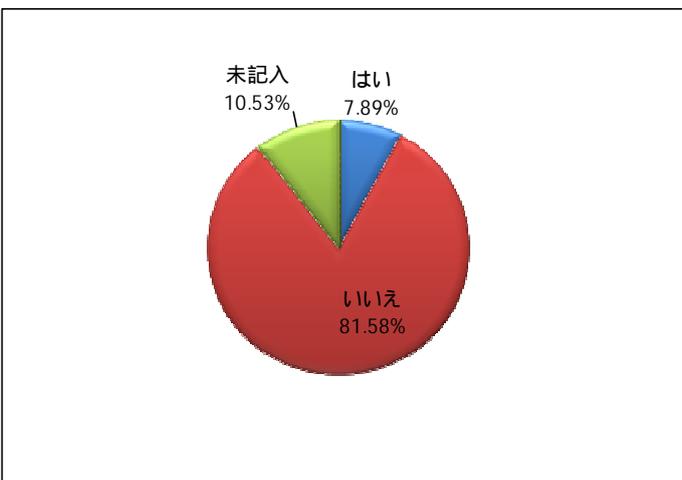
### 性別について



区分	回答数	割合
男性	16	42.11%
女性	20	52.63%
未記入	2	5.26%

参加者の性別については、女性の比率が高い。それは、ワークショップに参加した子どもの保護者として母親の参加や、アイヌ文様刺繍体験に女性が多く参加したためと思われる。

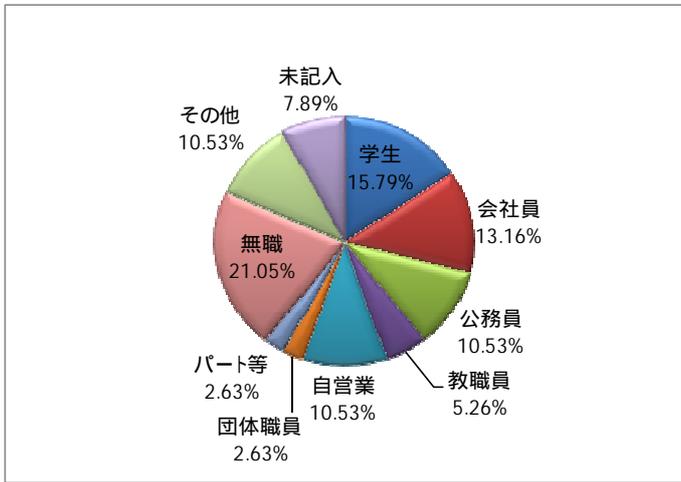
### まなびと広場受講状況



区分	回答数	割合
はい	3	7.89%
いいえ	31	81.58%
未記入	4	10.53%

このフェアは、函館市が行っている生涯学習「HAKODATE まなびと広場」の1講座と位置づけ開催したが、受講者の参加は約8%に留まり、思ったほどの集客効果は上がらなかった。

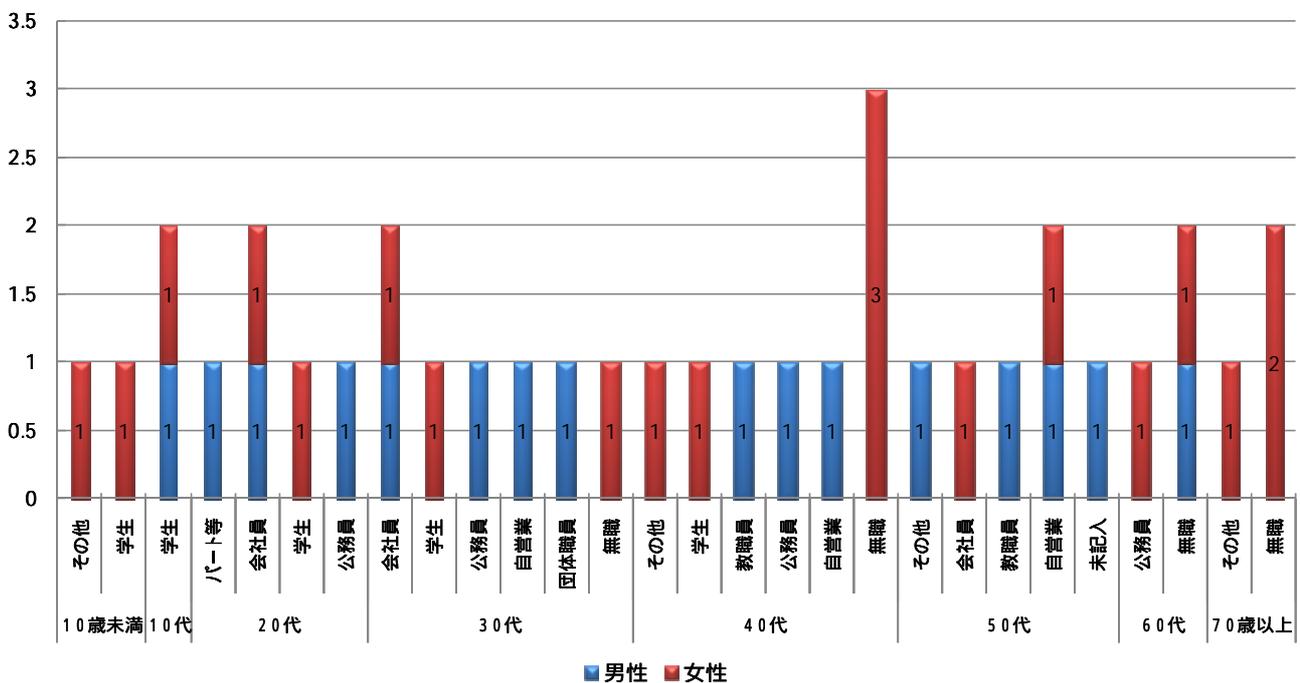
## 職業について



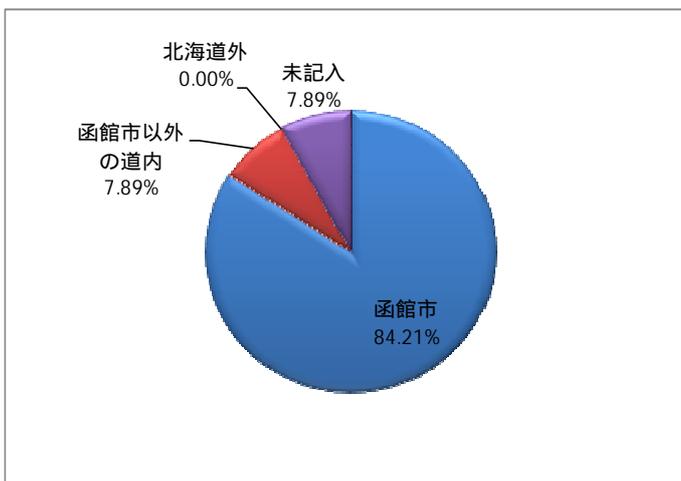
区分	回答数	割合
学生	6	15.79%
会社員	5	13.16%
公務員	4	10.53%
教職員	2	5.26%
自営業	4	10.53%
団体職員	1	2.63%
パート等	1	2.63%
無職	8	21.05%
その他	4	10.53%
未記入	3	7.89%

参加者の職業については、参加者の年齢同様、特定層ではなく、全体的に分散している。ワークショップを子供向けと考え学生の参加が多いと予想していたが、学生の参加が約16%に留まったことも関係している。

## 年齢、性別、職業別集計



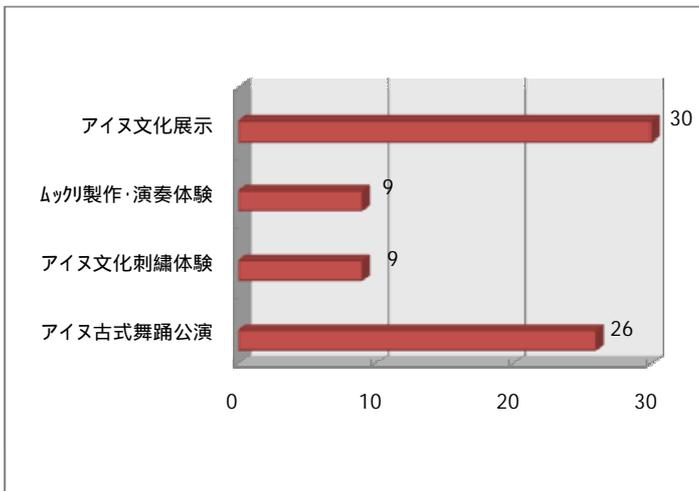
## 住まいについて



区分	回答数	割合
函館市	32	84.21%
函館市以外の道内	3	7.89%
北海道外	0	0.00%
未記入	3	7.89%

参加者の住まいについては函館開催であったため函館市からの参加が多数を占めた。しかしながら、ターゲットの1つと考えていた青森県を含む周辺市町村からの参加が少数であった。

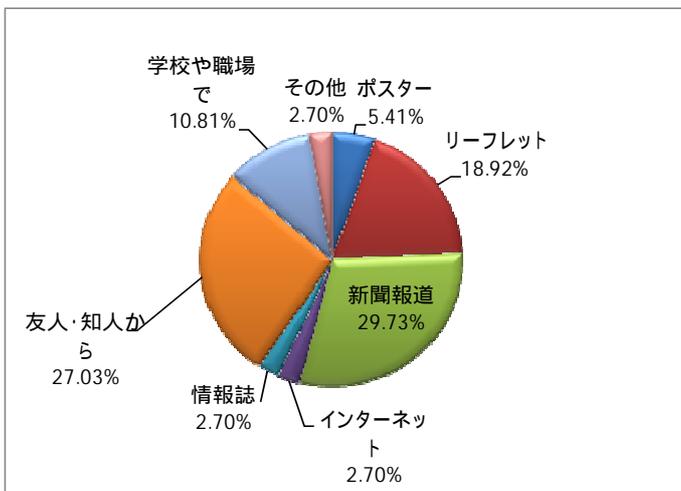
## 参加内容(複数回答)



区分	人数
アイヌ文化展示	30
ムックリ製作・演奏体験	9
アイヌ文化刺繍体験	9
アイヌ古式舞踊公演	26

アンケート回収結果からは、「アイヌ文化展示」と「アイヌ古式舞踊公演」の参加人数がほぼ同数であり、公演の前後に展示を見ていると考えられる。また、実際にはワークショップへの参加者のほぼ全てが「アイヌ文化展示」を見ており、その後の「アイヌ古式舞踊公演」にも参加している状況であった。

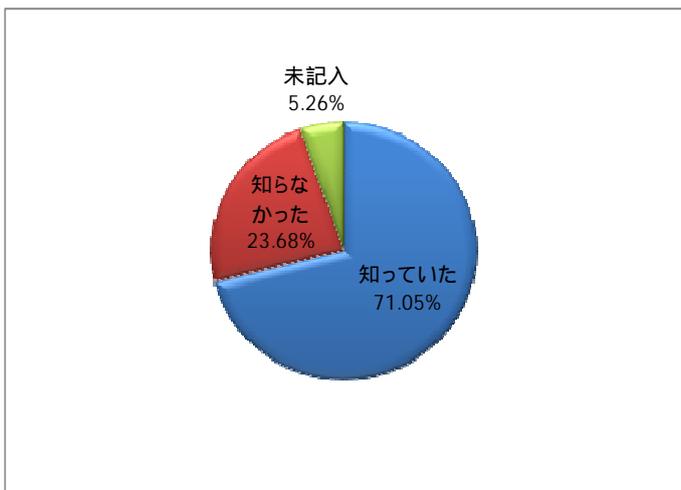
## フェア開催を何で知ったか(複数回答)



区分	回答数
ポスター	2
リーフレット	7
新聞報道	11
インターネット	1
情報誌	1
友人・知人から	10
学校や職場で	4
その他	1

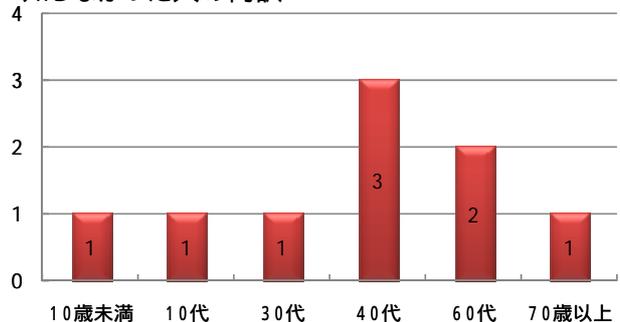
フェアの認知については、「新聞報道」「友人・知人から」が各々約30%を占めており、「ポスター」や「リーフレット」により知ったとの回答の19%より多くなっている。このことから、ニュースリリースによる効果は大きかったと思われるが、ポスターやリーフレットについては、その掲示・配付場所について検討が必要であると考えられる。

## アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか

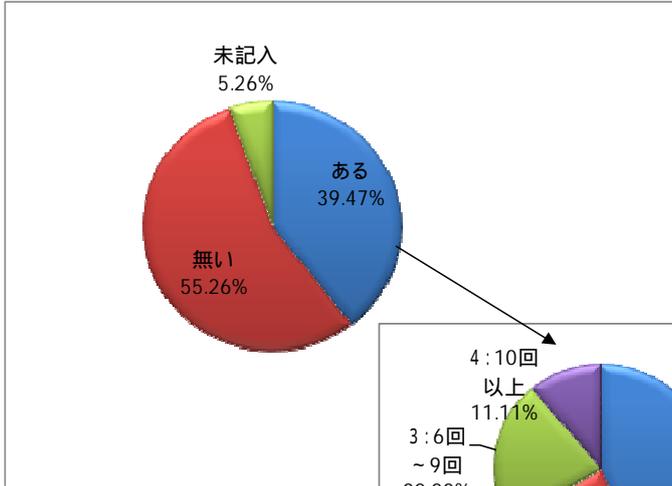


	回答数	割合
知っていた	27	71.05%
知らなかった	9	23.68%
未記入	2	5.26%

知らなかった人の内訳



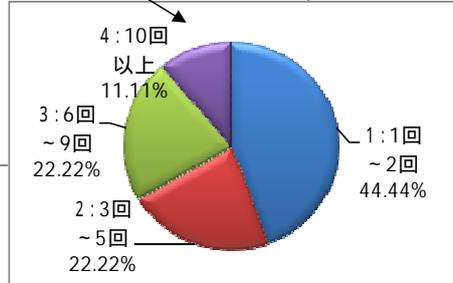
## アイヌ民族博物館に行った事がありますか



区分	回答数	割合
ある	15	39.47%
無い	21	55.26%
未記入	2	5.26%

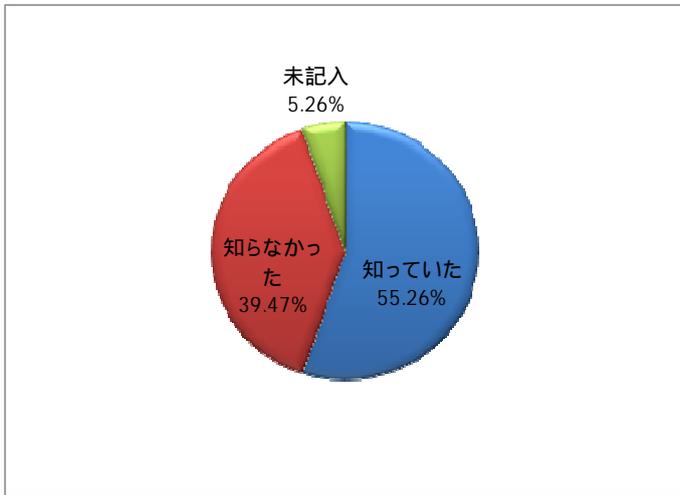
### あるとした方の訪問回数

区分	回答数
1:1回～2回	4
2:3回～5回	2
3:6回～9回	2
4:10回以上	1



フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも約55%が博物館を訪れたことが無い結果となっている。そのため、フェアをきっかけに、博物館に足を運んでもらうような、積極的な働きかけ（動機付け）方法を検討する必要もあると考える。

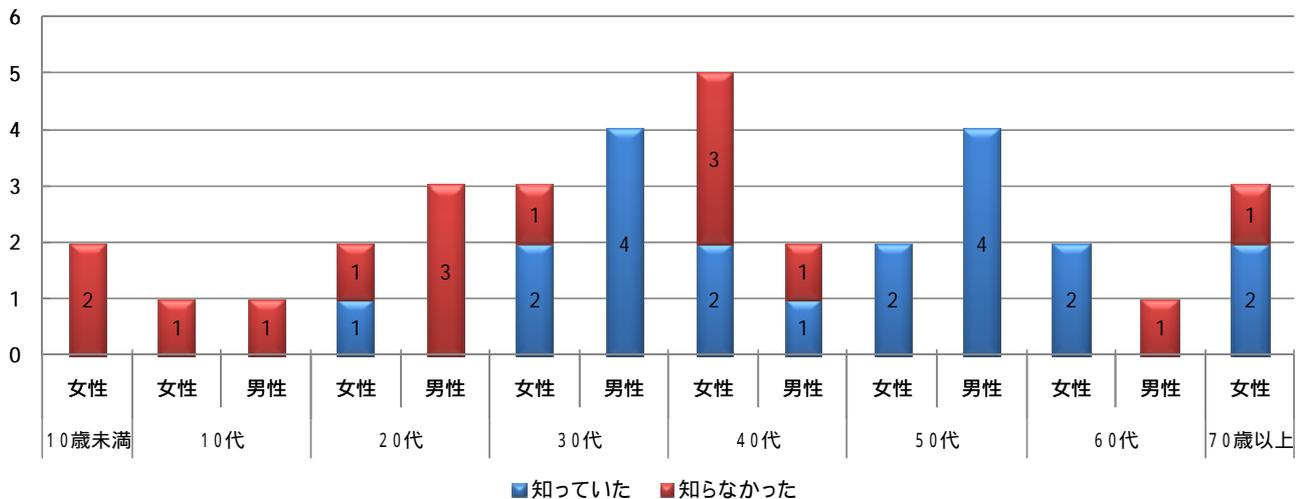
## 古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか



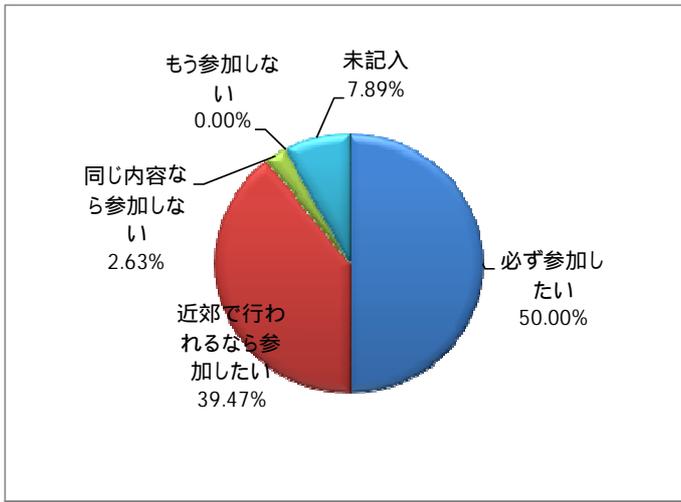
区分	回答数	割合
知っていた	21	55.26%
知らなかった	15	39.47%
未記入	2	5.26%

フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも40%の人が、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産代表一覧へ追加記載されたことを認知していない状況にある。逆にアイヌ文化に興味・関心が無い者はさらにその割合が増えると考えられ、伝承を担う者、そして関連機関が積極的・能動的に情報発信に努め、認知度を高めることで、興味・関心を引いていくことが必要と考える。

### 年代・性別積み上げ人数



## フェアにまた参加したいと思いましたが

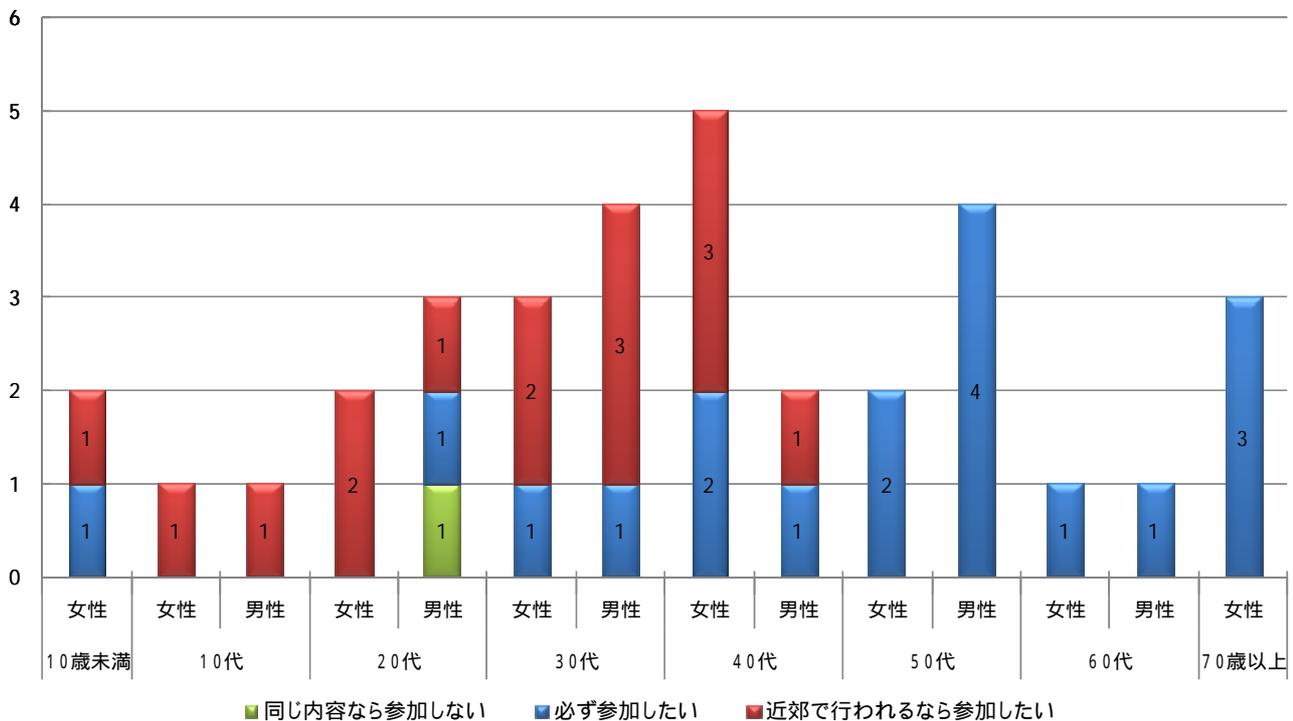


区分	回答数	割合
必ず参加したい	19	50.00%
近郊で行われるなら参加したい	15	39.47%
同じ内容なら参加しない	1	2.63%
もう参加しない	0	0.00%
未記入	3	7.89%

フェアに参加したほとんどの人が（約90%）、「必ず」又は「近郊で行われるなら」参加したいとの意思を持っており、フェアの内容等に対する評価は高いものとなっている。

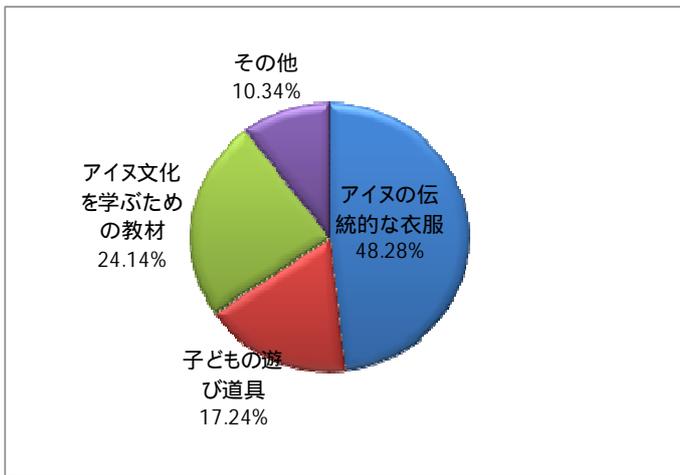
また、後述の3- の「フェアに参加し博物館へ言ってみようと思ったか」との設問に対しても、アンケートを回収した有効回答の100%が「是非」又は「機会があれば」行きたいとの回答があり、フェアが博物館訪問のきっかけとなりうる事が分かる。

## 年代・性別区分による人数積み上げ



## 2 「アイヌ文化展示」をご覧になられた方

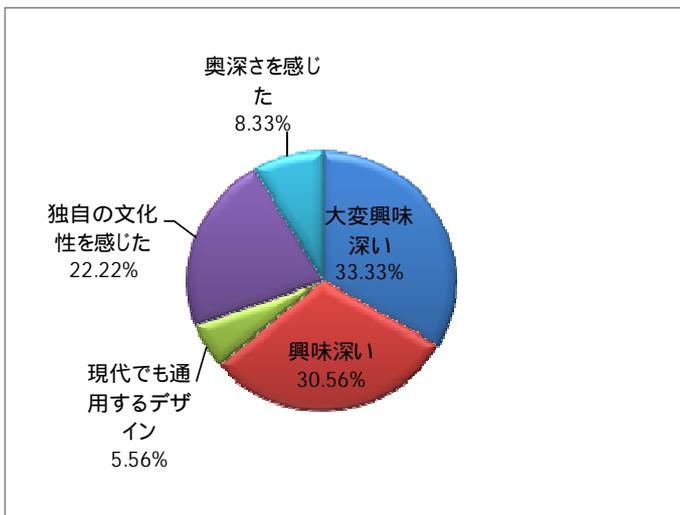
### 展示内容で最も興味深かったものは何ですか？



区分	回答数	割合
アイヌの伝統的な衣服	14	48.28%
子どもの遊び道具	5	17.24%
アイヌ文化を学ぶための教材	7	24.14%
その他	3	10.34%
教育プログラムの紹介	0	0.00%
特になし	0	0.00%
未記入・不参加	9	

展示では、ワークショップに参加する子ども向けに「子どもの遊び道具」の実演を伴う展示を行ったが、予想以上に20代以上の参加が多かったため、その興味も伝統的衣装や教材に流れたと思われる。

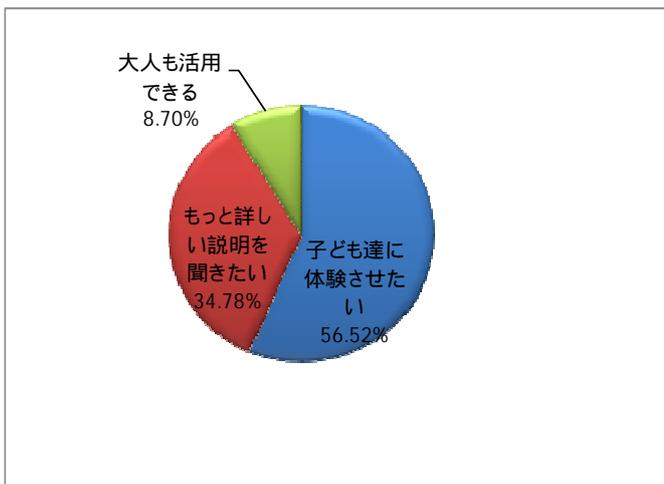
### 展示をご覧になられた感想は？



区分	回答数	割合
大変興味深い	12	33.33%
興味深い	11	30.56%
現代でも通用するデザイン	2	5.56%
独自の文化性を感じた	8	22.22%
奥深さを感じた	3	8.33%
普通	0	0.00%
興味も引かなかった	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	9	

展示の感想については、概ね良好で興味を引くには十分であり、その独自性について感じてもらったものと考えられる。

### 紹介された教育プログラムの感想は？

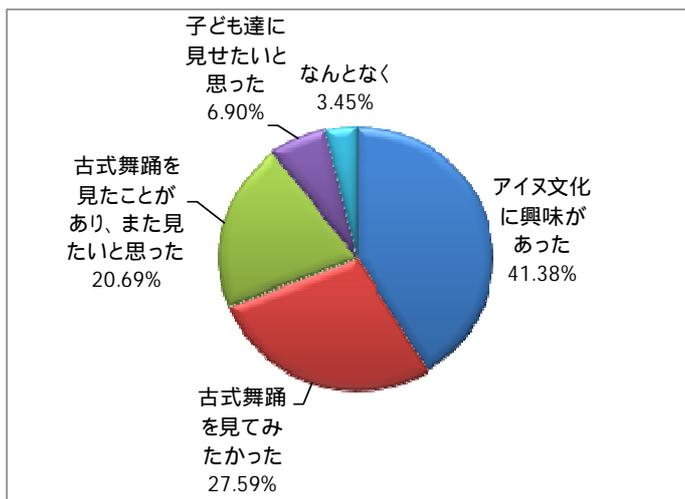


区分	回答数	割合
子ども達に体験させたい	13	56.52%
もっと詳しい説明を聞きたい	8	34.78%
大人も活用できる	2	8.70%
普通	0	0.00%
特段の感想はない	0	0.00%
魅力を感じない	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	16	

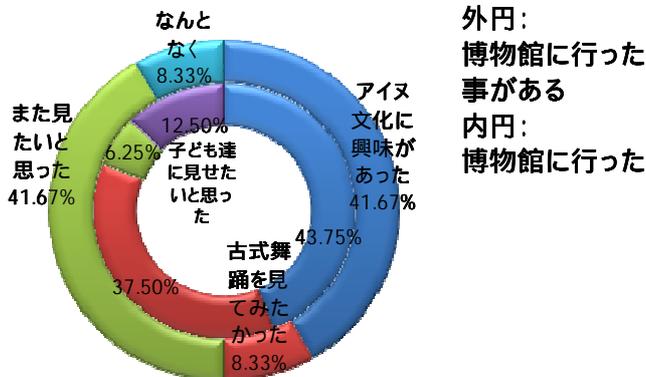
「教育プログラム」についても、「子ども達に体験させたい」・「もっと詳しい説明を聞きたい」とする意見が90%を超え、その内容が興味深いものとなっていることが分かる。その興味が、アイヌ民族博物館へ足を運びきっかけとなるような働きかけも必要と考える。

### 3 「アイヌ古式舞踊公演」をご覧になられた方

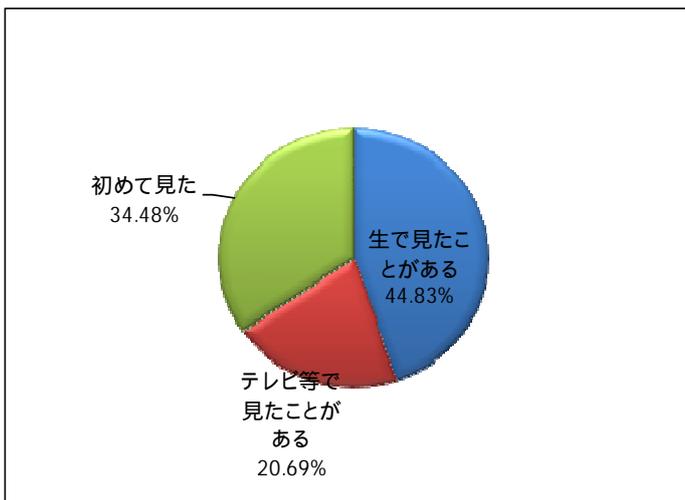
#### アイヌ古式舞踊公演に参加した理由



区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があった	12	41.38%
古式舞踊を見てみたかった	8	27.59%
古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	6	20.69%
子ども達に見せたいと思った	2	6.90%
なんとなく	1	3.45%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	9	



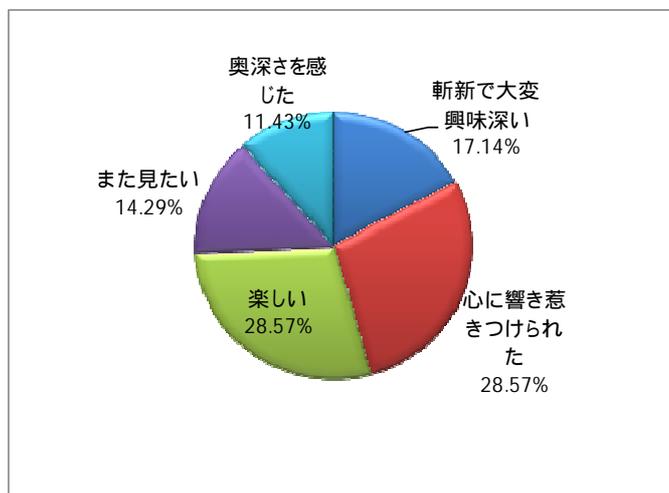
#### アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？



区分	回答数	割合
生で見たことがある	13	44.83%
テレビ等で見たことがある	6	20.69%
初めて見た	10	34.48%
未記入・不参加	9	

何らかの形でアイヌ古式舞踊を見たことがある人が約67%となり、参加者の多くがアイヌ文化に興味を持っていることが分かる。今後、文化の普及に向けては、アイヌ文化にそれほど興味が無い人を、このようなフェアに取り込む手法を模索する必要もある。

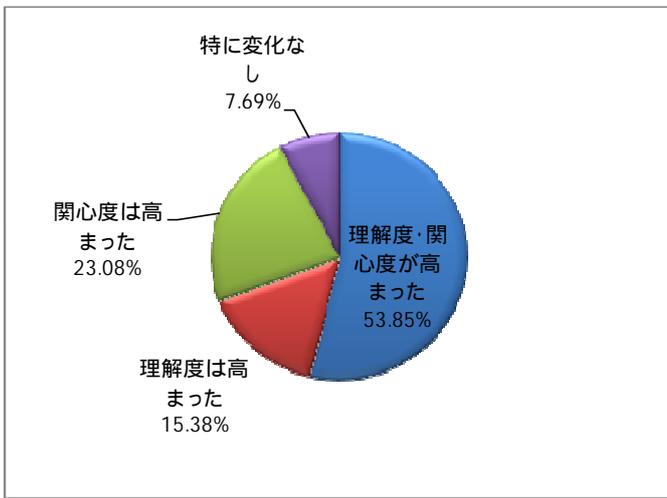
#### 演目の感想(複数回答)



区分	回答数	割合
斬新で大変興味深い	6	17.14%
心に響き惹きつけられた	10	28.57%
楽しい	10	28.57%
また見たい	5	14.29%
奥深さを感じた	4	11.43%
普通	0	0.00%
長かった	0	0.00%
期待ほどではなかった	0	0.00%
その他	0	0.00%

古式舞踊については、見たものへ強い印象を与え、興味を引き立てるだけの魅力を持っていることが分かる。アイヌ文化普及啓発のためにも、より多くの方々に見てもらう機会を増やすことが望まれる。

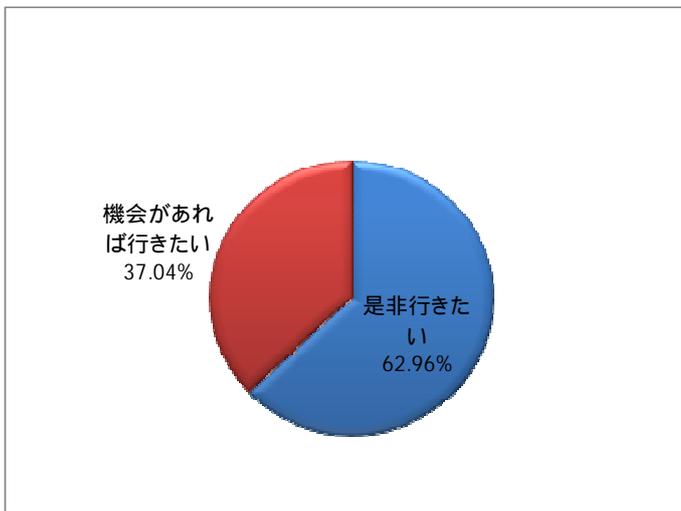
## アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化



区分	回答数	割合
理解度・関心度が高まった	14	53.85%
理解度は高まった	4	15.38%
関心度は高まった	6	23.08%
特に変化なし	2	7.69%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	12	

フェアに参加することで、理解度・関心度の両方、又は、どちらかの度合いが高まっていることが分かる。このことから、フェアがアイヌ文化の普及啓発について効果的であると考えられる。

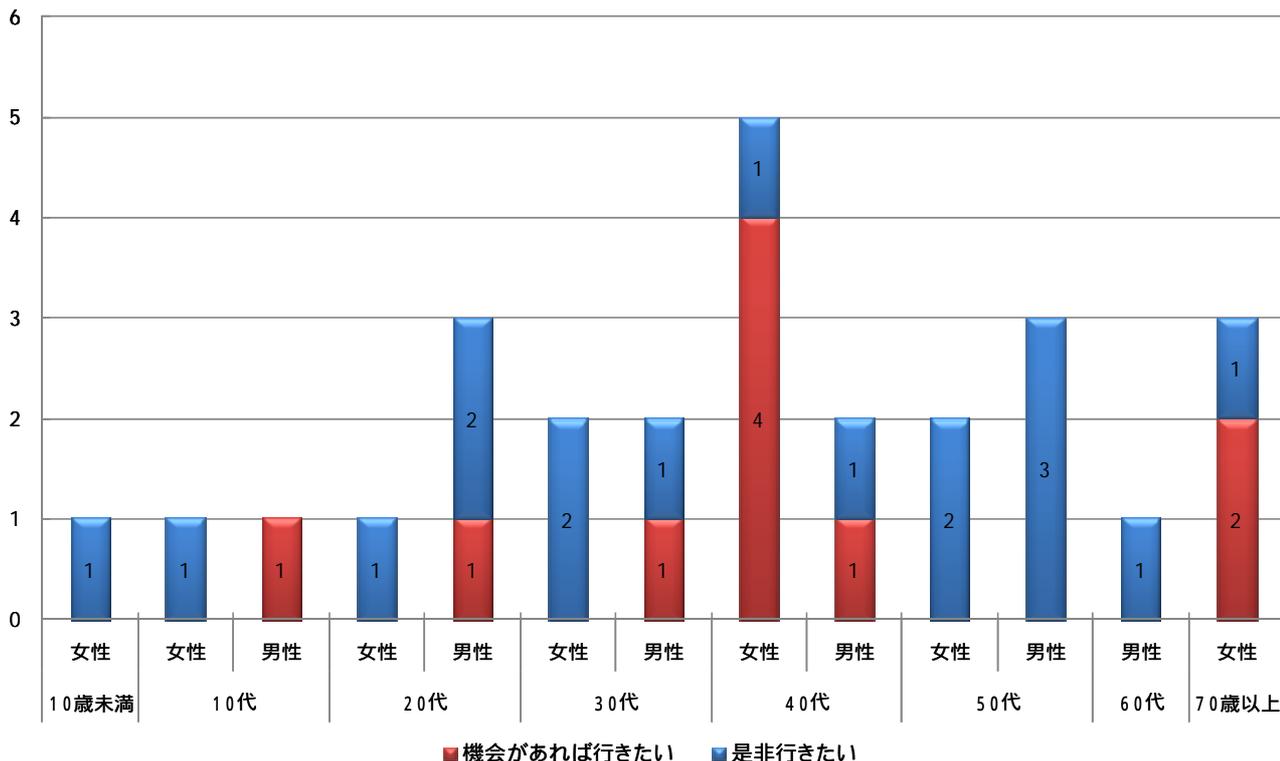
## 参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか



区分	回答数	割合
是非行きたい	17	62.96%
機会があれば行きたい	10	37.04%
同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%
行きたいと思わない	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入・不参加	11	

有効回答を得た全ての人々が、「是非」又は「機会があれば」博物館に行ってみたいとの感想を持ち、博物館訪問の動機付けとしての効果も見込まれる。博物館で常時行う古式舞踊については、時間も短くフェアを体験した人は物足りなさを感じるかもしれないが、古式舞踊の時間も長い「ポロトコタンの夜」を実施していることや、学習の場として、博物館の見学・体験学習メニューを体験し、アイヌ文化についてさらに学べる事を同時にPRする必要もある。

## 年代・性別による積み上げ人数



# 白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ 来場者アンケート

ご来場のお客様へ

『白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ』についてのアンケート調査ご協力をお願い

本日は、『白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ』にお越しいただきまして、ありがとうございます。

本日のフェアは、アイヌ民族文化を広く紹介することにより、アイヌ文化の普及啓発を図るとともに、道内外の観光客を白老地域に誘客するきっかけづくりとするものです。

フェアをご覧になられての率直なご意見をお聞かせいただき、その結果を今後の事業展開の参考として、さらなる魅力向上に努めてまいりたいと考えております。

なお、このアンケートは個人を特定する内容は含まれておらず、他の目的に使用することはありませんので、目的を十分にご理解いただき、皆さまのご協力をお願いいたします。

白老アイヌ民族博物館フェア in ニセコ 主催者一同

<b>1 お客様について（プロフィール）お伺いいたします。</b>	
次のそれぞれの質問について、あてはまるものの数字を で囲んでください。 また、あてはまるものに（ ）がある時には（ ）内にその内容を記載してください。	
年齢について	1：10代    2：20代    3：30代    4：40代    5：50代 6：60代    7：70歳以上
性別について	1：男性    2：女性
ご職業について	1：学生（ ）    2：会社員    3：公務員    4：教職員    5：自営業 6：団体職員    7：パート等    8：無職    9：その他（ ）
お住まいについて	1：後志圏(市町村： )    2：後志圏外の道内(市町村： ) 3：北海道外(都府県： )
本日ご覧になった内容は(複数回答可)	1：アイヌ古式舞踊と祈り    2：アイヌ工芸品展示紹介
本日のフェアは何で知りましたか？(複数回答可)	1：ポスター(場所： )    2：リーフレット(場所： ) 3：新聞報道    4：インターネット(サイト： ) 5：友人・知人等から    6：学校や職場で    7：ゲレンデでのPRで 8：ホテルに宿泊・食事等で訪れていたの 9：その他( )
アイヌ民族博物館(ポトコク)が白老町にあることを知っていましたか？	1：知っていた    2：知らなかった
アイヌ民族博物館(ポトコク)に行ったことがありますか？	1：ある(回数： )    2：無い
本年9月末、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産一覧に追加記載されたのを知っていましたか？	1：知っていた    2：知らなかった
今後、フェアが開催された際に、また参加したいと思われましたか？	1：必ず参加したい    2：近郊で行われるなら参加したい 3：同じ内容なら参加しない    4：もう参加しない

・ウラ面に続きます

## 2 「アイヌ古式舞踊と祈り」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。( 参加されなかった方は「3」へ)

ご参加された理由を教えてください	1 : アイヌ文化に興味があった    2 : 古式舞踊を見てみたかった 3 : 古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思っていた 4 : なんとなく    5 : その他 ( )
「アイヌの古式舞踊」は見たことがありましたか?	1 : 生で見たことがある(場所 : ) 2 : テレビ等で見たことがある    3 : 初めて見た
ご覧になられた演目のご感想は? (複数回答可)	1 : 斬新で大変興味深い    2 : 心に響き惹きつけられた    3 : 楽しい 4 : また見たい    5 : 奥深さを感じた    6 : 普通    7 : 長かった 8 : 期待ほどではなかった    9 : その他 ( )
参加されて、アイヌ文化に対する理解度・関心度はどう変わりましたか?	1 : 理解度・関心度が高まった    2 : 理解度は高まった 3 : 関心度は高まった    4 : 特に変化なし 5 : その他 ( )
参加されてアイヌ民族博物館(ホトコツ)に行って見たいと思われましたか?	1 : 是非行きたい    2 : 機会があれば行きたい 3 : 同じものが見られるなら行きたい    4 : 行きたいと思わない 5 : その他 ( )

## 3 「アイヌ工芸品展示紹介」をご覧になられた方にお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。( ご覧になられていない方は「4」へ)

展示されていた商品はいかがでしたか?	1 : 大変興味深く購入したいと思った 2 : 興味深かったが、購入したいとは思わなかった(価格等により) 3 : 興味も湧かなかった    4 : 値段が高すぎる    5 : 絶対購入しない
工芸品等で「このような物があれば欲しい」と思うものがございましたら、記入してください	(例: アイヌ伝統食材を用いた加工品、手軽に買える商品等)

## 4 本日のフェアを有料で行った場合についてお伺いいたします。

あてはまるものの数字を で囲んでください。

本日のフェアが有料で行われた場合に参加したいと思われませんか?	1 : 有料でも参加したい    2 : 参加したいが金額による 3 : 無料でなければ参加しない    4 : 無料でも参加しない 5 : その他 ( )
有料で参加する場合、金額設定はどれくらいが適当だと思われませんか?	1 : ~500円    2 : 501円~750円    3 : 751円~1,000円 4 : 1,001円~1,500円    5 : 1,501円~2,000円    6 : 2,001円~2,500円 7 : その他(具体的金額等 : )

## 5 フェア全体やアイヌ民族博物館(ホトコツ)について、またアンケート全体を通しての、ご意見・ご感想、期待することなどをお聞かせください。

【自由意見】

【ご協力ありがとうございました】

# 白老アイヌ民族博物館フェアinニセコ(2010.1.26開催) 来場者アンケート簡易集計

## 1 来場者のプロフィールについて

年齢について	回答数	割合	備考
1 10代	0	0.00%	
2 20代	19	22.09%	
3 30代	42	48.84%	
4 40代	18	20.93%	
5 50代	5	5.81%	
6 60代	0	0.00%	
7 70歳以上	2	2.33%	
8 未記入	0	0.00%	
性別について	回答数	割合	備考
1 男性	36	41.86%	
2 女性	49	56.98%	
3 未記入	1	1.16%	
職業について	回答数	割合	備考
1 学生	3	3.49%	
2 会社員	17	19.77%	
3 公務員	3	3.49%	
4 教職員	0	0.00%	
5 自営業	12	13.95%	
6 団体職員	0	0.00%	
7 パート等	30	34.88%	
8 無職	7	8.14%	
9 その他	11	12.79%	
10 未記入	3	3.49%	
住まいについて	回答数	割合	備考
1 後志圏	61	70.93%	
2 後志圏外の道内	7	8.14%	
3 北海道外	15	17.44%	
4 未記入	3	3.49%	
参加内容(複数回答)	回答数	割合	備考
1 アイヌ古式舞踊と祈り	84		
2 アイヌ工芸品展示紹介	41		
フェア開催を何で知ったか(複数回答)	回答数	割合	備考
1 ポスター	40		
2 リーフレット	12		
3 新聞報道	2		
4 インターネット	6		
5 友人・知人から	25		
6 学校や職場で	6		
7 グレンデでのPRで	2		
8 ホテルに宿泊・食事等で訪れていたため	2		
9 その他	1		

アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか		回答数	割合	備考
1	知っていた	50	58.14%	
2	知らなかった	34	39.53%	
3	未記入	2	2.33%	
アイヌ民族博物館に行った事がありますか		回答数	割合	備考
1	1:1回~2回 内数: 回数の記載の あったもの	19	22.09%	
	1:1回~2回	13		
	2:3回~5回	3		
	3:6回~9回	0		
	4:10回以上	0		
2	無い	66	76.74%	
3	未記入	1	1.16%	
古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか		回答数	割合	備考
1	知っていた	14	16.28%	
2	知らなかった	71	82.56%	
3	未記入	1	1.16%	
フェアにまた参加したいと思いましたが		回答数	割合	備考
1	必ず参加したい	25	29.07%	
2	近郊で行われるなら参加したい	53	61.63%	
3	同じ内容なら参加しない	3	3.49%	
4	もう参加しない	0	0.00%	
5	未記入	5	5.81%	

## 2 アイヌ古式舞踊と祈りをご覧になられた方

アイヌ古式舞踊公演に参加した理由		回答数	割合	備考
1	アイヌ文化に興味があった	30	37.97%	
2	古式舞踊を見てみたかった	28	35.44%	
3	古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	11	13.92%	
4	心に響き惹きつけられた	8	10.13%	
5	その他	2	2.53%	
6	未記入・不参加	7		
アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？		回答数	割合	備考
1	生で見たことがある	22	28.57%	白老・阿寒・帯広
2	テレビ等で見たことがある	11	14.29%	
3	初めて見た	44	57.14%	
4	未記入・不参加	9		
演目の感想(複数回答)		回答数	割合	備考
1	斬新で大変興味深い	20	16.39%	
2	1:1回~2回	25	20.49%	
3	楽しい	26	21.31%	
4	また見たい	21	17.21%	
5	奥深さを感じた	26	21.31%	
6	普通	0	0.00%	
7	長かった	1	0.82%	
8	期待ほどではなかった	1	0.82%	
9	その他	2	1.64%	
アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化		回答数	割合	備考
1	理解度・関心度が高まった	32	44.44%	
2	理解度は高まった	9	12.50%	
3	関心度は高まった	28	38.89%	
4	特に変化なし	2	2.78%	
5	その他	1	1.39%	
6	未記入・不参加	14		
参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか		回答数	割合	備考
1	是非行きたい	35	47.95%	
2	機会があれば行きたい	34	46.58%	
3	同じものが見られるなら行きたい	2	2.74%	
4	行きたいと思わない	1	1.37%	
5	その他	1	1.37%	
6	未記入・不参加	13		

### 3 アイヌ工芸品展示紹介をご覧になられた方

展示されていた商品はいかがでしたか？	回答数	割合	備考
1 大変興味深く購入したいと思った	19	48.72%	
2 興味深かったが、購入したいとは思わなかった	18	46.15%	
3 興味も湧かなかった	2	5.13%	
4 値段が高すぎる	0	0.00%	
5 絶対購入しない	0	0.00%	
6 未記入・不参加	47		
このような物があれば欲しいと思うもの			
アクセサリー(20代/男性)			
鮭おいしすぎます！(40代/男性)			
リーズナブルなトンコリ(30代/女性)			
アイヌのデザインの意味の説明本(30代/女性)			
小さなバック(70代/女性)			
Tシャツ(40代/女性)			
ポーチ、小物入れ、ブレスレットなどのアクセサリー(40代/女性)			
単なるお土産ではなく、質の高い、心を動かされるような者が欲しい。(40代/男性)			
衣類をアレンジして欲しい(30代/女性)			
1,000円未満のアイヌ刺繍が入っているもの。ピアス。(20代/女性)			
ムックリ演奏した真ん中の女性の着物。古布がポイントになってステキでした。(30代/女性)			

### 4 本日のフェアを有料で行った場合について

有料で行われた場合に参加したいと思いますか？	回答数	割合	備考
1 有料でも参加したい	12	19.67%	
2 参加したいが金額による	41	67.21%	
3 無料でなければ参加しない	6	9.84%	
4 無料でも参加しない	1	1.64%	
5 その他	1	1.64%	
6 未記入・不参加	25		
有料で参加する場合の適当だと思ふ金額設定は？	回答数	割合	備考
1 ~500円	32	57.14%	
2 501円~750円	6	10.71%	
3 751円~1,000円	13	23.21%	
4 1,001円~1,500円	3	5.36%	
5 1,501円~2,000円	1	1.79%	
6 2,001円~2,500円	0	0.00%	
7 その他	1	1.79%	
8 未記入・不参加	30		

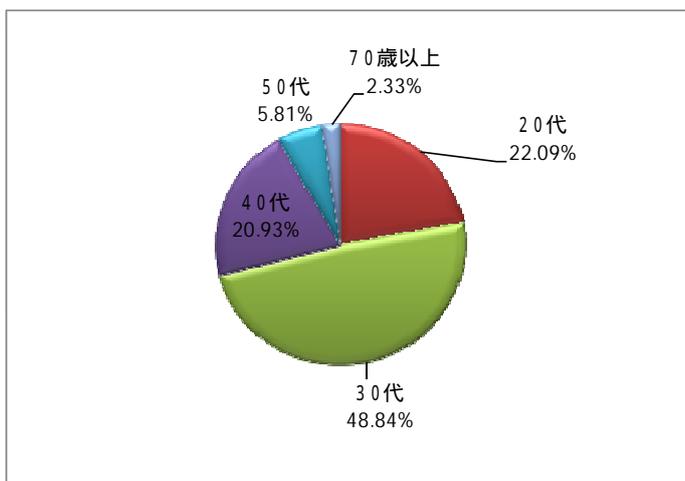
## 5 自由意見

また機会があれば見に行きたいと思います。(20代/男性)
説明が少し長い、どんどん見せて欲しかった(テンポ良く)(30代/男性)
後ろの席は見えない、アイヌの歴史も紹介すべき。(40代/男性)
公演について、後ろの席からは見えませんでした。(30代/女性)
すごく楽しかったです。始めは堅い感じなのかなと思いましたが、最後は踊りもあり、一体感がありました、やはり参加できるのが一番思い出に残りますね。(30代/男性)
海外からの観光の一つとするなら、有料ツアーをツアー会社と組めばいい。ただ有料にするものではない、文化を伝えるものとして考えて欲しい。(30代/女性)
職員の方、美しく感動しました。機会がありましたらお話がしたいと思います。今日はありがとう。(70歳以上/女性)
舞台が見えなかったのが残念。(30代/女性)
思ったより(以前見たより)ずっと面白くて楽しめました。また同じような催しがあれば行きたいと思います。どうもありがとうございました。(40代/女性)
最後は皆で踊れて参加できるのは良いと思った。(30代/女性)
進んでいくのが早かった。(20代/女性)
フェアのPRが少ないのでは?(30代/女性)
舞台が低く大変見にくい。折角楽しみにしていたのに残念、舞台の高さを工夫したらいかがですか?(40代/女性)
大変すばらしいイベントでした。また参加させて頂きたいと思います。(40代/女性)
踊りを見せるのであれば、後ろの方でも見えるような会場配置を考えて見てはいかがでしょうか。英語の通訳がオージーの方に十分に(正確に)通じていないです。発音というよりタイミングに課題がありそうです。衣装の紹介、装飾品の紹介をもう少し聞きたかったです。(30代/男性)
この文化をもっとみんなに知ってもらいたいと思った。がんばって下さい。ありがとうございました。(30代/女性)
とても楽しかったです。できれば、また来年も来たいです。(40代/男性)
是非、白老まで行きたいを思いました。(30代/女性)
ムックリの演奏が良かった。どのように音が出ているのか興味がある。(30代/)
最初説明が細かすぎてちょっとあきました。もっとまとめられたらいいと思います。だんだん盛り上がっていく感じは良かったです。(30代/女性)
またやって欲しいです。最後の踊り、すごく楽しかったです。(30代/女性)



## 1 来場者のプロフィールについて

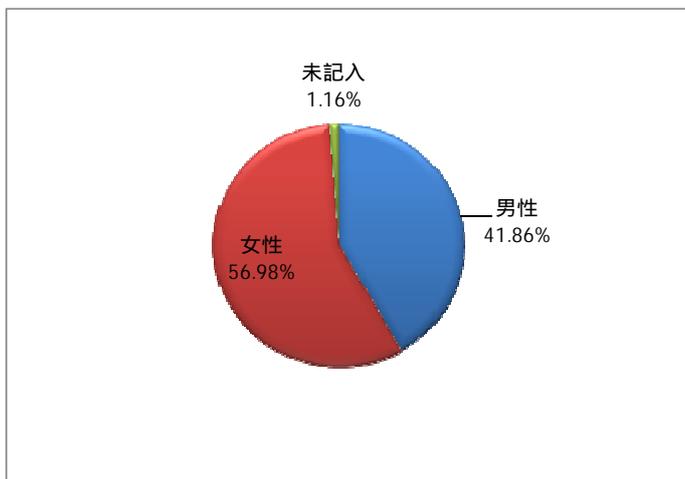
### 年齢について



区分	回答数	割合
10代	0	0.00%
20代	19	22.09%
30代	42	48.84%
40代	18	20.93%
50代	5	5.81%
60代	0	0.00%
70歳以上	2	2.33%
未記入	0	0.00%

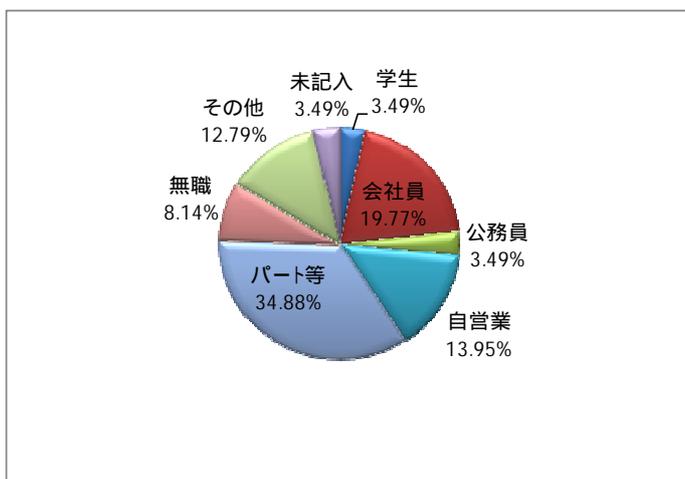
参加者の年代については、20代から40代に集中しており、特に30代の参加が約50%と過半数を占めている。  
 の参加者の住まいでは、後志圏からの参加者が多いことから、ホテル宿泊者以外の参加が多かったと考えられる。

### 性別について



区分	回答数	割合
男性	36	41.86%
女性	49	56.98%
未記入	1	1.16%

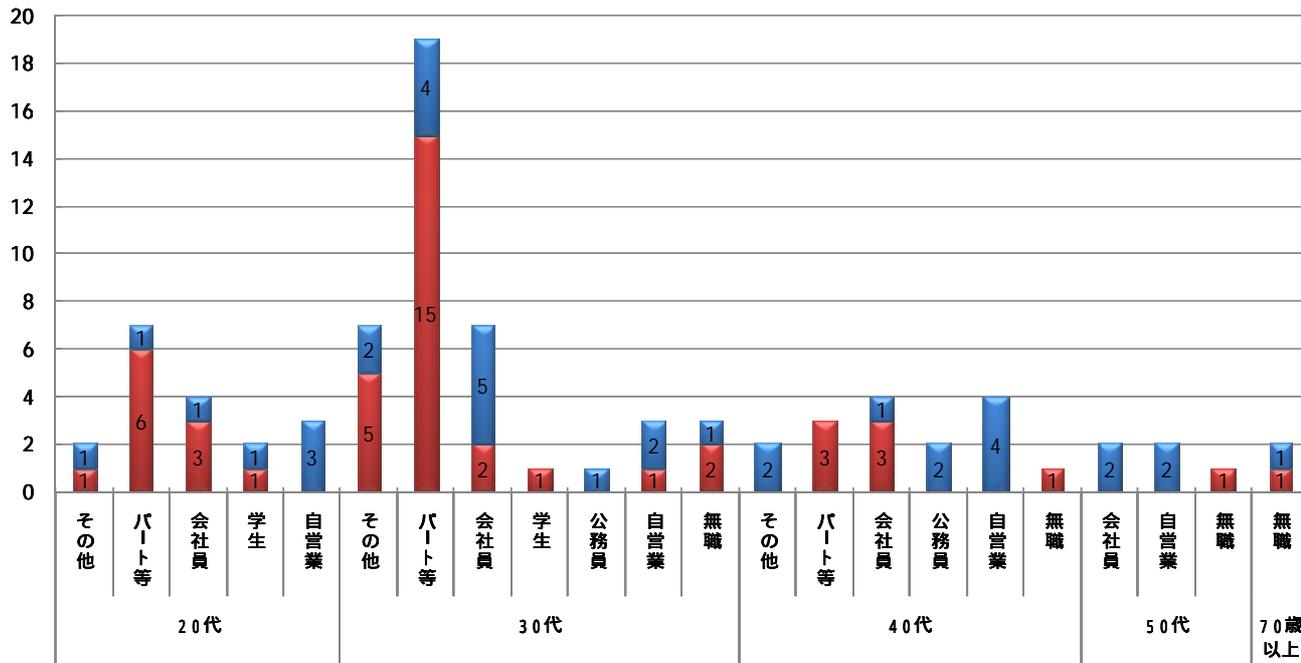
### 職業について



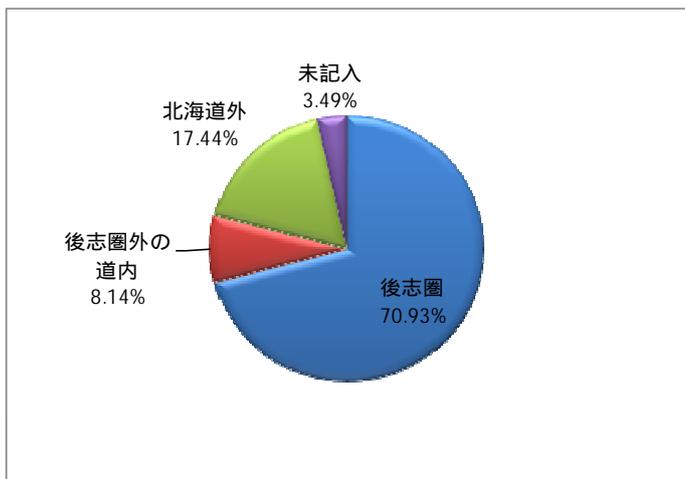
区分	回答数	割合
学生	3	3.49%
会社員	17	19.77%
公務員	3	3.49%
教職員	0	0.00%
自営業	12	13.95%
団体職員	0	0.00%
パート等	30	34.88%
無職	7	8.14%
その他	11	12.79%
未記入	3	3.49%

職業については全体的に分散しているが、パート等が約35%と最も多くなった。  
 アンケート回答ではホテル従業員との回答も見られ、の住まいでも倶知安町やニセコ町からの参加者も多く。スキー場やホテルの関係者も多く参加していると思われる。

■女性 ■男性



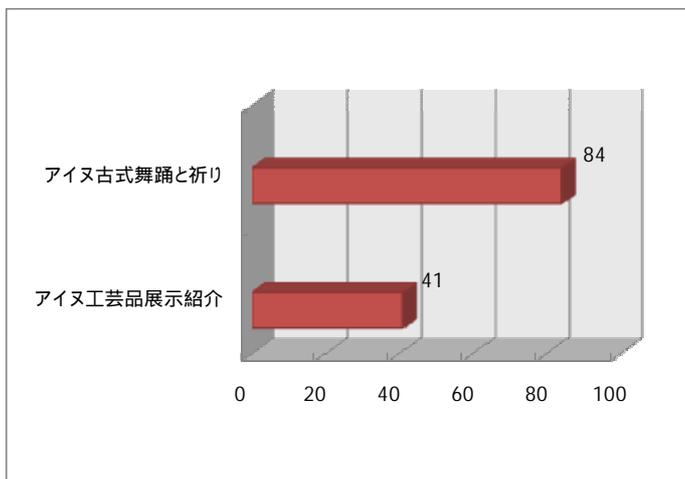
住まいについて



区分	回答数	割合
後志圏	61	70.93%
後志圏外の道内	7	8.14%
北海道外	15	17.44%
未記入	3	3.49%

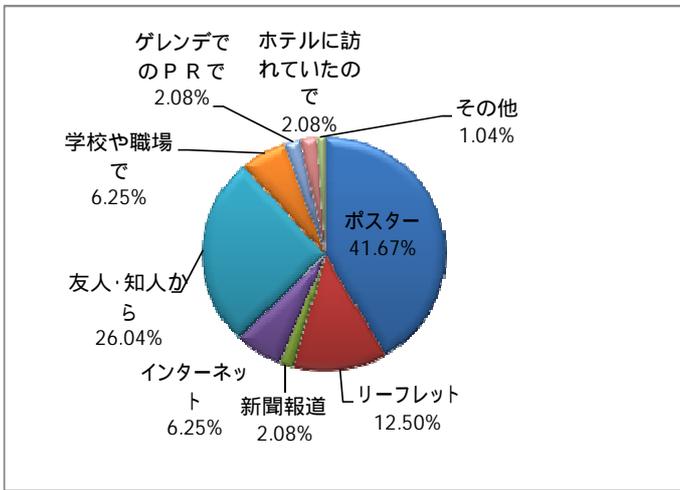
住まいについては、開催地ということで後志圏、特に倶知安町とニセコ町の参加が多く見られた。このことから、日本人の参加については、ホテル宿泊者は比較的少なかったと推測される。

参加内容(複数回答)



区分	人数
アイヌ古式舞踊と祈り	84
アイヌ工芸品展示紹介	41

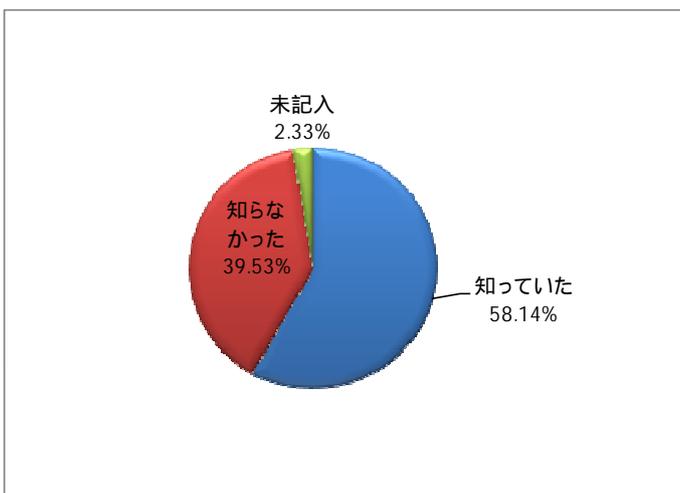
## フェア開催を何で知ったか(複数回答)



区分	回答数
ポスター	40
リーフレット	12
新聞報道	2
インターネット	6
友人・知人から	25
学校や職場で	6
ゲレンデでのPRで	2
ホテルに訪れていたの	2
その他	1

フェア開催をポスターやリーフレットで知ったという参加者が約55%となり、掲示場所が適当であったと推測される。  
一方、先のフェアで多かった新聞報道が少なかった。

## アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか

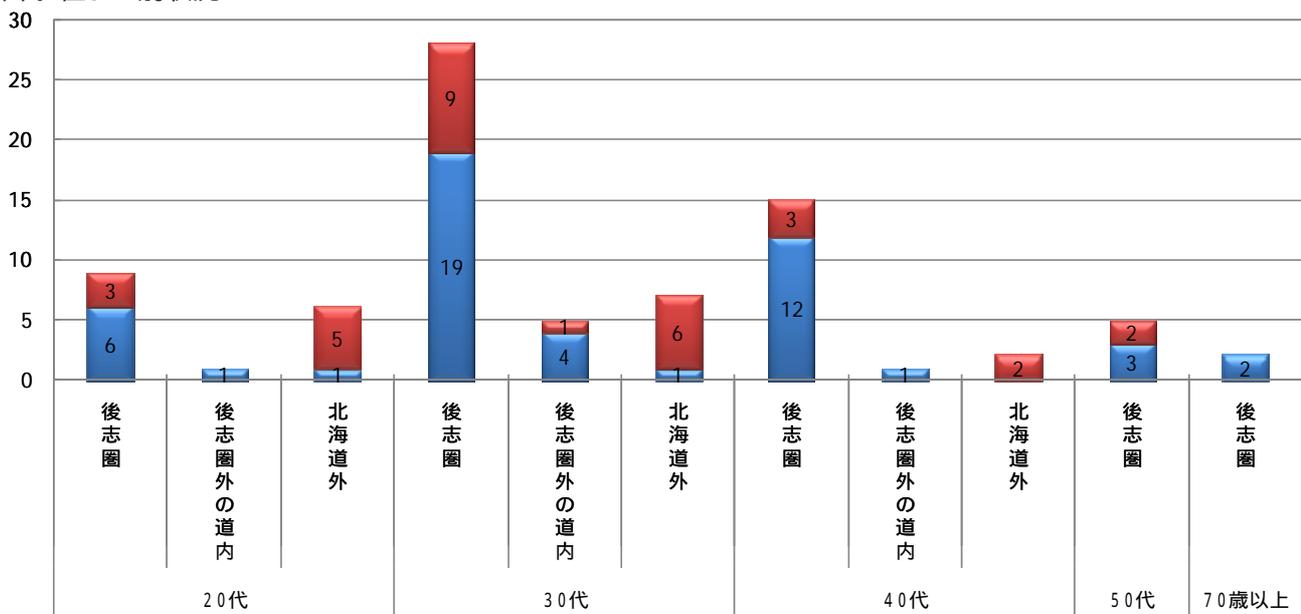


区分	回答数	割合
知っていた	50	58.14%
知らなかった	34	39.53%
未記入	2	2.33%

アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っているとした回答が58.14%と、知らなかったとした割合を上回ったが、道外からの参加者が17.44%であったことを勘案すると、道内でも知らない者が多いことが推測される。  
アンケート結果からも、20代から30代の道内居住者の内、約42%が知らなかったと回答している。

### 年代・住まい別状況

■ 知っていた ■ 知らなかった



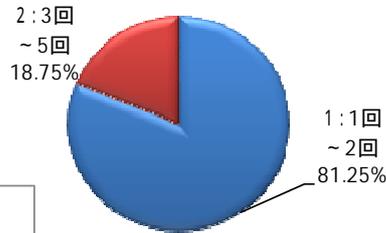
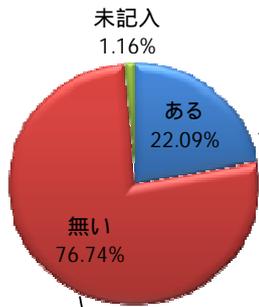
## アイヌ民族博物館に行った事がありますか

区分	回答数	割合
ある	19	22.09%
無い	66	76.74%
未記入	1	1.16%

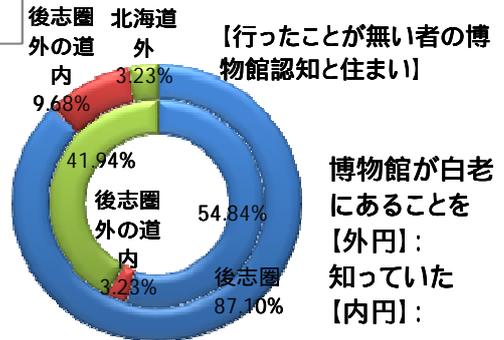
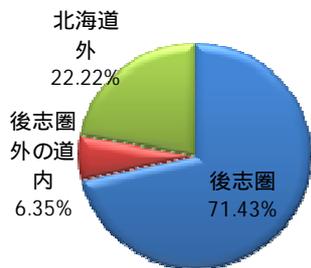
### あるとした方の訪問回数

区分	回答数
1:1回~2回	13
2:3回~5回	3
3:6回~9回	0
4:10回以上	0

「博物館に行ったことがある」とした回答が22%と少なかった。アンケート回答者が20代から40代が多かったこともあるが、「行った事が無い」とした者の内、約78%が道内居住者であり、その内、博物館が白老にあることは知っていたが、行ったことが無い道内居住者は約97%となり、認知と訪問が直結していない状況が分かる。

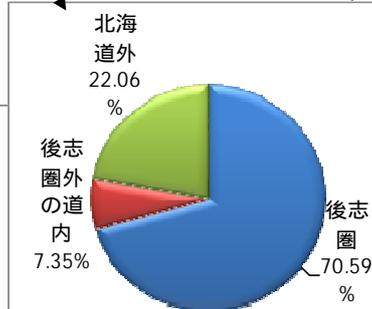
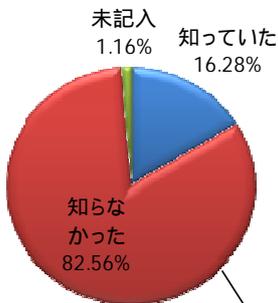


### 【行ったことが無い者の住まい】



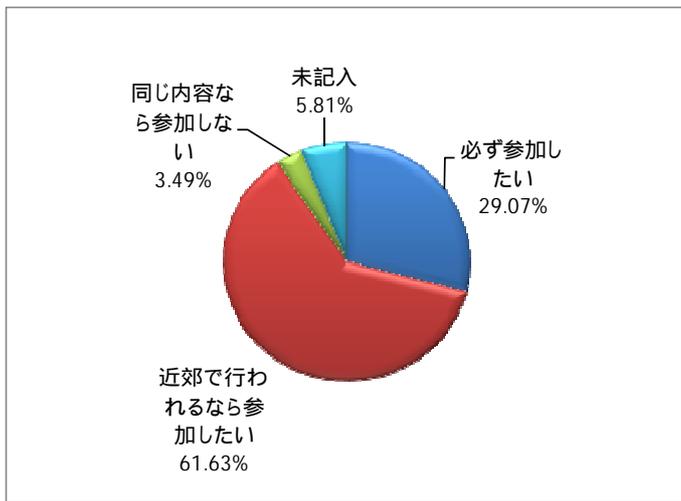
## 古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか

区分	回答数	割合
知っていた	14	16.28%
知らなかった	71	82.56%
未記入	1	1.16%



フェアに参加した者は少なからずアイヌ文化に興味・関心を持っていると思われるが、その中でも83%の人が、「アイヌ古式舞踊」がユネスコ無形文化遺産代表一覧へ追加記載されたことを認知していない状況にあり、その内78%が道内居住者となっている。逆にアイヌ文化に興味・関心が無い者はさらにその割合が増えると考えられ、伝承を担う者、そして関連機関が積極的・能動的に情報発信に努め、認知度を高めることで、興味・関心を引いていくことが必要と考える。

## フェアにまた参加したいと思いましたが



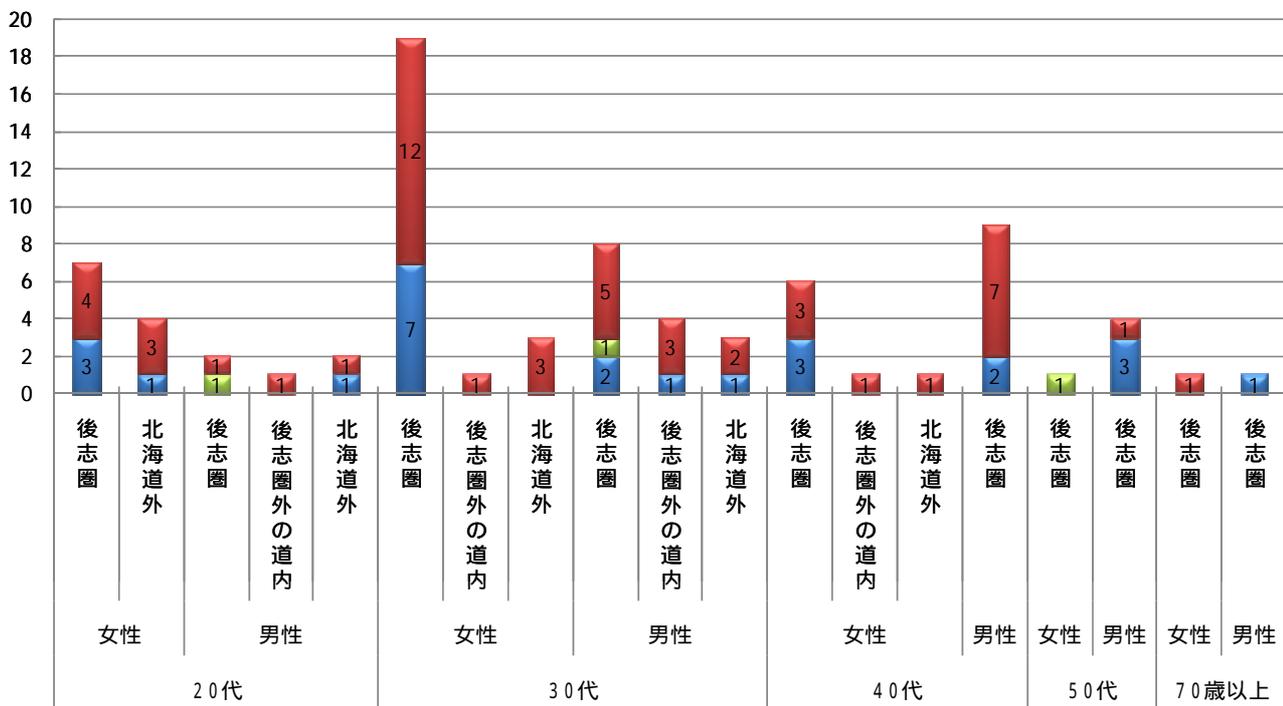
区分	回答数	割合
必ず参加したい	25	29.07%
近郊で行われるなら参加したい	53	61.63%
同じ内容なら参加しない	3	3.49%
もう参加しない	0	0.00%
未記入	5	5.81%

フェアに参加したほとんどの人が（約90%）、「必ず」又は「近郊で行われるなら」参加したいとの意思を持っており、フェアの内容等に対する評価は高いものとなっている。

また、後述の3-の「フェアに参加し博物館へ行ってみたいと思ったか」との設問に対しても、アンケートを回収した有効回答の95%が「是非」又は「機会があれば」行きたいとの回答があり、フェアが博物館訪問のきっかけとなりうる事が分かる。

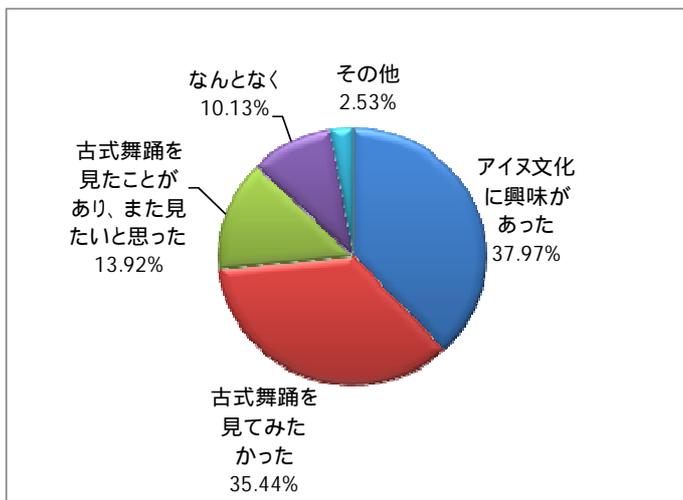
## 年代・性別区分による人数積み上げ

■必ず参加したい ■同じ内容なら参加しない ■近郊で行われるなら参加したい

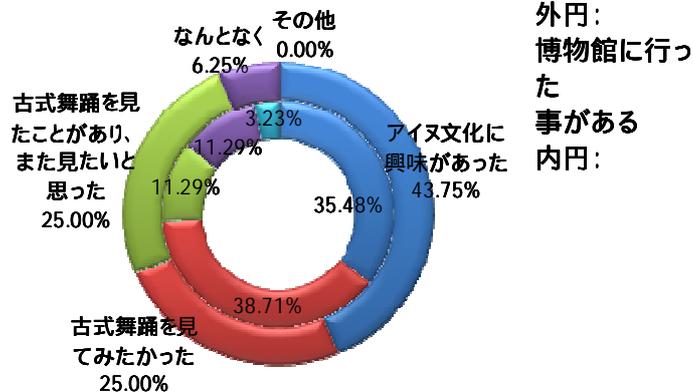


## 2 「アイヌ古式舞踊と祈り」をご覧になられた方

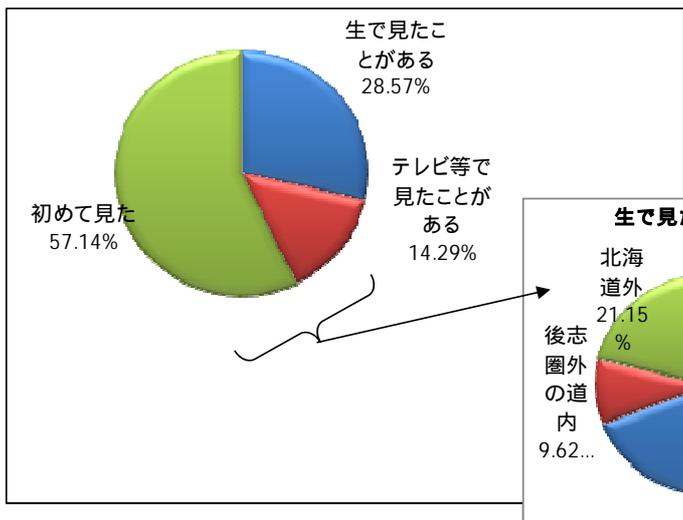
### アイヌ古式舞踊と祈りに参加した理由



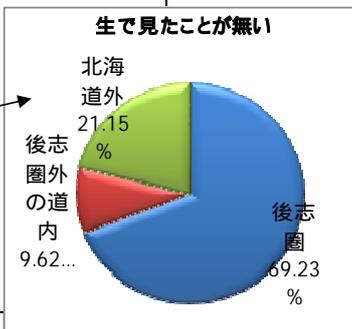
区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があった	30	37.97%
古式舞踊を見てみたかった	28	35.44%
古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	11	13.92%
なんとなく	8	10.13%
その他	2	2.53%
未記入・不参加	7	



### アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？

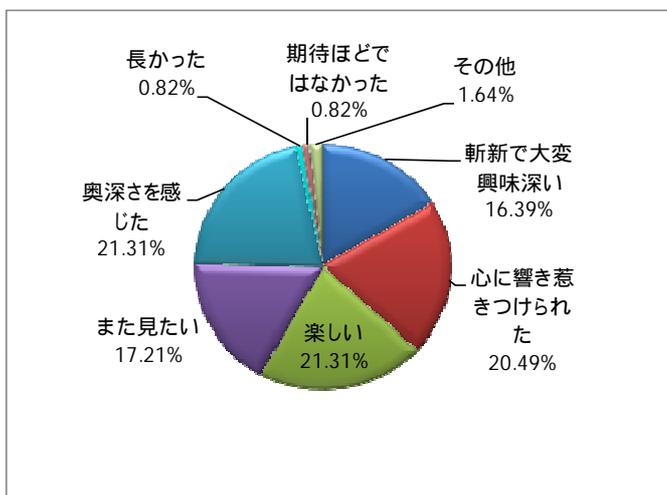


区分	回答数	割合
生で見たことがある	22	28.57%
テレビ等で見たことがある	11	14.29%
初めて見た	44	57.14%
未記入	9	



古式舞踊を生で見たことが無い者が約72%となり、その内79%が道内居住者となっている。

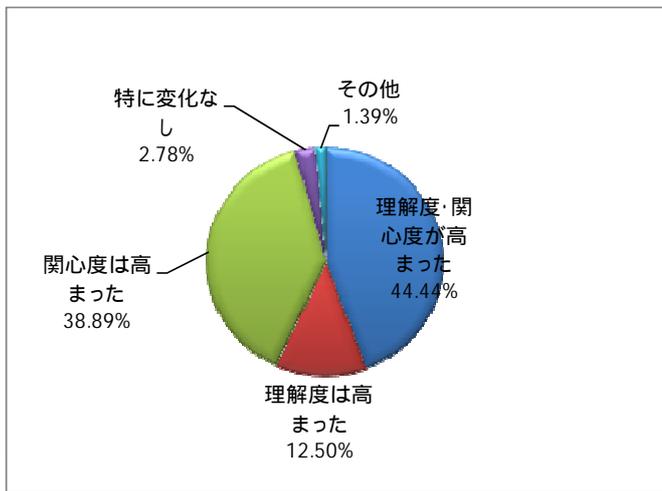
### 演目の感想(複数回答)



区分	回答数	割合
斬新で大変興味深い	20	16.39%
心に響き惹きつけられた	25	20.49%
楽しい	26	21.31%
また見たい	21	17.21%
奥深さを感じた	26	21.31%
普通	0	0.00%
長かった	1	0.82%
期待ほどではなかった	1	0.82%
その他	2	1.64%

古式舞踊については、見たものへ強い印象を与え、興味を引き立てるだけの魅力を持っていることが分かる。アイヌ文化普及啓発のためにも、より多くの方々に見てもらう機会を増やすことが望まれる。

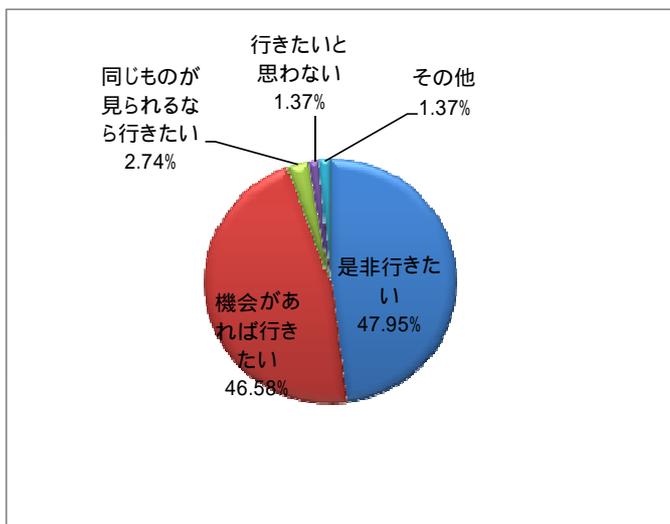
## アイヌ文化に対する理解度・関心度の変化



区分	回答数	割合
理解度・関心度が高まった	32	44.44%
理解度は高まった	9	12.50%
関心度は高まった	28	38.89%
特に変化なし	2	2.78%
その他	1	1.39%
未記入	14	

フェアに参加することで、理解度・関心度の両方、又は、どちらかの割合が高まっていることが分かる。このことから、フェアがアイヌ文化の普及啓発について効果的であると考えられる。

## 参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか

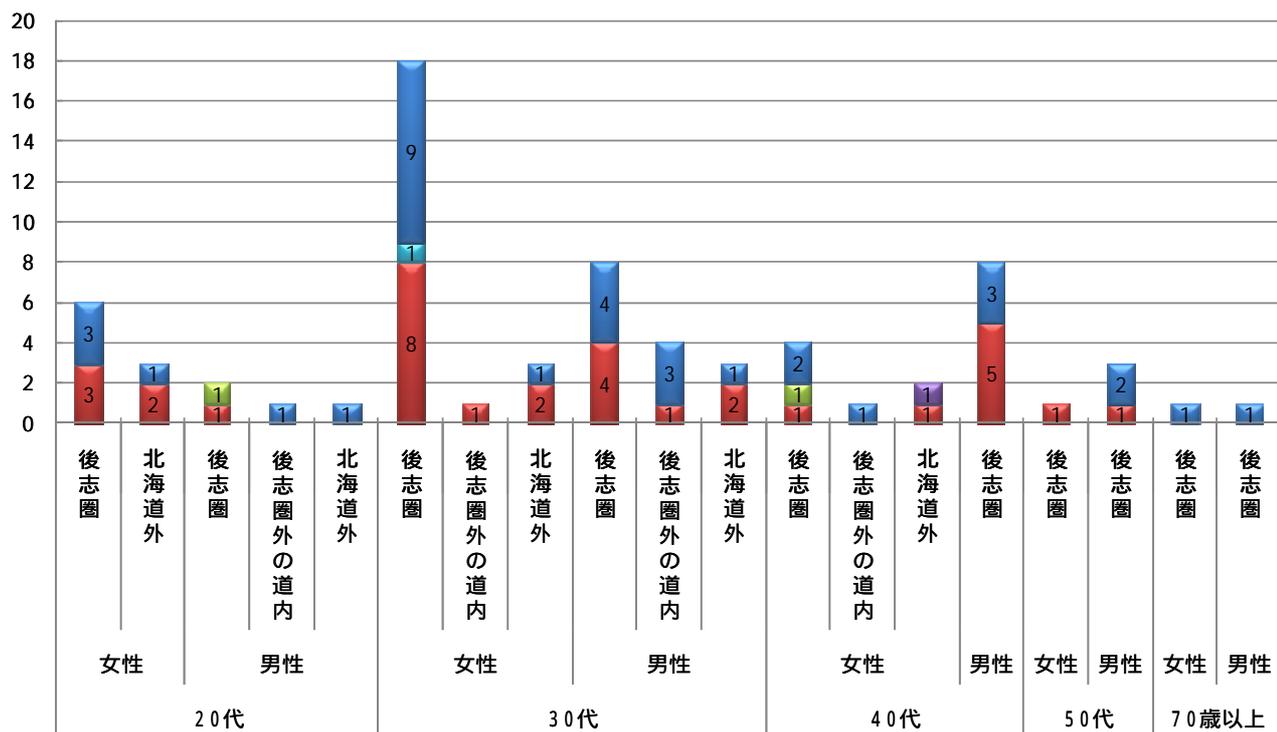


区分	回答数	割合
是非行きたい	35	47.95%
機会があれば行きたい	34	46.58%
同じものが見られるなら行きたい	2	2.74%
行きたいと思わない	1	1.37%
その他	1	1.37%
未記入	13	

有効回答を得た全ての人々が、「是非」又は「機会があれば」博物館に行ってみたいとの感想を持ち、博物館訪問の動機付けとしての効果も見込まれる。博物館で常時行う古式舞踊については、時間も短くフェアを体験した人は物足りなさを感じるかもしれないが、古式舞踊の時間も長い「ポロトコタンの夜」を実施していることや、学習の場として、博物館の見学・体験学習メニューを体験し、アイヌ文化についてさらに学べる事を同時にPRする必要もある。

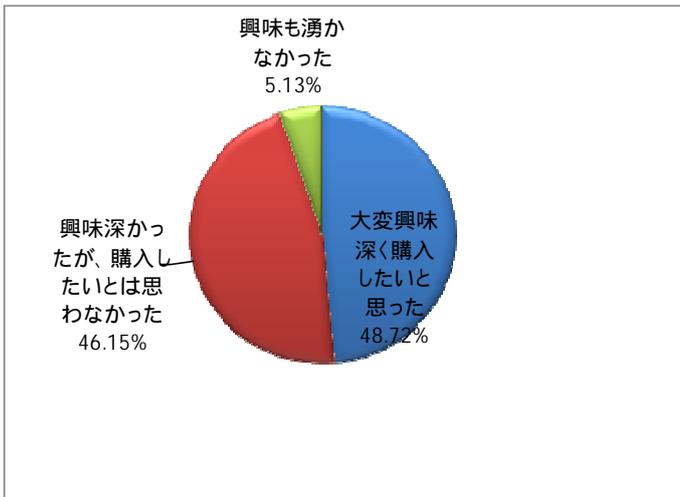
### 年代・性別・住まいによる積み上げ人数

■機会があれば行きたい ■同じものが見られるなら行きたい ■行きたいと思わない ■その他 ■是非行きたい



### 3 「アイヌ工芸品展示紹介」をご覧になられた方

#### 展示されていた商品の感想

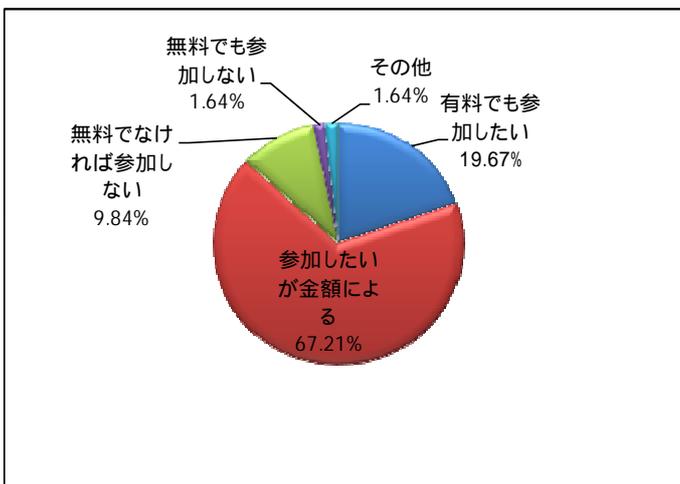


区分	回答数	割合
大変興味深く購入したいと思った	19	48.72%
興味深かったが、購入したいとは思わなかった	18	46.15%
興味も湧かなかった	2	5.13%
値段が高すぎる	0	0.00%
絶対購入しない	0	0.00%
未記入・不参加	47	

「大変興味深く購入したいと思った」と「興味深かったが、購入したいとは思わなかった」とした者がほぼ同数となった、回答者の趣味嗜好によるものもあるが、興味を引くだけの魅力はあると考えられ、商品数や価格帯を考慮した商品があれば商品購入に繋がると思われる。

### 4 フェアを有料で行った場合について

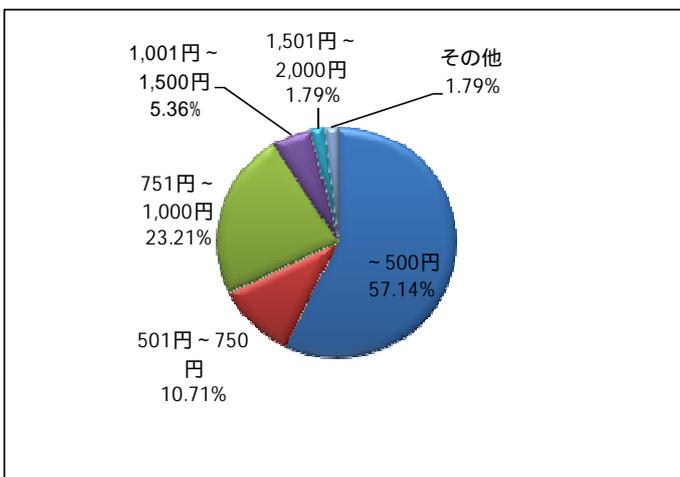
#### 有料で行われた場合の参加意思



区分	回答数	割合
有料でも参加したい	12	19.67%
参加したいが金額による	41	67.21%
無料でなければ参加しない	6	9.84%
無料で参加しない	1	1.64%
その他	1	1.64%
未記入・不参加	25	

金額しだいでは参加するとした回答が約87%となり、フェアの内容から、有料でも参加者はある程度集まるものと推測される。

#### 有料で参加する場合の適当と思われる金額

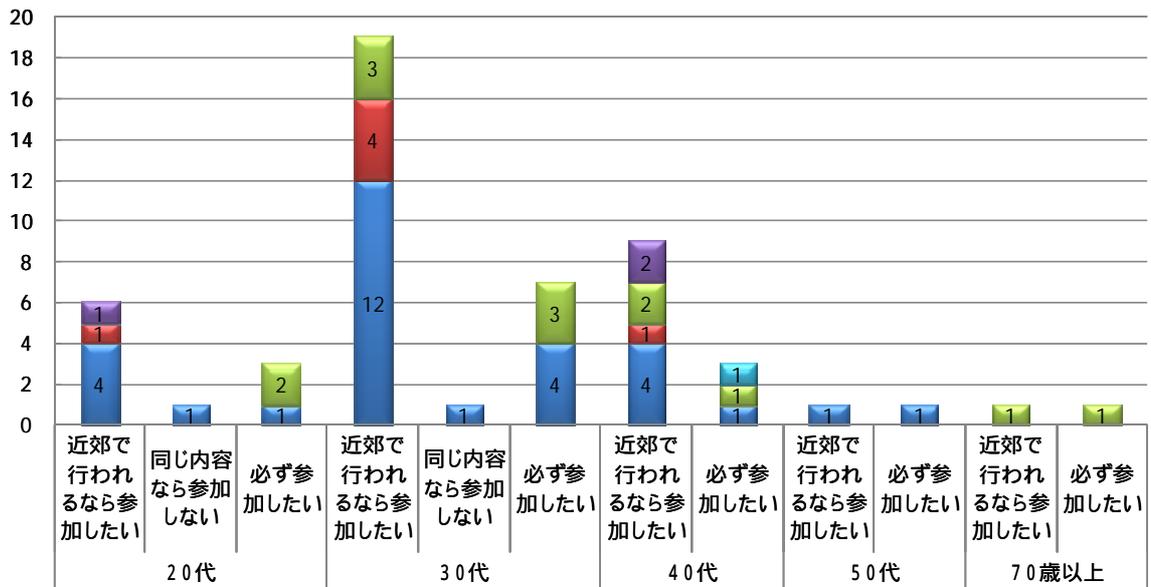


区分	回答数	割合
~500円	32	57.14%
501円～750円	6	10.71%
751円～1,000円	13	23.21%
1,001円～1,500円	3	5.36%
1,501円～2,000円	1	1.79%
2,001円～2,500円	0	0.00%
その他	1	1.79%
未記入・不参加	30	

回答者の年代が、20代から40代が多く比較的若年層となったためか500円以内という回答が最も多く、次いで751円～1,000円が23%となった。文化普及、博物館への誘客という目的もあることから金額設定は低めにならざるを得ないが、実施経費を勘案した金額とは相当な乖離が出ている。

年代・フェア参加意思による区分別人数

■ ~ 500円 ■ 501円 ~ 750円 ■ 751円 ~ 1,000円 ■ 1,001円 ~ 1,500円 ■ 1,501円 ~ 2,000円



■ 1,501円 ~ 2,000円							1				
■ 1,001円 ~ 1,500円	1					2					
■ 751円 ~ 1,000円			2	3		3	2	1		1	1
■ 501円 ~ 750円	1			4			1				
■ ~ 500円	4	1	1	12	1	4	4	1	1	1	



# The Ainu Museum (Shiraoi Poroto-kotan) Fair in Niseko Questionnaire survey

## Welcome!

We are committed to improving museum services. We want provide better service by understanding the expectation and needs of you.

Please answer some questions. It will take about **5 minutes** to answer. Thank you for your participation!

Sponsored by all the parties

<Note> - Please circle the number of your answer.

- If you have chosen "other", please write your answer in the brackets ( ).

- You do not have to answer questions that are not applicable or uncertain.

### Q1. Please tell us your age, sex, nationality, THE length of your Japan visit, Frequency for visiting Japan.

**Age**                    1 :10's    2:20's    3:30's    4:40's    5:50's    6:60's    7:over 70's

**Sex**                    1 : male    2 : female

**Nationality**        1 : Australia    2 : other (                    )

**THE length of your Japan visit** (                    )

**Frequency for visiting Japan** (                    )

### Q2 . How did you find this fair ?

1 : poster                    2 : leaflet                    3 : internet(site:                    )

4 : introduction from friends or acquaintances                    5 : tourist information

6 : other(                    )

### Q3 . Did you know Japan's indigenous people was The Ainu people ?

1 : Yes                    2 : No                    3 : other(                    )

### Q4. Did you know The Ainu museum (in Shiraoi town)?

1 : Yes                    2 : No                    3 : other(                    )

### Q5. Did you know the traditional Ainu dance were inscribed on September 2009 on UNESCO's Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity ?

1 : Yes                    2 : No                    3 : other(                    )

### Q6. Do you want to participate again in future if such a fair is held ?

1 : Yes                    2 : No                    3 : other(                    )

• To the back side



# アイヌ民族博物館(白老 ポロトコタン)フェアinニセコ アンケート調査 The Ainu Museum (Shiraoui Poroto-kotan) Fair in Niseko Questionnaire survey

## Welcome! (ようこそ)

We are committed to improving museum services. We want provide better service by understanding the expectation and needs of you.

Please answer some questions. It will take about **5 minutes** to answer. Thank you for your participation!

(当博物館では、サービスの向上に努めております。利用者のみなさまの期待を理解することで、ご要望に応えるサービスの実現をはかっていきたいと考えております。いくつかのご質問にお答えいただければ幸いです。本調査の所要時間は約5分です。ご協力ありがとうございます。)

Sponsored by all the parties (主催者一同)

<Note> - Please circle the number of your answer.

- If you have chosen "other", please write your answer in the brackets ( ).

- You do not have to answer questions that are not applicable or uncertain.

<注意>- 選択された項目の数字を丸で囲んでください

- その他を選択された場合には後ろの( )内に答えを記入してください。

- あなたに適切でない質問や不確実の質問には答える必要はありません。

## Q1. Please tell us your age, sex, nationality, THE length of your Japan visit, Frequency for visiting Japan.

(あなた自身のことについてお聞きします。以下の項目について教えてください。)

**Age** (年齢) 1:10's 2:20's 3:30's 4:40's 5:50's 6:60's 7:over 70's

**Sex** (性別) 1: male(男) 2: female(女)

**Nationality** (国籍) 1: Australia (オーストラリア) 2: other(その他) ( )

**THE length of your Japan visit** (日本への滞在期間) ( )

**Frequency for visiting Japan** (日本への訪問回数) ( )

## Q2. How did you find this fair? (このフェアを何で知りましたか?)

1: poster(ポスター) 2: leaflet(リーフレット) 3: internet(インターネット)(site(サイト): )

4: referrals friends, acquaintance(友人・知人の紹介) 5: tourist information(観光情報)

6: other(その他)( )

## Q3. Did you know Japan's indigenous people was The Ainu people?

(あなたは、日本の先住民族がアイヌ民族であることを知っていましたか?)

1: Yes(はい) 2: No(いいえ) 3: other(その他)( )

## Q4. Did you know The Ainu museum (in Shiraoui town?)

(あなたは、(白老町にある)アイヌ民族博物館を知っていましたか?)

1: Yes(はい) 2: No(いいえ) 3: other(その他)( )

## Q5. Did you know the traditional Ainu dance were inscribed on September 2009 on UNESCO's Representative List of the Intangible Cultural Heritage of Humanity? (あなたは、アイヌ古式舞踊が2009年9月ユネスコ無形文化遺産代表一覧に追加記載されたのを知っていましたか?)

1: Yes(はい) 2: No(いいえ) 3: other(その他)( )

## Q6. Do you want to participate again in future if such a fair is held?

(あなたは、今後このようなフェアが開催された場合にまた参加したいと思いますか?)

1: Yes(はい) 2: No(いいえ) 3: other(その他)( )

裏面に続く

• To the back side



# 白老アイヌ民族博物館フェアinニセコ(2010.1.26開催) 外国人来場者アンケート簡易集計

## 1 来場者のプロフィールについて

Q1 - 年齢について		回答数	割合	備考
1	10代	1	2.17%	
2	20代	13	28.26%	
3	30代	8	17.39%	
4	40代	10	21.74%	
5	50代	8	17.39%	
6	60代	6	13.04%	
7	70歳以上	0	0.00%	
8	未記入	0	0.00%	
Q1 - 性別について		回答数	割合	備考
1	男性	29	63.04%	
2	女性	14	30.43%	
3	未記入	3	6.52%	
Q1 - 国籍について		回答数	割合	備考
1	オーストラリア	26	56.52%	
2	その他	18	39.13%	NZL、GBR、USA、GER、SWE、 IRL、SIN
3	未記入	2	4.35%	
Q1 - 日本での滞在期間		回答数	割合	備考
1	~2週間未満	10	21.74%	
2	2週間~4週間未満	10	21.74%	
3	1ヶ月~3ヶ月未満	6	13.04%	
4	3ヶ月~半年未満	11	23.91%	
5	半年以上	6	13.04%	定住者4
6	未記入	3	6.52%	
Q1 - 日本への訪問回数		回答数	割合	備考
1	初めて	11	23.91%	
2	1回~5回	9	19.57%	
3	6回~10回	3	6.52%	
4	毎年	10	21.74%	
5	不定期で	2	4.35%	
6	未記入	11	23.91%	
Q2 フェア開催を何で知ったか(複数回答)		回答数	割合	備考
1	ポスター	19		
2	リーフレット	7		
4	インターネット	14		
5	友人・知人から	6		
6	観光情報	3		
7	その他	0		

Q3 アイヌ民族が日本の先住民族であることを知っていたか	回答数	割合	備考
1 知っていた	30	65.22%	
2 知らなかった	11	23.91%	
3 その他	2	4.35%	
4 未記入	3	6.52%	
Q4 アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか	回答数	割合	備考
1 知っていた	10	21.74%	
2 知らなかった	33	71.74%	
3 その他	0	0.00%	
4 未記入	3	6.52%	
Q5 古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか	回答数	割合	備考
1 知っていた	4	8.70%	
2 知らなかった	39	84.78%	
3 未記入	3	6.52%	
Q6 フェアにまた参加したいと思いましたが	回答数	割合	備考
1 必ず参加したい	36	78.26%	
2 近郊で行われるなら参加したい	2	4.35%	
3 同じ内容なら参加しない	4	8.70%	
4 もう参加しない	0	0.00%	
5 未記入	4	8.70%	

## 2 フェアの感想等

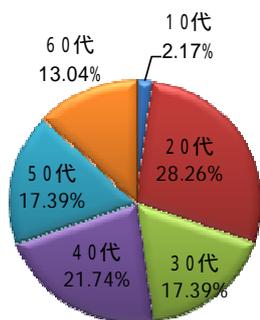
Q7 フェアに参加した理由	回答数	割合	備考
1 アイヌ文化に興味があった	19	45.24%	
2 古式舞踊を見てみたかった	15	35.71%	
3 古式舞踊を見たことがあり、また見たいと思った	1	2.38%	
4 偶然に	6	14.29%	
5 その他	1	2.38%	
6 未記入	4		
Q8 アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？	回答数	割合	備考
1 ある	3	7.14%	白老・平取・ニセコ
2 無い	39	92.86%	
3 その他	0	0.00%	
4 未記入	4		
Q9 演目の感想(複数回答)	回答数	割合	備考
1 斬新で大変興味深い	18	23.38%	
2 心に響き惹きつけられた	15	19.48%	
3 楽しい	12	15.58%	
4 衝撃を受けた	0	0.00%	
5 美しい	22	28.57%	
6 奥深さを感じた	7	9.09%	
7 普通	2	2.60%	
8 飽きた	1	1.30%	
9 期待はずれ	0	0.00%	
10 ひどい	0	0.00%	
11 その他	0	0.00%	
Q10 アイヌ文化に対する関心度の変化	回答数	割合	備考
1 とても関心を持った	27	69.23%	
2 少し関心を持った	12	30.77%	
3 関心を持てなかった	0	0.00%	
4 その他	0	0.00%	
5 未記入	7		
Q11 アイヌ文化に対する理解度の変化	回答数	割合	備考
1 とても理解できた	10	25.64%	
2 少し理解できた	28	71.79%	
3 理解できなかった	0	0.00%	
4 その他	1	2.56%	
5 未記入・不参加	7		
Q12 参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか	回答数	割合	備考
1 必ず行きたい	9	24.32%	
2 機会があれば行きたい	27	72.97%	
3 同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%	
4 行きたいと思わない	0	0.00%	
5 その他	1	2.70%	
6 未記入	9		

## Q13 自由意見

私があなたの踊りに触れて、あなたは、真の祈りが、神の真の精神への崇拜となる時代が来たと知っていますか？イエスはすべての崇拜について、これが本当であることがわかりますようにと、全ての祈りに返してくれます。(60代/男性/オーストラリア)
すばらしい結末！(60代/男性/オーストラリア)
来る前はそれほど興味は無かったが、とても楽しめました。(10代/男性/オーストラリア)
始めにあまり話さず、皆の関心を引くために踊りから始めると楽しめます。すばらしかった。ありがとう。(40代/女性/オーストラリア)
強い魔法のような文化を見れ光栄です。(60代/男性/オーストラリア)
アイヌ文化の復興を見れとてもすてきでした。アイヌの経歴はニュージーランドのマオリにとっても似ているようです。Kia kaha! (強くあれ！テアオテアロア(NZ)の挨拶)(40代//ニュージーランド)
全ての出演者の素晴らしい努力の成果をありがとう。これは「すばらしい」。歌や踊りを通じて、アイヌの精神への誇りや復興を見ることができとても気持ちが良いです。この特別な方法で私たちは1つになりました。(50代/女性/オーストラリア)
全ての人々が、日本のアイヌ民族を誇りに思うべきであることを理解するために、とても重要なイベントだと思います。(60代/男性/オーストラリア)
ステージを高くすると、皆がもっと良く見えると思います。(20代/男性/ニュージーランド)
ありがとうございました。アイヌ文化をもっと学びたいと思いました。(50代/男性/オーストラリア)
後ろからは見えづらかった。(30代/女性/アイルランド)
美しい人々と、自然と環境へのメッセージ、とても尊敬します。伝統を強く守ってください、そうすると将来、重要な文化であると教えてくれます。ありがとう。(40代/男性/オーストラリア)
すばらしい紹介でした。(20代/男性/オーストラリア)
とてもカラフルで美しい歌。カリスマ的で美しいパフォーマー。あなた方の文化の証人となれて大変光栄に思います。(50代/男性/オーストラリア)
ありがとう、そして先住民族に幸あらんことを。(40代/男性/オーストラリア)
スライドとスクリーンはとても良いアイデアです。スライドを説明するのに上演を止める必要はありません。なぜなら、歌って、踊っている間スライドの画面をを読むことができるからです。(30代/男性/メキシコ)
通訳が正確ではなく、英語による伝達になされなかった。(20代/男性/オーストリア)
良い歌声でした。しかし、アイヌの神と彼らの心深い信念の詳細について英語による説明が欲しかった。例えば、地球がどのように創られたのか、何が地球のバランスを保っているのかについてどう思っているのか。このことにとっても興味があります。全てがとても楽しく、美しいショーでした。(20代/女性/オーストラリア)
とても色鮮やかで、楽しかった。(50代/女性/オーストラリア)
ありがとうございました。(50代/女性/オーストラリア)
とても面白い。この美しい文化は世界のほかの先住民族文化に近い感じがします。(40代/女性/シンガポール)
とてもすばらしいアイヌ文化の紹介でした。(50代/男性/オーストラリア)

## 1 来場者のプロフィールについて

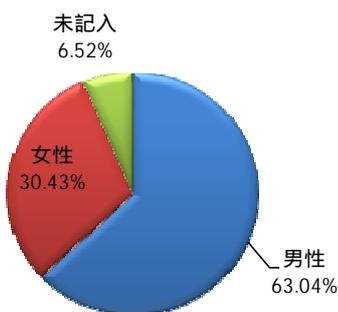
### Q1 - 年齢について



区分	回答数	割合
10代	1	2.17%
20代	13	28.26%
30代	8	17.39%
40代	10	21.74%
50代	8	17.39%
60代	6	13.04%
70歳以上	0	0.00%
未記入	0	0.00%

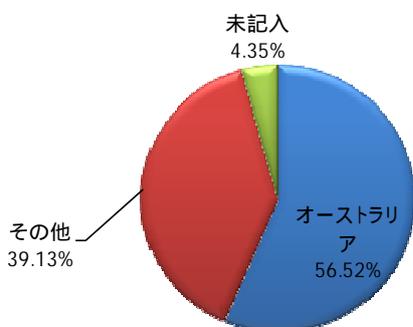
参加者の年代については、20代から60代まで、ある程度分散している。日本人の参加者が20代から40代に集中していたことに比べ、50代から60代の参加が見られる。

### Q1 - 性別について



区分	回答数	割合
男性	29	63.04%
女性	14	30.43%
未記入	3	6.52%

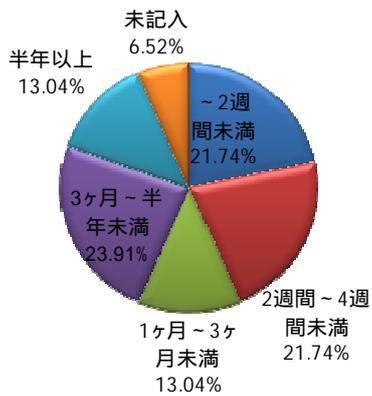
### Q1 - 国籍について



区分	回答数	割合
オーストラリア	26	56.52%
その他	18	39.13%
未記入	2	4.35%

国籍については、有効回答の内、約57%がオーストラリア人となり、当初の想定どりであったが、予想以上にその他の国の人もニセコ地区に来ていることが分かる。

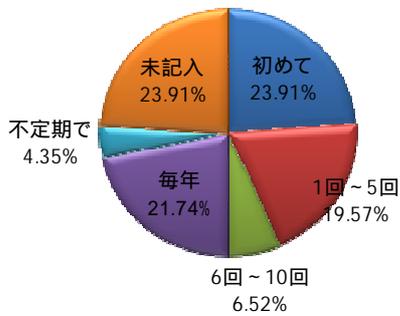
## Q1 - 日本での滞在期間



区分	回答数	割合
~2週間未満	10	21.74%
2週間~4週間未満	10	21.74%
1ヶ月~3ヶ月未満	6	13.04%
3ヶ月~半年未満	11	23.91%
半年以上	6	13.04%
未記入	3	6.52%

日本での滞在期間は、1ヶ月以上が約50%となり長期間の滞在者が多いことが分かる。

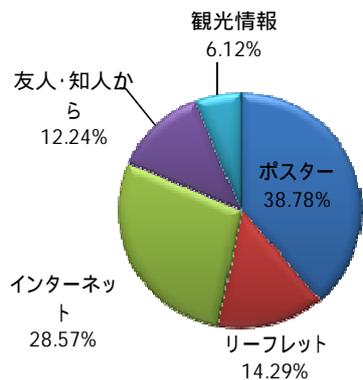
## Q1 - 日本への訪問回数



区分	回答数	割合
初めて	11	23.91%
1回~5回	9	19.57%
6回~10回	3	6.52%
毎年	10	21.74%
不定期で	2	4.35%
未記入	11	23.91%

日本への訪問回数は、ニセコ地区には限定されないが半数以上が2回目以上とリピーターが多いことが分かる。

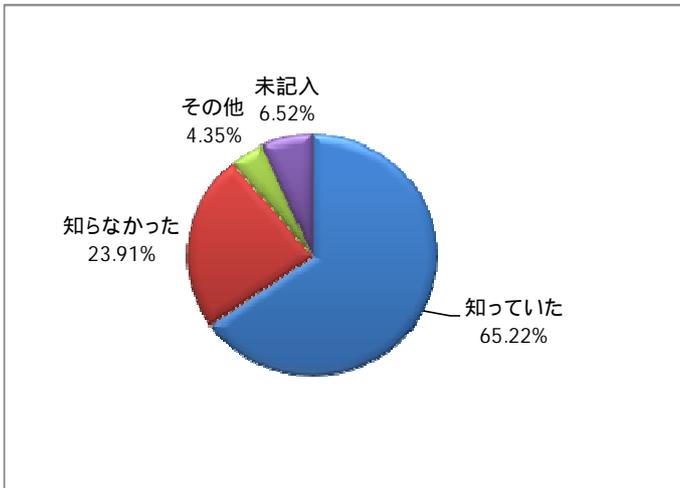
## Q2 フェア開催を何で知ったか(複数回答)



区分	回答数
ポスター	19
リーフレット	7
インターネット	14
友人・知人から	6
観光情報	3
その他	0

フェア開催をポスターやリーフレットで知ったという参加者が約53%となり、掲示場所が適当であったと推測される。

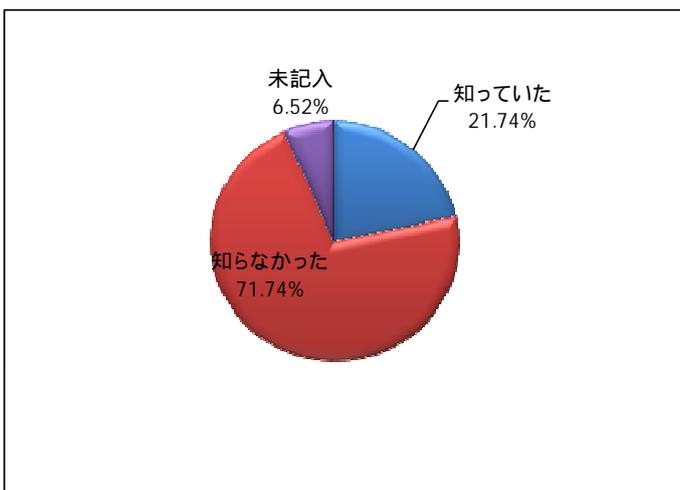
### Q3 アイヌ民族が日本の先住民族であることを知っていたか



区分	回答数	割合
知っていた	30	65.22%
知らなかった	11	23.91%
その他	2	4.35%
未記入	3	6.52%

約65%の人が、アイヌ民族が日本の先住民族であるという知識を持っており、世界的にも認知されていると推測される。

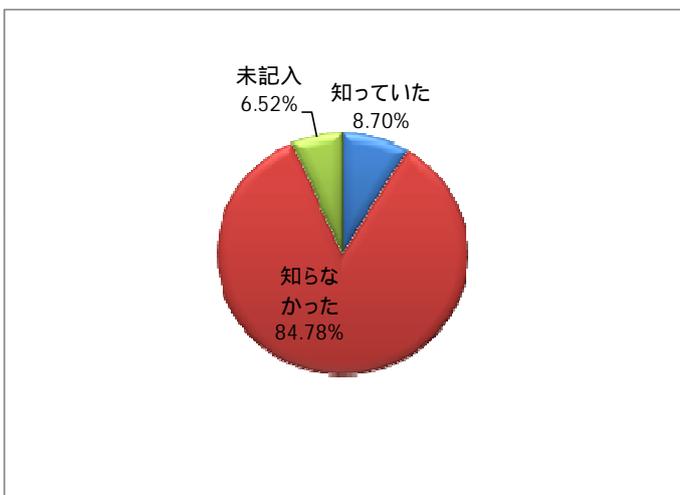
### Q4 アイヌ民族博物館が白老町にあることを知っていたか



区分	回答数	割合
知っていた	10	21.74%
知らなかった	33	71.74%
その他	0	0.00%
未記入	3	6.52%

ほぼ全てが「知らなかった」との回答になることを予想していたが、約20%が白老にあることを認知していた。

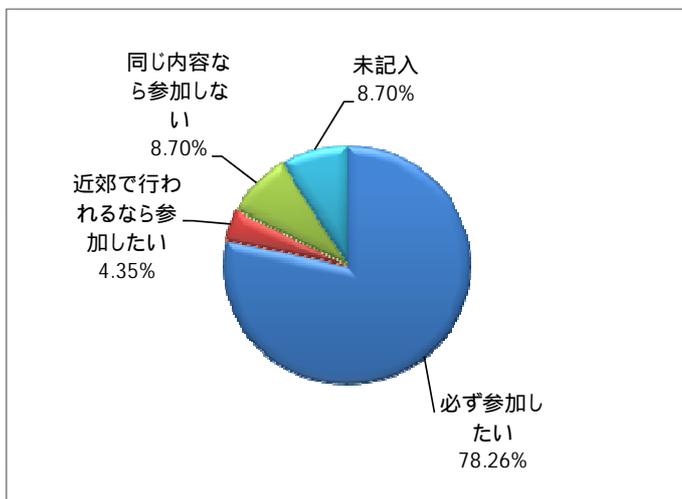
### Q5 古式舞踊がユネスコ無形文化遺産一覧に記載されたのを知っていますか



区分	回答数	割合
知っていた	4	8.70%
知らなかった	39	84.78%
未記入	3	6.52%

外国人を対象としたアンケートであることもあり、これまでのアンケート結果では「知っていた」とする割合が一番少なかった。登録からまだ4ヶ月と期間が短いことや、「ユネスコ無形文化遺産」の世界的な観点での意義や価値については不明であるが、登録が即認知に繋がるとは言えないことが分かる。

## Q6 フェアにまた参加したいと思いましたが



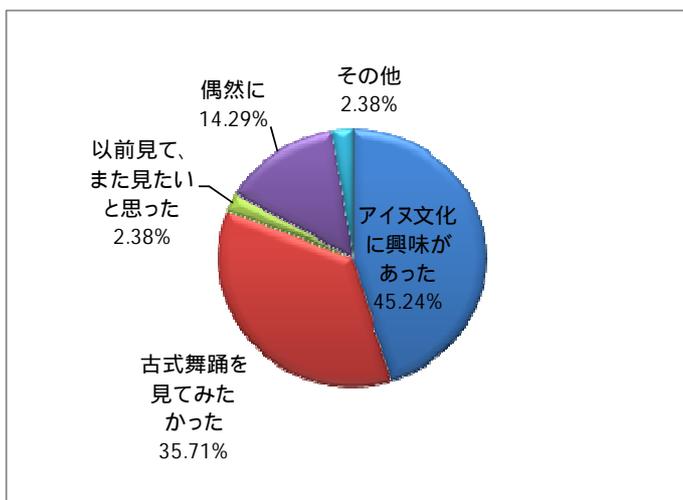
区分	回答数	割合
必ず参加したい	36	78.26%
近郊で行われるなら参加したい	2	4.35%
同じ内容なら参加しない	4	8.70%
もう参加しない	0	0.00%
未記入	4	8.70%

フェアに参加したほとんどの人が（約83%）、「必ず」又は「近郊で行われるなら」参加したいとの意思を持っており、フェアの内容等に対する評価は高いものとなっている。

また、後述のQ11の「フェアに参加し博物館へ行ってみたいと思ったか」との設問に対しても、アンケートを回収した有効回答の97%が「必ず」又は「機会があれば」行きたいとの回答があり、フェアが博物館訪問のきっかけとなりうる事が分かる。

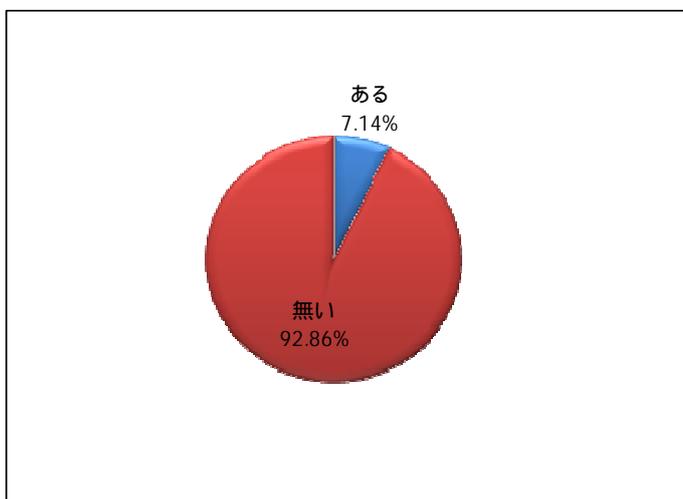
## 2 フェアの感想等

### Q7 フェアに参加した理由



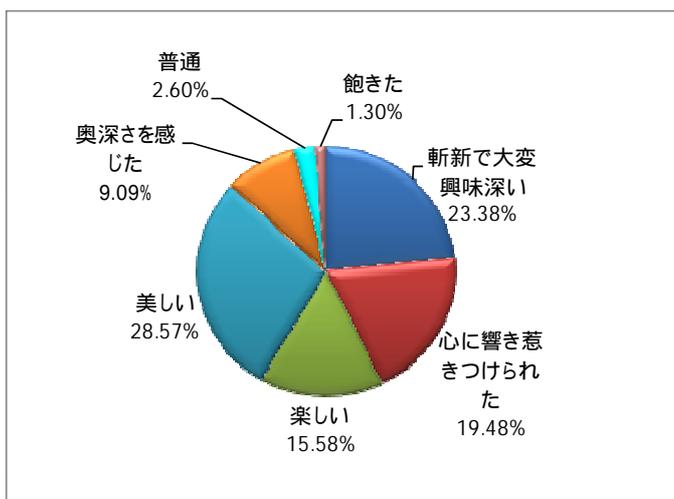
区分	回答数	割合
アイヌ文化に興味があった	19	45.24%
古式舞踊を見てみたかった	15	35.71%
以前見て、また見たいと思った	1	2.38%
偶然に	6	14.29%
その他	1	2.38%
未記入	4	

### Q8 アイヌ古式舞踊は見たことがありましたか？



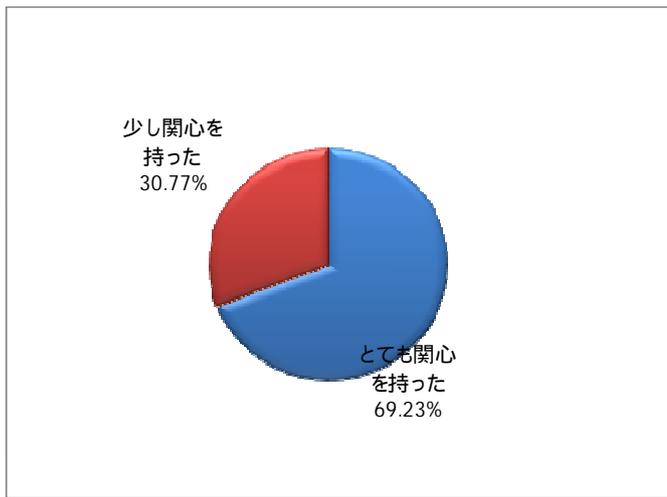
区分	回答数	割合
ある	3	7.14%
無い	39	92.86%
その他	0	0.00%
未記入	4	

### Q9 演目の感想(複数回答)



区分	回答数	割合
斬新で大変興味深い	18	23.38%
心に響き惹きつけられた	15	19.48%
楽しい	12	15.58%
衝撃を受けた	0	0.00%
美しい	22	28.57%
奥深さを感じた	7	9.09%
普通	2	2.60%
飽きた	1	1.30%
期待はずれ	0	0.00%
ひどい	0	0
その他	0	0

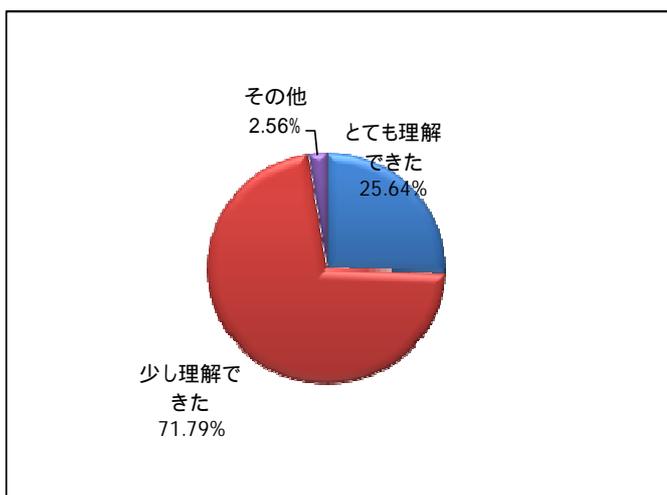
## Q10 アイヌ文化に対する関心度の変化



区分	回答数	割合
とても関心を持った	27	69.23%
少し関心を持った	12	30.77%
関心を持てなかった	0	0.00%
その他	0	0.00%
未記入	7	

とても関心を持ったとする人の割合が約70%と高い数値となっており、有効回答を得た全ての人が、少なからず関心を示していることがわかる。

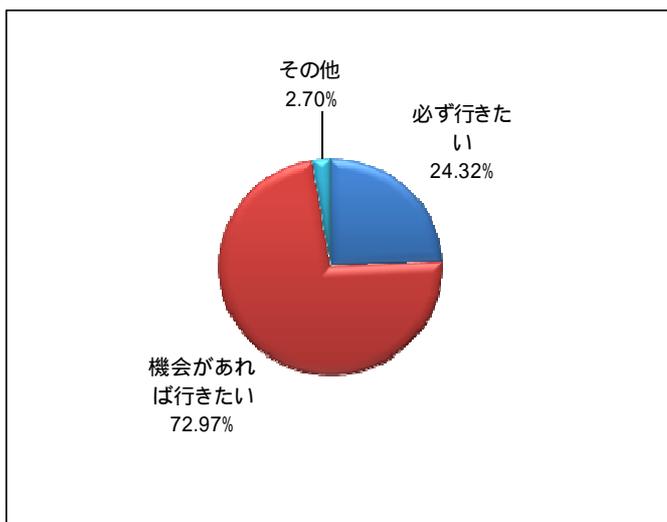
## Q11 アイヌ文化に対する理解度の変化



区分	回答数	割合
とても理解できた	10	25.64%
少し理解できた	28	71.79%
理解できなかった	0	0.00%
その他	1	2.56%
未記入	7	

文化の理解については、古式舞踊を見ただけでは一端に触れただけと考える人が多い。

## Q11 参加してアイヌ民族博物館に行ってみたいと思ったか



区分	回答数	割合
必ず行きたい	9	24.32%
機会があれば行きたい	27	72.97%
同じものが見られるなら行きたい	0	0.00%
行きたいと思わない	0	0.00%
その他	1	2.70%
未記入	9	

有効回答を得たほとんどの人が、「必ず」又は「機会があれば」博物館に行ってみたいとの感想を持ち、博物館訪問の動機付けとしての効果も見込まれる。博物館で常時行う古式舞踊については、時間も短くフェアを体験した人は物足りなさを感じるかもしれないが、古式舞踊の時間も長い「ポロトコタンの夜」を実施していることや、学習の場として、博物館の見学・体験学習メニューを体験し、アイヌ文化についてさらに学べる事を同時にPRする必要もある。

# 特別体験学習受入事業アンケート

ご来館のお客様へ（教員の皆さまへ）

「特別体験学習受入事業アンケート調査」ご協力をお願い

この度は「特別体験学習受入事業」で当博物館にご来館いただき、誠にありがとうございました。本事業は、国の「平成 21 年度地方の元気再生事業」への提案採択を受け実施された事業で、当初 2 カ年を見込んでおりましたが、所管の内閣府において平成 22 年度概算要求を見送ったことにより本年で終了する予定となっております。

そのことから、本事業に参加された各学校にアンケート調査を実施し、調査結果を参考に、今後の事業展開の方策の検証や博物館の事業運営の充実に努めたいと考えております。つきましては、お忙しい中、お手数をお掛けし大変恐縮ではありますが、率直なご意見・ご要望、感想などをお寄せいただきたく、お願い申し上げます。

財団法人 アイヌ民族博物館

<p>1 事業に参加した教員・クラスなどのプロフィールについてお伺いいたします。 次のそれぞれの質問について、あてはまるものの数字を で囲んでください。 また、あてはまるものに（ ）がある時には（ ）内にその内容を記載してください。</p>	
学校名・実施時期	( ) 小学校、平成 ( ) 年 ( ) 月 ( ) 日
参加した学年・クラス数・生徒数	( ) 年生、( ) クラス、( ) 人
引率教員数	( ) 人
体験学習実施教科	1 : 社会    2 : 総合的な学習の時間    3 : その他 ( )
学校から博物館までの移動時間	約 ( ) 分
これまでの入場回数について(プライベートを含む)	1 : 始めて    2 : 2 回目    3 : 3 回以上 ( ) 回程
本日参加いただいた「きっかけ」について	1 : 授業でアイヌ文化・歴史を扱うので    時期 ( 1: 過去に・2: 現在・3: 今後 ) 2 : 総合的な学習の時間の題材として適しているので 3 : 無料で参加できると聞いたので    4 : 校長・教頭先生等から勧められて 5 : その他 ( )
アイヌ民族博物館(ホ・トコタ)の印象はどうでしたか？ よろしければその理由もご記入ください	1 : 期待していたとおり良かった    2 : 工夫が必要と感じた 3 : 期待どおりではなかった 理由 : ( )
教育の観点からアイヌ文化・アイヌの歴史を捉えたとき、学校での授業の内容やあり方についてのお考えがありましたらご記入ください	

・ウラ面に続きます

「特別体験学習受入事業アンケート調査」にご協力をお願いいたします。

## 2 特別体験学習受入事業に参加しての満足度をお伺いいたします。

次のそれぞれの質問で、「子どもたちの体験学習のメニューとしての適切度を考えたとき」その内容について満足と感じたか、不満足と感じたかをお答えください。質問に対して、「大変満足」～「大変不満」のどれか1つだけを選び、質問右側の回答欄にある1～5の数字を で囲んでください。

	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
アイヌ文化のお話、古式舞踊見学の内容について	1	2	3	4	5
ムックリ製作体験の内容について	1	2	3	4	5
ワークシートを利用した博物館見学の内容について	1	2	3	4	5
伝統料理体験（昼食）について	1	2	3	4	5
各メニューの時間配分について	1	2	3	4	5
特別体験学習受入事業全体について	1	2	3	4	5
メニューや対応した職員についてのご意見・ご要望、ご感想等がありましたらご記入ください。	【例：全体で3時間は長い、お話・古式舞踊はもっと長いほうが良い等】				

## 3 「特別体験学習受入事業」を有料で（経費：学校負担）行った場合についてお伺いいたします。（通常経費：入場料210円+ムックリ製作400円+伝統料理1,000円=1,610円+バス代）

有料で行ったとしても、その費用が価値に見合い、参加・活用したいと思われませんか？	1：是非、参加・活用したい 2：価値に見合わず活用対象とならない 3：メニューをパッケージ化し、もっと価格が安ければ参加・活用したい 4：その他（ ）
有料でも参加・活用しようとした場合、最も障害となりえることは何ですか？	1：予算が縮減され資金が確保できない 2：校長・教頭先生等の理解 3：生徒・保護者の理解・調整 4：他教員の理解・調整 5：その他（ ）
参加・活用を前提に、総体の1人当たりの負担金額（バス代除く）で、適切又はご希望される金額は？	1：500円未満 2：500円～750円未満 3：750円～1,000円未満 3：1,000円～1,250円未満 4：1,250円～1,500円未満 5：1,610円（現状価格） 6：その他具体的金額等

【例：入場料+体験料で500円】

## 4 特別体験学習受入事業全体、またアンケート全体を通してのご意見・ご要望、ご感想や、子どもたちの感想等をお聞かせください。

【自由意見】

\* アンケート全体を通じて調査票に書ききれなかったことや、別に子どもたちの感想文等がございましたら、調査票に添付していただければ幸いです。

【ご協力ありがとうございました】

# 特別体験学習受入事業アンケート簡易集計

## 1 参加者のプロフィールについて

Q1 - 体験学習実施教科について	回答数	備考
1 社会	1	
2 総合的な学習の事業	2	
3 その他	1	
4 未記入	0	
Q1 - 本日参加したきっかけについて	回答数	備考
1 授業でアイヌ文化・歴史を扱うので	1	
2 総合的な学習の時間の題材に適しているの		
3 無料で参加できると聞いたので	1	
4 校長・教頭先生等から薦められて	1	
5 その他	1	1~4の全てが絡むが特に3
6 未記入		
Q1 - アイヌ民族博物館の印象はどうでしたか	回答数	備考
1 期待していたとおり良かった	4	・食事を含め、体験的な学習を数多く準備していたため ・期待よりもずっと良かったです。(食事・資料館・ムックリ作り、対応など) ・踊りやワークシートの解説など、期待以上でした。また、ワークシートがあったのも良かったと思います。
2 工夫が必要と感じた		
3 期待どおりではなかった		
4 未記入		
Q1 - 教育の観点からアイヌ文化・アイヌの歴史を捉えたとき、学校での授業の内容やあり方についての考え		
DVDなど事前に映像で学習できるものがあると良い。小学校の児童が調べやすいHPの内容であると、事前学習にしようできると感じた。		
地域による意識の差が大きいのので、実態をおさえて実施することが必要かと考える。		
言葉や芸能などわかりやすい活動が中心となるが、単なる異文化交流にとどまるのではなく、信仰や精神の側面を感じとらせたい。		
教師が意欲を持って取り組まないと出来ない学習です。民族の歴史や人権の課題はありますが、とにかく気軽にできるカリキュラム作りや、雰囲気をつくるのがまずは必要だと考えています。		

## 2 特別体験学習受入事業に参加しての満足度

Q2 子ども達の体験学習のメニューとしての満足度	大変満足	満足	普通	不満	大変不満
アイヌ文化のお話、古式舞踊見学について	4				
ムックリ製作体験の内容について	3	1			
ワークシートを活用した博物館見学の内容について	3	1			
伝統料理体験(昼食)について	3	1			
各メニューの時間配分について	1	3			
特別体験学習受入事業全般について	4				

メニューや対応した職員についての意見・要望、感想等
大変親切に対応していただいたので、子ども達の喜んでいました。何名かは見学学習後あらためて家族で訪れたようです。
学年も異なり大人数であったが、いろいろな意味で丁寧に対応していただいた。プロジェクターでの説明も良かったと思う。昼食ではおかわりもさせていただいた。
移動時間も考えると、時間的にもちょうど良い。
伝統料理体験は、食べるだけになっているので、サケを調理する場面をビデオ又は実際に見せてもらえたらよい。(ムックリの前に)

### 3 特別体験学習事業を有料で(経費:学校負担)行った場合について

Q3 - 有料で行ったとしても価値に見合い参加したいと思うか	回答数	備考
1 是非、参加・活用したい		
2 価格に見合わず活用対象とならない		
3 メニューをパッケージ化し、もっと価格が安ければ参加・活用したい	3	
4 その他		
5 未記入	1	
Q3 - 有料で参加・活用しようとした場合、最も障害となりえることは何ですか？	回答数	備考
1 予算が縮小され資金が確保できない	1	
2 校長・教頭先生等の理解		
3 生徒・保護者の理解、調整	1	
4 他教員の理解・調整		
5 その他	2	・経費がかかること ・一人当たりの負担額が大きくなること
6 未記入		
Q - 参加・活用を前提に、総体の1人当たりの負担額(バス代除く)で、適切又は希望する金額	回答数	備考
1 500円未満	1	
2 500円～750円未満	1	おにぎり持参でおかずのみなど
3 750円～1,000円未満	2	
4 1,000円～1,250円未満		
5 1,250円～1,500円未満		
6 1,610円(通常金額)		
7 その他具体的金額		
8 未記入		

### Q4 自由意見

今年限りというのはとても残念でした。今回は午前中のみでしたが、一日日程でプログラムを組んでもよいと思っていました。
ポルトコタンへの見学が少なくなったのは、経費負担より児童減による、バス代の負担額が大きいのです。ぜひ、バス代無料事業を続けて欲しいと思います。踊りへの参加を呼びかけたり、作ったムックリでの合奏会のようなことがあれば嬉しさが増します。
ムックリ、とても喜んでいました。これからだと無料でないと行きにくい(距離・時間)と感じた。
10時～13時までの3時間のメニューは、テンポが良く、子どもには集中して学習することができました。時間があればコタンの中を自由に見学させたいと思いました。

## 「Living the Ainu Tradition」 モニター意見(一部)

カナダ オンタリオ 男性

ナショナル・アーカイブのようなもので、アイヌの歌とダンスを記録・保存されていることを望みます。もし、そうした対応がとられていないのであれば、すぐに実行すべきです。アイヌの歌が忘れ去られるのは耐えられません。

アメリカ フォートワース 男性

カメラワークがとても良く、各シーンがとてもよく構成されていました。サウンドのクオリティーも良く、編集は最高レベルでした。すばらしい、文化的な番組でした。日本は単一民族の国と信じている日本人はいないのではないのでしょうか。ナレーションや音楽もとてもよかったです。

イギリス エルズミアポート 男性

とても良くできた番組でした。撮影もよかったです。英語の字幕とナレーションも番組の質を押し上げています。番組の長さも興味を持続できる、ちょうど良い長さでした。ほかの番組でこのテーマを継続取材してもらいたいものです。

アメリカ ワシントンDC 男性

アイヌ文化伝承の活動に関連して、白老町がどのように経済振興のプロジェクトを推進しているかの説明はよかった。

アメリカ シミヴァレー 男性

この番組は、多くのひとが知らなかったと思われる、日本の別の一面をみごとに描いていました。

アイルランド エニスコーシー 男性

300文字で表現するのはとても難しいほどすばらしい番組で、最初から最後まで画面に釘付けでした。アイヌ文化の継承にかかわっているすべての人々の情熱を知ったとき、喜びを感じました。

アメリカ ミネアポリス 男性

翻訳がすばらしく、スムーズで、流暢であり、誤りも見られませんでした。ナレーションと字幕も簡単に理解できました。このおかげで番組をもっと楽しむことができました。

ジャマイカ 男性

番組をととても楽しみました。日本やアジアの歴史に興味がある友人に番組を勧めようと思いません。

アメリカ ヴァージニア 女性

アイヌ民族の将来は番組の中でとても前向きに描かれていました。情報の量も多く、視聴者は今後もアイヌの問題に注意を喚起されることでしょう。

アメリカ カリフォルニア 女性

日本が単一民族の国だと思っていた私にとっては、目を開かせてくれる番組でした。

ポルトガル 男性

アイヌの歌はとてもリラックスした気持ちにさせてくれました。

イタリア ローマ 女性

ダンスがほぼ完全に描かれていたのがよかったです。日本の国会が去年ようやくアイヌを先住民として認めたという事実は衝撃的でした。

アメリカ ボードンハム 男性

カナダの学生たちがアイヌのダンスなどの文化活動を楽しんでいたのを見てうれしくなりました。この番組を見るまではアイヌについてはほとんど知りませんでした。ありがとうございます。いつの日か「アイヌの地」を訪ねてみたいです。

イギリス ミルトンキーンズ 男性

番組はとても教育的であると同時に、娯楽性もありました。とてもエキサイティングな番組でした。

アメリカ ミネアポリス 男性

衣服や食事やダンスなど、アイヌの伝統に深い洞察を投げかける番組でした。

アメリカ シルバースプリング 女性

クジラを串にしてグリルする神さまの伝説をもっと知りたかったです。西洋の神にそのような伝説はありませんから。

アメリカ フィラデルフィア 男性

番組のコンテンツはバラエティに富んでいました。

アメリカ ロサンゼルス 男性

この番組で最高の部分は、純粋にダンスや、芸術、そしてアイヌの儀式を紹介しているところです。



平成 2 1 年度 地方の元気再生事業

アリキキアノロ（みんな頑張ろう）シラオイ再生プロジェクト  
～アイヌの智慧を活かしたビジネス創造～  
報告書

平成 2 2 年 3 月発行

編集・発行 アイヌの智慧でシラオイ再生プロジェクト事務局  
（白老町企画振興部企画政策課内）

〒059-0995 北海道白老郡白老町大町 1 丁目 1 番 1 号